

基本計画画									
事項		記入欄							備考
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者		ガッコウホウジン コクサイイリョウフクシダイガク 学校法人 国際医療福祉大学							
フリガナ大学の名称		コクサイイリョウフクシダイガク 国際医療福祉大学 (International University of Health and Welfare)							
大学本部の位置		栃木県大田原市北金丸2600-1							
大学の目的		国際医療福祉大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断を培い、豊かな人間性を涵養し保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成するとともに、学術文化の向上と国際社会の保健医療福祉に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の目的		保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学、医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。 医学検査学科は、基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場における対応力を培い、社会に貢献する臨床検査技師の育成を目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	保健医療学部 看護学科	4年	115人	—年次人	460人	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	平成7年4月 第1年次	栃木県大田原市 北金丸2600-1
	理学療法学科	4	100	—	400	学士 (理学療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成7年4月 第1年次	
	作業療法学科	4	80	—	320	学士 (作業療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成7年4月 第1年次	
	言語聴覚学科	4	80	—	320	学士 (言語聴覚学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成7年4月 第1年次	
	視機能療法学科	4	50	—	200	学士 (視機能療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテーション関係)	平成14年4月 第1年次	
	放射線・情報科学科	4	110	—	440	学士 (放射線・情報科学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)	平成7年4月 第1年次	
	医学検査学科	4	80 (0)	—	320 (0)	学士 (医学検査学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)	令和7年4月 第1年次	
	医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	4	140	3年次 5	570	学士 (医療福祉学) (医療マネジメント学)	社会学・社会福祉学関係 経済学関係	平成21年4月 第1年次 平成23年4月 第3年次	同上
	薬学部 薬学科	6	180	—	1,080	学士 (薬学)	薬学関係	平成18年4月 第1年次	同上
									※令和6年4月設置届出予定

新設学部等の概要（つづき）	医学部 医学科	6	140	—	840	学士 (医学)	医学関係	平成29年4月 第1年次	千葉県成田市 公津の杜4-2
	成田薬学部 薬学科	6	120	—	720	学士 (薬学)	薬学関係	令和6年4月 第1年次	同上
	成田看護学部 看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	平成28年4月 第1年次	千葉県成田市 公津の杜4-3
	成田保健医療学部 理学療法学科	4	80	—	320	学士 (理学療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテー ション関係)	平成28年4月 第1年次	同上
	作業療法学科	4	40	—	160	学士 (作業療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテー ション関係)	平成28年4月 第1年次	
	言語聴覚学科	4	40	—	160	学士 (言語聴覚学)	保健衛生学関係 (リハビリテー ション関係)	平成28年4月 第1年次	
	医学検査学科	4	80	—	320	学士 (医学検査学)	保健衛生学関係 (看護学関係及び リハビリテーショ ン関係を除く)	平成28年4月 第1年次	
	放射線・情報科学科	4	50	—	200	学士 (放射線・情 報科学)	保健衛生学関係 (看護学関係及び リハビリテーショ ン関係を除く)	令和2年4月 第1年次	
	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部 心理学科	4	60	—	240	学士 (心理学)	文学関係	平成30年4月 第1年次	東京都港区 赤坂4-1-26
	医療マネジメント学科	4	60	—	240	学士 (医療マネジ メント学)	経済学関係	平成30年4月 第1年次	
	小田原保健医療学部 看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	平成18年4月 第1年次	神奈川県 小田原市 城山1-2-25
	理学療法学科	4	80	—	320	学士 (理学療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテー ション関係)	平成18年4月 第1年次	
	作業療法学科	4	40	—	160	学士 (作業療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテー ション関係)	平成18年4月 第1年次	
	福岡保健医療学部 看護学科	4	60	—	240	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	令和5年4月 第1年次	福岡県 大川市榎津137-1
	理学療法学科	4	50	—	200	学士 (理学療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテー ション関係)	平成17年4月 第1年次	
	作業療法学科	4	30	—	120	学士 (作業療法学)	保健衛生学関係 (リハビリテー ション関係)	平成17年4月 第1年次	
	言語聴覚学科	4	0	—	0	学士 (言語聴覚学)	保健衛生学関係 (リハビリテー ション関係)	平成19年4月 第1年次	
	医学検査学科	4	80	—	320	学士 (医学検査学)	保健衛生学関係 (看護学関係及び リハビリテーショ ン関係を除く)	平成25年4月 第1年次	
	福岡薬学部 薬学科	6	120	—	720	学士 (薬学)	薬学関係	令和2年4月 第1年次	同上
	計		2, 245 (2, 165)	3年次 5	10, 110 (9, 790)				

同一設置者内における 変 更 状 況 (定 員 の 移 行 , 名 称 の 変 更 等)		学科の届出設置 保健医療学部 医学検査学科 (入学定員80人) 令和6年4月届出予定							
教育 課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計				
	—	—	—	—	—	—			
学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教 員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新 設 分	保健医療学部 看護学科		7 (7)	5 (5)	6 (6)	8 (8)	26 (26)	0 (0)	60 (60)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの		7 (7)	5 (5)	6 (6)	8 (8)	26 (26)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (aに該当する者を除く)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計 (a～b)		7 (7)	5 (5)	6 (6)	8 (8)	26 (26)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの (a又はbに該当する者を除く)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (a、b又はcに該当する者を除く)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計 (a～d)		7 (7)	5 (5)	6 (6)	8 (8)	26 (26)		
	保健医療学部 理学療法学科		5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)	0 (0)	63 (63)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの		5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (aに該当する者を除く)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計 (a～b)		5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの (a又はbに該当する者を除く)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (a、b又はcに該当する者を除く)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計 (a～d)		5 (5)	3 (3)	7 (7)	2 (2)	17 (17)		
	保健医療学部 作業療法学科		4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)	0 (0)	66 (66)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの		4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (aに該当する者を除く)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計 (a～b)		4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの (a又はbに該当する者を除く)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの (a、b又はcに該当する者を除く)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計 (a～d)		4 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	13 (13)		

大学設置基準別
表第一イに定め
る基幹教員数の
四分の三の数
10人

大学設置基準別
表第一イに定め
る基幹教員数の
四分の三の数
7人

大学設置基準別
表第一イに定め
る基幹教員数の
四分の三の数
6人

大学設置基準別
表第一イに定め
る基幹教員数の
四分の三の数
10人

大学設置基準別
表第一イに定め
る基幹教員数の
四分の三の数
7人

大学設置基準別
表第一イに定め
る基幹教員数の
四分の三の数
6人

保健医療学部 言語聴覚学科						0 (0)	79 (79)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	14 (14)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	4 (4)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	14 (14)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	4 (4)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	14 (14)		
保健医療学部 放射線・情報科学科						0 (0)	58 (58)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	16 (16)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	8 (8)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	16 (16)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	8 (8)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	16 (16)		
保健医療学部 視機能療法学科						1 (2)	64 (64)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (1)	10 (9)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (1)	10 (9)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (1)	10 (9)		

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
7人大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人

保健医療学部 医学検査学科						0 (0)	68 (68)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	4 (1)	1 (1)	2 (2)	11 (8)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	4 (4)	4 (1)	1 (1)	2 (2)	11 (8)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	4 (4)	4 (1)	1 (1)	2 (2)	11 (8)		
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科						1 (1)	47 (47)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	7 (7)	8 (8)	7 (7)	30 (30)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	8 (8)	7 (7)	8 (8)	7 (7)	30 (30)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	8 (8)	7 (7)	8 (8)	7 (7)	30 (30)		
薬学部 薬学科						1 (1)	53 (53)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	17 (17)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	37 (37)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	17 (17)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	37 (37)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	17 (17)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	37 (37)		

大学設置基準別
表第一イに定め
る基幹教員数の
四分の三の数
6人

大学設置基準別
表第一イに定め
る基幹教員数の
四分の三の数
12人

大学設置基準別
表第一イに定め
る基幹教員数の
四分の三の数
25人

医学部 医学科						10	225
						(10)	(225)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	173 (173)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	184 (184)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	173 (173)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	184 (184)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	173 (173)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	184 (184)		
成田看護学部 看護学科						1	66
						(1)	(66)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	4 (4)	10 (10)	7 (7)	27 (27)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	6 (6)	4 (4)	10 (10)	7 (7)	27 (27)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	6 (6)	4 (4)	10 (10)	7 (7)	27 (27)		
成田保健医療学部 理学療法学科						0	70
						(0)	(70)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	2 (2)	6 (6)	14 (14)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	6 (6)	14 (14)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	4 (4)	2 (2)	2 (2)	6 (6)	14 (14)		

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
120人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
8人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人

成田保健医療学部 作業療法学科	4 (4)	3 (3)	1 (0)	1 (2)	9 (9)	1 (1)	71 (71)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	3 (3)	1 (0)	1 (2)	8 (8)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	3 (3)	3 (3)	1 (0)	1 (2)	8 (8)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		
計（a～d）	4 (4)	3 (3)	1 (0)	1 (2)	9 (9)		
成田保健医療学部 言語聴覚学科	4 (4)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	80 (80)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	9 (9)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	3 (3)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	9 (9)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		
計（a～d）	4 (4)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	10 (10)		
成田保健医療学部 放射線・情報科学科	6 (6)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	70 (70)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	11 (11)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	6 (6)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	11 (11)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	6 (6)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	11 (11)		

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人

成田保健医療学部 医学検査学科	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)	0 (0)	69 (69)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	4 (4)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	14 (14)		
成田薬学部 薬学科	16 (14)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (24)	0 (0)	56 (56)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	16 (14)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (24)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	16 (14)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (24)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	16 (14)	4 (3)	4 (3)	8 (4)	32 (24)		
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科	5 (5)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	28 (28)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	15 (15)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	5 (5)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	15 (15)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	5 (5)	6 (6)	3 (3)	1 (1)	15 (15)		

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
23人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科	7 (7)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	32 (32)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	13 (13)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)		
小計（a～b）	7 (7)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	14 (14)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	7 (7)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	14 (14)		
小田原保健医療学部 看護学科	6 (6)	10 (10)	12 (12)	4 (4)	32 (32)	1 (1)	62 (62)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	10 (10)	12 (12)	4 (4)	32 (32)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	6 (6)	10 (10)	12 (12)	4 (4)	32 (32)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	6 (6)	10 (10)	12 (12)	4 (4)	32 (32)		
小田原保健医療学部 理学療法学科	4 (4)	2 (2)	4 (4)	6 (6)	16 (16)	0 (0)	65 (65)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	4 (4)	6 (6)	16 (16)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	4 (4)	6 (6)	16 (16)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	4 (4)	2 (2)	4 (4)	6 (6)	16 (16)		

大学設置基準別
表第一イに定める
基幹教員数の
四分の三の数
11人

大学設置基準別
表第一イに定める
基幹教員数の
四分の三の数
9人

大学設置基準別
表第一イに定める
基幹教員数の
四分の三の数
6人

小田原保健医療学部 作業療学科	4 (4)	2 (2)	4 (4)	3 (3)	13 (13)	0 (0)	56 (56)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	4 (4)	3 (3)	13 (13)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	4 (4)	2 (2)	4 (4)	3 (3)	13 (13)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	4 (4)	2 (2)	4 (4)	3 (3)	13 (13)		
福岡保健医療学部 看護学科	11 (11)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	26 (26)	0 (0)	51 (51)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	26 (26)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	11 (11)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	26 (26)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	11 (11)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	26 (26)		
福岡保健医療学部 理学療学科	4 (4)	5 (5)	2 (1)	2 (3)	13 (13)	0 (0)	45 (45)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	5 (5)	2 (1)	2 (3)	13 (13)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	4 (4)	5 (5)	2 (1)	2 (3)	13 (13)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	4 (4)	5 (5)	2 (1)	2 (3)	13 (13)		

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
9人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
6人

新設分（つづき）

福岡保健医療学部 作業療法学科		4 (4)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	47 (47)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の 四分の三の数 6人	
a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	11 (11)				
b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）		4 (4)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	11 (11)				
c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）		4 (4)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	11 (11)				
福岡保健医療学部 医学検査学科		4 (4)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	14 (14)	0 (0)	41 (41)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の 四分の三の数 6人	
a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	14 (14)				
b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）		4 (4)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	14 (14)				
c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）		4 (4)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	14 (14)				
福岡薬学部 薬学科		15 (15)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	35 (35)	0 (0)	39 (39)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の 四分の三の数 23人	
a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	15 (15)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	35 (35)				
b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計（a～b）		15 (15)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	35 (35)				
c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）		15 (15)	9 (9)	6 (6)	5 (5)	35 (35)				
計		342 (340)	113 (109)	113 (110)	96 (93)	664 (652)	16 (17)	— (—)		

既 設 分	なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
	小計（a～b）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
	計（a～d）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
	合 計	342 (340)	113 (109)	113 (110)	96 (93)	664 (652)	16 (17)	— (—)

大学設置基準別
表第一イに定め
る基幹教員数の
四分の三の数
〇〇人

職 種		専 属		その他		計	大学全体
事 務 職 員		960人 (955)		290人 (280)		1250人 (1235)	
技 術 職 員		12人 (10)		0人 (0)		12人 (10)	
図 書 館 職 員		16人 (15)		25人 (23)		41人 (38)	
そ の 他 の 職 員		3720人 (3372)		280人 (270)		4000人 (3642)	
指 導 補 助 者		0人 (0)		30人 (30)		30人 (30)	
計		4708人 (4352)		625人 (603)		5333人 (4955)	
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	大学全体
	校 舎 敷 地	373, 252㎡	— ㎡	— ㎡		373, 252㎡	■校舎敷地:借用面積58,854㎡、期間30年 ■運動場用地: ①借用面積3,557㎡、期間5年間(道路占用許可。その後、順次更新)②借用面積5,659㎡、期間30年③借用面積11,944㎡、期間30年
	そ の 他	114, 126㎡	— ㎡	— ㎡		114, 126㎡	
	合 計	487, 378㎡	— ㎡	— ㎡		487, 378㎡	
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	大学全体
		228, 213㎡ (219, 567㎡)	— ㎡ (— ㎡)	— ㎡ (— ㎡)		228, 213㎡ (219, 567㎡)	■借用面積14,691㎡、期間20年
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	812 室	教 員 研 究 室		438 室	大学全体
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点
		271, 934 [34, 034]	37, 251 [33, 297]	20, 288 [15, 476]	16, 347 [14, 736]	135, 124	2, 715
	大学全体	271, 434 [34, 034]	(36, 751 [33, 197])	20, 288 [15, 476]	16, 347 [14, 736]	(134, 142)	(2, 709)
	計	271, 934 [34, 034]	37, 251 [33, 297]	20, 288 [15, 476]	16, 347 [14, 736]	135, 124	2, 715
スポーツ施設等		スポーツ施設	講堂	厚生補導施設		大学全体	
		8, 317㎡	— ㎡	7, 465㎡			

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
		教員1人当り研究費等		500千円	500千円	500千円	500千円			
		共同研究費等		5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円			
		図 書 購 入 費	70,000千円	59,000千円	59,000千円	59,000千円	59,000千円	55,000千円	55,000千円	
		設 備 購 入 費	2,692,000千円	2,863,000千円	2,475,000千円	2,475,000千円	2,475,000千円	2,467,000千円	2,467,000千円	
	学生1人当り納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		保健医療学部 (理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科)	1,600千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	— 千円	— 千円		
		成田保健医療学部 (理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科)								
		小田原保健医療学部 (理学療法学科、作業療法学科)								
		保健医療学部 (看護学科、放射線・情報科学科、医学検査学科)	1,610千円	1,510千円	1,510千円	1,510千円	— 千円	— 千円		
		成田看護学部								
		成田保健医療学部 (放射線・情報科学科、医学検査学科)								
		小田原保健医療学部 (看護学科)								
		福岡保健医療学部 (看護学科)	1,410千円	1,330千円	1,330千円	1,330千円	— 千円	— 千円		
		福岡保健医療学部 (理学療法学科、作業療法学科、医学検査学科)	1,450千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	— 千円	— 千円		
		医療福祉学部	1,060千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	— 千円	— 千円		
		赤坂心理・医療福祉マネジメント学部								
		医療福祉学部 (医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース)	960千円	920千円	920千円	920千円	— 千円	— 千円		
		薬学部	1,750千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円	1,630千円		
		成田薬学部								
		福岡薬学部								
		医学部	4,500千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、手数料収入、資産運用収入 等					

	大 学 等 の 名 称		国際医療福祉大学							
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地	
既 設 大 学 等 の 状 況		年	人	年次 人	人		倍			
	保健医療学部 看護学科	4	115	－	460	学士 (看護学)	1.02 1.00	平成7年度		栃木県 大田原市 北金丸2600-1
	理学療法学科	4	100	－	400	学士 (理学療法学)	1.02	平成7年度		
	作業療法学科	4	80	－	320	学士 (作業療法学)	1.03	平成7年度		
	言語聴覚学科	4	80	－	320	学士 (言語聴覚学)	1.00	平成7年度		
	視機能療法学科	4	50	－	200	学士 (視機能療法学)	1.04	平成14年度		
	放射線・情報科学科	4	110	－	440	学士 (放射線・情報科学)	1.06	平成7年度		
	医療福祉学部 医療福祉・ マネジメント学科	4	140	3年次 5	570	学士 (医療福祉学) (医療マネジメント学)	0.99 0.99	平成21年度		
	薬学部 薬学科	6	180	－	1080	学士 (薬学)	0.98 0.98	平成18年度		
	医学部 医学科	6	140	－	840	学士 (医学)	0.98 0.98	平成29年度		千葉県成田市 公津の杜4-2
	成田看護学部 看護学科	4	100	－	400	学士 (看護学)	1.06 1.06	平成28年度		千葉県成田市 公津の杜4-3
	成田保健医療学部 理学療法学科	4	80	－	320	学士 (理学療法学)	1.04 1.05	平成28年度		
	作業療法学科	4	40	－	160	学士 (作業療法学)	1.04	平成28年度		
	言語聴覚学科	4	40	－	160	学士 (言語聴覚学)	1.04	平成28年度		
	医学検査学科	4	80	－	320	学士 (医学検査学)	1.05	平成28年度		
	放射線・情報科学科	4	50	－	200	学士 (放射線・情報科学)	1.03	令和2年度		
	成田薬学部 薬学科	6	120	－	120	学士 (薬学)	－ －	令和6年度		千葉県成田市 公津の杜4-2
	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部 心理学科	4	60	－	240	学士 (心理学)	0.98 1.03	平成30年度		東京都港区 赤坂4-1-26
	医療マネジメント学科	4	60	－	240	学士 (医療マネジメント学)	0.94	平成30年度		
	小田原保健医療学部 看護学科	4	80	－	320	学士 (看護学)	1.06 1.04	平成18年度		神奈川県 小田原市 城山1-2-25
	理学療法学科	4	80	－	320	学士 (理学療法学)	1.09	平成18年度		
	作業療法学科	4	40	－	160	学士 (作業療法学)	1.06	平成18年度		

既設大学等の状況	福岡保健医療学部 看護学科	4	60	—	120	学士 (看護学)	1.05 1.03	令和5年度	福岡県大川市 榎津137-1	
	理学療法学科	4	50	—	220	学士 (理学療法学)	1.10	平成17年度		※令和5年度入学 定員減(△10人)
	作業療法学科	4	30	—	140	学士 (作業療法学)	0.92	平成17年度		※令和5年度入学 定員減(△10人)
	言語聴覚学科	4	—	—	—	学士 (言語聴覚学)	—	平成19年度		※令和5年度 学生募集停止
	医学検査学科	4	80	—	320	学士 (医学検査学)	1.08	平成25年度		
	福岡薬学部 薬学科	6	120	—	600	学士 (薬学)	1.01 1.01	令和2年度	栃木県 大田原市 北金丸2600-1	
	医療福祉学研究科 保健医療学専攻	2	200	—	400	修士 (保健医療学) (看護学) (助産学) (言語聴覚学) (生殖補助医療学) (医療福祉教育・ 管理学) (臨床検査学) (災害医療学) (遺伝カウンセリング学)	1.01	平成11年度		
	医療福祉学研究科 保健医療学専攻	3	80	—	240	博士 (保健医療学) (看護学) (助産学) (言語聴覚学) (生殖補助医療学) (医療福祉教育・ 管理学) (臨床検査学) (災害医療学) (医療遺伝学) (医療福祉経営学) (医療福祉学) (診療情報管理学) (医療福祉国際協 力学) (介護福祉・ケア マネジメント学) (臨床心理学) (医療福祉ジャー ナリズム学)	0.96	平成13年度		※令和4年度入学 定員増(10人)

既設大学等の状況	医療福祉経営専攻	2	50	—	100	修士 (医療福祉学) (診療情報管理学) (医療ビジネス経営学) (医療福祉管理学) (医療福祉国際協力学) (介護福祉・ケアマネジメント学) (自立支援介護学) (自立支援実践ケアマネジメント学) (医療福祉ジャーナリズム学) (医療通訳・国際医療マネジメント学)	1.07	平成13年度			
	臨床心理学専攻	2	35	—	70	修士 (臨床心理学)	1.00	平成19年度		東京都港区 赤坂4-1-26	
	薬科学研究科 生命薬科学専攻	2	5	—	10	修士 (薬科学)	0.00	平成22年度		栃木県 大田原市 北金丸2600-1	
	薬学研究科 医療・生命薬学専攻	4	5	—	20	博士 (薬学)	0.75	平成24年度			
	医学研究科 公衆衛生学専攻	2	—	—	—	修士 (公衆衛生学) (医科学)	0.87	平成30年度		千葉県成田市 公津の杜4-2 東京都港区 赤坂4-1-26	※令和6年度より 学生募集停止
	医学専攻	4	20	—	80	博士 (医学)	1.02	平成30年度			
	医学研究科 公衆衛生学専攻	2	20	—	20	公衆衛生学修士 (専門職)	—	令和6年度			
附属施設の概要		名称：国際医療福祉大学病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：栃木県那須塩原市井口537-3 設置年月：平成19年2月 規模等：建物39,437㎡ 408床 名称：国際医療福祉大学塩谷病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：栃木県矢板市富田77 設置年月：平成21年4月 規模等：建物17,022㎡ 240床									

附属施設の概要	名称：国際医療福祉大学成田病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：千葉県成田市畑ヶ田852 設置年月：令和2年3月 規模等：建物91,000㎡ 642床	
	名称：国際医療福祉大学市川病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：千葉県市川市国府台6-1-14 設置年月：平成29年9月 規模等：建物16,811㎡ 260床	
	名称：国際医療福祉大学三田病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：東京都港区三田1-4-3 設置年月：平成17年3月 規模等：建物35,504㎡ 291床	
	名称：国際医療福祉大学熱海病院 目的：診療及び臨床実習 所在地：静岡県熱海市東海岸町13-1 設置年月：平成14年7月 規模等：建物23,257㎡ 269床	
	名称：国際医療福祉大学クリニック 目的：診療及び臨床実習 所在地：栃木県大田原市北金丸2600-6 設置年月：平成9年5月 規模等：建物3,574㎡	
	名称：国際医療福祉大学 介護老人保健施設マロニエ苑 目的：介護老人保健施設及び臨床実習 所在地：栃木県那須塩原市井口533-4 設置年月：平成19年2月 規模等：建物7,052㎡ 定員200名（ショートステイ含む）	
	名称：国際医療福祉大学 にしなすの総合在宅ケアセンター 目的：在宅介護、通所リハ及び臨床実習 所在地：栃木県那須塩原市井口533-11 設置年月：平成19年2月 規模等：建物850㎡	
	名称：国際医療福祉大学 しおや総合在宅ケアセンター 目的：在宅介護、通所リハ及び臨床実習 所在地：栃木県矢板市富田77 設置年月：平成26年4月 規模等：999㎡	

教 育 課 程 等 の 概 要																
（保健医療学部 医学検査学科）																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
総合 教育 科目	人間系	文学論	1・2・3・4前		2		○								1	メディア
		演劇論	1・2・3・4後		1		○								1	
		心理学	1・2・3・4前		2		○								1	
		哲学	1・2・3・4前		2		○								1	
		コミュニケーション概論	1・2・3・4後		2		○								1	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1・2・3・4前		2		○								1	
		人間学	1・2・3・4後		2		○								1	
		歴史学	1・2・3・4後		2		○								1	
		倫理学	1・2・3・4後		2		○								1	
		宗教学	1・2・3・4後		2		○								1	メディア
		日本近現代史	1・2・3・4後		2		○								1	
		文化人類学	1・2・3・4前		2		○								1	メディア
		教育学	1・2・3・4後		2		○								1	
		教育方法論	1・2・3・4前		2		○								1	
		死生学-死を通して生を考える-	1・2・3・4前		2		○								1	
		生きがい論	1・2・3・4後		2		○								1	
	人間系 小計（16科目）		—	—	0	31	0	—	—	0	0	0	0	0	11	—
	社会系	法学	1・2・3・4後		2		○								1	共同
		日本国憲法	1・2・3・4前		2		○								1	
		法と道徳・倫理	1・2・3・4後		2		○								1	
		社会学	1・2・3・4前		2		○								1	
		日本政治経済論	1・2・3・4前		2		○								1	
		マスメディア論	1・2・3・4前		2		○								1	
		福祉経済学	1・2・3・4後		2		○								1	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1・2・3・4後		2		○								1	
		国際関係論	1・2・3・4前		2		○								1	
		世界の経済	1・2・3・4前		2		○								1	
		国際医療福祉論	1・2・3・4前		2		○								1	
		組織運営管理論	1・2・3・4前		2		○								1	
		海外保健福祉事情	2・3・4後	○	2				○		1				1	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1後	○	1		○								1	
		地球環境論	1・2・3・4前		2		○								1	
		ボランティア論	1・2・3・4後		2		○								1	
		ボランティアコーディネート論	1・2・3・4後		2		○								1	
		手話入門	1・2・3・4前		2		○								2	
		経済の仕組み	1・2・3・4前		2		○								1	
		経済の歴史	1・2・3・4後		2		○								1	
	社会系 小計（20科目）		—	—	1	38	0	—	—	0	1	0	0	0	13	—
	自然・情報系	統計学	1・2・3・4後		2		○								1	メディア
		疫学・保健医療統計学	1後		2		○								1	
		数学	1・2・3・4前		2		○								1	
		物理学	1・2・3・4前		2		○								1	
		化学	1後	○	2		○								1	
		生物学	1・2・3・4前		2		○								1	
		コンピュータの基礎	1・2・3・4後		2		○								1	
		データリテラシー	1前	○	1			○							1	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2・3・4前		1			○							1	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2・3・4後		1			○							1	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1後	○	1		○								1	
		医学／医療史	1・2・3・4後		2		○								1	
		人間工学	1・2・3・4後		2		○								1	
	自然・情報系 小計（13科目）		—	—	4	18	0	—	—	0	0	0	0	0	9	—

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)	
総合 教育 科目	総合 系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1前	○	1		○								1	メディア
		郷土論～栃木学～	1・2・3・4前		1		○								1	
		医療福祉教養講義	1・2・3・4後		1		○								1	
		メディカルマナー入門	1・2・3・4後		2		○								1	
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う	1・2・3・4後		1		○								1	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1・2・3・4後		1		○								1	
		食と人間	1・2後		1		○								1	
		持続可能な発展	1・2・3・4前		2		○								1	
		ボランティア実践	1・2・3・4後		1		○								1	
	総合系 小計（9科目）		—	—	1	10	0	—	—	0	0	0	0	0	6	—
	外国 語 系	英語講読 1 (Primary)	1前	○	1		○								1	
		英語講読 2 (Basic)	1後	○	1		○								1	
		英語講読 3 (Intermediate)	2・3・4前		1		○								1	
		英語講読 4 (Advanced)	2・3・4後		1		○								1	
		英語C A L L 1 (Primary)	1前	○	1		○								1	
		英語C A L L 2 (Basic)	1後	○	1		○								1	
		英語会話 1 (Primary)	1・2・3・4前		1		○								1	
		英語会話 2 (Basic)	1・2・3・4後		1		○								1	
		英語会話 3 (Intermediate)	2・3・4前		1		○								1	
		英語会話 4 (Advanced)	2・3・4後		1		○								1	
		聖書英語 1 (Primary)	1・2・3・4前		1		○								1	
		聖書英語 2 (Basic)	1・2・3・4後		1		○								1	
		医学英語 1 (Primary)	1・2・3・4前		1		○								1	
		医学英語 2 (Basic)	1・2・3・4後		1		○								1	
		英語リスニング 1 (Primary)	1・2・3・4前		1		○								1	
		英語リスニング 2 (Basic)	1・2・3・4後		1		○								1	
		英語ライティング 1 (Primary)	1・2・3・4前		1		○								1	
		英語ライティング 2 (Basic)	1・2・3・4後		1		○								1	
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1・2・3・4前		1		○								1	
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1・2・3・4後		1		○								1	
		資格英語 1 (Primary)	1・2・3・4前		1		○								1	
		資格英語 2 (Basic)	1・2・3・4後		1		○								1	
		基礎英文法 1 (Primary)	1・2・3・4前		1		○								1	
		基礎英文法 2 (Basic)	1・2・3・4後		1		○								1	
		上級英語会話 1 (発展)	1・2・3・4前		1		○								1	
		上級英語会話 2 (総合)	1・2・3・4後		1		○								1	
		フランス語入門	1・2・3・4前		1		○								1	
		フランス語基礎	1・2・3・4後		1		○								1	
		ドイツ語入門	1・2・3・4前		1		○								1	
		ドイツ語基礎	1・2・3・4後		1		○								1	
		スペイン語入門	1・2・3・4前		1		○								1	
		スペイン語基礎	1・2・3・4後		1		○								1	
		中国語入門	1・2・3・4前		1		○								1	
		中国語基礎	1・2・3・4後		1		○								1	
		韓国語入門	1・2・3・4前		1		○								1	
		韓国語基礎	1・2・3・4後		1		○								1	
	留 学 生 の 日 本 語 科 目	作文・読解Ⅰ（入門）	1・2・3・4前		1		○								1	
		作文・読解Ⅱ（応用）	1・2・3・4前後		1		○								1	
		作文・読解Ⅲ（完成）	1・2・3・4後		1		○								1	
		文法・語彙Ⅰ（入門）	1・2・3・4前		1		○								1	
		文法・語彙Ⅱ（応用）	1・2・3・4前後		1		○								1	
		文法・語彙Ⅲ（完成）	1・2・3・4後		1		○								1	
		発表・討論Ⅰ（応用）	1・2・3・4前後		1		○								1	
		発表・討論Ⅱ（完成）	1・2・3・4後		1		○								1	
		医療福祉専門漢字	1・2・3・4前後		1		○								1	
		医療福祉専門語彙	1・2・3・4前後		1		○								1	
		日本語基礎Ⅰ（初級）	1・2前後			3	○								1	
		日本語基礎Ⅱ（初級）	1・2前後			3	○								1	
	外国語系 小計（48科目（留学生12科目含））		—	—	4	42	6	—	—	0	0	0	0	0	10	—

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考		
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教員 以外 の教員			
総合 教育科目	体 育系 保健	健康科学理論	1・2・3・4後			1		○							1	メディア			
		健康科学実践	1・2・3・4前			1				○					1				
		保健体育系 小計 (2科目)		—	—	0	2	0	—			0	0	0	0		0	2	—
専門 教育科目	専 門 基 礎 科 目	学 部 共 通	公衆衛生学	2前	○	2		○								1	メディア		
			救急医学	2・3後		1		○										1	
			微生物と病気	1・2後		2		○										1	
			リハビリテーション概論	1・2前		2		○										1	
			関連職種連携論	2後	○	2		○			1							1	
			看護論	1後		2		○										1	
			ケアマネジメント論	1・2前		1		○										1	
			ケースワーク論	1・2後		1		○										1	
			医療管理学	1・2前		2		○										1	
			保健医療福祉制度論	1前	○	2		○										1	
			社会福祉学	1・2前		2		○										1	
			臨床心理学概論	1・2後		2		○										1	
			福祉支援工学概論	1・2前		2		○										1	
			関連職種連携ワーク	3前	○	1				○			1					1	
			関連職種連携実習	4前	○		1				○	1						1	
		医 学 検 査 学 科	リスクマネジメント論	2後		2		○									1	共同	
			電子カルテシステム入門	2後		1		○									1		
			レクリエーション概論	2後		1		○									1		
			解剖学Ⅰ (総論)	1前	○	2		○									1		
			解剖学Ⅱ (各論)	1後	○	2		○									1		
			組織学演習	2前	○	1				○			2		1				1
			生理学	1後	○	1		○									1		
			病理学	1後	○	2		○									1		
			臨床医学概論	2後	○	1		○									1		
			内科学	2前	○	1		○									1		
			臨床神経学	1・2・3後		1		○									1		
			精神医学	1・2・3後		1		○									1		
			リハビリテーション医学	1後	○	1		○									1		
			小児科学	1・2・3後		1		○									1		
			老年学	1前	○	1		○									1		
			病態薬理学	1後	○	1		○									1		
			臨床栄養学	1後	○	1		○									1		
			遺伝学	1前	○	1		○				1					1		
			分析化学	1後	○	1		○									1		
			生化学	1前	○	1		○									1		
			生化学実習	1後	○	1					○	1			1				共同
			医用工学・情報概論	1前	○	2		○				1							共同
			医用工学・情報実習	1後	○	1					○	1			1				
			検査機器学・情報システム学総論	2前	○	2		○					1						
			専門基礎科目 小計 (39科目)		—	—	30	25	0	—			4	3	1	1	0		25
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	病理検査学	2前	○	2		○			1						共同			
		病理検査学実習	3前	○	2				○	1	2		1						
		細胞診断学	2前	○	1		○				1					共同			
		細胞診断学実習	2後	○	1				○	1	2		1						
		血液検査学Ⅰ (形態系、凝固・線溶系の基礎)	2前	○	2		○			1						共同			
		血液検査学Ⅱ (形態系、凝固・線溶系の応用)	2後	○	2		○					1							
		血液検査学実習	3前	○	2				○	1		1	1			共同			
		一般検査学	1後	○	2		○					1							
		一般検査学実習	2前	○	1				○				1	1		共同			
		臨床化学検査学Ⅰ (糖質、タンパク質、脂質)	1後	○	2		○					1							
		臨床化学検査学Ⅱ (酵素、ホルモン、ビタミン)	2前	○	2		○									2 2			
		臨床化学検査学実習	2後	○	2				○	1			1						
		遺伝子検査学	1後	○	2		○			1						共同			
		遺伝子検査学実習	2前	○	1				○	1			1						
		微生物検査学Ⅰ (細菌)	2前	○	2		○				1					共同			
		微生物検査学Ⅱ (ウイルス、真菌)	2後	○	2		○				1								

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基幹 （助 手を除く） 教員	
専門 教育 科目	専門 科目	微生物検査学実習	3前	○	2				○		1	1	1	1		共同	
		医動物学演習	2前	○	1				○					1		共同	
		免疫検査学	2前	○	1			○					1			共同	
		免疫検査学実習	2後	○	1					○			1	1	1	1	共同
		輸血・移植検査学	2後	○	2			○								1	共同
		輸血・移植検査学実習	3前	○	2					○					1		共同
		生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2前	○	2			○				1					共同
		生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2後	○	2			○				1					共同
		生理検査学実習	3前	○	3					○		1		1			共同
		超音波・MRI検査学	2後	○	2			○			1						共同
		超音波・MRI検査学実習	2後	○	1					○		1			1		共同
		先進臨床検査技術学	3前		2			○				1					共同
		臨床検査統計学	2前	○	2											1	共同
		医療安全管理学演習	2後	○	2					○		2			1		共同
		精度管理学	3前	○	1				○			1					共同
		臨床検査特論Ⅰ（応用）	3後	○	2			○				1					共同
		臨床検査特論Ⅱ（発展）	4前	○	4			○					1				共同
		臨地実習	3後	○	11					○		4	4	1	2		共同
		卒業研究	4前	○	4					○		4	4	1			共同
		医科分子生物学	1・2・3後		1			○				1					共同
		臨床検査研究論	3前	○	2			○				1					共同
		循環動態画像診断学	3前	○	1			○									共同
		臨床検査管理総論	1前	○	2			○				1					共同
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	3前	○	1			○				1					共同
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	4前	○	2			○				1					共同
		臨床検査基礎演習	1後	○	1					○				1	1		共同
		客観的臨床能力試験	3後	○	1						○	3	4	1			共同
		入門細胞診断学演習	1後	○		1				○		1	1		1		共同
		細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）	2前	○		1				○		1	2		1		共同
		細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用）	2後	○		1				○		1	2		1		共同
		細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器，体腔液基礎）	3前	○		1				○		1	2		1		共同
		細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器，体腔液応用）	3後	○		1				○		1	2		1		共同
		臨床検査質量分析学演習	4前	○		1				○		1			1		共同
		遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）	3後	○		1				○		1	1		1		共同
		遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践）	4前	○		1				○		1	1		1		共同
		生殖補助医療胚培養学	2後	○		1				○							1
		生殖補助医療胚培養学演習	4前	○		1				○					1		共同
専門科目 小計（53科目）		—	—	83	13	0	—	—	—	4	4	1	2	0	5	—	
合計（200科目（留学生12科目含））		—	—	123	179	6	—	—	—	4	4	1	2	0	65	—	
学位又は称号		学士(医学検査学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係以外)									
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等							
卒業単位数										1学年の学期区分				2期			
卒業要件128単位以上 ・総合教育:12単位 〔社会系:必修1単位、自然・情報系:必修4単位、総合系:必修1単位、外国語系:必修4単位/選択2単位以上〕 ・専門教育:116単位 〔専門基礎:必修30単位、専門:必修83単位、これ以外に専門教育（専門基礎と専門）から選択3単位以上〕										1学期の授業期間				15週			
【留学生】卒業要件130単位以上または132単位以上 ・総合教育:14単位または16単位 〔社会系:必修1単位、自然・情報系:必修4単位、総合系:必修1単位、外国語系:必修5単位/選択3単位以上または5単位以上〕 ・専門教育:116単位 〔専門基礎:必修30単位、専門:必修83単位、これ以外に専門教育（専門基礎と専門）から選択3単位以上〕										1時限の授業の標準時間				90分			

授 業 科 目 の 概 要				
（保健医療学部 医学検査学科等）				
科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合 教育 科目	人間系			
	文学論		文学、個々の作品を歴史的・社会的背景と関連付けつつ概観する。	
	演劇論		演劇作品および舞台芸術について、歴史的背景や社会的文脈に位置付けつつ概観する。	
	心理学		心理学の様々な領域の基本的な知識を幅広く学ぶことで、人間の心に対する理解を深める。認知・学習・動機づけなどの基礎的な心の仕組みから、発達、個人差、心理臨床、社会と関わりといった人間の全体像の理解につながる領域までを扱う。誰もが経験する心の動きや働きを、科学的な視点で見つめ直す。それぞれのトピックで紹介される知識を吸収するだけでなく、心理学という学問に特徴的なものの見方や考え方を深く理解し、自分を含めた人間の心を客観的に理解・判断する能力を養うことが目標。	
	哲学		「哲学とは何か」という哲学の概念から始めて、西洋近代哲学の完成期である19世紀までの代表的な哲学・思想を概観する。特に、古代から中世、中世から近世への大転換期に生じたパラダイム・チェンジに焦点を当てて、人類の世界観の変遷をたどる。西洋哲学はあらゆる学問の基礎に内在するもっとも本質的なものである。講義はできる限りわかりやすく、映像資料等を利用し、身近なエピソード・時事的なテーマも材料にして、個々の哲学・思想の本質に迫って理解を促す。	
	コミュニケーション概論		コミュニケーションには様々な現象が含まれるが、社会科学の研究対象として特に注目されてきたのが「マス・コミュニケーション」である。送り手による情報の操作、擬似的な現実の発生、受け手への直接的な影響の可能性など、この分野の議論を歴史的に整理してみたい。二つ目のテーマとして「対人的なコミュニケーション」を取り上げる。ことばのやりとりを通じて相手の意見や行動に影響を与えるという相互行為である。この分野の研究には、セールのテクニックや上手な説得の方法など、実用的な意味をもつものが多い。もうひとつ、コミュニケーションには人格的な存在としての「自己」を作り上げるという重要な側面がある。日常生活のなかで「あたりまえ」となった現実を、様々な視点から、改めて反省していきたい。	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～		医療・福祉の現場で働くにあたり求められる、「話す力」と「訊く力」を養い、現場で実践できるコミュニケーションスキルを習得する。	
	人間学		人間学とは何か。ヒトは精神・心と身体を有し、生物であると同時に創造的存在である。また、普遍的共通性を持つと同時に唯一独自個性を持つ。ヒトの持つ様々な側面を多面的に考察し、ヒトの持つ奥深さ、不可思議さを考える。	
	歴史学		本講義の目的は、歴史認識の基本問題、歴史研究の構造と方法、時代区分論など、歴史研究の基本問題および歴史教育論について、日本史・世界史に分けて論ずるところにある。	
	倫理学		本講義は学生が主体的に参加する＜討論＞を中心とした講義である。教師による壇上からの一方的講義を行わず、履修者が主体的に討論に参加する学生参加型の講義とする。参加者は与えられたテーマについて討論し、その際に司会者、および、討論内容を記録して発表する書記も経験する。各テーマに関連する思想的背景を講義形式で補足し、討論の材料とする。応用倫理学的な側面とともに、思考実験の要素を含むため、履修者は討論に参加して積極的に発言することが求められる。下に記したテーマは昨年度のもので、履修者の希望や討論の進行状況に応じて変更することが可能である。討論の参考として、ドキュメンタリーなどの映像資料を積極的に用いる。	
	宗教学		日本ではなじみのうすい「宗教」だが、海外でのグローバルな活動を目指すにあたっては様々な場面で宗教に関する知識が必要となる。多種多様な宗教の概要を理解するとともに、「無宗教」と言われながらも多数の寺社仏閣を抱える日本社会の実情にも触れていく。また、古くから深い関連がある、宗教と医療の関係性についてもふれていく。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	人間系	日本近現代史		戦後70年近くを経ても、未だに日本と近隣諸国との間で軋轢が絶えないのはなぜだろうか。私たちの生きる現代日本社会の歩んできた過程について、近現代に絞ってその意味と捉え方について学んでいく。	
		文化人類学		「文化」を手がかりに、人間の考え方、ものの見方、ふるまい方の多様性と、その根底にある普遍性を理解する。私たちが普段あたり前のこととして受けとめ、判断していることが、時を越え国を超えた人々にとっては異質に受け止められることもある。文化人類学的な視点と方法は、これからの地球化する社会に生きる人々にとっての、ひとつの手がかりになる。本講義は、医療福祉の専門職をめざす本学の学生に対して、「異文化」として「医療・福祉」を問い直すことを求めている。文化人類学的な「ものの見方」を身につけることで、専門職の側の前提やイデオロギーに気づき、ケア提供者と患者との新たな関係性を問い直すことができると考える。	
		教育学		この授業では、まず「教育」という言葉の発生的意味を考え、それに基づいてこれまでの西洋と日本との教育の歴史的展開を概観し、「人間のための教育」という視点から、そこに見られる主な問題、とりわけ現代の子どもたちをめぐる諸問題（いじめ、虐待、不登校、院内学級、子育て問題など）について検討していく。その上で、今後どのように教育の意識改革とシステム改革を図っていくかについて、「学び」と「援助」をキーワードとして、さまざまな具体的な教育思想や実践事例などを紹介しながら受講者と共に考えていく。	
		教育方法論		現代の教育に関わる問題の検討を通して、教育の意義・機能を理解する。さらに教育活動の根幹をなす教授・学習行為、学力の捉え方と教育方法の関係について理解を深める。それらの知識を活用し、学習者の発達段階を考慮した学習指導案を作成し、発表する。	
		死生学-死を通して生を考える-		本講座では、ひとが生きる上で避けることが出来ない大きな課題である「死」について、「生きること」との対比を行うことで、より深く具体的に考える姿勢を獲得することを目標とする。特に、医療や福祉の様々な現場で遭遇する「生と死の課題」にプロフェッショナルとして、どのように立ち向かうのかという視点から、具体的な事象やテーマを取り上げて、具体的な行動につなげるための基盤形成を行うための知識とコミュニケーションスキルに焦点を当てる。	
		生きがい論		人間は、〈何か〉に影響されて心の波紋が広がり、自身を形成していく。ところが、現在はこのことを知りながら、その〈何か〉を見過ごし、或いは見極める現状があるにもかかわらず放棄しているように思えるのです。つまり、日常的に付き合う人間関係のなかで心のヒダも稀薄になってしまうことは、生きることへの損失です。こうした中で〈自分で自分を見つける〉ことが大切なのです。毎回授業で映画・映像を使いながら、人間として生きることの本質を学んでゆきたいと考えます。日常生活の考え方の中で〈生きがい〉についての判断は自分で決めることです。その基本になる精神を学生のうちにつくっておきたいものです。〈豊かな生き方〉への入門です。	
	社会系	法学		法学は、日常生活における様々なトラブルや問題を解決するための考え方を学ぶものです。授業では、社会で起きている具体的な問題を取り上げます。それら問題を、自分の頭で考えて、一つの解答を導き出してみましょう。社会に出て、新たな問題にぶつかったとき、きっと役に立つはずです。	
		日本国憲法		憲法を学ぶ理由の一つは、近い将来、選挙権・被選挙権をもつようになり、労働者となり、あるいは結婚して新たな家族ができていく中で、憲法がより一層具体的に密接な存在となるからです。また、憲法は各種の人権を規定しますが、その考え方は質の高い医療・福祉の提供のため必要です。	
		法と道徳・倫理		法は、人類の長きにわたる歴史の中で、人権の思想や、道徳・倫理的価値も取り入れつつ発展してきた行為規範です。法は万能ではなく、法のみでは判断し得ない道徳・倫理的問題もあります。人権の理念や法と道徳・倫理の関係を学習し、将来医療福祉の現場に立つ者としてのたくましい道徳感・倫理感を涵養する土台を築いていきます。	
		社会学		社会学が対象とするのは私達が身を置き、生活し、人々と接する社会そのものです。社会学はそれに対し日常的に経験する方法とは違った独自の視点から理解しようとする試みと言えるでしょう。本講は初めて社会学に接する受講者に社会学とはいかなる学問であるかを紹介することを主眼とします。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	社会系	日本政治経済論		日本は経済の繁栄を中心に豊かな社会の建設を目指して平和裏のうちに戦後半世紀以上を過ごしてきました。今グローバル化の中で世界中が豊かになりつつあり、日本も新しい生き方が求められています。社会福祉の充実、政府の国債依存体質、地方社会の人口減少、いろいろな格差問題など解決しなければならない課題が増えていきます。モノ不足の社会から過剰社会へと進んできた歴史と今後のあり方を、一体化した政治と経済の両面から探って考えていきます。	
		マスメディア論		メディアの発達、私たちの感覚や認識を時間的、空間的に大きく広げました。マスメディアは一部の人が独占していた情報を大衆のものにし、自由と民主主義の発展を促してきました。しかしあまりにも大きくなったその影響力ゆえに、いま、さまざまな問題が起きています。そのマスメディアについて知り、考えるのが、この講義の目的です。	
		福祉経済学		ヘルス・エコノミクス (The Economics of Health and Health Care) に焦点を当てた講義とする。主な項目は次の通りである。 (1) ヘルス経済学とは・正統派経済学との比較、(2) ヘルス生産の問題、(3) ヘルス資本の需要・その投資と均衡の問題、(4) 消費者選択、ヘルス・ケア測定の諸問題、(5) 医療情報・代理人と供給誘導、需要の関係、(6) 保険制度の経済学、(7) ヘルス・プロバイダーの産業組織、(8) 医療技術・技術変化と費用の諸問題、(9) 公共政策改革と評価の課題。教科書、論文などの参考文献は講義の際にとりあげる。現実の医療の動きに関する図表も多用して講義の生産性が高まるように工夫したい。	
		アジア諸国の経済・社会・文化		アジアは近年、急速な発展、変貌を見せております。日本とアジアの歴史、各国の政治経済文化を学び、どう付き合い、向き合っていくのかを考える。欧米との比較も忘れずに。	
		国際関係論		国際関係論とはどのような学科であるかをとりあげた後、医療福祉分野の国際関係論を勉強していく。主要な項目は、①WHO (国際保健機関) の国際関係論、②先進国の発展途上国への医療援助の問題、③先進国間の医療研究の国際交流、④各国の医療ルールの調整問題。特に先進国、発展途上国間の国際協力の問題と先進国間の国際交流の問題を事例研究によって明らかにしていくことに心がける。参考文献は各講義においてとりあげていく。	
		世界の経済		国際経済学とは複数国にまたがる経済現象を対象とし、各国経済の相互依存関係を明らかにし、その成果を個人や企業や政府の意志決定に資する学科である。講義では医療福祉の国際化に関連した動きに焦点を当てる。主な項目は、(1) 世界の人口爆発と新移民時代、(2) 地球温暖化の問題、(3) インターネットとサイバー・コーポレーションの問題、(4) 経済援助の問題、(5) 機関投資家と新しい国際経済学、(6) 各国ルールのハーモナイゼーションの課題、(7) 日本の医療福祉産業の国際化。参考文献は各講義においてとりあげる。幅広い医療経済の国際化への動きを現実の統計によっても明らかにしていきたい。	
		国際医療福祉論		医療福祉に関わる制度やサービスの提供方法は国によって大きく異なる。そうした諸外国の状況を知ることは、わが国の医療福祉制度やサービス提供方法の長所や問題点をよりよく知ることにもつながる。授業では、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、北欧の先進国と中国、韓国、フィリピン、タイ、ミャンマー等について具体的に各国の状況を紹介していく。	
		組織運営管理論		現代は組織の時代と呼ばれ、現代社会は組織によって構成されているといわれる。政府、企業、学校、病院、NPOなど様々な組織に満ちあふれ、仕事でも生活でも何らかの組織と関わらずに過ごすことはない。個人では達成できない高度で複雑な仕事も、複数の人々が集まって組織を作り、分業と協働のしくみを築いて的確に運用・管理すれば実行可能となる。本講義では、組織とそのマネジメントに関する知識を概説する。	
		海外保健福祉事情	○	夏休みを利用し、海外の医療・福祉機関において現地スタッフの指導の下で、各施設利用者のケアやスタッフの手伝いを通じて、医療・福祉の現場に触れると共に、語学も磨きつつ国際感覚を涵養する。	主要授業科目
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	○	1) 我が国の置かれている社会・経済状況、2) 現在わが国で行われている種々の社会福祉政策と制度、3) 医療保険制度と医療供給体制、4) 高齢者医療と介護保険制度、5) 地域医療制度、6) 医療者の知っておくべき法律・法規、7) 薬事行政、8) 医療経済と医療データ管理などを学修することにより、医療系大学生としての必要な我が国の社会福祉・医療保障政策への理解を深め、将来、各専門分野で活躍するに必要な基礎的な知識と能力を高める。	主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	社会系	地球環境論		環境問題が社会問題化して久しい。「おじいさんは山に芝刈りに、おばあさんは川に洗濯に」の世界は単に御伽噺に過ぎないのだろうか？洗濯した川の下流の住民が同じ川で炊事をして問題は無かった。「環境」と「健康」は密接に関連する。さらに「栄養」「経済」も重要な因子として介在する。公共の交通手段が発達し、その速度は早くなり、航空機が普及し、遠隔地からの人の移動が容易になった。このことは感染症の伝播と関係する。「環境」と「健康」について学ぶ。	
		ボランティア論		21世紀はボランティアの時代といわれるように、近年、ボランティアに対する関心が急速に高まっており、様々な分野、様々な場面で実践が広がっている。本科目は、①講義によってボランティアについての理念や社会的意義等の基礎的な知識を理解するとともに、②受講生の主体的な学習および受講生同士の討議を通して、受講生一人ひとりのボランティア観を形成する。③そして、最終的には、受講生が具体的な自分自身のボランティア計画を策定し、ボランティア活動を実践するための具体的知識や方法を身につけ、さらにボランティア活動を行う主体的態度を形成することが目標である。	
		ボランティアコーディネータ論		ボランティア活動は、医療・福祉分野をはじめ、環境分野、教育分野、災害支援分野など、多様な分野でその意義が高まっている。そのような中、ボランティア活動をより効果的なものにするための方法として、ボランティアコーディネータが注目されている。人々の主体的な活動を引出し、社会のニーズに適切に結び付け、ボランティアの力を最大化させるボランティアコーディネータの理論と手法について、演習、実践などを通して学ぶことが本講義の目的である。	
		手話入門		聴覚障害者にとってのバリアフリーとは情報保障の充実に他ならないが、その一つとして手話がある。本科目では、聴覚障害者との共生に関する理解を深める目的で日本や世界における手話の歴史的背景を学習し、さらに簡単な日常会話が手話で表現できることを目標にする。また、ろう講師と通訳者が共同して、すべての授業を行う。	共同
		経済の仕組み		「経済学って、なんだか難しそうだ」「経済は複雑で、よく分からない」という声を、しばしば耳にします。しかし、そんなに難しいものではありません。たしかに、いまの経済学の専門書には、難しい数式が並んでいます。しかしそれは、経済学者が、より精緻に経済現象を分析しようと試みているためで、経済学者や経済分析の専門家になろうという人以外には、そんな難しい数式は要りません。そもそも人類は、地球上に現れたときから経済活動を営んでいたわけだし、人間はだれでも赤ん坊の時から何がしかの経済活動に参加しているのです。経済は生きる営みそのもの。難しいなどとは言ってはいられません。最も身近な、したがってだれにとっても必要な、勉強の対象です。いろいろな経済学がありますが、「現実の、生きた経済の仕組みを知るための経済学」が、この講義の狙いです。	
		経済の歴史		この講義では、「現実の生きた経済の仕組み」を知ることを目的とする。そのうえで、①私たちが現に生きている資本主義経済（市場経済）が、どのように生まれ、どのように発展、あるいは変質してきたか、②その時々の経済社会を、「世俗的思想家」と呼ばれる経済学者たちが、どのように認識し、どのように改革すべきだと提案してきたか、を学ぶ方法をとります。つまり、近現代の経済社会と経済思想の歴史を概観します。自然科学と違って社会科学は“実験”ができません。歴史に学ぶ以外にないのです。歴史に照らして、現在の経済社会が抱えている問題の本質をできるだけ明らかにするのが、この講義の狙いです。	
	自然・情報系	統計学		医療福祉系のための統計学の基礎。調査・実験のあり方および分析の手順など、E B P の観点から、検定よりも「群間比較の妥当性」、「無作為割付の重要性」を重視しています。E B P の観点から、有意差の有無よりも「相関比イータ η による群間差の大きさ」を重視しています。	
		疫学・保健医療統計学		国民の健康を取り巻く背景は大きく変化しており、保健医療の重点が治療優先から予防優先へと転換しつつあります。効果的な予防を実践するには、各分野の専門職がチームワークを通じて専門的機能を発揮することが必要です。疫学・保健医療統計学はこうした専門的機能に対する科学的な評価にとって不可欠な知識や方法論であり、その基本の理解と実践への応用をみなさんとともに考えることを目標に講義を行います。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	自然・情報系	数学		数学の基本から始めて、初等関数の性質、関数の極限値、微分係数、導関数の意味、種々の関数の導関数の計算法、特に指数関数および対数関数の導関数、および導関数の簡単な応用を学習する。次に不定積分の意味と不定積分の計算法、特に置換積分法や部分積分法を学習した後、定積分の計算法、および定積分の簡単な応用を学習する。そして最後に、反応速度式などの微分方程式の解法を学習し、反応速度の微分型速度式および積分型速度式を理解して、微分方程式を自在に操れるようになることを目標とする。	
		物理学		物理学の基礎として、運動とエネルギー、運動量、いろいろな運動、気体分子運動を学習し、波動の基礎として、波の性質、音波、光波を学習し、電磁気学の基礎として、電界、電流、電流と磁界、電磁誘導と交流を学習し、そして量子化学の基礎としての、電子と光、原子、原子核を学習する。これらの学習をとおして薬学を学ぶ上で必要な物理的な考え方を修得することを目指す。	
		化学	○	化学の基礎力を身に付けるために、原子の構成から分子の成り立ちなどに関する基本的知識を修得する。まずモルの概念を明確にした後、化学反応を定量的に探り、モル濃度や反応の化学量論、さらに酸-塩基平衡についても演習を行う。次いで原子、分子、イオンの基本構造を学び、原子の電子配置を周期表に関連付けて理解する。これらに基づき化学結合へ発展させ、混成軌道、共鳴などを理解する。	主要授業科目
		生物学		生物学講義では生命の基礎となる「細胞の構造と機能」と「それらを構成する物質（核酸とタンパク質）」を解説します。さらに、ゲノムと遺伝子について説明し、ゲノムに刻まれたヒトの歴史をたどり、ゲノムの多様性の意味とヒトの未来を考えます。	
		コンピュータの基礎		人の情報や知識の習得方法を理解し、情報や知識の伝達媒体としてのコンピュータ活用の理解を深め、看護知識の蓄積である文献を効果的に活用するため、データベース検索の演習を行なう。また看護を行う上で必要な医療情報の運用とコンピュータ関連知識を学び、その例として電子カルテについて理解する。	
		データリテラシー	○	本科目では、数理・データサイエンス・AI（人工知能）への関心を高め、かつ、それらを適切に理解し、活用する基礎的な能力を育成することを目的とする。このために、「社会におけるデータ・AI活用」（導入：社会で起きている変化／データ・AI活用の最新動向）および「データリテラシー」（基礎：データを読む／データを説明する／データを扱う）の二分野について、演習を通じて実践的に学習していく。「データを読む」では文章作成、「データを説明する」「データを扱う」では表計算の演習も同時に行う。	主要授業科目
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		本科目では、「データリテラシー」で学習した内容を深化させることを目的とし、「データ駆動型社会とデータサイエンス」「分析設計」「データ観察・分析・可視化」「ビックデータとデータエンジニアリング」および「データ表現・収集・加工」について、グループワークや演習を通じて実践的に学習する。あわせて、これらの学習内容の基盤である「数学基礎」「アルゴリズム」および「プログラミング基礎」についても、グループワークや演習を通じて実践的に学習していく。	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		本科目では、「データリテラシー」や「医療データサイエンスⅠ」の学習内容を踏まえて、AI（人工知能）の基礎について、「歴史と応用分野」「AIと社会」「機械学習の基礎と展望」「深層学習の基礎と展望」「認識」「予測・判断」「言語・知識」「身体・運動」および「AIの構築と運用」について、グループワークや演習を通じて実践的に学習していく。	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	○	1) 疾病への様々な基本的な医学的・保健学的アプローチ 2) 倫理の基本となる規範 3) 医の倫理・生命倫理をめぐる様々な規制や問題 4) 医療プロフェッショナリズム 5) 医療安全・医薬品安全 6) 医療事故・介護事故の事例とその法律解釈などを学修できる授業を提供する。さらに医療情報に関する今日的・基本的な知識と扱い方を学習することにより、医療系学生として、将来、各専門分野で活躍するために必要な医療情報リテラシー、および医療データリテラシーに関する能力を高める。	主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	自然・情報系	医学／医療史		医療は医学の社会的適用とされているように、医学と医療は表裏一体のものである。その医療と医学の起源から今日までの歴史を、社会的・文化的な考察を交えながら、先人たちのあとをたどることを目的とする。	
		人間工学		人間工学の概要について学ぶ。人間工学は非常に幅広い学問分野なので、その中から福祉・リハビリテーション現場の状況、あるいは福祉用具などと関連づけたテーマを取り上げ、それを介して工学的な論理展開などについても学ぶ。座学のみでなく、実験的な内容をテーマ毎に設ける。	
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	○	新入生を対象に、1) 本学建学の精神と教育理念・ポリシー、2) 学習地域の特性の理解と社会的貢献、3) 大学の意義と自主的な学びの必要性和その方略、4) 大学生活上の注意点、5) 社会人としてのマナーや医療人としてのコミュニケーション能力の向上、6) 関連医療職種との理解とチーム医療の必要性などを学ぶことにより、医療系大学生としての基礎的能力を高め、より良い医療人・社会人として成長するために必要な素養を涵養する。	主要授業科目
		郷土論～栃木学～		栃木県、特に県北地域の文化背景・歴史背景にスポットを当て、これから学び、生活をしていく栃木県への理解を深めていく。	
		医療福祉教養講義		医療福祉の道を志す学生に必要な基礎的素養として、①社会の発展の歴史に即して医療・福祉の発達との関連を学ぶ。②医療・福祉に関連する国際的な基準を学び、その決定過程の概要を知る。③医療人口の変動を巡る諸問題を探り、医療・福祉の世界との関わりを考える。合わせて、有限な資源についての現状や、利害の調整などについて理解する。④医療・福祉に関連した芸術作品を鑑賞し、医療・福祉に対する様々な見方を知る。	
		メディカルマナー入門		医療機関における基本的な接遇に加え、さらに患者様に好印象を与える対応とクレームの対応を学習していく。	
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う		この講義は本学の総合教育科目の教師が中心となって、入学したばかりの学生諸君に学問とは何か、学ぶことの意味、学問の方法等を学生諸君に伝えることを目的としている。本年度のテーマは「学問の愉しみ」で、人文・社会・自然科学・語学・医学の各分野の講師陣が、自らの専門分野における学問と人間・自然・社会との関わりなどについて語る。同時に、自らの学問との出会い、専門とする学問領域・分野、現在の研究テーマ等についても語る。講義に臨む心構えや態度、他の科目も含めたレポートの書き方なども講義の題材となる。	
		総合講義（現代社会をどう見るか）		いまこの時代に生きる私たちは、どのような生き方や在り方が求められているのか。高度専門的知見を通して、どのように世界を見て、世界から日本を見るとどう見えるのか、広い視野から多角的多面的に物事を考えようとする姿勢や正しく判断する力、客観的に分析する力を学び修めることに主眼を置く。	
		食と人間		人は日々食事という形で栄養素を体内に取り込み、生命の維持を図っている。この取り込み方如何によっては健康にも病気になる。正しい食事の取り方について学ぶ。また、食事は人と人とのコミュニケーションの一つとして共食が行われる。さらに、食事は生命の維持だけでなく、食文化として世界中で色々な食事が行われている。昨今「食育」が注目されている。それは、現在の人々の食事が色々な問題を含んでいることがその背景としてある。食と人間との関わりについても講義する。	
		持続可能な発展		持続可能な発展(Sustainable Development)に向けて、環境と経済の両立のための社会的責任経営について解説するとともに、国際規格、エコビジネス、再生可能エネルギー等についても言及し、医療福祉関係機関等における将来の経営の参考に資する。	
		ボランティア実践		ボランティア活動の実践を通じて、ボランティア活動の実際を学び、ボランティアについて理解を深めることを目的とするので、ボランティア活動への参加を必須とする。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	○	本学教員が開発した本学独自の講読テキストにそって、建学の精神や保健医療の基本的な英語表現が学べるように、丁寧に読み進めていく。そのために、まず英語の基本的な構造を理解し、活用できるように訓練をする。また語彙力をつけることも目指す。	主要授業科目
		英語講読 2 (Basic)	○	「英語講読 1」で学習したことを土台に、正確に英文の内容を把握する力、論理的に英文を理解する力を養う。読みのストラテジーを駆使しつつ、英語を英語のまま読解できるようになることを目指す。	主要授業科目
		英語講読 3 (Intermediate)		「英語講読 1」「英語講読 2」で学習した英文読解力をさらに深化させるべく、より内容の高度な英文を読み、語彙力、文法力、文の構造を把握する力などを身につける。また、各学科の専門分野の英文を読むよう訓練する。	
		英語講読 4 (Advanced)		「英語講読」のまとめとして、正確にかつ素早く英文の内容を把握する力を養う。最終的には、自ら選んだ専門分野の英文の文献を自力で読み進めていくことができるようになることを目指す。	
		英語 C A L L 1 (Primary)	○	発音・聴解練習と口答練習をすることにより、英語の 4 技能をバランスよく習得し、実用に適う運用能力を身につける。各自にあったペースで、納得のいくよう自主的に学ぶことを奨励する。ビデオ教材の開取り練習とともに、本学独自の教材で医療関連の専門的な英語を幅広く学ぶ。	主要授業科目
		英語 C A L L 2 (Basic)	○	「英語 C A L L 1」に引き続き、発音・聴解練習と口答練習をすることにより、英語の 4 技能をバランスよく習得し、実用に適う運用能力を身につける。各自にあったペースで、納得のいくまで自主的に学ぶことを奨励する。ビデオ教材の開取り練習とともに、本学独自の教材で医療関連の専門的な英語を幅広く学ぶ。	主要授業科目
		英語会話 1 (Primary)		This is a primary English conversation class that aims to improve students' introductory-level conversation skills. With the use of textbooks, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 本授業は、初級レベルの英語会話を身に付ける(高める)ことを目的とする。教科書、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	
		英語会話 2 (Basic)		This is a basic English conversation class that aims to improve students' basic conversation skills. With the use of textbooks, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 本授業は、基礎的な英語会話を身に付ける(高める)ことを目的とする。教科書、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	
		英語会話 3 (Intermediate)		This is an intermediate English conversation class that aims to improve students' knowledge of healthcare/hospital English and introductory-level conversation skills in these settings. With the use of textbooks, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 本授業は、医療英語の知識を深め、医療現場を想定した場面において初級レベルの英語会話を身に付けることを目的とする。教科書、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	
		英語会話 4 (Advanced)		This is an advanced English conversation class that aims to improve students' knowledge of healthcare/hospital English and basic conversation skills in these settings. With the use of textbooks, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 本授業は、医療英語の知識を深め、医療現場を想定した場面において基礎的な英語会話を身に付けることを目的とする。教科書、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合教育科目	外国語系	聖書英語 1 (Primary)		聖書は、西欧の歴史や文化を理解するための書物としても、また文学書としても、名言集・格言集としても読むことができますが、この授業では、身につけておくべき教養の一つとして聖書の中の有名なエピソードを英語で読んでいきます。英文読解力を高め、語彙力を増強することも同時に目指します。	
		聖書英語 2 (Basic)		「聖書英語 1」に引き続き、聖書の中の有名なエピソードを英語で読んでいきます。1年間で流れが大体分かるように読み進めていきます。英文読解力を高め、語彙力を増強することも同時に目指します。	
		医学英語 1 (Primary)		医療系の英文を読み解くには、英語の“Grammar”や“Structure”、“Vocabulary”の基本が非常に大切である。この授業では、身につけているようで曖昧な文法の知識や構造上の主語の把握、文の論理的な展開に必要な語句などを確認しつつ、医療系英文の読解力向上を目指す。	
		医学英語 2 (Basic)		「医学英語 1」に引き続き、英語の文法の知識や構造上の主語の把握、文の論理的な展開に必要な語句などを確認しつつ、医療系英文のさらなる読解力向上を目指す。	
		英語リスニング 1 (Primary)		英語の映画を教材に用いて、英語のリスニング力を養う。英語独特の音、音変化を体系的に学び、基礎固めをする。	
		英語リスニング 2 (Basic)		英語の映画を教材として使用し、リスニング力を養う。「英語リスニング 1」で身につけた英語の音変化の基礎知識を土台に、より高度な英語の映画を使用する。	
		英語ライティング 1 (Primary)		幅広いテーマ（社会問題、ニュース、学校生活など）に対する自分の考えを、英語で論理的に書く力の育成を目指す。さらに、ディスカッションやプレゼンテーションの機会を積極的に導入し、英語を「書く」のみならず、「読む・聞く・話す」活動を通して総合的な英語力の向上を目指す。	
		英語ライティング 2 (Basic)		「英語ライティング 1」に引き続き、ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイライティングを通して、総合的な英語力の育成を図る。より高度なテーマについて、自分の考えを論理的かつ説得力のある仕方でも表現する力を強化する。	
		英語医療通訳入門 1 (Primary)		本授業では、患者のプロフィールや病歴の聞き方、薬剤投与や手術、入院、インフォームドコンセントなど、実際の医療現場で役立つ英語表現を幅広く学習する。また、学生が医療従事者・患者・通訳者の役に扮したロールプレイを数多く行うことで、外国人患者に英語で対応できる医療人の育成を目指す。	
		英語医療通訳入門 2 (Basic)		「英語医療通訳入門 1」に引き続き、ロールプレイを通して実際の医療現場で役立つ英語表現を幅広く学習する（「英語医療通訳入門 1」を修了していない場合でも履修可能）。さらに、現役の医療通訳者が直面している現状と課題、全国の医療通訳ボランティア団体の取り組み、アメリカやオーストラリアなど諸外国における医療通訳者の育成・教育システムについても考察する。	
		資格英語 1 (Primary)		入門編として英語の基礎力をつけるため、基本的な語彙力、文法力を学習し、リスニングとリーディングの 2 技能を向上させる。	
		資格英語 2 (Basic)		「資格英語 1」で学んだ語彙力、文法力のさらなる向上をはかり、リスニングとリーディングにおける理解力を強化する。	
		基礎英文法 1 (Primary)		英語表現力の基礎となる英文法を、これまでに学習した内容を再確認しながら、学習者が自分なりの文法分析力を構築し、英語運用能力の土台を作っていく。授業内で演習、小テストなどを行っていく。	
		基礎英文法 2 (Basic)		「基礎英文法 1」で学んだ英文法に加え、学習者自身が、有効な道具として使えるように、文法力に磨きをかけていく。それぞれの学生の理解度を考慮した授業展開をしていく。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合 教育 科目	外国語系	上級英語会話 1（発展）		This is an advanced English conversation class that aims to improve students' discussion and language skills. Utilizing textbook-based discussion topics, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 本授業は、語学力とディスカッションスキルを高めることを目的とする。教科書をもとにしたディスカッショントピック、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	
		上級英語会話 2（総合）		This is a continuing advanced English conversation class that aims to improve students' discussion and language skills. Utilizing textbook-based discussion topics, multi-media activities, and language activation exercises, teachers hope to show students how fun and useful English can be. 「上級英語会話1」に引き続き、本授業においても語学力とディスカッションスキルを高めることを目的とする。教科書をもとにしたディスカッショントピック、多様なメディア教材や会話練習を通じて、英語の楽しさや有用性を伝えていく。	
		フランス語入門		オーラル・プラクティスを中心とした初級フランス語の習得を学びます。	
		フランス語基礎		世界一正確で美しいフランス語を学びます。名詞句から始まり、「avoir」や「etre」の動詞、第一・第二群規則動詞と進み、複合過去形までいきますが、覚えた範囲内で聞き取りと発話を必ず交ぜ合わせ、頻繁な応答によって会話の次元を欠かさないようにして進みます。単純な、平易な文は聞いて分かり、ある程度要望する事項が口に出せるようにします。	
		ドイツ語入門		平易なドイツ語の文章が読め、旅行で使える簡単な会話が理解できることが目標である。本講義は単に外国語学習にとどまることなく、広くドイツ語文化圏、さらにヨーロッパ文化全般に関わる教養を身につけることを目的としている。従って、講義時間の三分の一程度を映像資料やビデオ等を用いてドイツ語文化圏の自然・歴史・文化・風土等に親しむ。	
		ドイツ語基礎		平易なドイツ語の文章が読め、旅行で使える簡単な会話が理解できることが目標である。本講義は単に外国語学習にとどまることなく、広くドイツ語文化圏、さらにヨーロッパ文化全般に関わる教養を身につけることを目的としている。従って、講義時間の三分の一程度を映像資料やビデオ等を用いてドイツ語文化圏の自然・歴史・文化・風土等に親しむ。	
		スペイン語入門		スペイン語は、ラテン諸語に共通した現象として、動詞の変化がちょっと複雑になっているのが特徴です。したがって、スペイン語の学習は、通常、学生たちが動詞の変化を順に修得できるように編成されています。当授業は、動詞の使い方を理解し修得していくことを中心においた文法・講義の授業です。それに加えて、スペイン語特有の音色とその思考様式を体得できるよう、視聴覚教材も活用していきます。	
		スペイン語基礎		最初は、発音と動詞の現在形変化を再確認することから始めます。さらに、より進んだ表現を目指して、動詞の過去形の学習へと進んでいきます。言うまでもなく、外国語の授業は文法事項を記憶することにのみあつてはならず、表現を耳から理解すること、声に出して自己表現することなどが大切です。この点を考慮して、視聴覚教材も数回利用する予定です。	
		中国語入門		中国語について「説／聴／読／写」の四技能の修得を目指す。講義形態としては、文法説明、発音・会話練習、および多様なメディアを用いた中国の生活文化の一部分を紹介する中から、生きた中国語を学習する。	
		中国語基礎		「中国語入門」で修得した四技能「説／聴／読／写」を、文法説明、発音・会話練習などの演習をとおして、さらに向上させることを目指す。また、多様なメディアを用いて、中国の自然・歴史・文化・風土等に親しむ。	
		韓国語入門		韓国語について「説／聴／読／写」の四技能の習得を目指す。講義形態としては、文法説明、発音・会話練習、および多様なメディアを用いて、生きた韓国語を学習する。	
		韓国語基礎		「韓国語入門」で修得した四技能「説／聴／読／写」を、文法説明、発音・会話練習などの演習をとおして、さらに向上させることを目指す。また、多様なメディアを用いて、韓国の自然・歴史・文化・風土等に親しむ。	

科目 区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合 教育 科目	保健 体育 系	健康科学理論		学生諸君の健康管理対策の一環ともなるよう、最新のデータも交えながら大学生活に必要な事項を講義する。	
		健康科学実践		身体活動により、心身とも健康で社会生活を豊かにする。内容は、卓球、バレーボール、テニス、サッカー、バスケットボールである。	
専門 教育 科目	専門 基礎 ／学 部共 通	公衆衛生学	○	社会における集団の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握するために、保健統計と疫学に関する基本的知識を学ぶ。また、公衆衛生の向上に貢献するために必要な保健制度についての知識を習得する。	主要授業科目
		救急医学		この講義では、必要と思われる救急医療に関する内容をわかりやすく解説する。基本的項目としては、外傷、ショック、気道確保と呼吸管理、意識障害、消化器救急、救急蘇生法などを取り上げる。なお救急医療の現場からの症例紹介や救急にまつわる時事情報も随時組み込んでゆくこととする。救急医学の基礎知識を学ぶだけでなく、実際に医療の現場で救急救命処置が出来るように、またその救急蘇生法の基本を学ぶことができる。	
		微生物と病気		微生物が病気を起こす仕組みを学ぶ。	
		リハビリテーション概論		リハビリテーションの概念、障害者心理、高齢者の特質、リハビリテーションの内容と方法（医学的、社会的、職業的、教育的）、リハビリテーション関連法、リハビリテーション関連職種、チーム医療、リハビリテーションの流れ、地域保健と福祉などについて基本的な概念を習得する。 高齢化が進み続ける社会の医療、保健、福祉の向上に寄与するには「地域包括ケアシステム」の基本理念および内容を理解し、理学療法士や作業療法士が中心に関わる「自立支援」「就労支援」の現状および支援方法について講義する。	
		関連職種連携論	○	保健・医療・福祉の統合が進む社会状況にあって、その現場で働く職種には各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し利用者に総合的支援をすることが求められている。全人的支援を行うには職種間連携が不可欠であり、それを行えるようになるには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性や連携のあり方について理解することが必要である。本講義では、保健・医療・福祉に携わる職種への理解を深めると共に、職種間の連携のあり方について学ぶ。	主要授業科目
		看護論		看護はあらゆる健康レベルや成長発達段階にある人を対象とする。また、集団的視点と個別的視点から看護実践していく。すなわち看護職である保健師・助産師・看護師は、ヘルスプロモーション、またチーム医療の一員として健康支援に重要な役割を担う職種である。本科目では、他職種の連携や協働という観点から、看護とはどのような機能・役割をもつのか、専門分化された領域や分野（公衆衛生看護学・基礎看護学・小児看護学・成人看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護学等）から学習する。	
		ケアマネジメント論		施設福祉から地域福祉へ移行するなかで、援助対象者を地域社会の中で支えてゆく方法であるケアマネジメントの考え方や具体的な実践方法について講義する。ここでは地域での相談援助だけでなく、病院等の退院時における退院計画についても言及する。	
		ケースワーク論		医療福祉分野で展開される実践事例をとりあげながら、ケースワークを中心とした社会福祉援助技術（ソーシャルワーク）の理論と技法を学ぶ。	
		医療管理学		医療施設がどのような仕組みで活動しているか、またその活動が円滑に進められるためには、どのような点に注意して管理運営（マネジメント）していくべきかを理解する。医療活動の主要な現場となる病院医療の仕組みを理解し、包括的な視点を養い、将来的なマネジメントの感覚を身につけることを目標とする。	
		保健医療福祉制度論	○	わが国の保健医療福祉の制度の意義、変遷、あり方を概観、今日的な問題について考える。医療福祉分野の専門職として必要な法律的知識の基礎を説明する。	主要授業科目
		社会福祉学		福祉と密接に関係する保健・医療関係専門職を志す学生が社会福祉の基礎を理解することを目的とする。具体的には①各福祉領域における動向、②相談機関への理解、③福祉サービスの概要等について専門講師によるオムニバス形式で進めていく。	

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門基礎／学部共通	臨床心理学概論		臨床心理学とは、心に問題や葛藤をもつ人々を対象とした心理学的援助の実践である。講義では臨床心理学の基礎的な考え方をもとに、アセスメント・心理療法・地域援助について概説する。また、医療・看護・福祉など実践の場における心の不適用の問題とその支援について具体例をもとに説明する。	
		福祉支援工学概論		福祉援助工学は、高齢者・障害者の生活を援助することに幅広く工学的技術やその他の技術を応用しようとする学問分野である。その中心には運動機能障害者が用いる福祉用具への評価手法や評価理論への工学技術の応用がある。概論においては、バリアフリー環境、福祉用具、ユニバーサルデザインの概念と概略について学ぶ。また、各種福祉用具の評価手法について、定性的な側面から学ぶ。	
		関連職種連携ワーク	○	関連職種連携ワークは、演習形式によるIPE教育（関連職種連携教育）の実践カリキュラムである。本学が養成する様々な医療福祉の専門職を目指す学生が多数のグループ（およそ100グループ程度）に分かれてグループ学習を展開しながら、ひとつの症例と向かい合い、医療福祉連携、チーム医療についての理解を深める。	主要授業科目
		関連職種連携実習	○	それぞれ異なる専門職を目指す各学科学生が、同一の臨床現場において協働して実習を行うことを通じて関連職種連携のあり方を学ぶ。	主要授業科目
		リスクマネジメント論		病院経営安定のための財務的・法的リスクマネジメントの手法。危険情報の収集方法およびヒューマンエラーとシステムエラーの原因の分析と事故防止へのつなげ方。紛争発生からのクライシスマネジメントとしての対応処理の実践方法とリスクファイナンスについて、法的責任の判断、賠償責任保険の利用、交渉術の手法という面から講義する。	
		電子カルテシステム入門		電子カルテシステムを使って、チーム医療で重要な職種間の情報共有を実際に体験する。電子カルテシステムの諸機能、診療情報の電子化の利点、個人情報保護、情報セキュリティなどを学ぶ。模擬患者診療記録をもとに、患者登録、各科受付、診察、各種オーダー、実施、所見などの入力、処方、会計等について、診療情報の流れを把握する。	
		レクリエーション概論		レクリエーションはレクリアーレ（新しく生まれる）という語から発しており、遊びを通して、精神的・肉体的に回復することである。レクリエーション種目の実技と指導法について学ぶ。	

授 業 科 目 の 概 要				
（保健医療学部 医学検査学科）				
科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専 門 教 育 科 目	解剖学Ⅰ（総論）	○	解剖学Ⅰ（総論）では、医学・医療の基礎となる人体の構造と機能に関する知識を学ぶことで、医療を学び実践する基礎を理解する。人体の構成の軸となる骨格系を学んだ後、内臓系（循環器系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系）および神経系・感覚器系について学ぶ。	主要授業科目
	解剖学Ⅱ（各論）	○	解剖学Ⅰ（総論）で学んだ知識を基に、人体の骨格系、内臓系、神経系・感覚器系などの器官構造を機能と関連付けて系統別に学ぶ。また、それらの構造がどのように組み合わさって人体を構築しているのか理解する。加えて、本講義は採血、検体採取（経口、経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引、消化管内視鏡検査によるものも含む）及び生理学的検査に対応する。	主要授業科目
	組織学演習	○	解剖学Ⅰ（総論）、Ⅱ（各論）で学んだ知識を基に、講義と鏡検実習から人体組織における各臓器の機能と組織学的な特徴を学ぶ。病理検査学、病理検査学実習、細胞診断学、細胞診断学実習の基本となる知識を習得するため、各臓器における組織構造の詳細を教授する。	共同 主要授業科目
	生理学	○	医療を学び実践する上でもっとも基礎をなす学問である。人体の器官がどのような役割を持ち、どのような調節を受けているのかについて学ぶ。具体的には、生命現象と生体恒常性、細胞・組織・器官の機能、血液、呼吸生理、循環生理、消化と吸収、代謝、排泄、体温、内分泌、生殖について学習し、生理学の基本的な知識を習得することを目的とする。	主要授業科目
	病理学	○	人の疾病理解の基礎となる病因・発生機序・経過・予後など疾病概念の本質を学習する。具体的には、総論として病因を学び、次に代謝異常、循環障害、炎症、腫瘍を中心に理解する。	主要授業科目
	臨床医学概論	○	各疾患の基本的な知識を中心に、その発生機序や臨床症状を生理学、生化学、免疫学、血液学、病理学の側面から追求し、病態の本質を理解する。また、病態の変化が臨床検査データに及ぼす影響を理解し、臨床検査データとの関連性と疾患の鑑別を学ぶ。	主要授業科目
	内科学	○	内科学の疾患には、循環器、呼吸器、腎・泌尿器、消化器、血液、感染症、アレルギー、内分泌、代謝などがある。これらの成因と病態生理、臨床症状、診断・治療、経過・予後について学ぶ。臨床検査技師として必須の知識である内科学の基本と、これらの疾患を理解するために必要な知識を習得することを目標とする。	主要授業科目
	臨床神経学		中枢神経系の構造と機能を学び、生命の維持に必要な中枢神経メカニズムを理解する。中枢神経機能の障害による疾患と症状を理解し、その診断についても学ぶ。	
	精神医学		疾病の結果としての心の障害であれ、非疾病性の心の障害であれ、心の障害（精神障害）を持った人々と接し、治療にかかわるために必要な精神医学の基礎的知識と広汎な精神障害の概要をについて学ぶ。また、症例を通して人生や生活への精神障害の影響を理解する。具体的には、精神障害の経過を通して、障害を持つ患者がどのような生活を強いられるのか、人生の可能性を制限されるのか、どのように症状や障害と付き合っていくのかについて理解を深める。	
	リハビリテーション医学	○	疾患や外傷により生じる障害に重点を置き、診断・治療を行う臨床医学であり、運動障害、廃用症候群、循環・呼吸機能障害、嚥下障害、高次脳機能障害、老年症候群、発達障害などの病態生理・評価やリハビリテーションの注意点について学ぶ。具体的には、運動障害、呼吸・循環障害、高次脳機能障害、摂食嚥下障害などの各障害を理解する。また、障害の評価や治療、リスク管理などについて学ぶ。	主要授業科目
	小児科学		新生児の出生と先天異常疾患、小児の発育・発達を理解する。成長に伴っておこる疾病と小児期に多い疾患を学び、検査、治療や介助法を理解する。具体的には、小児の成長・発達、栄養・保健を学び、小児期によくみられる新生児・未熟児疾患、先天奇形、アレルギー疾患、感染症、循環器、呼吸器、消化器、血液・造血器、腫瘍性疾患、代謝・内分泌、胃・泌尿器、神経系の疾患を理解する。	

科目 区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門 教育 科目	専門 基礎 ／医学 検査 学科	老年学	○	“超高齢化社会”を迎え、医療や福祉を含む高齢者対策、諸問題に対処するアプローチ方法は社会的にも急務である。老人の定義、特徴、体分画の変化、老化の機序を学び、神経系・循環器系・呼吸器系などの系統別に老年性疾患を理解する。高齢者の機能評価や、高齢者の医療・看護・介護・福祉・保健・リハビリテーションについても学習する。	主要授業科目
		病態薬理学	○	薬理作用の仕組みと薬物の体内動態を学ぶことにより、薬物療法の基礎知識を身につける。具体的には、薬理学の役割、構成、新薬の開発などの基本的知識と、薬物治療に影響を与える生体側、薬物側の因子及び副作用、さらに、薬効及び投与経路と吸収、分布・代謝・排泄のメカニズムを学ぶ。主要な薬物を取り上げてその作用と医療における適用についても学ぶ。	主要授業科目
		臨床栄養学	○	健康を維持あるいは増進して生活する最も大切な栄養について、食物の各栄養素の意義と病態生理を学ぶ。具体的には、食行動、食物の摂取と消化吸收、エネルギー代謝を理解し、臨床病態との関連を学ぶ。また、日本人食事摂取基準について学ぶ。	主要授業科目
		遺伝学	○	生物の個体を構成する細胞の基本構造と、遺伝子や染色体レベルでの遺伝現象を学ぶ。具体的には、ひとつの細胞内で起きている分子レベルでの生命現象について、DNA、RNA、タンパク質を中心に理解し、遺伝子や染色体等の基本構造と先天性・後天性遺伝子疾患の発症原因を学ぶ。今後の臨床検査における遺伝子／染色体の重要性を理解する。	主要授業科目
		分析化学	○	臨床検査を実施する上での基本的な事項を学ぶ。まずは、物資の濃度の単位、溶液の性質について学ぶ。次に臨床検査における検査機器を取り扱う上での注意点と心構えについて学び、臨床検査の共通機械器具である化学容量器(ビベット、フラスコ、メスシリンダー等)、天秤、遠心分離機、分光光度計、顕微鏡、pHメーター、純水装置などの原理と構造を理解する。	主要授業科目
		生化学	○	生化学はヒトの生命現象やその病的変化を探索する上での基礎学問である。生体を構成する物質の基本的な構造と機能について学び、次にそれらがどのように代謝されているかを学ぶ。そして生命体を構成する各種器官について学び、それらの各種器官がどのように情報伝達され、制御されているかを理解する。最後に生命体を維持するための栄養とその代謝について学ぶ。以上の生命現象の基本を理解すること、で、各種臨床検査における検査方法や目的、および各種疾患を理解する上での礎とすることを目的とする。	主要授業科目
		生化学実習	○	生化学の実験法は医学検査や研究を進展させる上での必要不可欠な手段である。そして生化学の基礎技術の習得は医学検査はもとより臨床研究のような応用分野においても非常に重要である。本実習では、生化学の基礎的な実験技術を習得することを目的とする。さらにレポートの作成法の基礎を学び、グラフの作成法や簡単な統計手法を習得する。また各種検出法を通して、糖、蛋白質、酵素の性質を学び、生化学への理解を深めることを目的とする。	共同 主要授業科目
		医用工学・情報概論	○	医療機器を理解するため、正しい取り扱いに必要な電気工学の基礎知識修得および生体計測に関する知識を学ぶ。具体的には、各医用生体工学の概論、電磁気学、電気・電子工学の基礎、生体情報の記録と表示および機器類の安全使用などを学ぶ。また、医療で使用する各種機器の電気的安全性やノイズの混入への対応などを理解する。	主要授業科目
		医用工学・情報実習	○	オームの法則、コンデンサ、コイル、ダイオードなどの素子の性質、フィルタ回路の特性など生体計測の原理の基礎となる電気電子工学およびオシロスコープやテスタなどの基本的な測定機器の使用法や医療機器に用いられているトランスデューサとその安全性について習得する。また、医療で使用する各種機器の安全性やノイズの混入への対処ができるように、医用電子に関わる計測技術を習得する。	共同 主要授業科目
		検査機器学・情報システム学総論	○	臨床検査において信頼性の高い検査データを提供するためには、臨床検査の中で使用されている機器の基本原理解と機器から出力されるデータの解釈が常に要求されることから、多くの臨床検査室で使用する機器について概説する。また、臨床検査の情報は院内のコンピュータを介したネットワーク上に存在しており、検査情報システムを理解することが必須となっている。コンピュータを構成する、ハードウェア、ソフトウェアの基礎知識から情報セキュリティに至るまでを学ぶ。	主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	病理検査学	○	病理検査の意義、臨床現場で用いられる固定、包埋、薄切、各種染色法など病理組織標本作製方法を学ぶ。各種染色法では、ヘマトキシリン・エオジン染色と組織中の目的物質や細胞を選択的に染色して証明する特殊染色や免疫染色の原理や方法、技術を学習し、理解する。	主要授業科目
		病理検査学実習	○	病理組織標本作製過程を理解し、それぞれの過程における知識や技術を実習で習得する。病理検査学で学んだ知識を基に、包埋、薄切、染色の流れを理解するため、臓器のパラフィンブロックからミクロトームを使用してパラフィン包埋標本作製し、病理組織検査の基本染色であるヘマトキシリン・エオジン染色を行う。さらに、技術力の向上を図るために膠原線維染色、糖原染色等も実践する。	共同 主要授業科目
		細胞診断学	○	細胞診検査を実施する際の検体採取から診断までの検査の流れ、その意義を学ぶ。 細胞採取法、検体の取り扱い、標本作製法、基本的なPapanicolaou染色やその染色原理について教授する。細胞所見では、特に婦人科、呼吸器、体腔液を中心として、背景所見、出現様式、細胞の詳細所見について講義し、正常細胞から悪性細胞の所見について詳細を学習する。	主要授業科目
		細胞診断学実習	○	細胞診断学で学んだ知識を基にして、婦人科、呼吸器、体腔液細胞診の細胞学的特徴を理解する。また、正常細胞と悪性細胞の形態学的差異を認識し、細胞所見から病変推定ができる知識と習得する。また、細胞標本作製やパパニコロウ染色の技術を教授する。	共同 主要授業科目
		血液検査学Ⅰ（形態系、凝固・線溶系の基礎）	○	血液は生体の維持にきわめて重要な役割を果たし、血液細胞の産生部位である骨髄を含めて造血器という1つの臓器として扱われる。血液検査は血液疾患の診断のみならず各種疾患の病態把握や経過観察にも不可欠であり、さらには術前検査としても必須の検査である。 形態系である血液の各血球系の産生と機能及びそれらの検査法の原理と手技を学ぶ。また、生体にとって極めて重要な機能である止血・凝固・線溶系の各機構及びそれらの検査法の原理と手技について学ぶ。	主要授業科目
		血液検査学Ⅱ（形態系、凝固・線溶系の応用）	○	血液学的検査は白血病やリンパ腫といった各種血液疾患の鑑別診断に欠くことのできない重要な検査の一つであり、現在の臨床現場での自動分析機器による検査への貢献度は非常に高い。一方、形態学的検査は未だなお技師の目や手を必要とする分野である。 形態系、止血・凝固・線溶系の自動分析機器の原理と応用を学ぶ。また、末梢血及び骨髄の形態学的検査について学ぶ。さらに、血液疾患の病態生理およびそれらの診断や鑑別のための検査法と遺伝子との関連を理解する。	主要授業科目
		血液検査学実習	○	血液の形態学的検査法および凝固系検査法のうち基本となる項目について、用手法による実習を通じ、各種検査の原理及び方法、検査結果の評価・臨床的意義について学び、同時に自動分析器の原理や測定の意味について理解も深める。また、病院検査室での実践に必要な知識、実践能力を身につける。	共同 主要授業科目
		一般検査学	○	尿定性検査法や検査試験紙の検出原理と臨床的意義および腎機能検査について学ぶ。また、尿の有形成分について、沈渣標本の作製方法、一般的性状、顕微鏡的検査やその臨床的意義などについて理解する。さらに、採血について、その方法、血液の保存、ならびに処理方法等について理解する。具体的には、尿の一般性状としての色調・比重、尿蛋白、尿糖の測定について解釈し、顕微鏡的検査（形態学的検査）では、形態学的特徴から各種有形成分を鑑別、同定できる知識を理解する。さらに、糞便、脳脊髄液、精液、体液などの一般的性状および化学的検査法、免疫学的検査法、顕微鏡的検査法についても学ぶ。	主要授業科目
		一般検査学実習	○	臨床検査技師の業務である静脈採血に関して、学生自らが採血者あるいは被検者となりながら、採血手技の習得と、採血を受ける患者への対応、患者心理について学ぶ。尿の生化学的検査では、臨床的意義、基準範囲を理解したうえで、化学的検査法、尿試験紙法の実践的手技の習得と偽陽性、偽陰性を踏まえた病態を理解する。糞便検査では免疫学的検査法、化学的検査法の検査手技を習得し、測定原理を理解したうえで、妨害物質の影響、検出感度、結果の解釈を習得する。形態学的検査である尿沈渣検査法では、標本作製技術を習得し、各種成分の観察から、同定する能力を養う。また、髄液検査法では、疑似検体、計算板を使用した標本作製を行い、細胞数算定に至るまでの一連の検査工程の習得を行う。	共同 主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	臨床化学検査学Ⅰ（糖質、タンパク質、脂質）	○	臨床化学検査の目的、特徴、単位と標準物質、検査値の管理としての誤差と許容範囲、基準範囲や病態識別値（カットオフ値）についての理解し、生理的変動と測定技術の変動、臨床化学分析の標準体系と国際標準を学ぶ。分析法の基礎としての、分光光度分析、分離分析法、免疫化学分析法、電気化学分析法、酵素的分析法と酵素活性測定法など各種測定法の原理を学ぶ。また、電解質と微量金属、糖質、蛋白、脂質など各種検査法とその臨床的な意義について理解を深める。さらに、持続皮下グルコース測定の原理、手技及び患者接遇について修得し、結果の解析と評価について学修する。	主要授業科目
		臨床化学検査学Ⅱ（酵素、ホルモン、ビタミン）	○	臨床化学の分析法として、酵素、金属、ホルモン、ビタミンを理解する。そして臨床化学としての栄養代謝、炎症、腫瘍、薬物毒物と肝胆道系、心循環器系、腎、内分泌系の各種病態を学ぶ。これら臨床化学検査項目について、測定原理、臨床的意義を理解し、各種病態での臨床化学データの読み方と意義について学ぶ。また、各種疾患と検査データの関連性や病態の見方について学ぶ。	主要授業科目
		臨床化学検査学実習	○	臨床化学検査の実習としての基本的な器具や機器の取り扱いとその原理を習得する。生体成分を測定するための化学反応や酵素反応および分離分析法における検査試薬の調製と測定操作法を習得する。各種測定法に用いられる測定原理と測定結果の意義を理解する。具体的には、マイクロピペットの使用法とその精度や正確な操作性を習得する。分光光度計の測定原理や取扱法を学ぶ。また、化学反応では終点分析と速度分析での試薬と生体成分の化学反応の関連性を学ぶ。さらに、有機化学反応を用いた定量法における測定原理と反応メカニズム、同様に錯体反応や色素と蛋白についての測定原理と反応メカニズムについて学ぶ。	共同 主要授業科目
		遺伝子検査学	○	遺伝学を基礎とする遺伝子・染色体検査学は飛躍的に進歩し、さらに今後の医学・検査学分野への発展に関与していくと考えられる。現行する様々な遺伝子検査の基本となる技術の原理や理論、その応用について理解する。具体的には、核酸の取扱いや抽出法、遺伝子増幅法、遺伝子分析法等における原理の理解と臨床検査への応用に必要な基礎知識を学ぶ。また、遺伝子診断の限界や遺伝子検査に伴う個人情報の保護について理解する。	主要授業科目
		遺伝子検査学実習	○	臨床検査や研究に必要な基礎的な遺伝子検査技術を習得する。具体的には、遺伝子を取り扱う際の基本的な手技であるピペッティングをマスターし、コンタミネーションを防止する。続いてDNA・RNAの抽出及び取り扱い、測定法であるPCR法、nested-PCR法、RT-PCR法、LAMP法、塩基配列決定法（シーケンス解析）などの検査技術と、正確で精度の高い結果を医療の現場に提供できる知識と技術を習得する。	共同 主要授業科目
		微生物検査学Ⅰ（細菌）	○	微生物検査は感染症の病原体診断に必須であり、主な病原細菌感染症の臨床所見、疫学ならびに検査法について学ぶ。具体的には、細菌、クラミジア、リケッチャ、マイコプラズマなどの基本構造、病原性および抗生物質などに関する基礎知識を学び、検査に必要な形態学、培養技術、同定のための生化学的性状、薬剤感受性検査などの知識および技術を理解する。	主要授業科目
		微生物検査学Ⅱ（ウイルス、真菌）	○	主な病原ウイルス・真菌感染症の臨床所見、疫学ならびに検査法について学ぶ。具体的には、微生物（真菌、ウイルス）の基本構造、病原性および抗ウイルス薬、抗真菌薬などに関する基礎知識を学ぶ。また、ウイルス検査に必要な検査法である遺伝子検査、免疫学的検査や、真菌の培養技術、同定のための形態検査などの知識および技術を理解する。	主要授業科目
		微生物検査学実習	○	感染予防、手指衛生、無菌操作、グラム染色、培地作成、一般細菌および嫌気性菌の同定検査など微生物検査法を習得する。具体的には、細菌・真菌の染色法および染色液の作製、培地の作製法、白金耳、白金線の使用法を学び、微生物検査を実施する上で基本的操作法を習得する。また、滅菌・消毒操作を学び、一般の実験室内感染症の防止に注意を払う必要性を理解する。さらに、検査材料から菌を分離し、菌の同定試験ならびに薬剤感受性試験を実施し、一連の培養同定の実習を通じて、原因菌の鑑別・同定方法を習得する。	共同 主要授業科目
		医動物学演習	○	寄生虫症を起こすヒトに寄生する動物と、種々の感染症を媒介する動物を総称して医動物とよぶ。近年、海外との人的・物質的交流の増加や環境の変化などにより種類が増え、より複雑になっている寄生虫症の状況を概説する。各論として医動物のライフサイクル、罹患時の臨床症状、臨床検査での検出方法を学ぶことにより、寄生虫対策を理解することを目的とする。具体的には、蟻虫をはじめとする線虫類、吸虫類、条虫類、マラリア原虫をはじめとする原虫および衛生動物の分布と疫学を知り、その生活史と感染経路を学ぶ。	主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	免疫検査学	○	自然環境の中には人体にとって有害な病原性をもたらし微生物やウイルスが存在している。生物は、それら病原体に対して「免疫」という生体防御機構を備えている。 免疫には、自然免疫、液性免疫、細胞性免疫があり、これらに關与する免疫細胞のシステムとメカニズムを理解する。また、免疫が破綻した場合に起こる各種疾患と、診断等に用いられる免疫学的検査を学ぶ。具体的には、抗原抗体反応による中和反応、標識免疫測定法、間接蛍光抗体法、免疫電気泳動法などの原理や手法について理解する。	主要授業科目
		免疫検査学実習	○	抗原抗体反応を利用した検査法は、微量成分の分析に必須であり、免疫学検査手法の基礎的な手技である。各種抗原抗体反応を用いた実習を行い、測定目的と意義、病態との関連性などについて学ぶ。具体的には、感染症、自己免疫疾患、アレルギーなどの各疾患を診断するための凝集反応、酵素免疫測定法、間接蛍光抗体法、免疫電気泳動法等の実習を行う。	共同 主要授業科目
		輸血・移植検査学	○	輸血は疾患に伴う貧血あるいは外傷や手術に伴う出血等の生命維持にあたり危機的状況を回避するために実施される補充療法の一つであり、全な輸血を行うために必要な正しい知識と各種の検査手技を身につける必要がある。輸血を安全に施行するための成分輸血療法の意義と適応、輸血に伴う副作用・合併症および輸血血液の保存と管理を学ぶ。また、輸血前検査で行われるABO・Rh血液型、不規則抗体検査、抗体同定検査、交差適合試験の検査法について学ぶ。 移植は、疾患や事故などにより臓器の機能が低下したレシピエントに、ドナーの組織や臓器の一部を移し、生存または育成を図る医療行為であり、移植に関わる免疫学、移植の歴史と現状、移植に必要な検査、副作用に関する知識と検査法の原理ならびに手技を学ぶ。	主要授業科目
		輸血・移植検査学実習	○	輸血療法に関する基本的な原理を理解し、輸血前検査において重要なABO・Rh血液型検査、不規則抗体検査、交差適合試験の手技を習得する。また、交差適合試験陽性例における血液製剤の選択方法や各血液製剤の保管方法や取り扱いに関して学び、臨床現場における輸血療法の実践的な知識や技術を身につける。輸血検査の誤りは患者にとって重大な事態を招く可能性が高いことをよく理解し、輸血検査の意義と重要性を十分に理解する。 移植実施にあたっては、ドナーとレシピエントのMHCが適合することが最も重要であり、造血幹細胞採取について、基本的な手技と臨床応用を学ぶ。	共同 主要授業科目
		生理検査学Ⅰ（循環器、脳・神経、筋系）	○	循環器系、脳・神経系、筋系などの機能的な情報を、生体シグナルとして捉え、生理検査としての基礎理論、測定方法、検査結果の判定ならびに評価方法について学習し、疾患との関連を学ぶ。また、検査機器のメンテナンス及び患者へ接遇や患者急変時の対応などを理解する。具体的には、循環器系の検査（心電図、心音図、脈波）と脳・神経系の検査（脳波、筋電図）について、生理学的基礎事項、波形の成因、結果の解析と評価、測定機器の構造と操作法、検査手技及び患者接遇や患者急変時の対応などについて学ぶ。人体からの生体機能情報を収集するための理論、運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極装着（針電極含む）・脱着、超音波検査における静脈路からの造影剤注入、直腸肛門機能検査、消化管内視鏡検査（組織検体の採取手技を含む）を含む手技及び患者接遇について修得し、結果の解析と評価について学修する。また、外来、手術室など医療現場における多様なニーズに対応できる技術を修得する。検査時の急変の対応についても学ぶ。	主要授業科目
		生理検査学Ⅱ（呼吸器、感覚器、平衡機能）	○	呼吸器系、感覚器系、体幹四肢の平衡機能、味覚・嗅覚機能の基礎理論、測定方法、検査結果の判定ならびに評価方法について学習し、疾患との関連を学ぶ。 具体的には、呼吸器系の検査（換気機能、肺動脈圧、血液ガス）や体幹四肢の平衡機能、聴覚機能、味覚・嗅覚機能について測定機器の構造、検査手技、結果の解析・判断、臨床的意義などを学ぶ。	主要授業科目
		生理検査学実習	○	生体機能検査学の講義で学んだ循環器系、呼吸器系、神経・筋系、感覚器系及び画像診断検査について、実際に検査機器を用いて被検者を測定する。これらの検査に必要な検査機器の仕様とメンテナンス、検査を実施するための準備や安全対策及び患者への接し方や患者急変時の対応などを習得する。また、検査データの判読法と基準範囲や正常値について理解を深める。人体からの生体機能情報を収集するための理論、運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極装着（針電極含む）・脱着、超音波検査における静脈路からの造影剤注入、直腸肛門機能検査、消化管内視鏡検査（組織検体の採取手技を含む）を含む手技及び患者接遇について修得し、結果の解析と評価について学習する。また、外来、手術室など医療現場における多様なニーズに対応できる技術を修得する。検査時の急変の対応についても学ぶ。	共同 主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	超音波・MRI検査学	○	超音波検査法、磁気共鳴画像(MRI)検査法により、生体内部の臓器や組織を画像として描出することができる。これら画像検査法の機器の測定原理やアーチファクト等との関連性について学ぶ。具体的には、超音波、MRIの物理的特性、検査に必要な解剖、測定原理、検査法などの基礎的事項を学習するとともに、各種疾患や臨床的意義についても理解を深める。また、超音波検査に関連する造影剤の注入の適応と方法について学ぶ。	主要授業科目
		超音波・MRI検査学実習	○	超音波における画像の解剖所見と磁気共鳴画像(MRI)検査法での基本的な撮像方法(T1強調、T2強調、FKAIR、MRCPなど)を理解する。超音波による心臓、甲状腺、腹部、頸動脈の基本的な画像と解剖を理解し、実際に超音波装置を用いて健康者やファントムを用いて、超音波検査の手技を身につける。	共同 主要授業科目
		先進臨床検査技術学		医療における各種診断法として先進的な科学技術を利用した研究が行われ、新しい技術が次々に開発され応用されている。本講では、検査分野での先進的な研究と検査方法の知識を備えるために、先端的な研究を紹介するとともに、国内外の文献や情報の収集・整理の方法について学ぶ。また、先進技術が医療にどのように貢献しているのかを学び、技術を社会に応用するための探究心と思考力を身に付ける。	
		臨床検査統計学	○	実際の臨床現場で使用、利用、活用するための統計処理を学ぶ。統計の基礎とデータの取り扱いと処理法から、検定方法、データ管理技術、統計処理上の問題点までを理解する。具体的には、コンピューターを使いながら実際のデータを使って解析作業を行い、実践的な統計解析を学ぶ。	主要授業科目
		医療安全管理学演習	○	臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び安全管理に配慮して、適切に検体採取ができる能力を身につける。検体採取に伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。採血(静脈路確保、電解質輸液の注入を含む)、静脈路への成分採血装置の接続並びに操作、運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極装着(針電極含む)・脱着、超音波検査における静脈路からの造影剤注入、直腸肛門機能検査、持続皮下グルコース測定、検体採取(経口、経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引、消化管内視鏡検査による組織検体の採取を含む)が現場で実施できる実践的知識・技術を身につける。	共同 主要授業科目
		精度管理学	○	臨床検査は、根拠に基づいた医療(EBM)を行うために必要な情報を提供する役目を負っている。患者情報を診療に有効利用するために情報科学の基礎を学ぶ。また、情報理論を理解し、ハードウェアについて中央演算処理装置、入出力装置、記憶装置、通信装置の基礎を学ぶ。具体的には、プログラム言語、オペレーティングシステム、ネットワークの概念および構成、通信手順、セキュリティについて学び、臨床検査の現場に必要な精度管理と情報処理システムを理解する。	主要授業科目
		臨床検査特論Ⅰ(応用)	○	1～3年生で学習した臨床検査に関わる分野を総復習し、臨床化学検査学、免疫検査学、血液検査学、輸血・移植検査学、微生物検査学、病理検査学、生理検査学、超音波・MRI検査学などの分野について確実な知識を習得する。臨床検査学は、幅広い基礎医学の系統的な学問でもあり、履修した専門科目の相互のつながりを理解し、さらに基本的かつ先進的な事項を整理し理解する。	主要授業科目
		臨床検査特論Ⅱ(発展)	○	臨床検査特論Ⅰ(応用)で学んだ専門科目について、各科目の基礎理論と重要ポイントを学び、各科目における横断的な相互理解を行い、臨床検査技師にとって必須となる知識および技術を身に付ける。	主要授業科目
		臨地実習	○	医療機関の検査室での臨床現場を実際に経験し、検体採取から結果報告までの一連の業務の流れや精度管理、患者への接遇など検査室業務の運営に直接携わることで、就職したときの現実的なスキルを身に付ける。授業で学んだことを確認を行い、検査室の臨床検査技師と共に検査業務を行うことにより実際の臨床検査学を学ぶ。 医療施設におけるチーム医療の役割を体験し、多様化するニーズへの臨床検査技師の対応について学ぶ。また、患者との接し方や検体結果の報告を通して、臨床検査データを迅速、正確に臨床医に届けることの重要性を理解する。	共同 主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	卒業研究	○	臨床検査の各専門分野の教員の指導を受けて、検査法の技術的な検討や臨床的な検討を行うことで、検査技術の基本的な習得や科学的な研究手法について学ぶ。また実験から得られた結果をまとめ、既知の知見との比較を等して考察し、その内容を論文としてまとめる。また研究内容を発表するためにスライドの作成や発表原稿の作成を等して、研究の内容を的確に発表できる能力を身に付ける。 藤巻 慎一：血液検査学の研究 長田 誠：遺伝子検査学の研究 久保田 紀子：微生物検査学の研究 青木 裕志：病理検査学、細胞診断検査学の研究 岡山 香里：病理検査学、細胞診断検査学の研究 山崎 まどか：生理学検査学の研究 森 幸太郎：遺伝子検査学の研究 小笠原 篤：血液検査学の研究	共同 主要授業科目
		医科分子生物学		ヒトのゲノムが解読され、同定された22,000個余りの遺伝子の情報をもとに、様々な疾患の発症や治療に関する医療研究がなされている。医療研究の基本となるヒトのDNAやRNA、タンパク質を対象とした遺伝子工学について学ぶ。具体的には、微生物などがもつ特殊な酵素類を用いて核酸を人為的に操作し、自然生命現象や疾患発症機構の解明、その治療法の開発について学ぶ。また、ヒトにより異なるゲノム情報をもとに、生まれもった体質や薬剤／疾患への感受性、感染症罹患の有無などを理解する。	
		臨床検査研究論	○	これまでの講義による具体的な事例などを参考にして、臨床検査の技術開発や研究における問題点、医学における疑問点をグループにより調査することで、課題を解決する能力を養う。グループ毎に調査研究をまとめて発表することでコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を高め、質疑応答により問題解決能力も養う。臨床検査技師としての探究心と課題を解決のための能力を身につけることを目的とする。	主要授業科目
		循環動態画像診断学	○	循環動態画像を診断するために、臨床検査技師が知っておくべきモダリティーの画像診断について学ぶ。生理検査を実施する際に、電子カルテから各種モダリティーの医療画像情報を閲覧し、循環動態や病態を確認したうえで検査を実施する。そのため、心臓カテーテル検査・CT・MRIなどの各種モダリティーの医療画像情報を理解する。具体的には、生理検査業務に関わる放射線科領域のモダリティーである血管造影、心臓カテーテル検査、心臓カテーテル治療、経食道心エコー、Biopsyによる病理診断などについて知識を習得する。	主要授業科目
		臨床検査管理総論	○	現在の医療情勢ならびに医療施設における臨床検査部門の位置づけと役割を正しく理解する。具体的には、診断・治療に役立つ質の高いデータを提供するために必要な機材・試薬管理、検体管理、安全管理、システム管理、人事・労務管理および人材育成などについて学ぶ。また、臨床検査部門の国際規格であるISO15189の意義やチーム医療の必要性などについても学ぶ	主要授業科目
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	○	臨床検査は患者の診断、病態把握、治療効果の確認に用いられる。各種の臨床検査項目と疾患・病態との関連性を学ぶ。具体的には、各種疾患や病態における臨床検査値の変動を理解し、異常な臨床検査値の組み合わせから疾患・病態を推測できる基礎的な考え方を理解する。	主要授業科目
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	○	臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）で学んだ基本を元に、各種の臨床検査項目の臨床的意義をさらに理解し、疾患・病態との関連性を学ぶ。具体的には、各種疾患・病態の臨床検査データから、グループ内で討論し、疾患・病態を推測することで、患者の疾患・病態と臨床検査値の関連について学ぶ。	主要授業科目
		臨床検査基礎演習	○	臨床検査学の各実習を円滑に行うために、各科目の実習に共通する基礎的事項を身に付ける。具体的には、機器や器具の名称やそれらの適切な使用及び保守の方法について学ぶ。また、薬品の取り扱いや感染予防・感染管理についての実習に必要な考え方などを学ぶ。さらに、実習や科学実験を行っていくうえで必要不可欠な基本的な知識や技術を習得する。	共同 主要授業科目

科目区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門教育科目	専門	客観的臨床能力試験	○	客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination; OSCE）では、臨床実習に必要とされる技能・態度を備えていることを実技試験等により確認する。身なり、挨拶や適切な声かけ、敬語等、安全な医療が遂行できるように心がけて行動できるような基本的接遇マナーや、臨床実習に必要な血液検査学、病理検査学、一般検査学、臨床化学検査学・免疫検査学、遺伝子検査学、輸血・移植検査学、微生物検査学、生理学検査学等の基本的な検査手技の習得と臨床所見や結果を解釈する知識を確認をする。 藤巻 慎一：血液検査学の技能習得到達度評価 長田 誠：遺伝子検査学の技能習得到達度評価 久保田 紀子：微生物検査学の技能習得到達度評価 清宮 正徳：臨床化学検査学・免疫検査学、輸血・移植検査学の技能習得到達度評価 青木 裕志：輸血・移植検査学の技能習得到達度評価 岡山 香里：病理検査学の技能習得到達度評価 山崎 まどか：生理学検査学の技能習得到達度評価 森 幸太郎：微生物検査学、遺伝子検査学の技能習得到達度評価 小笠原 篤：一般検査学、血液検査学の技能習得到達度評価	共同 主要授業科目
		入門細胞診断学演習	○	細胞診検査を実施する際の検体採取から診断までの検査の流れ、その意義を学ぶ。細胞診検査の基本染色であるパapanicolaou染色の原理を理解し、特に婦人科細胞診検査で出現する正常細胞の形態学的特徴を学ぶ。鏡検実習では、婦人科細胞診標本を用いて扁平上皮細胞を中心とした正常細胞のスケッチを行うことにより、細胞質、核、クロマチン、核小体の詳細な所見を理解する。	共同 主要授業科目
		細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）	○	婦人科細胞診検査を理解するため、解剖学Ⅰ（総論）、解剖学Ⅱ（各論）、組織学演習の知識を基に、子宮頸部、膣部の解剖、ホルモンによる影響を学ぶ。また、正常、炎症、感染症、異形成、悪性腫瘍で出現する細胞所見を理解し、鏡検実習で詳細な所見を学習する。	共同 主要授業科目
		細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用）	○	細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）の知識を基に、婦人科細胞診標本を用いてスクリーニングを実施する。正常、炎症、感染症、異形成、悪性腫瘍の標本を観察して所見を理解し、診断書にコメントを記載して病変判定の知識、技術を習得する。	共同 主要授業科目
		細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器、体腔液基礎）	○	呼吸器細胞診検査、体腔液細胞診検査の検体採取法、標本作製法を学ぶ。解剖学Ⅰ（総論）、解剖学Ⅱ（各論）、組織学演習の知識を基に呼吸器、体腔の解剖学や出現する正常細胞の形態学的特徴を理解する。また、正常、炎症、感染症、悪性腫瘍で出現する細胞所見を理解し、鏡検実習で詳細な所見を学習する。	共同 主要授業科目
		細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器、体腔液応用）	○	細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）、細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用）、細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器、体腔液基礎）で学んだ知識を基に、呼吸器と体腔の細胞診標本を用いてスクリーニングを実施する。正常、炎症、感染症、異形成、悪性腫瘍の標本を観察し、所見を理解し、診断書にコメントを記載して病変判定の知識、技術を習得する。	共同 主要授業科目
		臨床検査質量分析学演習	○	質量分析技術の進歩によりプロテオーム解析解析が可能となり、生化学、臨床化学、分子生物学や食品関連の研究に必須の手段となっている。質量分析の基礎と医学への応用について学ぶ。具体的には、試料のイオン化の方法や、電場や磁場による質量分離の方法を学び、マススペクトルを確認することでタンパク質などを一斉解析する方法を学ぶ。	共同 主要授業科目
		遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）	○	分子生物学の発展は著しく、遺伝子関連検査の測定法や分析方法も新しい技術が開発されている。遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）では、遺伝子関連検査に関わる医学および医療の基礎知識を学び、遺伝子の変異と疾患の関連性を理解する。また、機器・検体の取り扱いや精度管理などの基礎知識と遺伝子関連検査の技術や実践について理解する。さらに、染色体検査の技術や実践方法についても理解し、遺伝子分析の専門性を学ぶ。	共同 主要授業科目
		遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践）	○	専門的知識と高度な技術に対応し、遺伝子検査技術の発展と普及を推進するための実践を学ぶ。具体的には、微量検体を取り扱う際のピペット操作、コンタミネーションを避ける技術、遺伝子・染色体検査に必要な基礎的技術としての原理や方法論、各種検査の実践や結果の評価について学ぶ。	共同 主要授業科目

科目 区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門 教育 科目	専門	生殖補助医療胚培養学	○	生殖医療はヒト両配偶子(精子、卵子)に始まり、受精、受精卵(胚)の発生、着床、妊娠、分娩、老化という全生涯過程に関わるものである。ヒトの生殖医療に貢献するために、その基礎となる体外受精、胚移植、顕微授精、クローン、幹細胞、遺伝子操作などを学ぶ。	主要授業科目
		生殖補助医療胚培養学演習	○	両配偶子の発生、受精および受精卵(胚)発生のメカニズムを基礎学問として学び、その学問を臨床に応用するための実践技術を学ぶ。具体的には、両配偶子(精子、卵子)の取り扱い、精液検査(量、運動率、形態評価)、卵子の形態評価と培養法、体外培養技術の実際、顕微授精技術の実際、受精卵(胚)移植の介助等習得する。	共同 主要授業科目

授 業 科 目 の 概 要				
（保健医療学部 医学検査学科等）				
科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合 教育 科目	外国 語 系	作文・読解Ⅰ（入門）	基本的な文法項目を使った作文の練習を行います。短文レベルから始めて、段落構成などについて考え、最終的に2000字程度のレポートを書けるようになることを目指します。学習する項目は、地図などの視覚情報を文章化する、状況を説明する、意見を述べる、引用するなどです。本授業は、正確に日本語を書きたいと思っている方、レポートを書けるようになりたいと思っている方を対象としています。	
		作文・読解Ⅱ（応用）	新聞記事に出現する語彙と内容の要約の仕方を学習します。基本的な要約の仕方を練習した後、新聞記事を読んで、語彙の意味・用法の整理とその内容を要約するトレーニングを行います。本授業は、新聞記事レベルに出現する語彙の学習をしたい人、レポートをうまくまとめたい人、実習の報告書を簡潔に書けるようになりたい人、大学院進学を目指して卒論を書こうと思っている人を想定しています。	
		作文・読解Ⅲ（完成）	日本語能力試験N1レベルの表現文型を正確に書くトレーニングをします。授業では、どのような文脈で学習項目が使われているかを確認した後、例文作成を繰り返します。このような作業を通し、学習項目を適切な場面で使用できるようになることを目指します。本授業は、上級レベルの文型を使いこなせるようになりたいと思っている人、大学院進学を目指している人などを対象として想定しています。	
		文法・語彙Ⅰ（入門）	日本語の初級文法と中級レベルの語彙の総復習を通し、正確な日本語の運用能力の養成を目指します。取り扱う項目は基礎的なものですが、これらを正しく使いこなすためのトレーニングを行います。本授業は、基礎的な項目を復習したい人、日本語の基礎に不安がある人、正確な日本語を話したり書いたりすることができるようになりたい人を対象として想定しています。	
		文法・語彙Ⅱ（応用）	中級レベルにおいて留学生が間違えやすい文法と学習しにくい語彙を学習します。本授業は、日本語の中級から上級レベルの文法や語彙に自信がなく、書いたり話したりすることに不安のある人、もう一度、基礎から日本語力を固めたい人を対象として想定しています。	
		文法・語彙Ⅲ（完成）	雑誌記事を使用し、語彙の増加を目指します。授業では、雑誌「Newton」連載のコラムを使用し、内容理解、語彙の意味用法の確認した後、作文やスピーチ等において学習した語彙を実際に使いこなすためのトレーニングを行います。	
		発表・討論Ⅰ（応用）	典型的な論文の構成に従って口頭発表する際の表現を学ぶ。授業では、発表の例を聞いてメモを取り、口頭発表の流れを把握する。さらに、そこで使われる表現に注目して、どのように日本語で発表を展開させていくか学んだ後、実際に発表の練習をする。	
		発表・討論Ⅱ（完成）	大学における発表場面での効果的・効率的な話の進め方を学ぶ。社会の状況や制度などについて、内容を整理してわかりやすい談話構成（話の流れ）で述べる練習をする。さらに、その練習を通して、そのような話題や談話構成で話す場合に役立つ表現を身につける。	
		医療福祉専門漢字	医療福祉分野の専門用語で使われる漢字の中で、読み書きの難しい約300字について学習します。漢字のレベルは日本語能力試験1級以上の漢字約229字を含みます。	
		医療福祉専門語彙	医療従事者の国家試験過去問題を使用し、専門領域の語彙に関する日本語面からの支援を実施します。 1. 出現頻度順の学習：国家試験における出現頻度を調査し、多く使われる用語から学習します。2. 語彙の難易順の学習：語彙に対するなじみの程度をもとに難易度別に用語を学習します。 本クラスは、日本語面の支援になります。専門領域の概念に関しては、各専門科目の内容も参照しながら学習を進めていってください。	

科目 区分		授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
総合 教育 科目	外国 語 系	日本語基礎Ⅰ（初級）		初歩的な文法・漢字・語彙を習得し、簡単な会話ができ、平易な文、又は短い文章が読み書きできるようになることを目標とします。具体的な技能別目標は次の通りです。 （１）日常生活：簡単な文型を使って、「あいさつ」「買い物」「郵便局で」などの日常会話ができるようになる。（２）言語知識：日本語能力試験４級程度（280点）以上の日本語能力。（３）話す：簡単な日常会話ができるようになる。（４）聞く：簡単な質問を聞き取り、それに答えられるようになる。（５）読む：日常目にする短い文章を読んで理解することができるようになる。（６）書く：簡単な文型を使って、自分のことが表現できるようになる。	
		日本語基礎Ⅱ（初級）		基本的な文法・漢字・語彙を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできるようになることを目標とします。具体的な技能別目標は次の通りです。 （１）日常生活：基本的な文型を使って場面に応じた簡単な会話ができるようになる。（２）言語知識：日本語能力試験３級程度（240点以上）の日本語能力。（３）話す：基本文型を使い、場面に応じた適切な会話ができるようになる。（４）聞く：「買い物」「役所」「旅行先」などで簡単な説明が聞き取れるようになる。（５）読む：パンフレットなど簡単な説明文を読んで理解することができるようになる。（６）書く：役所や銀行などの申し込み書に必要事項が記入できるようになる。簡単な手紙が書けるようになる。	

学校法人国際医療福祉大学 設置認可等に関わる組織の移行表

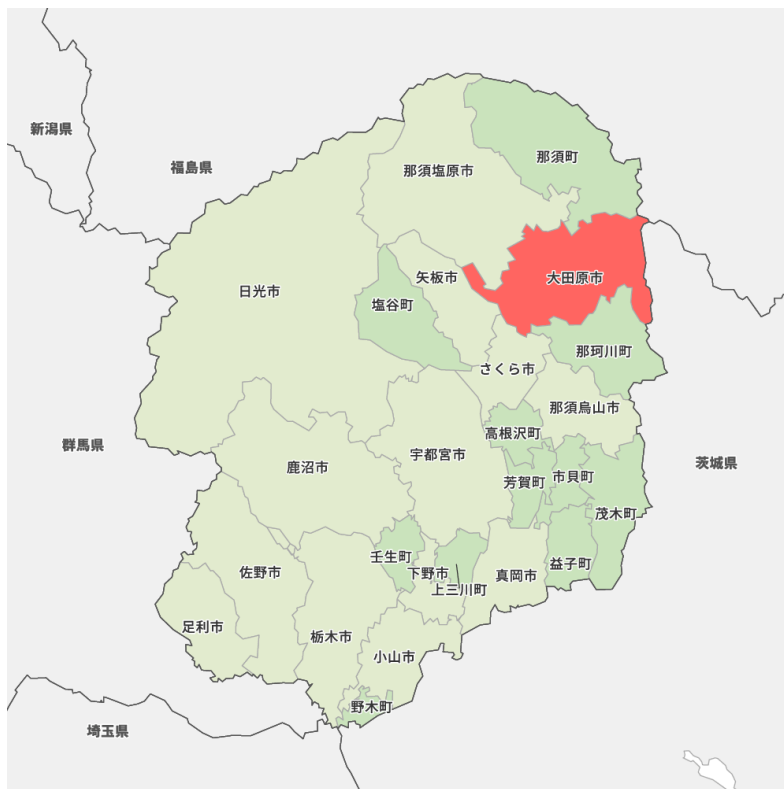
令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
国際医療福祉大学					国際医療福祉大学				
保健医療学部					保健医療学部				
看護学科	115	-	460		看護学科	115	-	460	
理学療法学科	100	-	400		理学療法学科	100	-	400	
作業療法学科	80	-	320		作業療法学科	80	-	320	
言語聴覚学科	80	-	320		言語聴覚学科	80	-	320	
視機能療法学科	50	-	200		視機能療法学科	50	-	200	
放射線・情報科学科	110	-	440		放射線・情報科学科	110	-	440	
					医学検査学科	80	-	320	学部の学科の設置(届出)
医療福祉学部		3年次		→	医療福祉学部		3年次		
医療福祉・マネジメント学科	140	5	570		医療福祉・マネジメント学科	140	5	570	
薬学部					薬学部				
薬学科	180	-	1080		薬学科	180	-	1080	
医学部					医学部				
医学科	140	-	840		医学科	140	-	840	
成田看護学部				→	成田看護学部				
看護学科	100	-	400		看護学科	100	-	400	
成田保健医療学部					成田保健医療学部				
理学療法学科	80	-	320		理学療法学科	80	-	320	
作業療法学科	40	-	160		作業療法学科	40	-	160	
言語聴覚学科	40	-	160		言語聴覚学科	40	-	160	
医学検査学科	80	-	320		医学検査学科	80	-	320	
放射線・情報科学科	50	-	200		放射線・情報科学科	50	-	200	
成田薬学部					成田薬学部				
薬学科	120	-	720		薬学科	120	-	720	
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部					赤坂心理・医療福祉マネジメント学部				
心理学科	60	-	240		心理学科	60	-	240	
医療マネジメント学科	60	-	240		医療マネジメント学科	60	-	240	
小田原保健医療学部					小田原保健医療学部				
看護学科	80	-	320		看護学科	80	-	320	
理学療法学科	80	-	320		理学療法学科	80	-	320	
作業療法学科	40	-	160		作業療法学科	40	-	160	
福岡保健医療学部					福岡保健医療学部				
看護学科	60	-	240		看護学科	60	-	240	
理学療法学科	50	-	200		理学療法学科	50	-	200	
作業療法学科	30	-	120		作業療法学科	30	-	120	
医学検査学科	80	-	320		医学検査学科	80	-	320	
福岡薬学部					福岡薬学部				
薬学科	120	-	720		薬学科	120	-	720	
計	2,165	5	9,790		計	2,245	5	10,110	
国際医療福祉大学大学院					国際医療福祉大学大学院				
医学研究科					医学研究科				
公衆衛生学専攻(M)	0	-	0		公衆衛生学専攻(P)	0	-	0	令和6年4月学生募集停止
公衆衛生学専攻(P)	20	-	40		公衆衛生学専攻(P)	20	-	40	
医学専攻(D)	20	-	80		医学専攻(D)	20	-	80	
医療福祉学研究科				→	医療福祉学研究科				
保健医療学専攻(M)	200	-	400		保健医療学専攻(M)	200	-	400	
医療福祉経営専攻(M)	50	-	100		医療福祉経営専攻(M)	50	-	100	
臨床心理学専攻(M)	35	-	70		臨床心理学専攻(M)	35	-	70	
保健医療学専攻(D)	80	-	230		保健医療学専攻(D)	80	-	230	
薬科学研究科					薬科学研究科				
生命薬科学専攻(M)	5	-	10		生命薬科学専攻(M)	5	-	10	
薬学研究科					薬学研究科				
医療・生命薬学専攻(D)	5	-	20		医療・生命薬学専攻(D)	5	-	20	
計	415		950		計	415		950	
国際医療福祉大学塩谷看護専門学校					国際医療福祉大学塩谷看護専門学校				
医療専門課程					医療専門課程				
看護学科	40	-	120		看護学科	40	-	120	
計	40		120		計	40		120	

(1) 都道府県内における位置関係の図面

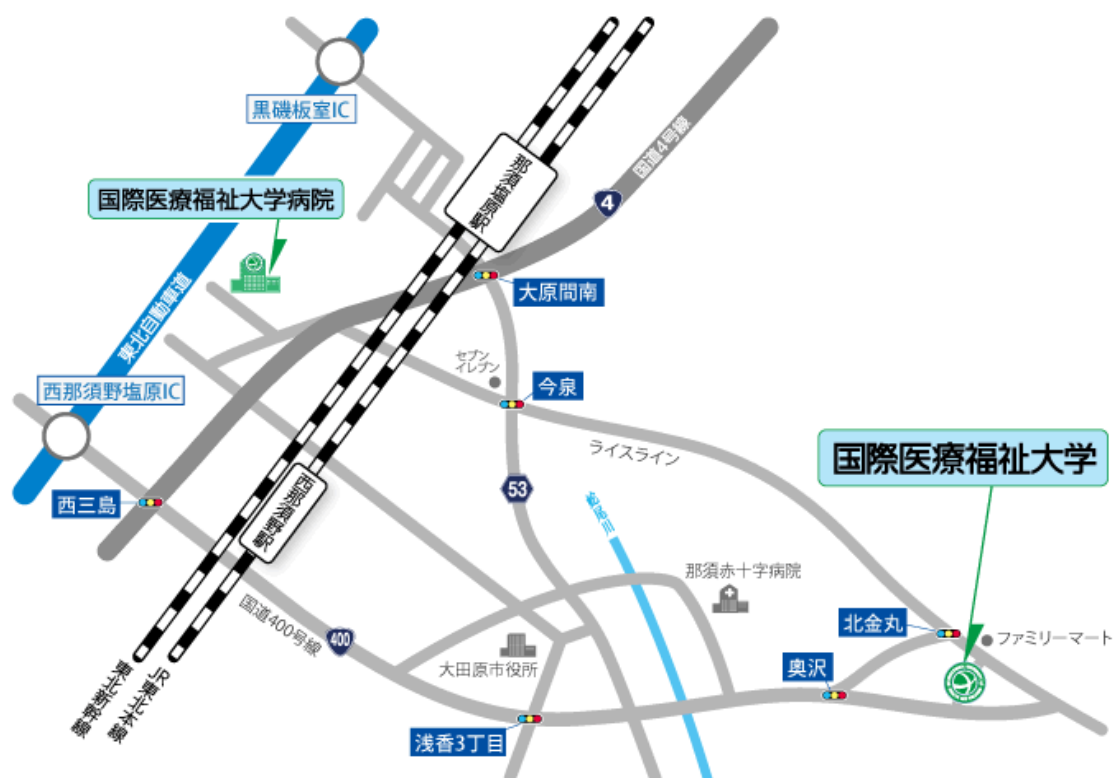
1) 関東における栃木県の位置



2) 栃木県内における大田原市の位置



(2) 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図



那須塩原駅と大学間にスクールバスを運行しています（所要時間 約 20 分）。

※約 10 km

在学生をはじめ、お客様や受験生も利用いただけるほか、教職員も利用している。

〈運行区間〉 那須塩原駅東口⇄国際医療福祉大学 大田原キャンパス

〈運行日〉 毎日（土日も運行。但し 12/28～1/3 を除く）

〈料金〉 無料

(3) 校舎・運動上等の配置図



- ①校地 867,678 m²
- ②校舎 213,195 m²
- ③屋外運動場 88,802 m²

国際医療福祉大学学則（案）

第1章 総 則

第1節 目的

（目的）

第1条 国際医療福祉大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成するとともに、学術文化の向上と国際社会の保健医療福祉に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。

（自己評価等）

第1条の2 本学の目的を達するために、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 点検及び評価については、別に定める。

3 本学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

（情報の公開）

第1条の3 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公開するものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第1条の4 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行う。

（社会的・職業的自立に関する指導等）

第1条の5 本学は、学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。

（研修の機会等）

第1条の6 本学は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得・向上させるための研修の機会を設けることとその他の必要な取組を行う。

第2節 組織

（学部）

第2条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

一 保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

二 医療福祉学部

医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各

分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、医療福祉の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等の人材を育成する。

三 薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

四 福岡保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学及び医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士及び臨床検査技師等の人材を育成する。

五 小田原保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士等の人材を育成する。

六 成田看護学部

看護学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師等の人材を育成する。

七 成田保健医療学部

理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、医学検査学及び放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

八 医学部

医学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国際的な素養を身につけ医学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医師を育成する。

九 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

心理学、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、心理に関する支援もしくは医療福祉の実践を、チームで担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた公認心理師、認定心理士、カウンセラー等の心理の専門職業人、医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人等の人材を育成する。

十 福岡薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

十一 成田薬学部

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、国内外で薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

2 前項の学部置く学科及びその学生定員は、別表のとおりとする。

(大学院)

第2条の2 本学に、大学院を置く。

2 大学院に関する学則は、別に定める。

(別科)

第2条の3 本学に留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科を置く。

2 留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科に関する事項は、別に定める。

(図書館)

第3条 本学に、図書館を置く。

2 図書館に関する事項は、別に定める。

(附属施設)

第3条の2 本学に、次の附属施設を置く。

国際医療福祉大学病院

国際医療福祉大学熱海病院

国際医療福祉大学三田病院

国際医療福祉大学塩谷病院

国際医療福祉大学市川病院

国際医療福祉大学成田病院

国際医療福祉大学クリニック

国際医療福祉大学健康管理センター

国際医療福祉大学介護老人保健施設マロニエ苑

国際医療福祉大学にしなすの総合在宅ケアセンター

国際医療福祉大学社会保障政策研究所

国際医療福祉大学人口戦略研究所

国際医療福祉大学ゲノム医学研究所

国際医療福祉大学トランスレーショナルニューロサイエンスリサーチセンター

国際医療福祉大学循環器バイオバンクリサーチセンター

2 附属施設に関する事項は、別に定める。

第3条の3 本学に、総合教育、情報教育、臨床教育等の教育研究に関するセンターを置くことができる。

2 センターに関する事項は、別に定める。

(事務局)

第4条 本学に、事務局を置く。

第3節 職員組織

(職員)

第5条 本学に、学長を置く。学長は、校務をつかさどり所属職員を統督する。

2 本学に、学長を補佐するため、副学長を置くことができる。

- 3 本学に、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及び技術職員を置く。
- 4 本学に、特任教授、客員教授、非常勤講師及びその他必要な職員を置くことができる。
- 5 本学に、名誉教授を置くことができる。

(職員組織)

第6条 学部、学部長を置く。学部長は、学長の指示を受けて、学部に関する校務を掌理する。

- 2 学部の学科に、学科長を置く。学科長は、学部長を補佐し、学科の校務を掌理する。
- 3 学部に、副学部長、学科に副学科長を置くことができる。
- 4 図書館に、図書館長を置く。
- 5 国際医療福祉大学病院、国際医療福祉大学熱海病院、国際医療福祉大学三田病院、国際医療福祉大学塩谷病院、国際医療福祉大学市川病院及び国際医療福祉大学成田病院に、それぞれ病院長を置く。
- 6 国際医療福祉大学クリニックに院長を、国際医療福祉大学健康管理センターにセンター長を置く。
- 7 国際医療福祉大学介護老人保健施設マロニエ苑、国際医療福祉大学にしなすの総合在宅ケアセンターにそれぞれ施設長を置く。
- 8 研究所に、研究所長を置く。
- 9 事務局に、事務局長を置く。

第4節 管理運営委員会、学部長・学科長会議、教授会及び学科会

(管理運営委員会)

第7条 本学の管理運営に関する重要事項を審議し、理事会との連絡調整を図るため、本学に管理運営委員会を置く。

- 2 管理運営委員会は、学長、総長、副学長、大学院長、副大学院長、研究科長、学部長、附属病院長、顧問、学長が指名した学科長、常任理事、理事長が指名した理事及び事務局長をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、専任の職員を加えることができる。
- 3 管理運営委員会は、学長が招集し、その議長となる。
学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名した者がこれに代わるものとする。

4 管理運営委員会は、次の事項を審議する。

- 一 学則その他の重要な規則の制定、改廃に関する事項
- 二 大学院及び学部・学科の重要な組織の設置及び廃止に関する事項
- 三 本学の重要な施設の設置及び廃止に関する事項
- 四 教員人事の基準及び調整に関する事項
- 五 学生の定員に関する事項
- 六 学生の身分及びその厚生補導に関する重要事項
- 七 理事会の諮問事項
- 八 附属病院の運営に関する重要事項
- 九 その他、本学の運営に関する重要事項

5 学長は、管理運営委員会において審議された重要事項を常任理事会に報告する。

(学部長・学科長会議)

第8条 学部、学科の教学に関する事項について、連絡調整及び協議するため、学部ごと又は複数学部にもたがって学部長・学科長会議を置く。

- 2 学部長・学科長会議は、学長、副学長、学部長、副学部長、学科長及び学長が指名する専任教員をもって構成する。ただし、学部ごとに置く学部長・学科長会議は、当該学部長、学科長をもって構成することができる。
- 3 学部長・学科長会議は、学長が招集し、その議長となる。ただし、学長が認めた場合には、学部ごとに置く学部長・学科長会議は、当該学部長が招集し、その議長となることができる。
- 4 学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名する副学長がこれに代わるものとする。

(教授会)

第9条 本学に、学部ごと又は複数学部にまたがって教授会を置く。

- 2 教授会は、学長、副学長、学部長、副学部長及び学部の専任教授をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、専任の教員を加えることができる。
- 3 教授会は、学長が招集し、その議長となる。学長が議長を務めることができない場合は、学長が指名した者がこれに代わるものとする。
- 4 教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - 一 学生の入学、卒業及び課程の修了
 - 二 学位の授与
 - 三 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの。
- 5 教授会は、前項に規定するものの他、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 6 教授会に関する事項は、別に定める。

(学科会)

第10条 学科内の教学に関する事項について、連絡調整及び協議するため、学科に学科会を置く。

- 2 学科会は、学科の専任教員をもって構成する。

(委員会)

第11条 本学に、学長の諮問機関として委員会を置くことができる。

第5節 学年、学期及び休業日

(学年)

第12条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第13条 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から3月31日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、医学部医学科については、次の3学期とする。

1学期 4月1日から8月31日まで

2学期 9月1日から12月31日まで

3学期 1月1日から3月31日まで

(休業日)

第14条 休業日は、次のとおりとする。

- 一 日曜日
- 二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に定める休日
- 三 本学創立記念日（5月1日）
- 四 春期休業日（3月1日から3月31日まで）
- 五 夏期休業日（8月1日から9月20日まで）
- 六 冬期休業日（12月25日から1月6日まで）

2 学長は、学部在教育上の必要に応じ、前項各号の休業日を変更し、又は休業日に授業を行い、若しくは臨時に休業日を定めることができる。

第2章 学部通則

第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第15条 保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の修業年限は、4年とする。ただし、第22条に規定する場合を除く。

2 薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部の修業年限は、6年とする。ただし、第22条に規定する場合を除く。

(在学年限)

第16条 学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては8年を、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては12年をそれぞれ超えて在学することができない。ただし、第22条第1項の規定により入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

2 薬学部、成田薬学部及び福岡薬学部においては、前項のほか、同一年次における在学年限を2年とする。ただし、5年次及び6年次については、通算で4年とする。

3 医学部においては、第1項のほか、同一年次における在学年限を2年とする。ただし、4年次及び5年次については、通算で4年とする。

第2節 入学

(入学の時期)

第17条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別な場合は、学期の始めに入学を許可することがある。

(入学の資格)

第18条 各学科第1学年に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- 三 外国において学校教育による12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学

大臣の指定したもの

四 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者

五 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

六 文部科学大臣の指定した者

七 高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

八 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達したもの

（入学の出願）

第１９条 入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて、指定期日までに本学に願出しなければならない。

（入学者の選考）

第２０条 入学者の選考は、学力試験、その他の方法による。

２ 選考の方法は、別に定める。

（入学手続及び入学許可）

第２１条 前条の選考に合格した者は、指定された期日までに、入学金、授業料、その他の学費に保証人連署の誓約書など所定の書類を添えて、入学手続を完了しなければならない。

２ 学長は、前項の入学手続を完了した者について、入学を許可する。

（編入学、転入学、再入学）

第２２条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願するものがあるときは、欠員のあつた場合に限り、選考のうえ、相当年次に入学を許可することがある。

一 大学を卒業した者又は退学した者

二 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者

三 学校教育法施行規則第９２条の３（昭和２２年文部省令第１１号）に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者

２ 前項の規定にかかわらず、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科においては、前項第一号、第二号及び別に定める入学資格に該当する者で、第３年次に入学を志願するものがあるときは、選考のうえ、入学を許可する。

３ 前２項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

第３節 教育課程、単位及び履修方法等

（教育課程）

第２３条 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目、自由科目に分け、これを、各学年次に配当して編成するものとする。

（授業科目の区分）

第２４条 授業科目を分けて、総合教育科目、専門教育科目とする。

(授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数)

第25条 授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数は、別に定める。

(授業の方法)

第26条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技等により行うものとする。

(単位計算方法)

第27条 授業科目の単位計算方法は、次の基準によるものとする。

- 一 講義については、15時間をもって1単位とする。ただし、外国語科目の講義については、30時間をもって1単位とする。
- 二 演習については、30時間をもって1単位とする。
- 三 実験、実習、体育実技等については、45時間をもって1単位とする。
- 四 教育上必要があるときは、講義については30時間の講義、演習については15時間の演習、実験・実習・体育実技については30時間の実験・実習・体育実技をもって1単位とすることができる。
- 五 卒業論文、卒業研究等の授業科目については、単位を授与する。
単位数は、学科ごとに別に定める。

(単位の認定、科目の修得及び評価)

第28条 授業科目を履修し、その試験、又は論文等の審査に合格した者には、所定の単位を与える。

- 2 前項の規定にかかわらず、平常点をもって試験に代えることを認められた科目については、この限りでない。
- 3 試験に関する事項は、別に定める。

(成績の評価)

第29条 成績の評価は、秀(S)、優(A)、良(B)、可(C)、不可(D)の5種とし、秀(S)、優(A)、良(B)、可(C)を合格、不可(D)を不合格とする。

(授業日数)

第30条 毎学年の授業日数は、定期試験の日数を含め、35週以上とする。

(履修方法)

第31条 学生は、保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては本学に4年以上、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に6年以上在学し、各学科所定の授業科目を履修しなければならない。

- 2 前項の履修方法については、別に定める履修規程の定めるところによる。

(メディアを利用して行う授業)

第31条の2 メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日に情報機器その他の通信手段によって行う。

- 2 前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第32条 学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学した場合に準用する。

(大学以外の教育施設における学修)

第33条 学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第34条 学生が本学に入学する前に大学、短期大学、高等専門学校又は大学設置基準第29条第1項の規定による専修学校において履修した授業科目について修得した単位(第51条の規定により修得した単位を含む)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第32条第1項及び第2項並びに前条第1項により、本学で修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第4節 休学、転学、留学、除籍及び退学

(休学)

第35条 病気その他やむを得ない事由により、引き続き3か月以上修学できない見込みの者は、所定の手続により、学長の許可を得て休学することができる。

2 病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第36条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、やむを得ない事由があるときは、許可を得て更に1年以内に限り、期間を延長することができる。

2 休学の期間は、通算して、4年を超えることはできない。

3 休学の期間は、第16条の在学年限に算入しない。

4 休学期間中にその理由が消滅した場合は、所定の手続により、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第37条 本学から他の大学へ転学しようとする者は、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。

(転学部、転学科)

第38条 本学内において、他の学部、学科への転学部、転学科を志願する者があるときは、教授会において選考のうえ、学長が転学部、転学科を許可することがある。

2 転学部、転学科の許可を受けた者の修業年限及び既に取得した単位の取扱は、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

(留学)

第39条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第42条に定める在学期間を含めることができる。

3 留学に関する事項は、別に定める。

(退学)

第40条 退学しようとする者は、その事由を付して、保証人連署のうえ、所定の様式により学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(除籍)

第41条 次の各号の一に該当する者は、教授会の意見を聴いて、学長が除籍する。

- 一 学生納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- 二 第16条に定める在学年限を超えた者
- 三 長期間にわたり行方不明の者
- 四 第36条第2項に定める休学の期間を超えてもなお修学できない者
- 五 死亡した者

第5節 卒業及び学士の学位

(卒業)

第42条 保健医療学部、医療福祉学部、福岡保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部においては、本学に4年以上、薬学部、成田薬学部、福岡薬学部及び医学部においては本学に6年以上それぞれ在学し、別に定める卒業に必要な単位を修得した者について、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。

(学士の学位)

第43条 学士の学位については、別に定める。

(教育職員免許状)

第43条の2 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 前項の規定により所要の単位を修得した者が教育職員免許状を取得できる学部学科、教育職員免許状の種類は次のとおりとする。

学部学科	教育職員免許状の種類
小田原保健医療学部看護学科	養護教諭1種免許状

第6節 賞罰

(表彰)

第44条 学生として表彰に値する行為があった者には、学長は、教授会の意見を聴いて、表彰することができる。

(懲戒)

第45条 本学の諸規程に違背し、若しくは秩序を乱し、又は学生の本分に反する行為をした者は、教授会の意見を聴いて、学長がこれを懲戒する。

2 懲戒は、情状により退学、停学、譴責及び戒告とする。

3 前項の退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。

- 一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- 二 学業劣等で成業の見込みがないと認められる者

三 正当の理由なくして出席常でない者

四 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 停学期間は在学年限に算入し、修業年限には算入しないものとする。ただし、停学期間が3か月未満の場合は、修業年限に算入することができる。

第7節 厚生補導

(学生指導)

第46条 本学は、学生の福利厚生並びに学生生活全般の指導の適切かつ円滑な実施を図るものとする。

2 前項に関する事項は別に定める。

(保健管理)

第47条 本学に保健室を置き、学生の保健管理を行う。

第8節 施設利用及び寄宿舍

(施設利用)

第48条 本学の施設は、本学の学生及び職員が使用できる。ただし、本学の運営に支障のない限りにおいて、一般市民の利用に供することができる。

(寄宿舍)

第48条の2 本学に寄宿舍を置くことができる。

2 前項に関する事項は別に定める。

第9節 研究生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生

(研究生)

第49条 本学において、特定の課題について研究することを志願する者があるときは、学部の教育研究に支障のない限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者、又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究期間は、1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

(聴講生)

第50条 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、本学の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、聴講生として入学を許可することができる。

2 聴講生は学期ごとに許可する。

(科目等履修生)

第51条 本学の学生以外の者で、本学において一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、教育・研究に支障がない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として、入学を許可することができる。

2 前項の科目等履修生に対し単位を与えることができる。

3 科目等履修生に対する単位の授与については、第28条の規定を準用する。

(外国人留学生)

第52条 外国人で、大学において教育を受ける目的で入国し、本学に入学を志願する者がある

ときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可する。

第10節 入学検定料及び学生納付金

(入学検定料及び学生納付金)

第53条 入学検定料及び学生納付金については、別に定める。

第54条 削除

(免除等)

第55条 学業優秀である者若しくは経済的理由によって納付が困難な者に対しては、学生納付金の一部又は全部を免除し、徴収を猶予することがある。

2 休学期間中及び留学期間中は、授業料の3分の2を免除する。

(退学等の場合の学生納付金)

第56条 学年の中途において退学し、転学し、又は停学若しくは退学を命ぜられた者もその学年の学生納付金を納めなければならない。

(研究生、聴講生及び科目等履修生の入学検定料及び学生納付金)

第57条 研究生、聴講生及び科目等履修生の入学検定料及び学生納付金については、別に定める。

(返還)

第58条 納付した入学検定料及び学生納付金は、返還しない。

第11節 奨学金

(奨学金)

第59条 本学に奨学金の制度を設けることができる。

2 奨学金の支給は、品行方正で学業優秀な学生に対して行う。

第12節 公開講座及び各種講習会等

(公開講座、各種講習会等)

第60条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座、各種講習会を開催することができる。

2 社会人の再教育及び教育研究活動に資するため、特別講座等を開催することができる。

第3章 補 則

(補則)

第61条 この学則の実施に関し必要な細目は、別に定める。

附 則

1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。

2 第2条第2項に規定する収容定員は、同条にかかわらず、平成7年度から平成10年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
保健学部				
看護学科	100名	200名	300名	400名

理学療法学科	80 名	160 名	240 名	320 名
作業療法学科	80 名	160 名	240 名	320 名
言語聴覚障害学科	80 名	160 名	240 名	320 名
放射線・情報科学科	100 名	200 名	300 名	400 名
合 計	440 名	880 名	1320 名	1760 名

附 則

- 1 この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 2 条第 2 項に規定する医療福祉学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成 9 年度から平成 11 年度までは、それぞれ次のとおりとする。

平成 9 年度 平成 10 年度 平成 11 年度

医療福祉学部

医療経営管理学科	100 名	200 名	300 名
医療福祉学科	100 名	200 名	300 名
合 計	200 名	400 名	600 名

附 則

この学則は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 2 条第 2 項に規定する保健学部視機能療法学科及び医療福祉学部医療福祉学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成 14 年度から平成 16 年度までは、それぞれ次のとおりとする。

平成 14 年度 平成 15 年度 平成 16 年度

視機能療法学科	40 名	80 名	120 名
医療福祉学科	440 名	480 名	520 名

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 53 条の規定（入学検定料、授業料等）は、平成 15 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 2 条第 2 項に規定する薬学部及びリハビリテーション学部の収容定員は、同条にかかわら

ず、平成17年度から平成19年度までは、それぞれ次のとおりとする。

平成17年度 平成18年度 平成19年度

薬学部

薬学科	150名	300名	450名
合 計	150名	300名	450名

リハビリテーション学部

理学療法学科	40名	80名	120名
作業療法学科	40名	80名	120名
合 計	80名	160名	240名

- 3 第53条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成16年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する薬学部及び小田原保健医療学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成18年度から平成22年度までは、それぞれ次のとおりとする。

平成18年度 平成19年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度

薬学部

薬学科	330名	510名	690名	720名	900名
合 計	330名	510名	690名	720名	900名

小田原保健医療学部

看護学科	50名	100名	150名
理学療法学科	40名	80名	120名
作業療法学科	40名	80名	120名
合 計	130名	260名	390名

- 3 第15条第2項の規定にかかわらず、平成17年度薬学部入学者については、なお従前の例による。
- 4 薬学部（4年制）は、平成18年度から学生募集を停止する。ただし、薬学部（4年制）の平成18年度から平成20年度までの収容定員は、次のとおりとする。

平成18年度 平成19年度 平成20年度

薬学部

薬学科	150名	150名	150名
-----	------	------	------

- 5 第25条（授業科目等）の規定は、平成17年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡リハビリテーション学部理学療法学科、言語聴覚学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成19年度から平成21年度までは、次のとおりとする。

平成19年度 平成20年度 平成21年度

福岡リハビリテーション学部

理学療法学科	160 名	240 名	280 名
言語聴覚学科	40 名	80 名	120 名

- 3 第25条（授業科目等）の規定は、平成18年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成19年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科及び福岡看護学部看護学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成21年度から平成23年度までは、次のとおりとする。

平成21年度 平成22年度 平成23年度

医療福祉学部

医療福祉・マネジメント学科	160 名	320 名	485 名
---------------	-------	-------	-------

福岡看護学部

看護学科	80 名	160 名	240 名
------	------	-------	-------

- 3 医療福祉学部医療経営管理学科、医療福祉学科は、平成21年度から学生募集を停止する。ただし、医療福祉学部医療経営管理学科、医療福祉学科の平成21年度から平成23年度までの収容定員は、次のとおりとする。

平成21年度 平成22年度 平成23年度

医療経営管理学科	300 名	200 名	100 名
----------	-------	-------	-------

医療福祉学科	425 名	280 名	140 名
--------	-------	-------	-------

- 4 第25条（授業科目等）の規定は、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 5 第53条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成21年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 第53条（入学検定料、授業料等）の規定は、平成21年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。

- 3 第53条（入学検定料・授業料等）の規定は、平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 第25条（授業科目等）の規定は、平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 第53条（入学検定料・授業料等）の規定は、平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡保健医療学部医学検査学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成25年度から平成27年度までは、次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
福岡保健医療学部			
医学検査学科	80名	160名	240名

附 則

- 1 医療福祉学部医療経営管理学科及び医療福祉学科については平成26年3月31日をもって廃止する。

附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する小田原保健医療学部看護学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成27年度から平成29年度までは、次のとおりとする。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小田原保健医療学部			
看護学科	230名	260名	290名

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡看護学部、成田看護学部及び成田保健医療学部の収容定員は、同条にかかわらず、平成28年度から平成30年度までは、次のとおりとする。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
福岡看護学部			
看護学科	340名	360名	380名
合 計	340名	360名	380名

成田看護学部

看護学科	100 名	200 名	300 名
合 計	100 名	200 名	300 名

成田保健医療学部

理学療法学科	80 名	160 名	240 名
作業療法学科	40 名	80 名	120 名
言語聴覚学科	40 名	80 名	120 名
医学検査学科	80 名	160 名	240 名
合 計	240 名	480 名	720 名

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 5 月 23 日から施行する。

附 則

- この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 2 条第 2 項に規定する保健医療学部看護学科、保健医療学部理学療法学科、保健医療学部視機能療法学科、保健医療学部放射線・情報科学科、小田原保健医療学部理学療法学科及び医学部医学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成 29 年度から平成 33 年度までは、次のとおりとする。

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
保健医療学部			
看護学科	415 名	430 名	445 名
理学療法学科	340 名	360 名	380 名
視機能療法学科	170 名	180 名	190 名
放射線・情報科学科	420 名	440 名	460 名
小田原保健医療学部			
理学療法学科	200 名	240 名	280 名

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
医学部					
医学科	140 名	280 名	420 名	560 名	700 名
合 計	140 名	280 名	420 名	560 名	700 名

附 則

この学則は、平成 29 年 9 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部心理学科及び医療マネジメント学科の収容定員は、同条にかかわらず、平成30年度から平成32年度までは、次のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
医療福祉学部			
医療福祉・マネジメント学科	630人	610人	590人
合計	630人	610人	590人
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部			
心理学科	60人	120人	180人
医療マネジメント学科	60人	120人	180人
合計	120人	240人	360人

附 則

- 1 この学則は、令和2（2020）年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡保健医療学部理学療法学科、福岡薬学部薬学科、保健医療学部放射線・情報科学科及び成田保健医療学部放射線・情報科学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和2年度から令和6年度までは、次のとおりとする。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
福岡保健医療学部					
理学療法学科	300名	280名	260名		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福岡薬学部					
薬学科	120名	240名	360名	480名	600名
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
保健医療学部					
放射線・情報科学科	470名	460名	450名		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
成田保健医療学部					
放射線・情報科学科	50名	100名	150名		

附 則

この学則は、令和2（2020）年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和5（2023）年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する福岡保健医療学部看護学科、理学療法学科、作業療法学科及び言語聴覚学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和5年度から令和7年度までは、それぞれ次のとおりとする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
福岡保健医療学部			
看護学科	60名	120名	180名
理学療法学科	230名	220名	210名
作業療法学科	150名	140名	130名
言語聴覚学科	120名	80名	40名

附 則

この学則は、令和5（2023）年5月23日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和6（2024）年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する成田薬学部薬学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和6年度から令和10年度までは、次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
成田薬学部					
薬学科	120名	240名	360名	480名	600名

附 則

- 1 この学則は、令和7（2025）年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に規定する保健医療学部医学検査学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和7年度から令和9年度までは、次のとおりとする。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
保健医療学部			
医学検査学科	80名	160名	240名

別 表

学部名	学科等名	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
保健医療学部	看護学科	115	－	460
	理学療法学科	100	－	400
	作業療法学科	80	－	320
	言語聴覚学科	80	－	320
	視機能療法学科	50	－	200
	放射線・情報科学科	110	－	440
	医学検査学科	80	－	320
	合 計	615	－	2,460
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科 (うち 介護福祉コース)	140 (40)	5 (－)	570 (160)
	合 計	140	5	570
薬学部	薬学科	180	－	1,080
	合 計	180	－	1,080
医学部	医学科	140	－	840
	合 計	140	－	840
成田看護学部	看護学科	100	－	400
	合 計	100	－	400
成田保健医療学部	理学療法学科	80	－	320
	作業療法学科	40	－	160
	言語聴覚学科	40	－	160
	医学検査学科	80	－	320
	放射線・情報科学科	50	－	200
	合 計	290	－	1,160
成田薬学部	薬学科	120	－	720
	合 計	120	－	720
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	心理学科	60	－	240
	医療マネジメント学科	60	－	240
	合 計	120	－	480
小田原保健医療学部	看護学科	80	－	320
	理学療法学科	80	－	320
	作業療法学科	40	－	160
	合 計	200	－	800
福岡保健医療学部	看護学科	60	－	240
	理学療法学科	50	－	200
	作業療法学科	30	－	120
	言語聴覚学科	0	－	0
	医学検査学科	80	－	320
	合 計	220	－	880
福岡薬学部	薬学科	120	－	720
	合 計	120	－	720

国際医療福祉大学学位規程（案）

（目的）

第1条 この規程は、学位規則（昭和28年文部省令第9号）、国際医療福祉大学学則（以下「大学学則」という。）第43条及び国際医療福祉大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第10条第2項に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）が授与する学位について必要な事項を定めることを目的とする。

（学位）

第2条 本学において授与する学位は、学士、修士、博士及び修士（専門職）とする。

2 学士の学位は、別表1のとおりとする。

3 修士の学位は、別表2のとおりとする。

4 博士の学位は、別表3のとおりとする。

5 修士（専門職）の学位は、別表4のとおりとする。

（学士の学位授与の要件）

第3条 学士の学位は、大学学則第42条により本学を卒業した者に授与する。

（修士の学位授与の要件）

第4条 修士の学位は、大学院学則第8条第1項及び第3項により修士課程を修了した者に授与する。

（博士の学位授与の要件）

第5条 博士の学位は、大学院学則第8条第4項、第5項、第6項及び第7項により博士課程を修了した者には、甲種の学位を授与する。

2 前項に定める者のほか、学位は、別に定める資格を持ち、本学に学位論文を提出して、その審査に合格した者には、乙種の学位を授与することができる。

3 前2項の規定にかかわらず、本学大学院の博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、退学した日から3年以内に学位論文を提出し、その審査に合格した場合には、第1項によるものと同様に甲種の学位を授与する。

（修士（専門職）の学位授与の要件）

第6条 修士（専門職）の学位は、大学院学則第8条第2項及び第3項により修士課程（専門職学位課程）を修了した者に授与する。

（学位論文の提出）

第7条 第4条及び前条第1項による者の学位論文は、研究科長に提出するものとする。

2 前条第2項及び第3項の規定により、学位の授与を申請する者は、学位申請書に学位論文、論文要旨、履歴書及び別に定める学位論文審査料を添え、研究科長に提出しなければならない。

（学位論文）

第8条 博士及び修士の学位論文は、1篇に限る。ただし、参考として、他の論文を添付することができる。

2 受理した学位論文等及び既に納付された学位論文審査料は、返還しない。

3 審査のため必要があるときは、学位論文の副本、訳文、模型又は標本等の資料を提出させることがある。

（審査員）

第9条 研究科会議は、第7条第2項の規定により、学位論文が審査に付されたときは、当該研究科の教員のうちから、3人以上の審査員を選任し、学位論文の審査及び試験を委託しなければならない。

2 研究科会議が必要と認めたときは、前項の規定にかかわらず、本学の教員又は教

員であった者を学位論文の審査及び試験の審査員に委嘱することができる。

3 研究科会議は必要と認めたときは、第1項の規定にかかわらず、他の大学院又は研究所等の教員等に学位論文の審査を委嘱することができる。

4 研究科会議は、第1項の審査員のうち1人を主任審査員として指名しなければならない。

(審査期間)

第10条 修士の学位の授与に係る論文の審査及び試験は、論文提出後2か月以内に、また、博士の学位の授与に係る論文の審査及び試験は、論文提出後1年以内に終了しなければならない。

(試験)

第11条 修士の学位又は博士の学位の授与を申請した者については、学位論文の審査のほか、面接試験を行う。この試験の方法は研究科会議において定める。

(審査結果の報告)

第12条 修士の学位又は博士の学位に関する審査が終了したときは、審査員はすみやかに審査の結果及び評価に関する意見を記載した審査報告書を研究科会議に提出しなければならない。

(学位論文の判定)

第13条 大学院長は、前条の審査の報告に基づき、研究科会議の審議を経て、学位授与の可否を決定する。

2 前項の判定を行う研究科会議には、構成員の過半数の出席を要し、合格の判定については、出席した構成員の3分の2以上の賛成がなければならない。この場合の定足数の算定に当たっては、外国出張中の者、休職中の者及び所属長の許可を得て出張中の者は、当該研究科会議の構成員の数に算入しない。

3 研究科会議が第1項の可否を決定したときは、大学院長はこれを学長に報告しなければならない。

(学位の授与)

第14条 学長は、前条第3項の規定による報告に基づいて学位を授与し、学位記を交付する。

2 学位を授与できない者には、その旨通知する。

(専門職学位の授与)

第14条の2 専門職学位の授与に関して必要な事項は、専門職学位課程を置く医学研究科において別に定める。

(論文要旨等の公表)

第15条 博士の学位を授与したときは、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査結果の要旨は、インターネットの利用により、当該博士の学位を授与した日から3か月以内にこれを公表する。

(学位論文の公表)

第16条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文をインターネットの利用により、公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に、既に公表されているときは、この限りではない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない理由がある場合には、研究科会議の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えて、その内容を要約したものをインターネットの利用により、公表することができる。この場合、本学はその論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3 第1項の規定により公表する場合は、当該論文に「国際医療福祉大学審査学位論

文（博士）」と、また前項の規定により公表する場合は、当該論文の要旨に、「国際医療福祉大学審査学位論文（博士）の要旨」と明記しなければならない。

（学位の名称）

第17条 本学の授与する学位には、国際医療福祉大学と付記するものとする。

（学位授与の取消）

第18条 本学において博士、修士又は修士（専門職）の学位を授与された者につき、不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は、当該研究科会議の議を経て、すでに授与した学位を取り消し、学位記を返還させるものとする。

2 研究科会議において、前項の議決を行う場合は、第13条第2項の規定を準用する。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成25年5月27日から施行する。

2 第8条及び第9条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2（2020）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4（2022）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5（2023）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6（2024）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7（2025）年4月1日から施行する。

別表1(第2条第2項関係)

学 部	学 科	学 位(専攻分野)
保健医療学部	看護学科	学士(看護学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
	言語聴覚学科	学士(言語聴覚学)
	視機能療法学科	学士(視機能療法学)
	医学検査学科	学士(医学検査学)
	放射線・情報科学科	学士(放射線・情報科学)
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	学士(医療福祉学)、学士(医療マネジメント学)
薬学部	薬学科	学士(薬学)
医学部	医学科	学士(医学)
成田看護学部	看護学科	学士(看護学)
成田保健医療学部	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
	言語聴覚学科	学士(言語聴覚学)
	医学検査学科	学士(医学検査学)
	放射線・情報科学科	学士(放射線・情報科学)
成田薬学部	薬学科	学士(薬学)
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	心理学科	学士(心理学)
	医療マネジメント学科	学士(医療マネジメント学)
小田原保健医療学部	看護学科	学士(看護学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
福岡保健医療学部	看護学科	学士(看護学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
	言語聴覚学科	学士(言語聴覚学)
	医学検査学科	学士(医学検査学)
福岡薬学部	薬学科	学士(薬学)

別表2(第2条第3項関係)

研究科	専 攻	学 位(専攻分野)
医療福祉学研究科	保健医療学専攻	修士(保健医療学)、修士(看護学)、修士(助産学)、 修士(言語聴覚学)、修士(生殖補助医療学)、 修士(医療福祉教育・管理学)、修士(臨床検査学)、修士(災害医療学)、 修士(遺伝カウンセリング学)
	医療福祉経営専攻	修士(医療福祉学)、修士(診療情報管理学)、 修士(医療ビジネス経営学)、修士(医療福祉管理学)、 修士(介護福祉・ケアマネジメント学)、 修士(自立支援介護学)、 修士(自立支援実践ケアマネジメント学)、 修士(医療福祉ジャーナリズム学) 修士(医療通訳・国際医療マネジメント学)
	臨床心理学専攻	修士(臨床心理学)
薬科学研究科	生命薬科学専攻	修士(薬科学)
医学研究科	公衆衛生学専攻	修士(公衆衛生学)、修士(医科学)

別表3(第2条第4項関係)

研究科	専 攻	学 位(専攻分野)
医療福祉学研究科	保健医療学専攻	博士(保健医療学)、博士(看護学)、 博士(助産学)、博士(言語聴覚学)、 博士(生殖補助医療学)、博士(医療福祉教育・管理学)、 博士(臨床検査学)、博士(災害医療学)、博士(医療遺伝学)、 博士(医療福祉経営学)、博士(医療福祉学)、 博士(診療情報管理学)、博士(医療福祉国際協力学)、 博士(介護福祉・ケアマネジメント学)、 博士(臨床心理学)、博士(医療福祉ジャーナリズム学)
薬学研究科	医療・生命薬学専攻	博士(薬学)
医学研究科	医学専攻	博士(医学)

別表4(第2条第5項関係)

研究科	専 攻	学 位
医学研究科	公衆衛生学専攻	公衆衛生学修士(専門職)

国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程
(案)

(目的)

第1条 この規程は、国際医療福祉大学学則第25条に基づき、各学部学科の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定めることを目的とする。

(授業科目等)

第2条 各学部学科の授業科目及び単位数は、別表1のとおりとする。

(卒業に必要な単位数)

第3条 各学部学科の卒業に必要な単位数は、別表2のとおりとする。

2 前項において、国際医療福祉大学学則第31条の2第2項に定める授業科目により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2（2020）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4（2022）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5（2023）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6（2024）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7（2025）年4月1日から施行する。

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 看護学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30		
		演劇論	1 2 3 4		1	15		
		心理学	1 2 3 4		2	30		
		哲学	1 2 3 4		2	30		
		コミュニケーション概論	1	2		30		
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30		
		人間学	1 2 3 4		2	30		
		歴史学	1 2 3 4		2	30		
		倫理学	1 2 3 4		2	30		
		宗教学	1 2 3 4		2	30		
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30		
		文化人類学	1 2 3 4		2	30		
		教育学	1 2 3 4		2	30		
		教育方法論	1 2 3 4		2	30		
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30		
		生きがい論	1 2 3 4		2	30		
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30		
		日本国憲法 ※	1 2 3 4		2	30		
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30		
		社会学	1 2 3 4		2	30		
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30		
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30		
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30		
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30		
		国際関係論	1 2 3 4		2	30		
		世界の経済	1 2 3 4		2	30		
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30		
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30		
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30		
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	2	1		30		
		地球環境論	1 2 3 4		2	30		
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30		
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30		
		手話入門	1 2 3 4		2	30		
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30		
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30		
	自然・情報系	統計学	2	2		30		
		疫学・保健医療統計学	3	2		30		
		数学	1 2 3 4		2	30		
		物理学	1 2 3 4		2	30		
		化学	1 2 3 4		2	30		
		生物学	1 2 3 4		2	30		
		コンピュータの基礎	1	2		30		
		データリテラシー	1	1		30		
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30		
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30		
医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－		1 2 3 4	1		30			
医学／医療史		1 2 3 4		2	30			
人間工学		1 2 3 4		2	30			
総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30			
	郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15			
	医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15			
	メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30			
	総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15			
	総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4		1	15			
	食と人間	1 2		1	15			
	人間と性	1 2 3 4		1	15			
	持続可能な発展	1 2 3 4		2	30			
	読書ゼミナール	1 2 3 4		1	15			
	現代医療福祉事情	1 2 3 4		1	15			
	ボランティア実践	1 2 3 4		1	15			

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1		1	30	
		英語CALL2 (Basic)	1		1	30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	保健体育系	健康科学理論 ※	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践 ※	1 2 3 4		1	30	
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1		2	30	
		救急医学	2		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	2		2	30	
		関連職種連携論	2		2	30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1		2	30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	2		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3		1	30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス (研究と文献)	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	生体形態論Ⅰ (運動器系・循環器系)	1		1	30	
		生体形態論Ⅱ (内臓学・神経系・感覚器系)	1		1	30	
		生体機能論Ⅰ (循環・呼吸・消化・腎臓)	1		1	30	
		生体機能論Ⅱ (神経・運動・感覚)	1		1	30	
		栄養学	1		1	30	
		微生物学	1		1	30	
		病理学	1		1	30	
		薬理学	2		1	30	
		老年学	2		1	30	
		機能障害論Ⅰ (循環器・呼吸器・血液)	2		1	30	
		機能障害論Ⅱ (脳神経・消化器・内分泌)	2		1	30	
		機能障害論Ⅲ (生殖・泌尿器・運動・免疫)	2		1	30	
		機能障害論Ⅳ (精神・小児・老年関連疾患)	2		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	基礎看護学概論	1	2		30	
		看護理論	1	1		15	
		看護方法論（看護過程）	2	1		30	
		日常生活援助論Ⅰ（環境と清潔）	1	1		30	
		日常生活援助論Ⅱ（食事と排泄）	1	1		30	
		看護技術論Ⅰ（ヘルスアセスメント）	1	1		30	
		看護技術論Ⅱ（診療支援技術）	1	1		30	
		基礎看護学実践演習	2	1		30	
		看護管理学	3	2		30	
		基礎看護学実習Ⅰ（看護援助の基本）	1	1		45	
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）	2	2		90	
		成人看護学概論	2	1		15	
		急性期看護学方法論	2	1		30	
		慢性期・回復期看護学方法論	2	1		30	
		がん・緩和ケア看護学方法論	2	1		30	
		急性期看護学演習	3	1		30	
		慢性期・回復期看護学演習	3	1		30	
		救急医療とクリティカルケア看護	3		1	15	
		高齢者看護学概論	2	1		15	
		高齢者看護学方法論Ⅰ（生活機能を整える看護）	2	1		30	
		高齢者看護学方法論Ⅱ（生活・療養の場における看護）	3	1		15	
		高齢者看護学演習	3	1		30	
		小児看護学概論	2	1		15	
		小児看護学方法論	2	2		30	
		小児看護学演習	3	1		30	
		リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1		15	
		リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2		30	
		リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1		30	
		精神看護学概論	2	1		15	
		精神看護学方法論	2	2		30	
		精神看護学演習	3	1		30	
		生活療養支援実習Ⅰ（介護予防・生活支援実習）	2	1		45	
		生活療養支援実習Ⅱ（周手術期・クリティカルケア看護学実習）	3	2		90	
		生活療養支援実習Ⅲ（慢性・回復期看護学実習）	3	3		135	
		生活療養支援実習Ⅳ（施設看護実習）	3	2		90	
		生活療養支援実習Ⅴ（地域療養支援サービス実習）	3	1		45	
		小児看護学実習	3	2		90	
		リプロダクティブヘルス看護学実習	3	2		90	
		精神看護学実習	3	2		90	
		地域・在宅看護学概論	1	2		30	
		地域・在宅看護学方法論Ⅰ（生活を支える看護）	2	2		30	
		地域・在宅看護学方法論Ⅱ（対象別看護）	3	1		15	
		地域・在宅看護学演習	3	1		15	
		看護研究	3	2		30	
		看護研究ゼミⅠ（ベーシック）	4	1		30	
		看護研究ゼミⅡ（アドバンス）	4		1	30	
		看護学統合特論	4	1		45	
		看護管理学演習	4		1	30	
		国際看護学	4		1	15	
		家族看護学	2	1		15	
		看護倫理学	2		1	15	
		災害看護学	4		2	30	
		地域・在宅看護学実習	3	2		90	
		地域統合看護学実習（地域包括生活療養支援実習）	4	3		135	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	1	2		30	
		公衆衛生看護学方法論		4	2	30	
		対象別保健活動論Ⅰ（発達段階別）※	4		2	30	
		対象別保健活動論Ⅱ（障害別）※	4		1	15	
		地域診断論※	3		1	30	
		健康教育論	3	2		30	
		産業保健論	2	1		15	
		学校保健論	2	1		15	
		健康危機管理論※	3		1	15	
		公衆衛生看護管理論※	4		2	30	
		公衆衛生看護特論※	4		1	30	
		公衆衛生看護学実習※	4		4	180	

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称			配当年次				単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30	
		演劇論	1	2	3	4	1	15	
		心理学	1	2	3	4	2	30	
		哲学	1	2	3	4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30	
		人間学	1	2	3	4	2	30	
		歴史学	1	2	3	4	2	30	
		倫理学	1	2	3	4	2	30	
		宗教学	1	2	3	4	2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30	
		文化人類学	1	2	3	4	2	30	
		教育学	1	2	3	4	2	30	
		教育方法論	1	2	3	4	2	30	
	社会系	死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30	
		生きがい論	1	2	3	4	2	30	
		法学	1	2	3	4	2	30	
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30	
		社会学	1	2	3	4	2	30	
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30	
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30	
		国際関係論	1	2	3	4	2	30	
		世界の経済	1	2	3	4	2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30	
		地球環境論	1	2	3	4	2	30	
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30	
		手話入門	1	2	3	4	2	30	
	自然・情報系	経済の仕組み	1	2	3	4	2	30	
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30	
		統計学	1	2	3	4	2	30	
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30	
		数学	1	2	3	4	2	30	
		物理学	1	2	3	4	2	30	
		化学	1	2	3	4	2	30	
		生物学	1	2	3	4	2	30	
		コンピュータの基礎	1	2	3	4	2	30	
		データリテラシー	1	2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30	
	総合系	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	2	3	4	1	30	
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30	
		人間工学	1	2	3	4	2	30	
		大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30	
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15	
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15	
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4	1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15	
		食と人間	1	2			1	15	
		人間と性	1	2	3	4	1	15	
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30	
		読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15	
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15	
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	2 3	1		15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1		2	30	
		関連職種連携論	2		2	30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	2		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習		4	1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1		1	30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1		1	30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1		1	45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1		1	45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1		1	30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1		1	30	
		生理学実習	1		1	45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1		1	30	
		運動学Ⅱ（応用）	1		1	30	
		運動生理学	1		2	30	
		病理学	2		1	30	
		臨床医学概論	2		1	30	
		内科学Ⅰ（基礎）	2		1	30	
		内科学Ⅱ（臨床）	2		1	30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2		1	30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2		1	30	
		整形外科Ⅰ（基礎）	2		1	30	
		整形外科Ⅱ（臨床）	2		1	30	
		精神医学Ⅰ（総論・各論）	2		1	30	
		精神医学Ⅱ（各論）	2		1	30	
		運動学実習Ⅰ（基礎）	2		1	45	
		運動学実習Ⅱ（応用）	2		1	45	
		人間発達学	2		1	30	
		リハビリテーション医学	3		1	30	
		小児科学	2		1	30	
		老年学	2 3 4		1	30	
		神経心理学概論	2 3 4		2	30	
		臨床薬理学概論	2 3 4	1		15	
		スポーツ傷害学	2 3 4		1	15	
		外科学	2 3 4		1	15	
		栄養学	2 3 4		1	15	
	専門	バルペーション（運動機能）	1		1	15	
		理学療法概論	1		2	30	
		PTスキルⅠ演習（課題発表・PBL）	1		1	30	
		PTスキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）	2		1	30	
		PTスキルⅢ演習（課題学習）	3		1	30	
		PTスキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）	3		2	60	
		病態運動学	3		2	30	
		運動解剖学	2		2	30	
		バイオメカニクス	1 2 3 4		1	15	
		運動心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ医科学	1 2 3 4		1	15	
		理学療法評価学	2		2	30	
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2		1	30	
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	2		1	30	
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	2		1	15	
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	2 3 4		1	15	
		動作分析学	2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考			
				必修	選択					
専門教育	専門	臨床動作分析学	2 3 4		1	15				
		運動負荷学	2 3 4		1	15				
		理学療法計測法	2 3 4	1		15				
		クリニカルリーズニング	2 3 4		1	15				
		高次脳機能障害学	2 3 4		1	15				
		物理療法学Ⅰ（基礎）	1		1		30			
		物理療法学Ⅱ（応用）	2		1		30			
		運動療法学総論	2		1		30			
		癌のリハビリテーション	2 3			1	15			
		生活技術学	3		1		30			
		生活環境学	3		1		30			
		義肢学	3		1		30			
		装具学	3		1		30			
		理学療法治療総論	3		1		15			
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3		1		30			
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3		1		30			
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3		1		30			
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3		1		30			
		小児理学療法学	3		1		30			
		循環器系理学療法学	3		1		15			
		呼吸器系理学療法学	3		1		15			
		代謝系理学療法学	3		1		15			
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3		1		30			
		急性期理学療法学	2 3 4			1	15			
		スポーツ理学療法学	2 3 4			1	15			
		スポーツ傷害治療学	2 3 4			1	15			
		ヘルスプロモーション論	2 3 4			1	15			
		産科理学療法学	2 3 4			1	15			
		理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促進治療学）	2 3 4			1	15			
		理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）	2 3 4			1	15			
		理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節）	2 3 4			1	15			
		理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱）	2 3 4			1	15			
		理学療法治療学演習Ⅴ（マニュアルセラピー徒手）	3 4			1	15			
		基礎実習	1			1		45		
		検査実習	2			2		90		
		地域リハビリテーション実習	3 4			1		45		
		評価実習	3			4		180		
		総合臨床実習			4	12		540		
		理学療法特論Ⅰ（基礎）			4	2		30		
		理学療法特論Ⅱ（応用）	2 3 4			2	30			
		理学療法研究法	2 3 4			1	15			
		理学療法教育学	2 3 4			1	15			
		理学療法統計法			4		1	15		
		理学療法管理学	2 3 4		2		30			
		障害者スポーツ概論	2 3 4			1	15			
		ジャーナルリーディング	2 3 4			1	15			
		理学療法国際事情	1 2 3 4			1	15			
		卒業研究			4		4	180		

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称			配当年次				単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30	
		演劇論	1	2	3	4	1	15	
		心理学	1	2	3	4	2	30	
		哲学	1	2	3	4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30	
		人間学	1	2	3	4	2	30	
		歴史学	1	2	3	4	2	30	
		倫理学	1	2	3	4	2	30	
		宗教学	1	2	3	4	2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30	
		文化人類学	1	2	3	4	2	30	
		教育学	1	2	3	4	2	30	
		教育方法論	1	2	3	4	2	30	
	社会系	死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30	
		生きがい論	1	2	3	4	2	30	
		法学	1	2	3	4	2	30	
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30	
		社会学	1	2	3	4	2	30	
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30	
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30	
		国際関係論	1	2	3	4	2	30	
		世界の経済	1	2	3	4	2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30	
		地球環境論	1	2	3	4	2	30	
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30	
		手話入門	1	2	3	4	2	30	
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30	
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30	
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30	
		数学	1	2	3	4	2	30	
		物理学	1	2	3	4	2	30	
		化学	1	2	3	4	2	30	
		生物学	1	2	3	4	2	30	
		コンピュータの基礎	1	2	3	4	2	30	
		データリテラシー	1	2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	2	3	4	1	30	
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30	
	総合系	人間工学	1	2	3	4	2	30	
		大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30	
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15	
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15	
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4	1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15	
		食と人間	1	2			1	15	
		人間と性	1	2	3	4	1	15	
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30	
		読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15	
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15	
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考	
			必修	選択	必修	選択			
専門基礎／学部共通	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2	3	4	2	30	
		救急医学		2	3	4	1	15	
		微生物と病気	1	2	3	4		2	30
		リハビリテーション概論	1	2	3	4	2	30	
		関連職種連携論		2			2	30	
		看護論	1				2	30	
		ケアマネジメント論		2	3	4	1	15	
		ケースワーク論	1	2	3	4	1	15	
		医療管理学	1	2	3	4	2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2	3	4	2	30	
		社会福祉学	1	2	3	4	2	30	
		臨床心理学概論	1	2	3	4	2	30	
		福祉支援工学概論	1	2	3	4	2	30	
		関連職種連携ワーク		3			1	30	
		関連職種連携実習			4		1	45	
		リスクマネジメント論		3	4		2	30	
		電子カルテシステム入門		2	3	4	1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）		2	3	4	1	15	
		レクリエーション概論		2	3	4	1	15	
	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1				1	30	
		解剖学Ⅱ（内臓学、神経系、感覚器系）	1				1	30	
		解剖学実習	1				1	45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1				1	30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1				1	30	
		生理学実習	1				1	45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1				1	30	
		運動学Ⅱ（応用）	1				1	30	
		運動学実習		2			1	45	
		運動生理学		2			1	30	
		病理学		2			1	30	
		内科学		2			1	30	
		神経学Ⅰ（基礎）		2			1	30	
		神経学Ⅱ（臨床）		2			1	30	
		整形外科Ⅰ（基礎）		2			1	30	
		整形外科Ⅱ（臨床）		2			1	30	
		精神医学Ⅰ（基礎）		2			1	30	
		精神医学Ⅱ（臨床）		3			1	30	
		小児科学		2			1	30	
		老年学		3			1	30	
		リハビリテーション医学		3			1	30	
		人間発達学	1				1	30	
		病態生理学		2			1	15	
		臨床薬理学概論		2			1	15	
		栄養学		2			1	15	
		外科学		2			1	15	
		脳神経外科学		2			1	15	
		神経心理学概論		2			1	15	
		対人援助論		2	3	4	1	15	
	専門	作業療法概論	1				1	15	
		作業学概論	1				1	15	
		作業工程技術学・基礎論	1				1	30	
		作業工程技術学・応用論	1				1	30	
		作業分析学Ⅰ（基礎）		2			1	30	
		作業分析学Ⅱ（応用）		2			1	30	
		作業応用論		2	3	4	1	30	
		研究法概論		3			1	15	
		研究法演習		3			1	30	
		卒業研究			4		1	30	
		作業療法管理学（倫理・管理）			4	1	1	15	
		作業療法総括論			4	1	1	30	
		作業療法評価学概論		2			1	15	
		作業療法評価学各論		2			1	30	
		作業療法評価学演習		2			1	30	
		基礎運動機能評価法		2			1	30	
		生活機能論		2			1	30	
		上肢機能評価法		2			1	15	
		日常生活活動評価法		2			1	15	
		認知機能評価法			3		1	15	
		作業療法諸理論		2	3	4	1	15	
		作業療法適用学概論		2			1	15	
		内科系疾患作業療法学			3		1	30	
		運動器疾患作業療法学			3		1	30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）			3		1	30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）			3		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
専門教育	専門	精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30		
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30		
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30		
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30		
		老年作業療法学	3	1		30		
		認知障害作業療法学	3	1		30		
		認知症作業療法特論	3		1	15		
		作業療法適用学特論	3		1	15		
		作業療法応用学概論		4	1	15		
		就学・就労支援論		4	1	15		
		生活技術学Ⅰ（総論）	2		1	30		
		生活技術学Ⅱ（各論）	3		1	30		
		コミュニケーション技術論	2		1	30		
		職業関連技術学	3		1	30		
		作業療法の諸外国事情	2	3	4		1	15
		地域生活作業療法論		4	1		30	
		地域ケアシステム論		3	4		1	15
		生活支援計画論		3	4		1	15
		障害代償学概論	2			1		15
		義肢適用論		3		1		15
		装具・副子適用論		3		1		30
		自助具・福祉機器適用論		3		1		30
		住環境整備論		3		1		15
		バリアフリー論	2	3	4		1	15
		臨床実習特論Ⅰ（OSCE）		3			1	15
		臨床実習特論Ⅱ（OSCE）			4		1	15
		臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	1			1		45
		臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	2			1		45
		臨床実習Ⅲ（臨床評価）		3		3		135
		臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）		3		5		225
		総合実習Ⅰ（作業療法実践）			4	6		270
		総合実習Ⅱ（作業療法実践）			4	6		270
		地域リハビリテーション実習			4	1		45
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	1				1	15
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	2				1	15
		臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）		3			1	15
		臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）			4		1	15

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 言語聴覚学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1	2	3	4	2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30
		生きがい論	1	2	3	4	2	30
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		社会学	1	2	3	4	2	30
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30
		国際関係論	1	2	3	4	2	30
		世界の経済	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30
		地球環境論	1	2	3	4	2	30
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30
		手話入門	1	2	3	4	2	30
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30
		数学	1	2	3	4	2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1	2	3	4	2	30
		コンピュータの基礎	1	2	3	4	2	30
		データリテラシー	1	2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	2	3	4	1	30
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4	1	15
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15
		食と人間	1	2			1	15
		人間と性	1	2	3	4	1	15
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30
		読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4	1		15	
		健康科学実践	1 2 3 4	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	2 3		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	解剖学	1		2	30	
		生理学	1		2	30	
		病理学	1		1	15	
		医学概論	1		1	15	
		内科学	3	1		30	
		精神医学	3	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		耳鼻咽喉科学	3	1		30	
		臨床神経学	2	1		30	
		形成外科学	3	1		15	
		臨床歯科医学	2	1		15	
		口腔外科学	3	1		15	
		音声言語医学	2	1		30	
		中枢神経機能学	2	1		30	
		聴覚医学	2	1		30	
		児童精神医学	1 2 3 4		1	15	
		老年学	1 2 3 4		1	30	
		遺伝学	1 2 3 4		1	15	
		脳神経外科学	1 2 3 4		1	15	
		臨床心理学	2	1		30	
		生涯発達心理学	1	1		30	
		学習心理学	2	1		30	
		神経心理学	1	1		30	
		認知心理学	2	1		30	
		心理測定法	2	1		30	
		心理測定法演習	2	1		30	
		言語学	1	1		30	
		言語心理学	2	1		30	
		言語発達学	2	1		30	
		基礎音声学	1	1		30	
		音声学	2	1		30	
		音声音響学	2	1		30	
		聴覚心理学	3	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
専門教育	専門	言語聴覚障害学概論	1	1		30		
		コミュニケーション技能演習	1	1		30		
		コミュニケーション障害演習	2	1		15		
		言語聴覚障害診断学	3	1		30		
		失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ	2	1		30		
		失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ	2	1		30		
		失語症学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30		
		失語症学Ⅱ（治療）	3	1		30		
		失語症・高次脳機能障害学演習	3	1		30		
		高次脳機能障害学	3	1		30		
		言語発達障害学総論	2	1		30		
		言語発達障害学各論	2	1		30		
		言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30		
		言語発達障害学Ⅰ演習(評価・診断)	3	1		30		
		言語発達障害学Ⅱ（指導）	3	1		30		
		言語発達障害学Ⅱ演習(指導)	3	1		30		
		聴覚障害学総論	2	1		30		
		聴覚機能評価学	2	2		60		
		聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	3	1		30		
		小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30		
		小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	3	1		30		
		成人聴覚障害学（二重障害を含む）	3	1		30		
		発声発語障害学総論	2	2		30		
		構音障害学Ⅰ（理論）	2	1		30		
		構音障害学Ⅱ（評価・診断）	3	1		30		
		構音障害学演習（治療）	3	1		45		
		流暢性障害学	2	1		30		
		音声障害学	3	1		30		
		摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	3	1		30		
		摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	3	1		30		
		言語聴覚障害学研究法	3		2	30		
		言語聴覚障害基礎演習	3	1		15		
		言語聴覚療法特論	4	1		15		
		言語聴覚障害学特論(総括)	4	1		15		
		卒業研究	4		4	60		
		臨床実習Ⅰ（基礎）	3	2		90		
		臨床実習Ⅱ（総合）	4	10		450		

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 視機能療学科

授業科目の名称			配当年次				単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30	
		演劇論	1	2	3	4	1	15	
		心理学	1	2	3	4	2	30	
		哲学	1	2	3	4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30	
		人間学	1	2	3	4	2	30	
		歴史学	1	2	3	4	2	30	
		倫理学	1	2	3	4	2	30	
		宗教学	1	2	3	4	2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30	
		文化人類学	1	2	3	4	2	30	
		教育学	1	2	3	4	2	30	
		教育方法論	1	2	3	4	2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30	
		生きがい論	1	2	3	4	2	30	
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30	
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30	
		社会学	1	2	3	4	2	30	
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30	
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30	
		国際関係論	1	2	3	4	2	30	
		世界の経済	1	2	3	4	2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30	
		地球環境論	1	2	3	4	2	30	
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30	
		手話入門	1	2	3	4	2	30	
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30	
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30	
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30	
		数学	1	2	3	4	2	30	
		物理学	1	2	3	4	2	30	
		化学	1	2	3	4	2	30	
		生物学	1	2	3	4	2	30	
		コンピュータの基礎	1	2	3	4	2	30	
		データリテラシー	1	2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	2	3	4	1	30	
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30	
		人間工学	1	2	3	4	2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30	
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15	
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15	
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4	1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15	
		食と人間	1	2			1	15	
		人間と性	1	2	3	4	1	15	
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30	
		読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15	
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15	
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2		2	30	
		社会福祉学	1	2		30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		人間発達学	1	1		30	
		病理学	2		1	30	
		関係法規・医学概論	2	1		15	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（応用）	2		1	30	
		神経学	2		1	30	
		精神衛生	2	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2		1	30	
		神経心理学概論	2		2	30	
		薬理学	2	1		30	
		外科学	2		1	15	
		栄養学	2		1	15	
		保育	2	1		15	
		視能学概論	1	2		30	
		視器解剖生理学	1	2		30	
		視器解剖病態学	2	2		30	
		視覚運動生理学	2	2		30	
		生理光学Ⅰ（基礎）	1	2		30	
		視覚臨床生理学	3	2		30	
		高次脳機能障害	3	1		30	
	専門	生理光学Ⅱ（応用）	2	2		30	
		生理光学Ⅲ（実践）	2	2		30	
		生理光学実習	2	2		90	
		臨床屈折矯正学演習	3	1		30	
		視能障害学Ⅰ（基礎）	2	2		30	
		視能障害学Ⅱ（応用）	3	2		30	
		神経眼科学	3	2		30	
		視能矯正学Ⅰ（外眼筋の作用と眼球運動）	1	2		30	
		視能矯正学Ⅱ（両眼視の基礎）	2	2		30	
		視能矯正学Ⅲ（弱視・斜視の基本的知識）	2	2		30	
		視能矯正学実習	2	2		90	
		視能検査学Ⅰ（機能検査）	3	2		30	
		視能検査学Ⅱ（形態・画像検査）	3	2		30	
		視能検査学実習Ⅰ（機能検査）	3	3		135	
		視能検査学実習Ⅱ（形態・画像検査）	3	3		135	
		視能訓練学Ⅰ（病態評価の基本的知識）	2	2		30	
		視能訓練学Ⅱ（弱視、斜視の病態）	3	2		30	
		視能訓練学Ⅲ（視能矯正管理の実践）	3	2		30	
		視能学総合演習Ⅰ（実践）	3	1		30	
		視能学総合演習Ⅱ（発展）	4	2		60	
		臨地実習Ⅰ（基本）	3	1		45	
		臨地実習Ⅱ（応用）	4	1		45	
		臨地実習Ⅲ（発展）	4	12		540	
		視能学評価実習	4	1		45	
		保健福祉実習	3	1		45	
		視覚リハビリテーション	3	1		30	
		視覚リハビリテーション演習	3	1		30	
		視能学研究法Ⅰ（文献詳読）	3	1		15	
		視能学研究法Ⅱ（データ解析と考察）	3	1		15	
		卒業研究	4		2	60	

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 放射線・情報科学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1	2	3	4	2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
	社会系	死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30
		生きがい論	1	2	3	4	2	30
		法学	1	2	3	4	2	30
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		社会学	1	2	3	4	2	30
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30
		国際関係論	1	2	3	4	2	30
		世界の経済	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30
		地球環境論	1	2	3	4	2	30
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30
		手話入門	1	2	3	4	2	30
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30
		数学	1	2	3	4	2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1				2	30
		コンピュータの基礎	1				2	30
		データリテラシー	1				1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	2	3	4	1	30
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4	1	15
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15
		食と人間	1	2			1	15
		人間と性	1	2	3	4	1	15
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30
		読書ゼミナール	1	2	3	4	1	15
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	1	15
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門基礎／学部共通	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	2	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門基礎	基礎数学	1		1	30	
		基礎統計学	2		1	30	
		自然科学概論	1		2	30	
		基礎物理学	1		1	30	
		基礎化学	1		1	30	
		基礎生物学	1		1	30	
		自然科学実験	1		1	45	
		解剖学Ⅰ（運動器系・循環器系・内臓系）	1		1	30	
		解剖学Ⅱ（内臓系・神経系・感覚器系）	1		1	30	
		生理学	1		2	30	
		病理学	2		2	30	
		病態生理学	2		1	15	
		臨床解剖学	3		1	30	
		医学概論	1		2	30	
		看護概論	3		1	15	
	専門教育	応用数学	1		1	30	
		放射線物理学Ⅰ（基礎）	1		1	30	
		放射線物理学Ⅱ（発展）	2		1	30	
		放射化学	2		1	30	
		放射線生物学	2		1	30	
		放射線科学演習	2		1	30	
		放射線計測学	2		1	30	
		放射線計測学実験	2		1	45	
		放射線管理学	2		2	30	
		放射線管理学実験	4		1	45	
		放射線関係法規	3		1	15	
		画像情報学Ⅰ（感光理論・処理）	1		2	30	
		画像情報学Ⅱ（画質評価）	1		2	30	
		画像情報学実験	1		1	45	
		画像情報学特論	4		1	30	
		コンピュータ演習Ⅰ（データ処理）	1		1	30	
		コンピュータ演習Ⅱ（プログラミング）	2		1	30	
		医療情報システム論	3		1	15	
		医用工学	1		1	30	
		医用工学演習	2		1	30	
		X線機器工学	1		2	30	
		診療画像機器工学	2		1	30	
		X線機器工学実験	2		1	45	
		診療画像機器工学実験	2		1	45	
		診療放射線概論	1		1	15	
		診療画像検査学概論	1		1	15	
		X線検査学Ⅰ（単純撮影・他）	2		1	30	
		X線検査学Ⅱ（造影検査・他）	2		1	30	
		X線CT検査学	2		2	30	
		MRⅠ検査学	2		2	30	
		MRⅠ特論	4		1	30	
		超音波検査学	2		2	30	
		診療画像学実験Ⅰ（X線検査・他）	2		1	45	
		診療画像学実験Ⅱ（CT・MRI・超音波検査・他）	2		1	45	
		核医学Ⅰ（基礎）	2		2	30	
		核医学Ⅱ（臨床）	3		2	30	
		核医学実験	3		2	60	
		核医学特論	4		1	30	
		放射線治療学Ⅰ（物理・技術）	2		2	30	
		放射線治療学Ⅱ（臨床）	3		2	30	
		放射線治療機器工学	2		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
専門教育	専門	放射線治療学実験	3	2		60		
		放射線腫瘍特論	4		1	30		
		画像解剖学	2	1		30		
		画像診断学		4	1		30	
		画像診断学演習	4		1	30		
		死亡時画像診断学		4	1	30		
		臨床医学Ⅰ（基礎）	3	1		30		
		臨床医学Ⅱ（発展）		4	1	30		
		臨床薬理学	3	1		15		
		放射線救急医学	3	2		30		
		医療安全概論	3	1		30		
		医療安全管理学		4	1	30		
		臨床画像学演習	3	2		60		
		診療画像臨床実習	3	8		360		
		核医学検査臨床実習	3	2		90		
		放射線治療臨床実習	3	2		90		
		診療放射線特論		4	1	30		
		放射線学演習Ⅰ（基礎）		4	1	30		
		放射線学演習Ⅱ（総合）		4	1	30		
		卒業研究Ⅰ（調査・計画）		4	1	45		
		卒業研究Ⅱ（研究報告）		4	1	45		

別表1 授業科目の名称及び単位数
保健医療学部 医学検査学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1	2	3	4	2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	2	30
		生きがい論	1	2	3	4	2	30
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30
		日本国憲法	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		社会学	1	2	3	4	2	30
		日本政治経済論	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		福祉経済学	1	2	3	4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30
		国際関係論	1	2	3	4	2	30
		世界の経済	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1	30
		地球環境論	1	2	3	4	2	30
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30
		手話入門	1	2	3	4	2	30
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30
		数学	1	2	3	4	2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1	2	3	4	2	30
		コンピュータの基礎	1	2	3	4	2	30
		データリテラシー	1				1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1	30
		医学／医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1	30
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4	1	15
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	1	15
		食と人間	1	2			1	15
		持続可能な発展	1	2	3	4	2	30
		ボランティア実践	1	2	3	4	1	15

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1		1	30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1		1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
	系 体保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎 / 学部共通	公衆衛生学	2	2		30	
		救急医学	2 3		1	15	
		微生物と病気	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	1 2		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		レクリエーション概論	2		1	15	
	専門基礎	解剖学Ⅰ（総論）	1	2		30	
		解剖学Ⅱ（各論）	1	2		30	
		組織学演習	2	1		30	
		生理学	1	1		30	
		病理学	1	2		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
		内科学	2	1		30	
		臨床神経学	1 2 3		1	30	
		精神医学	1 2 3		1	30	
		リハビリテーション医学	1 2 3	1		30	
		小児科学	1 2 3		1	30	
		老年学	1 2 3	1		30	
		病態薬理学	1	1		15	
		臨床栄養学	1	1		15	
		遺伝学	1	1		15	
		分析化学	1	1		30	
		生化学	1	1		30	
		生化学実習	1	1		45	
		医用工学・情報概論	1	2		30	
		医用工学・情報実習	1	1		45	
		検査機器学・情報システム学総論	2	2		30	
	専門	病理検査学	2	2		30	
		病理検査学実習	3	2		60	
		細胞診断学	2	1		30	
		細胞診断学実習	2	1		30	
		血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	2	2		30	
		血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	2	2		30	
		血液検査学実習	3	2		60	
		一般検査学	1	2		30	
		一般検査学実習	2	1		30	
		臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	1	2		30	
		臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	2	2		30	
		臨床化学検査学実習	2	2		60	
		遺伝子検査学	1	2		30	
		遺伝子検査学実習	2	1		30	
		微生物検査学Ⅰ（細菌）	2	2		30	
		微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	2	2		30	
		微生物検査学実習	3	2		60	
		医動物学演習	2	1		30	
		免疫検査学	2	1		30	
		免疫検査学実習	2	1		30	
		輸血・移植検査学	2	2		30	
		輸血・移植検査学実習	3	2		60	
		生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2	2		30	
		生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2	2		30	
		生理検査学実習	3	3		90	
		超音波・MRI検査学	2	2		30	
		超音波・MRI検査学実習	2	1		45	
		先進臨床検査技術学	3		2	30	
		臨床検査統計学	2	2		30	
		医療安全管理学演習	2	2		60	
		精度管理学	3	1		15	
		臨床検査特論Ⅰ（応用）	3	2		30	
		臨床検査特論Ⅱ（発展）	4	4		60	
		臨地実習	3	11		330	
		卒業研究	4	4		120	
		医科分子生物学	1 2 3		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	臨床検査研究論	3	2		30	
		循環動態画像診断学	3	1		15	
		臨床検査管理総論	1	2		30	
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	3	1		15	
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）	4	2		30	
		臨床検査基礎演習	1	1		30	
		客観的臨床能力試験	3	1		30	
		入門細胞診断学演習	1		1	30	
		細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）	2		1	30	
		細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用）	2		1	30	
		細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器，体腔液基礎）	3		1	30	
		細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器，体腔液応用）	3		1	30	
		臨床検査質量分析学演習	4		1	30	
		遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）	3		1	30	
		遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践）	4		1	30	
		生殖補助医療胚培養学	2		1	15	
		生殖補助医療胚培養学演習	4		1	30	

別表1 授業科目の名称及び単位数
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4		2	30	
		生きがい論	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		日本政治経済論	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		福祉経済学	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	
		地球環境論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
		統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1 2 3 4	1		30	
		医療データサイエンスⅠ (DS基礎)	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ (AI基礎)	2 3 4		1	30	
総合系	総合系	医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1 2 3 4	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
		大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4		1	15	
		総合講義 (現代社会をどう見るか)	1 2 3 4		1	15	
		食と人間	1 2 3 4		1	15	
		人間と性	1 2 3 4		1	15	
		持続可能な発展	1 2 3 4		2	30	
		読書ゼミナール	1 2 3 4		1	15	
		現代医療福祉事情	1 2 3 4		1	15	
		ボランティア実践	1 2 3 4		1	15	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4		1	30	
	体育健康系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	2 3 4		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
	専門	入門ゼミ	1 2	1		30	
		こころとからだのしくみⅠ（身体）	1 2		2	30	
		こころとからだのしくみⅡ（精神）	1 2		2	30	
		医学概論	1		2	30	
		医療概論	1		2	30	
		社会福祉の原理と政策	1 2		4	60	
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1		2	30	
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1		2	30	
		介護の基本Ⅰ（介護福祉士の職務・職業倫理等）	1 2		4	60	
		生活支援技術Ⅰ（生活支援）	1 2		2	30	
		人間関係とチームケア	1 2		2	30	
		医療管理総論	1		2	30	
		経営学	1		4	60	
		簿記論Ⅰ（基礎）	1		4	60	
		臨床医学総論	1		2	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		1	30	
		診療情報・マネジメント基礎演習	1		1	30	
		簿記演習Ⅰ（基礎）	1 2		2	60	
		レクリエーション指導法	1 2 3 4		4	60	
		こころとからだのしくみⅢ（生活支援）	2		4	60	
		コミュニケーション技術	2		4	60	
		介護の基本Ⅱ（自立に向けた介護等）	2		4	60	
		介護過程Ⅰ（介護過程の意義・展開）	2		4	60	
		障害の理解	2		4	60	
		生活支援技術Ⅱ（身支度・移動の介護）	2		4	60	
		生活支援技術Ⅲ（入浴・排泄・食事の介護）	2		4	60	
		生活支援技術Ⅳ（住環境・家事）	2		4	60	
		生活支援技術Ⅴ（睡眠・終末期の介護）	2		2	30	
		医療的ケア論Ⅰ	2		1	15	
		介護実習Ⅰ（多様な施設における実習）	2 3		2	90	
		介護総合演習Ⅰ（基礎）	2 3		2	60	
		医療福祉関連法規	2		2	30	
		医療管理各論Ⅰ（病院管理）	2		2	30	
		医療管理各論Ⅱ（医療保険・介護保険制度）	2		2	30	
		医療管理各論Ⅲ（医療安全・医療の質管理）	2		2	30	
		保健医療情報学	2		2	30	
		医療統計Ⅰ（統計理論）	2		2	30	
		医療統計Ⅱ（病院統計・疾病統計）	2		2	30	
		医療情報統計演習	2 3		1	30	
		臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1 2		2	30	
		臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1 2		2	30	
		臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2 3		2	30	
		臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2 3		2	30	
		ゼミナールⅠ（基礎）	2		2	60	
		経営学演習	2		2	60	
		診療報酬請求論Ⅰ（初級）	2		2	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	簿記論Ⅱ（商業簿記）	2 3		2	30	
		簿記論Ⅲ（工業簿記）	2 3		2	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2		2	60	
		認知症の理解	2		4	60	
		発達と老化の理解	2		4	60	
		社会保障	2 3 4		4	60	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2 3 4		4	60	
		児童・家庭福祉	2 3 4		2	30	
		子ども家庭援助論	2 3 4		2	30	
		障害者福祉	2 3 4		2	30	
		地域福祉と包括的支援体制	2 3 4		4	60	
		高齢者福祉	2 3 4		2	30	
		精神医学と精神医療	2 3 4		4	60	
		現代の精神保健の課題と支援	2 3 4		4	60	
		精神保健福祉の原理	2 3 4		4	60	
		高齢者援助論	2 3 4		2	30	
		障害者援助論	2 3 4		2	30	
		心理学と心理的支援	2 3 4		2	30	
		カウンセリング論	2 3 4		2	30	
		医学・医療用語	1 2 3 4		2	30	
		薬学概論	2 3 4		2	30	
		医療福祉管理会計論	2 3 4		2	30	
		医療福祉財務会計論	2 3 4		2	30	
		会計学	2 3 4		2	30	
		経営戦略論	3 4		2	30	
		人事労務管理論	3 4		2	30	
		ソーシャルワーク実習指導	2 3 4		3	90	
		ソーシャルワーク実習Ⅰ	2		2	90	
		介護の基本Ⅲ（リスクマネジメント・連携等）	3		4	60	
		介護過程Ⅱ（介護過程の実践的展開）	3		4	60	
		介護過程Ⅲ（介護過程とチームアプローチ）	3		2	30	
		介護総合演習Ⅱ（応用）	3		2	60	
		生活支援技術Ⅵ（形態別に応じた介護）	3		4	60	
		医療的ケア論Ⅱ	3		2	30	
		医療的ケア論Ⅲ	3		2	30	
		医療的ケア論Ⅳ（演習）	3		1	30	
		介護実習Ⅱ（ケアプラン作成）	3		4	180	
		介護実習Ⅲ（ケアプラン実施）	3		4	180	
		ゼミナールⅡ（応用）	3		2	60	
		診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）	3		2	30	
		診療情報管理Ⅱ（診療情報管理士の実務）	3		2	30	
		診療情報管理Ⅲ（DPC・医師事務作業補助・がん登録）	3		2	30	
		診療報酬請求演習	3		1	30	
		診療報酬請求論Ⅱ（中級）	2		2	30	
		診療報酬請求論Ⅲ（上級）	3		2	30	
		病院原価計算概論	3		2	30	
		病院施設管理論	3		2	30	
		病院管理演習Ⅰ（基礎）	3		1	30	
		病院管理演習Ⅱ（応用）	3		1	30	
		病院実習	3		4	180	
		簿記演習Ⅱ（応用）	2 3		2	60	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	3 4		4	60	
		医療ソーシャルワーク論	3 4		2	30	
		権利擁護を支える法制度	3 4		2	30	
		貧困に対する支援	3 4		2	30	
		刑事司法と福祉	3 4		2	30	
		社会福祉調査の基礎	3 4		2	30	
		福祉サービスの組織と経営	3 4		2	30	
		メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法	3 4		4	60	
		精神保健福祉制度論	3 4		2	30	
		精神障害リハビリテーション論	3 4		2	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3 4		1	30	
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	3 4		1	30	
		ソーシャルワーク実習Ⅱ	3 4		4	180	
		保健医療と福祉	3 4		2	30	
		マーケティング論	3 4		2	30	
		マネジメント論	3 4		2	30	
		経営分析論	3 4		2	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	財務管理論	3 4		2	30	
		国際統計分類Ⅰ（国際疾病分類）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅱ（分類コードの実際）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅰ特別講義（基礎）	3		2	30	
		国際統計分類Ⅱ特別講義（応用）	3		2	30	
		診療情報管理演習Ⅰ（基礎）	3 4		1	30	
		診療情報管理演習Ⅱ（専門）	3 4		1	30	
		診療情報管理演習Ⅲ（分類法）	3 4		1	30	
		医療ソーシャルワーク実習指導	4		2	60	
		医療ソーシャルワーク実習	4		4	180	
		医療福祉実習指導	4		1	30	
		医療福祉実習	4		2	90	
		介護福祉特別講義Ⅰ	4		2	30	
		介護福祉特別講義Ⅱ	4		2	30	
		介護福祉特別講義Ⅲ	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅰ（人と社会）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅱ（相談援助）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅲ（地域福祉）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅳ（福祉とサービスの知識）	4		2	30	
		社会福祉特別講義Ⅴ（関連サービスの知識）	4		2	30	
		メンタルヘルスソーシャルワーク演習	4		3	90	
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導	4		3	90	
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習A	4		4	180	SW実習ⅠⅡの履修者はA、 それ以外はBを選択
		メンタルヘルスソーシャルワーク実習B	4		5	225	
		精神保健福祉特別講義Ⅰ（基礎）	4		2	30	
		精神保健福祉特別講義Ⅱ（応用）	4		2	30	
		医療マネジメント特別講義Ⅰ（基礎）	4		1	30	
		医療マネジメント特別講義Ⅱ（応用）	4		1	30	
		卒業研究	4		4	180	

別表1 授業科目の名称及び単位数
薬学部 薬学科

授業科目の名称			配当年次						単位数		時間	備 考		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		演劇論	1	2	3	4	5	6		1	15			
		心理学	1						2		30			
		哲学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		コミュニケーション概論	1						2		30			
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	5	6		2	30			
		人間学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		歴史学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		倫理学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		宗教学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		日本近現代史	1	2	3	4	5	6		2	30			
		文化人類学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		教育学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		教育方法論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4	5	6		2	30			
		生きがい論	1	2	3	4	5	6		2	30			
	社会系	法学	1						2		30			
		日本国憲法	1	2	3	4	5	6		2	30			
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	5	6		2	30			
		社会学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		日本政治経済論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		マスメディア論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		福祉経済学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	5	6		2	30			
		国際関係論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		世界の経済	1	2	3	4	5	6		2	30			
		国際医療福祉論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		組織運営管理論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	5	6		2	30			
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	5	6	1		30			
		地球環境論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		ボランティア論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	5	6		2	30			
		手話入門	1	2	3	4	5	6		2	30			
		経済の仕組み	1	2	3	4	5	6		2	30			
		経済の歴史	1	2	3	4	5	6		2	30			
	自然・情報系	統計学	1							2	30			
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		数学	1						2		30			
		物理学	1	2	3	4	5	6		2	30			
		化学	1						2		30			
		生物学	1						2		30			
		コンピュータの基礎	1	2	3	4	5	6		2	30			
		データリテラシー	1						1		30			
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	5	6		1	30			
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	5	6		1	30			
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1						1		30			
		医学／医療史	1	2	3	4	5	6		2	30			
		人間工学	1	2	3	4	5	6		2	30			
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1						1		30			
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4	5	6		1	15			
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	5	6		1	15			
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	5	6		2	30			
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2	3	4	5	6		1	15			
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4	5	6		1	15			
		食と人間	1	2	3	4	5	6		1	15			
		人間と性	1	2	3	4	5	6		1	15			
		持続可能な発展	1	2	3	4	5	6		2	30			
		読書ゼミナール	1	2	3	4	5	6		1	15			
		現代医療福祉事情	1	2	3	4	5	6		1	15			
		ボランティア実践	1	2	3	4	5	6		1	15			

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	2	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	2	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語応用	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語発展	1 2 3 4 5 6		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	3		2	30	
		救急医学	3 4		1	15	
		微生物と病気	1 2 3 4 5 6		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4 5 6		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		臨床心理学概論	1	2		30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	5		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4 5 6		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4 5 6		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4 5 6		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4 5 6		1	15	
	専門基礎	医療関連法規Ⅰ（医薬品全般に関わる法律）	3	1		15	
		医療関連法規Ⅱ（医薬品開発と薬害に関する法律の理解）	4	1		15	
		薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）	2	1		30	
		薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）	3	1		30	
		薬学演習Ⅲ（医療倫理・ヒューマンズム）	3	1		30	
		病原微生物学	2	2		30	
		コミュニケーション実習	2	1		45	
		基礎薬学実習	1	1		45	
		公衆衛生学Ⅰ（保健統計、疫学、制度）	2	2		30	
		公衆衛生学Ⅱ（感染症と予防）	3	1		15	
	専門	薬学概論	1	2		30	
		基礎統計学	1	1		15	
		有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1	2		30	
		有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2	2		30	
		有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2	2		30	
		生物有機化学	3	1		15	
		生薬学	2	2		30	
		天然物化学	2	1		15	
		医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）	4	1		15	
		医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）	6	1		15	
		医薬品構造解析演習	2	1		30	
		有機化学演習	1		1	30	
		分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	1	2		30	
		分析化学Ⅱ（機器分析）	2	2		30	
		分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）	3	2		30	
		薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1	2		30	
		薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2	2		30	
		放射化学	2	2		30	
		生化学Ⅰ（生体分子）	1	2		30	
		生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2	2		30	
		分子生物学	2	2		30	
		細胞生物学	2	1		15	
		解剖生理学Ⅰ（器官系概論、神経系等）	1	2		30	
		解剖生理学Ⅱ（循環器系、消化器系等）	2	2		30	
		がん薬物療法学	3	2		30	
		ゲノム医療	3	1		15	
		化学療法学	3	2		30	
		免疫学	3	2		30	
		疾病と病態生理学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	2	2		30	
		疾病と病態生理学Ⅱ（循環器系疾患、消化器系疾患等）	2	2		30	
		薬理学Ⅰ（総論）	2	1		15	
		薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2	2		30	
		薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3	2		30	
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3	1		15	
		医薬品安全性学	4	2		30	
		臨床検査医学	4	2		30	
		薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	物理薬剤学	3	1		15	
		製剤設計とDDS	3	2		30	
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2		30	
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4 5	1		15	
		薬物動態学	3	2		30	
		臨床薬物動態学	4	2		30	
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2		30	
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4	1		15	
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2		30	
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2		30	
		環境衛生学	3	2		30	
		日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3	1		15	
		日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6	1		15	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2		30	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4		1	15	
		OTC医薬品概論	3	2		30	
		医療データサイエンス概論	4	1		15	
		医療データサイエンス演習	6	1		30	
		医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6	1		15	
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1		45	
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1		45	
		物理系薬学実習	2	1		45	
		生物系薬学実習	3	1		45	
		分子生物学実習	3	1		45	
		免疫微生物学実習	3	1		45	
		薬剤学実習	4	1		45	
		フィジカルアセスメント実習	4	1		45	
		衛生系薬学実習	3	1		45	
		早期体験実習	1	1		45	
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅲ（実務実習に必要な基本的技能）	4	1		45	
		実務実習事前演習	4	2		60	
		薬局実務実習	5 6	10		450	
		病院実務実習	5 6	10		450	
		総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6	1		30	
		総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6	1		30	
		卒業研究	5 6	8		360	
		先進臨床薬学実習	6		1	45	

別表1 授業科目の名称及び単位数
留学生用日本語科目(保健医療学部・医療福祉学部・薬学部 共通)

授業科目の名称			配当年次						単位数			時間	備 考
総合教育	外国語系	作文・読解Ⅰ(入門)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		作文・読解Ⅱ(応用)	1	2	3	4	5	6	1			30	
		作文・読解Ⅲ(完成)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		文法・語彙Ⅰ(入門)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		文法・語彙Ⅱ(応用)	1	2	3	4	5	6	1			30	
		文法・語彙Ⅲ(完成)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		発表・討論Ⅰ(応用)	1	2	3	4	5	6	1			30	
		発表・討論Ⅱ(完成)	1	2	3	4	5	6		1		30	
		医療福祉専門漢字	1	2	3	4	5	6	1			30	
		医療福祉専門語彙	1	2	3	4	5	6	1			30	
		日本語基礎Ⅰ(初級)	1	2							3	90	
		日本語基礎Ⅱ(初級)	1	2							3	90	

別表1 授業科目の名称及び単位数
医学部 医学科

授業科目の名称			配当年次	履修区分・単位数			時間	備 考
				必修	選択	自由		
総合教育科目	人間系	大学入門講座 - 医療人・社会人として成長するために -	1 2	1			30	
		死生学	1		1		15	
		医学史	1		1		15	
		芸術政策論	1		1		15	
		日本の近現代史	1		1		15	
		医療プロフェッショナルリズムⅠ（入門）	1	2			60	
		医療プロフェッショナルリズムⅡ（応用）	2	1			30	
		医療プロフェッショナルリズムⅢ（発展）	3	1			30	
	社会系	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2	1			30	
		法と医療	1 2	1			15	
		英字新聞で読む社会学・政治学	1			1	15	
		現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	1			1	15	
		海外保健福祉事情	2			2	90	
	全地球的な課題	国際機関論	1		1		15	
		持続可能な発展	1		1		15	
		異文化コミュニケーション	1		1		15	
		国際関係論	1		1		15	
		経済成長をめぐる世界の諸問題	1		1		15	
		国際医療保健学Ⅰ（入門）	1	1			15	
		国際医療保健学Ⅱ（応用）	2	1			15	
		国際医療保健学Ⅲ（発展）	3	1			30	
	数学・自然科学系	医療必修 - 医療の倫理とプロ意識・医療情報 -	1 2	1			30	
		データリテラシー	1	1			15	
		数学	1			1	15	
		生物学	1			1	15	
		化学	1			1	15	
		物理学	1			1	15	
		医療生物学	1	1			15	
		医療化学	1	1			15	
		医療物理学・医用工学	1	1			15	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	3		1		30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	3		1		30	
	外国語系	英語ⅠA（入門）	1	2			60	
		英語ⅠB（初級）	1	1			30	
		英語Ⅱ（中級）	2	1			30	
		英語Ⅲ（上級）	3	1			30	
		英語コミュニケーションA（入門）	1 2 3			2.5	75	
		英語コミュニケーションB（実践）	1 2 3			2.5	75	
		英語コミュニケーションC（発展）	1 2 3			2.5	75	
		ドイツ語入門(会話含む)	1			1	30	
		中国語入門(会話含む)	1			1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1			1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1			1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1			1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1			1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1			1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1			1	30	
		ドイツ語応用(会話含む)	1			1	30	
		中国語応用(会話含む)	1			1	30	
		韓国語応用(会話含む)	1			1	30	
		フランス語応用(会話含む)	1			1	30	
		スペイン語応用(会話含む)	1			1	30	
		タイ語応用(会話含む)	1			1	30	
		ベトナム語応用(会話含む)	1			1	30	
		ビルマ語応用(会話含む)	1			1	30	
		日本語Ⅰ-A(作文)	1			1	30	
		日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-A(作文)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-C(発表討論)	1			1	30	
		日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-A(作文)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1			1	30	
		日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1			1	30	
		医療福祉専門漢字	1			1	30	
		医療福祉専門語彙	1			1	30	
		日本語Ⅳ-C(発表・討論)	2 3			1	30	
		日本語Ⅴ-C(発表・討論)	2 3			1	30	
		日本語Ⅳ-E(読解・作文)	2 3			1	30	
		日本語Ⅴ-E(読解・作文)	2 3			1	30	

授業科目の名称		配当年次	履修区分・単位数			時間	備 考
			必修	選択	自由		
専門教育科目	専門基礎科目	医学英語Ⅰ（基礎）	1	2		60	
		医学英語Ⅱ（臨床英語の基本）	2	1		30	
		医学英語Ⅲ（臨床英語の応用）	3	1		30	
		医学英語Ⅳ（医学英語の実践：基本）	4	1		30	
		医学英語Ⅴ（医学英語の実践：応用）	5	1		30	
		医学英語Ⅵ（医学英語の総括）	6	1		30	
		骨学・神経解剖学	2	1		30	
		医療面接・身体診察Ⅰ（入門）	1	1		30	
		医療面接・身体診察Ⅱ（応用）	2	1		30	
		基礎医学総論Ⅰ（生化学）	1	3		45	
		基礎医学総論Ⅱ（分子生物学）	1	2		30	
		基礎医学総論Ⅲ（免疫学）	1	1		15	
		基礎医学総論Ⅳ（生理学）	1	2		30	
		基礎医学総論Ⅴ（薬理学）	1	2		30	
		基礎医学総論Ⅵ（組織学）	1	1		15	
		基礎医学総論Ⅶ（組織学演習）	1	1		30	
		基礎医学総論Ⅷ（病理学）	1	1		15	
		基礎医学総論Ⅸ（病理学演習）	1	1		30	
		人体発生学	1	1		15	
		生殖・妊娠・分娩	1	1		15	
		器官別統合講義Ⅰ（循環器系）	1	5		75	
		器官別統合講義Ⅱ（呼吸器系）	2	5		75	
		器官別統合講義Ⅲ（消化器系）	2	5		75	
		器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）	2	4		60	
		器官別統合講義Ⅴ（腎泌尿器系）	2	3		45	
		器官別統合講義Ⅵ（婦人科系（乳腺含む））	2	4		60	
		器官別統合講義Ⅶ（運動器・皮膚・膠原病）	2	4		60	
		器官別統合講義Ⅷ（脳神経・精神系）	2	6		90	
		器官別統合講義Ⅸ（感覚器系）	3	3		45	
		器官別統合講義Ⅹ（血液系）	3	3		45	
		人体解剖学実習	2	3		135	
		早期体験実習Ⅰ（基礎）	1	0.5		15	
		早期体験実習Ⅱ（応用）	2	0.5		15	
		早期体験実習Ⅲ（発展）	3	0.5		15	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	5		1	45	
	専門科目	胎児・小児の成長と疾患（成育と臨床）	3	2		30	
		感染症	1	3		45	
		腫瘍と臨床（放射線治療・緩和）	3	3		45	
		救急と集中治療	3	1		15	
		麻酔	3	1		15	
		予防医学・行動科学	3	1		15	
		老年医学	3	1		15	
		社会医学Ⅰ（医療管理学）	3	1		15	
		社会医学Ⅱ（衛生学・公衆衛生学）	3	3		45	
		社会医学Ⅲ（法医学）	3	1.5		23	
		社会医学Ⅳ（臨床疫学・EBM）	3	1.5		23	
		総合臨床医学	3 4	11		165	
		臨床診断入門	3 4	9.5		285	
		症候と臨床推論	3 4	8		240	
		総括講義	6	8		120	
		医学研究	6	8		360	
		臨床実習Ⅰ（基礎）	4	20		900	
		臨床実習Ⅱ（発展）	5	20		900	
		臨床実習Ⅲ（専門）	5	20		900	
		臨床実習Ⅳ（実践）	6	16		720	
		臨床実習Ⅴ（発展）	6	8		360	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田看護学部 看護学科

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	1	2 3 4	2	30
		演劇論	1	2 3 4	1	15
		パフォーマンス表現論	1		2	30
		心理学	1	2 3 4	2	30
		哲学	1	2 3 4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2 3 4	2	30
		雑談と傾聴-話す力と聴く力-	1	2 3 4	2	30
		人間学	1	2 3 4	2	30
		歴史学	1	2 3 4	2	30
		倫理学	1	2 3 4	2	30
		宗教学	1	2 3 4	2	30
		日本近現代史	1	2 3 4	2	30
		文化人類学	1	2 3 4	2	30
		教育学	1	2 3 4	2	30
		教育方法論	1	2 3 4	2	30
		死生学-死を通して生を考える-	1	2 3 4	2	30
	社会系	法学	1	2 3 4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2 3 4	2	30
		医療関連法規	1		2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1		1	30
		経済の仕組み	1	2 3 4	2	30
		経済の歴史	1	2 3 4	2	30
		世界の経済	1	2 3 4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2 3 4	2	30
		世界の中の和文化	1	2 3 4	1	15
		経営の仕組み	1	2 3 4	2	30
		組織運営管理論	1	2 3 4	2	30
		社会学（人間と社会）	1	2 3 4	2	30
		マスメディア論	1	2 3 4	2	30
		新聞でみた日本と世界	1	2 3 4	2	30
		国際関係論	1	2 3 4	2	30
		国際医療福祉論	1	2 3 4	2	30
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1	2	1	30
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2 3	1	45
		ボランティア論	1	2 3 4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2 3 4	2	30
		手話入門	1	2 3 4	2	30
		防災と生活デザイン	1	2 3 4	2	30
	自然・情報系	保健統計	1		2	30
		疫学	1		2	30
		数学	1	2 3 4	2	30
		物理学	1	2 3 4	2	30
		化学	1	2 3 4	2	30
		生物学	1	2 3 4	2	30
		データリテラシー	1		1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2 3 4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2 3 4	1	30
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1		1	30
		医学/医療史	1	2 3 4	2	30
		人間工学	1	2 3 4	2	30
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30
		郷土論	1	2 3 4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2 3 4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2 3 4	2	30
		食と人間	1	2 3 4	1	15
		総合講義	1	2 3 4	1	15

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文獻講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30	
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	キャンパス共通設置科目	公衆衛生学	1	2	30	
			救急医学	1 2 3 4	1	15	
			感染と免疫	1	2	30	
			リハビリテーション概論	1 2 3 4	2	30	
			関連職種連携論	2	2	30	
			ケアマネジメント論	2 3 4	1	15	
			ケースワーク論	2 3 4	1	15	
			医療管理学	1 2 3 4	2	30	
			保健医療福祉制度論	1	2	30	
			社会福祉学	1 2 3 4	2	30	
			臨床心理学概論	1 2 3 4	2	30	
			医療情報学概論	2 3 4	2	30	
			福祉支援工学概論	1 2 3 4	2	30	
			関連職種連携ワーク	3	1	30	
			関連職種連携実習	4	1	45	
			リスクマネジメント論	2 3 4	2	30	
			電子カルテシステム入門	2 3 4	1	15	
			エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	4	1	15	
			レクリエーション概論	1 2 3 4	1	15	
			国際保健医療学	1	1	15	
			異文化体験実習	1 2 3 4	1	45	
		学部設置科目	行動科学とモチベーション	1 2	1	15	
			キャリアデザイン	1	1	15	
			からだの構造	1	1	30	
			からだの機能	1	1	30	
			疾病・治療学Ⅰ（呼吸、循環）	1	2	30	
			疾病・治療学Ⅱ（消化、代謝）	2	2	30	
			疾病・治療学Ⅲ（生殖、免疫、運動器）	2	2	30	
			疾病・治療学Ⅳ（小児、感覚器）	2	2	30	
			疾病・治療学Ⅴ（脳神経系、精神系）	2	2	30	
			人間と栄養	1	1	15	
			薬理学	2	2	30	
			人間発達学	1	1	15	
			先端医療とヘルスケアテクノロジー	4	1	15	
			遺伝と医療	1	1	15	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	基礎看護学	看護学概論	1	2	30	
		基礎看護学	看護理論	1	1	15	
		基礎看護学	基礎看護学方法論Ⅰ（看護コミュニケーション）	1	1	15	
		基礎看護学	基礎看護学方法論Ⅱ（看護過程）	2	2	30	
		基礎看護学	基礎看護学演習Ⅰ（日常生活援助技術）	1	2	60	
		基礎看護学	基礎看護学演習Ⅱ（ヘルスアセスメント）	1	1	30	
		基礎看護学	基礎看護学演習Ⅲ（医療支援技術）	2	1	30	
		基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ（入門）	1	1	45	
		基礎看護学	基礎看護学実習Ⅱ（基礎）	2	2	90	
		看護管理学	看護情報リテラシー	1	1	15	
		看護管理学	看護管理学概論	4	1	15	
		看護管理学	看護管理学演習	4	1	30	
		看護管理学	保健事業戦略とマネジメント	4	1	15	
		リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学概論	1	1	15	
		リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2	30	
		リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1	30	
		リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅰ（病院・施設実習）	2	1	45	
		リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅱ（産科病棟外来実習）	3	1	45	
		小児看護学	小児看護学概論	2	1	15	
		小児看護学	小児看護学方法論	3	2	30	
		小児看護学	小児看護学演習	3	1	30	
		小児看護学	小児看護学実習	3	2	90	
		成人看護学	成人看護学概論	2	1	15	
		成人看護学	成人看護学方法論Ⅰ	3	2	60	
		成人看護学	成人看護学方法論Ⅱ	3	2	60	
		成人看護学	成人看護学方法論Ⅲ	3	1	30	
		成人看護学	成人看護学実習Ⅰ	3	2	90	
		成人看護学	成人看護学実習Ⅱ	3	2	90	
		成人看護学	成人看護学実習Ⅲ	3	1	45	
		老年看護学	老年看護学概論	2	1	15	
		老年看護学	老年看護学方法論	3	2	30	
		老年看護学	老年看護学演習	3	1	30	
		老年看護学	老年看護学実習	3	2	90	
		精神看護学	精神看護学概論	2	1	15	
		精神看護学	精神看護学方法論	3	2	30	
		精神看護学	精神看護学演習	3	1	30	
		精神看護学	精神看護学実習	3	2	90	
		国際看護学	国際看護学Ⅰ（異文化と看護）	2	1	15	
		国際看護学	国際看護学Ⅱ（活動の実践）	2 3 4	1	15	
		国際看護学	国際看護研修（途上国）	3 4	2	90	
		感染症看護学	感染症看護論	2	1	15	
		感染症看護学	災害関連健康危機管理論	4	1	15	
		感染症看護学	国際検疫看護論	4	1	15	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	2	30	
		公衆衛生看護学	産業・学校保健	2	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動方法論Ⅰ（公衆衛生看護技術）	2	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動方法論Ⅱ（地域アセスメント）	3	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動対象論Ⅰ（発達段階別保健活動）	2	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動対象論Ⅱ（健康課題別保健活動）	3	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動対象論Ⅲ（地域包括ケア等）	4	1	15	
		公衆衛生看護学	家族看護論	2	1	15	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動展開論	4	2	30	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政保健）	4	4	180	
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学実習Ⅱ（産業保健）	4	1	45	
		地域看護学・在宅	地域・在宅看護学概論	2	1	15	
		地域看護学・在宅	地域・在宅看護学方法論Ⅰ	3	2	30	
		地域看護学・在宅	地域・在宅看護学方法論Ⅱ	3	2	30	
		地域看護学・在宅	地域・在宅看護学演習	3	1	30	
		地域看護学・在宅	地域・在宅看護学実習	3	2	90	
		統合分野	看護総合実習	4	5	225	
		統合分野	看護倫理学	4	1	15	
		統合分野	看護研究	4	2	30	
		統合分野	研究ゼミナール	4	1	30	
		統合分野	海外看護研修	4	2	90	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		パフォーマンス表現論	1	2	3	4	2	30
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1				2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
		死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		医療関連法規	1	2	3	4	2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1	30
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30
		世界の経済	1	2	3	4	2	30
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30
		世界の中の和文化	1	2	3	4	1	15
		経営の仕組み	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		社会学（人間と社会）	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		新聞でみた日本と世界	1	2	3	4	2	30
		国際関係論	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1	2			1	30
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2	3		1	45
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30
		手話入門	1	2	3	4	2	30
		防災と生活デザイン	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30
		数学	1	2	3	4	2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1	2	3	4	2	30
		データリテラシー	1				1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1				1	30
		医学/医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30
		郷土論	1	2	3	4	1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
		食と人間	1	2	3	4	1	15
		総合講義	1	2	3	4	1	15

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30		
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	1 2		2	30		
	救急医学	2	1		15		
	感染と免疫	1 2		2	30		
	リハビリテーション概論	1	1		30		
	関連職種連携論	2	2		30		
	ケアマネジメント論	2 3		1	15		
	ケースワーク論	1 2		1	15		
	医療管理学	1 2		2	30		
	保健医療福祉制度論	1 2		2	30		
	社会福祉学	1 2		2	30		
	臨床心理学概論	2		2	30		
	医療情報学概論	2 3		2	30		
	福祉支援工学概論	1 2		2	30		
	関連職種連携ワーク	3	1		30		
	関連職種連携実習	4		1	45		
	リスクマネジメント論	3 4		2	30		
	電子カルテシステム入門	2 3		1	15		
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3		1	15		
	レクリエーション概論	3		1	15		
	災害保健学	1 2 3		1	15		
	予防保健学	1 2 3		1	15		
	国際医療保健学	1 2 3 4		1	15		
	異文化体験実習	1 2 3 4		1	45		
	専門教育科目	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1	1		45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動生理学	1	1		30	
		病理学	2	1		30	
臨床医学概論		2	1		30		
内科学Ⅰ（基礎）		2	1		30		
内科学Ⅱ（臨床）		2	1		30		
神経学Ⅰ（基礎）		2	1		30		
神経学Ⅱ（臨床）		2	1		30		
整形外科Ⅰ（基礎）		2	1		30		
整形外科Ⅱ（臨床）		2	1		30		
精神医学Ⅰ（総論・各論）		2	1		30		
精神医学Ⅱ（各論）		2 3		1	30		
運動学特論		2	2		60		
人間発達学		2	1		30		
リハビリテーション医学		2	1		30		
小児科学		2	1		30		
老年学		2 3		1	30		
神経心理学概論		2 3		2	30		
臨床薬理学概論		2	1		15		
スポーツ傷害学		2 3		1	15		
外科学		2 3		1	15		
栄養学		2 3		1	15		
国際医療保健学演習		2 3 4		1	15		
国際医療保健学実習		2 3 4		1	45		

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	理学療法概論	1	2		30	
		機能解剖学	2	1		30	
		病態運動学	3	1		30	
		物理療法Ⅰ(理論)	1	1		30	
		物理療法Ⅱ(実践)	2	1		30	
		PTスキルⅠ演習(キャリアデザイン)	1	1		30	
		PTスキルⅡ演習(検査・測定)	2	1		30	
		PTスキルⅢ演習(専門知識の確認)	3	2		60	
		PTスキルⅣ演習(臨床PBL)	3	2		60	
		理学療法評価学	2	2		30	
		理学療法診断学Ⅰ(基礎)	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅱ(神経診断学)	2	1		30	
		理学療法診断学Ⅲ(神経・画像評価学を含む)	2	1		30	
		スポーツバイオメカニクス	2		1	15	
		動作分析学	2	1		15	
		運動処方理論	2		1	15	
		運動療法学総論	3	1		30	
		理学療法治療学総論	3	1		30	
		メディカルイングリッシュボキャブラリー	2		1	15	
		グローバルメディカルコミュニケーションⅠ(基礎)	3		1	15	
		グローバルメディカルコミュニケーションⅡ(応用)	3		1	15	
		運動系理学療法学Ⅰ(評価)	2	1		30	
		運動系理学療法学Ⅱ(治療)	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅰ(評価)	2	1		30	
		神経系理学療法学Ⅱ(治療)	3	1		30	
		内科系理学療法学Ⅰ(評価)	2	1		30	
		内科系理学療法学Ⅱ(治療)	3	1		30	
		高齢者理学療法学	3		1	15	
		装具学	3	1		30	
		義肢学	3	1		30	
		生活技術学	3	1		30	
		生活環境学	3	1		30	
		地域理学療法学演習(在宅・地域)	3	1		30	
		小児理学療法学	3	1		30	
		理学療法治療学特論Ⅰ(神経系治療手技)	3		1	30	
		理学療法治療学特論Ⅱ(運動器系治療手技)	3		1	30	
		先端機能解剖学	3 4		1	15	
		先端運動系理学療法学	3 4		1	15	
		先端神経系理学療法学	3 4		1	15	
		先端内科系理学療法学	3 4		1	15	
		先端スポーツ理学療法学	3 4		1	15	
		先端予防理学療法学	3 4		1	15	
		テーピング治療学	3		1	15	
		クリニカルリーズニング	3	1		30	
		リハビリテーション栄養学	3		1	15	
		運動心理学	3		1	15	
		理学療法管理学	3	2		30	
		ウィメンズヘルス理学療法学	3		1	15	
		理学療法国際実習	4		1	45	
		障がい者スポーツ概論	3		1	15	
		理学療法特論	4	1		30	
		基礎実習	1		1	45	
		地域リハビリテーション実習(訪問・通所)	2		1	45	
		検査実習	2		2	90	
		評価実習	3		4	180	
		総合臨床実習	4	12		540	
		理学療法研究のデザイン	3		1	30	
		卒業研究	4	2		60	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		パフォーマンス表現論	1 2 3 4		2	30	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		医療関連法規	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		世界の中の和文化	1 2 3 4		1	15	
		経営の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		社会学（人間と社会）	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		新聞でみた日本と世界	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1		30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1		45	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		防災と生活デザイン	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医学/医療史	1 2 3 4		2	30	
		人間工学	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		食と人間	1 2 3 4		1	15	
		総合講義	1 2 3 4		1	15	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1		30	
		英語CALL2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4	1		30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4	1		30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4	1		30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4	1		30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4	1		30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4	1		30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4	1		30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4	1		30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4	1		30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4	1		30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4	1		30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4	1		30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4	1		30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4	1		30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4	1		30	
		ドイツ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		ドイツ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		中国語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		中国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		韓国語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		韓国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		フランス語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		フランス語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		スペイン語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		スペイン語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		タイ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		タイ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		ベトナム語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		ベトナム語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		ビルマ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		ビルマ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4	1		30	
		日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4	1		30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4	1		30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4	1		30	
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1		15	
		健康科学実践	1 2 3 4	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2	1		15	
		感染と免疫	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	2 3		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	2 3		2	30	
		保健医療福祉制度論	3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		医療情報学概論	2 3		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3		1	15	
		レクリエーション概論	3 4		1	15	
		災害保健学	1 2		1	15	
		予防保健学	1 2		1	15	
		国際医療保健学	1 2		1	15	
		異文化体験実習	1 2		1	45	
	専門基礎科目	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓学、神経系、感覚器系）	1	1		30	
		解剖学実習	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動学実習	2	1		45	
		運動生理学	2	1		30	
		病理学	2	1		30	
		内科学	2	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		人間発達学	1	1		30	
		病態生理学	2 3		1	15	
		臨床薬理学概論	2	1		15	
		栄養学	2 3		1	15	
		外科学	2 3		1	15	
		脳神経外科学	2 3		1	15	
		神経心理学概論	2 3		1	15	
		対人援助論	1 2		1	15	
		国際医療保健学演習	2 3 4		1	15	
		国際医療保健学実習	2 3 4		1	45	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	作業療法概論	1	1		15	
		作業学概論	1	1		15	
		作業工程技術学・基礎論	1	1		30	
		作業工程技術学・応用論	3	1		30	
		作業分析学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		作業分析学Ⅱ（応用）	2	1		30	
		作業応用論	2 3		1	30	
		研究法概論	3	1		15	
		研究法演習	3	1		30	
		卒業研究	4		1	30	
		作業療法管理学Ⅰ（基礎）	3	1		15	
		作業療法管理学Ⅱ（応用）	4	1		15	
		作業療法総括論	4	1		30	
		作業療法評価学概論	2	1		15	
		作業療法評価学各論	2	1		30	
		作業療法評価学演習	2	1		30	
		基礎運動機能評価法	2	1		30	
		生活機能論	2	1		15	
		基礎精神機能評価法	2	1		30	
		上肢機能評価法	2 3		1	15	
		日常生活活動評価法	2 3		1	15	
		高次脳機能評価法	2 3		1	15	
		作業療法適応学概論	2	1		15	
		内科系疾患作業療法学	3	1		30	
		運動器疾患作業療法学	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		老年作業療法学	3	1		30	
		作業療法諸理論	4		1	15	
		作業療法応用学概論	3	1		15	
		就学・就労支援論	3	1		15	
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30	
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		コミュニケーション技術論	1 2		1	30	
		職業関連技術学	3	1		30	
		地域生活作業療法論	3	1		30	
		リハビリテーション英語Ⅰ（基礎）	2 3		1	15	
		リハビリテーション英語Ⅱ（応用）	2 3		1	15	
		災害リハビリテーション学	3 4		1	15	
		認知症作業療法特論	3 4		1	15	
		先端作業療法特論	1 2		1	15	
		地域生活支援論	3 4		1	15	
		障害代償学概論	3	1		15	
		住環境整備論	3	1		15	
		義肢・装具・副子適用論	3	1		30	
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30	
		バリアフリー論	2 3		1	15	
		臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	1	1		45	
		臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	2	1		45	
		臨床実習Ⅲ（臨床評価）	3	2		90	
		臨床実習Ⅳ（臨床推論）	3	5		225	
		総合実習Ⅰ（作業療法実践）	4	7		315	
		総合実習Ⅱ（作業療法実践）	4	6		270	
		地域リハビリテーション実習	3	1		45	
		地域生活支援システム実習	4	1		45	
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	1 2		1	15	
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	2 3		1	15	
		臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	3 4		1	15	
		臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	4		1	15	
		臨床実習特論	3		1	15	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 言語聴覚学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1 2 3		2	30	
		演劇論	1 2 3		1	15	
		パフォーマンス表現論	1 2 3		2	30	
		心理学	1 2		2	30	
		哲学	1 2 3		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3		2	30	
		人間学	1 2		2	30	
		歴史学	1 2		2	30	
		倫理学	1 2		2	30	
		宗教学	1 2		2	30	
		日本近現代史	1 2		2	30	
		文化人類学	1 2 3		2	30	
		教育学	1 2		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2		2	30	
	社会系	法学	1 2		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2		2	30	
		医療関連法規	1 2 3		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		経済の仕組み	1 2 3		2	30	
		経済の歴史	1 2		2	30	
		世界の経済	1 2 3		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2		2	30	
		世界の中の和文化	1 2 3		1	15	
		経営の仕組み	1 2 3		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3		2	30	
		社会学（人間と社会）	1 2 3		2	30	
		マスメディア論	1 2		2	30	
		新聞でみた日本と世界	1 2 3		2	30	
		国際関係論	1 2 3		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2	1		30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3	1		45	
		ボランティア論	1 2		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2		2	30	
		手話入門	1 2 3		2	30	
		防災と生活デザイン	1 2 3		2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2		30	
		疫学・保健医療統計学	1 2		2	30	
		数学	1 2 3		2	30	
		物理学	1 2 3		2	30	
		化学	1 2 3		2	30	
		生物学	1 2 3		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医学/医療史	1 2		2	30	
		人間工学	1 2		2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		郷土論	1 2 3		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2		2	30	
		食と人間	1 2		1	15	
		総合講義	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2		1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2		1	30	
		ドイツ語入門 (会話含む)	1 2 3		1	30	
		ドイツ語基礎 (会話含む)	1 2		1	30	
		中国語入門 (会話含む)	1 2 3		1	30	
		中国語基礎 (会話含む)	1 2		1	30	
		韓国語入門 (会話含む)	1 2 3		1	30	
		韓国語基礎 (会話含む)	1 2		1	30	
		フランス語入門 (会話含む)	1 2 3		1	30	
		フランス語基礎 (会話含む)	1 2		1	30	
		スペイン語入門 (会話含む)	1 2 3		1	30	
		スペイン語基礎 (会話含む)	1 2		1	30	
		タイ語入門 (会話含む)	1 2 3		1	30	
		タイ語基礎 (会話含む)	1 2		1	30	
		ベトナム語入門 (会話含む)	1 2 3		1	30	
		ベトナム語基礎 (会話含む)	1 2		1	30	
		ビルマ語入門 (会話含む)	1 2 3		1	30	
		ビルマ語基礎 (会話含む)	1 2		1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2		1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2		1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2		1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2		1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3		1	30	
		日本語Ⅲ-C (読解)	1 2		1	30	
	日本語Ⅲ-D (会話)	1 2		1	30		
	医療福祉専門漢字	1 2 3		1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3		1	30		
	保健 体育系	健康科学理論	1	1		15	
		健康科学実践	1	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	1 2		2	30	
		救急医学	2 3		1	15	
		感染と免疫	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	2 3		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	2 3		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	3		2	30	
		医療情報学概論	2 3		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3		1	15	
		レクリエーション概論	1 2		1	15	
		災害保健学	1 2 3		1	15	
		予防保健学	1 2 3		1	15	
		国際医療保健学	1 2 3		1	15	
		教職教養	2 3		1	30	
		異文化体験実習	1 2		1	45	
	専門基礎科目	解剖学	1	2		30	
		生理学	1	2		30	
		病理学	1	1		15	
		医学概論	1	1		15	
		内科学	1	1		30	
		精神医学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		耳鼻咽喉科学	2	1		30	
		臨床神経学	2	1		30	
		形成外科学	2	1		15	
		臨床歯科医学	2	1		15	
		口腔外科学	2	1		15	
		音声言語医学	1	1		30	
		中枢神経機能学	1	1		30	
		聴覚医学	1	1		30	
		小児神経学	1 2		1	15	
		老年学	1 2		1	15	
		遺伝学	1 2		1	15	
		脳神経外科学	1 2		1	15	
		臨床心理学	2	1		30	
		生涯発達心理学	1	1		30	
		学習心理学	2	1		15	
		神経心理学	2	1		30	
		認知心理学	1	1		30	
		心理測定法Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		心理測定法Ⅱ（応用）	3	1		15	
		言語学	1	1		30	
		言語心理学	3	1		30	
		言語発達学	1	1		30	
		基礎音声学	1	1		30	
		音声学	2	1		30	
		音声音響学	2	1		30	
		聴覚心理学	3	1		30	
		国際医療保健学演習	2 3 4		1	15	
		国際医療保健学実習	2 3 4		1	45	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	言語聴覚障害学概論	1	1		30	
		言語聴覚障害診断学	3	1		30	
		成人言語障害学総論Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		成人言語障害学総論Ⅱ（発展）	2	1		30	
		失語症学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
		失語症学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		失語症・高次脳機能障害学演習	3	1		30	
		高次脳機能障害学	3	1		30	
		言語発達障害学総論	2	1		30	
		言語発達障害学各論	2	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	2	1		30	
		言語発達障害学Ⅰ演習（評価・診断）	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		言語発達障害学Ⅱ演習（指導）	3	1		30	
		聴覚障害学総論	2	1		30	
		聴覚機能評価学	2	2		60	
		聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30	
		小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	3	1		30	
		成人聴覚障害学（二重障害を含む）	3	1		30	
		発声発語障害学総論	2	2		30	
		構音障害学Ⅰ（理論）	2	1		30	
		構音障害学Ⅱ（評価・診断）	3	1		30	
		構音障害学演習（治療）	3	1		30	
		流暢性障害学	3	1		30	
		音声障害学	3	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価診断）	2	1		30	
		摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	3	1		30	
		言語聴覚障害学研究法	3	1		30	
		英語で学ぶ言語聴覚療法の基礎	1 2		1	15	
		言語聴覚療法英語論文抄読	3 4		1	15	
		特別支援教育	3		1	30	
		日本語教授法	1 2		1	15	
		基礎ゼミナールⅠ	1		1	30	
		基礎ゼミナールⅡ	1		1	30	
		言語聴覚障害学特論Ⅰ（基礎）	4	1		30	
		言語聴覚障害学特論Ⅱ（発展）	4	1		30	
		卒業研究	4		4	60	
		コミュニケーション技能実習	1		1	45	
		コミュニケーション障害実習	2		1	45	
		言語聴覚障害基礎実習	3	2		90	
		言語聴覚療法総合実習	4		1	45	
		臨床実習Ⅰ（基礎）	3	2		90	
		臨床実習Ⅱ（応用）	4	4		180	
		臨床実習Ⅲ（総合）	4	6		270	
		災害リハビリテーション学	3 4		1	15	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 放射線・情報科学科

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		パフォーマンス表現論	1 2 3 4		2	30	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		歴史学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		教育方法論	1 2 3 4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30	
		医療関連法規	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1		1	30	
		経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		経済の歴史	1 2 3 4		2	30	
		世界の経済	1 2 3 4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30	
		世界の中の和文化	1 2 3 4		1	15	
		経営の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		社会学（人間と社会）	1 2 3 4		2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4		2	30	
		新聞でみた日本と世界	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1 2		1	30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3		1	45	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4		2	30	
		手話入門	1 2 3 4		2	30	
		防災と生活デザイン	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		化学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1		1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1		1	30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
	総合系	人間工学	1 2 3 4		2	30	
		大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1		1	30	
		郷土論	1 2 3 4		1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		食と人間	1 2 3 4		1	15	
		総合講義	1 2 3 4		1	15	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備考
			必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1	30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1	30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1	1	30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1	1	30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4	1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4	1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4	1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		中国語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		中国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		韓国語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		韓国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		フランス語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		フランス語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		スペイン語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		タイ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		タイ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ベトナム語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ベトナム語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ビルマ語入門 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		ビルマ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4	1	30	
		日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4	1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4	1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4	1	30	
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4	1	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目／学部共通	統計学	2	1		30	
		公衆衛生学	2	2		30	
		救急医学	2		1	15	
		感染と免疫	2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		医療情報学概論	2 3 4		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2 3 4		2	30	
		電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
		災害保健学	2 3 4		1	15	
		予防保健学	2 3 4		1	15	
		国際医療保健学	2 3 4		1	15	
		異文化体験実習	2 3 4		1	45	
	専門基礎科目	基礎数学	1	1		30	
		自然科学概論	1	2		30	
		基礎物理学	1	1		30	
		基礎化学	1	1		30	
		基礎生物学	1	1		30	
		解剖学Ⅰ（運動器系・循環器系・内臓系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓系・神経系・感覚器系）	1	1		30	
		生理学	1	2		30	
		病理学	2	2		30	
		病態生理学	2	1		15	
		医学概論	1	2		30	
		看護概論	3	1		15	
		自然科学実験	1	1		45	
	専門科目	応用数学	1		1	30	
		放射線物理学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		放射線物理学Ⅱ（発展）	2	1		30	
		放射線計測学	2	1		30	
		放射線科学演習	2		1	30	
		放射線計測学実験	2	1		45	
		放射化学	2	1		30	
		放射線生物学	2	1		30	
		画像解剖学	2	2		30	
		医療画像基礎論	1	2		30	
		画像情報学	1	2		30	
		画像情報学実験	1	1		45	
		医用工学	1	1		30	
		医用工学演習	2	1		30	
		コンピュータ演習Ⅰ（データ処理）	1		1	30	
		コンピュータ演習Ⅱ（プログラミング）	2		1	30	
		医療情報システム論	3	1		15	
		X線機器工学	1	2		30	
		医療安全管理学	4	1		30	
		診療放射線概論	1	1		15	
		診療画像検査学概論	1	1		15	
		X線検査学Ⅰ	2	1		30	
		X線検査学Ⅱ	2	1		30	
		X線CT検査学	2	2		30	
		診療画像機器工学	2	1		15	
		MRⅠ検査学	2	2		30	
		超音波検査学	2	2		30	
		診療画像学実験Ⅰ	2	2		90	
		診療画像学実験Ⅱ	2	2		90	
		核医学検査技術学	2	2		30	
		核医学	3	2		30	
		核医学検査技術学実験	3	2		60	
		放射線治療機器工学	2	1		15	
		放射線治療技術学	2	2		30	
		放射線腫瘍学	3	2		30	
		放射線治療技術学実験	3	2		60	
		臨床医学概論	3	1		30	
		臨床医学	4	1		30	
		放射線管理学	2	2		30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	放射線管理学実験	4	1		45	
		放射線関係法規	3	1		15	
		画像診断学	4	1		30	
		画像診断学演習	4		1	30	
		臨床薬理学	4	1		15	
		放射線救急医学	3	2		30	
		医療安全学概論	3	1		30	
		臨床画像学演習	3	2		60	
		診療画像検査学臨床実習	3	8		360	
		核医学検査技術学臨床実習	3	2		90	
		放射線治療技術学臨床実習	3	2		90	
		診療放射線特論	4	1		30	
		放射線学演習Ⅰ（基礎）	4	2		60	
		放射線学演習Ⅱ（総合）	4	2		60	
		放射線腫瘍学特論	4		1	30	
		核医学特論	4		1	30	
		MRⅠ検査学特論	4		1	30	
		画像情報学特論	4		1	30	
		死亡時画像診断学	4		1	15	
		卒業研究Ⅰ（調査・計画）	4	1		45	
		卒業研究Ⅱ（研究報告）	4	1		45	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田保健医療学部 医学検査学科

授業科目の名称			配当年次				単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30	
		演劇論	1	2	3	4	1	15	
		パフォーマンス表現論	1	2	3	4	2	30	
		心理学	1	2	3	4	2	30	
		哲学	1	2	3	4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30	
		人間学	1	2	3	4	2	30	
		歴史学	1	2	3	4	2	30	
		倫理学	1	2	3	4	2	30	
		宗教学	1	2	3	4	2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30	
		文化人類学	1	2	3	4	2	30	
		教育学	1	2	3	4	2	30	
		教育方法論	1	2	3	4	2	30	
		死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30	
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30	
		医療関連法規	1	2	3	4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1	30	
		経済の仕組み	1	2	3	4	2	30	
		経済の歴史	1	2	3	4	2	30	
		世界の経済	1	2	3	4	2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	2	30	
		世界の中の和文化	1	2	3	4	1	15	
		経営の仕組み	1	2	3	4	2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30	
		社会学（人間と社会）	1	2	3	4	2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30	
		新聞でみた日本と世界	1	2	3	4	2	30	
		国際関係論	1	2	3	4	2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	1	2			1	30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2	3		1	45	
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	2	30	
		手話入門	1	2	3	4	2	30	
		防災と生活デザイン	1	2	3	4	2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30	
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	2	30	
		数学	1	2	3	4	2	30	
		物理学	1	2	3	4	2	30	
		化学	1	2	3	4	2	30	
		生物学	1	2	3	4	2	30	
		データリテラシー	1				1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1				1	30	
		医学/医療史	1	2	3	4	2	30	
		人間工学	1	2	3	4	2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1	30	
		郷土論	1	2	3	4	1	15	
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15	
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30	
		食と人間	1	2	3	4	1	15	
		総合講義	1	2	3	4	1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30	
		英語 C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
		英語 C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		国際医療通訳入門	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語文献講読	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		タイ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ベトナム語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語入門 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		ビルマ語基礎 (会話含む)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅰ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅱ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-A (文法・表現)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-B (記述)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-C (読解)	1 2 3 4		1	30	
		日本語Ⅲ-D (会話)	1 2 3 4		1	30	
	医療福祉専門漢字	1 2 3 4		1	30		
	医療福祉専門語彙	1 2 3 4		1	30		
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目 / 学部共通	公衆衛生学	2	1		30	
		救急医学	2 3		1	15	
		感染と免疫	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		ケアマネジメント論	1 2		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	1 2		2	30	
		医療情報学概論	2		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2		1	15	
		レクリエーション概論	2		1	15	
		災害保健学	1 2		1	15	
	専門基礎科目	予防保健学	1 2		1	15	
		国際医療保健学	1		1	15	
		異文化体験実習	1 2		1	45	
		解剖学	1	2		30	
		肉眼解剖学実習	1	1		45	
		生理学	1	1		30	
		病理学	1	2		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
		内科学	1	1		30	
		臨床神経学	1 2 3		1	30	
		精神医学	1 2 3		1	30	
		リハビリテーション医学	1 2 3		1	30	
		小児科学	1 2 3		1	30	
		老年学	1 2 3		1	30	
		薬理学	1	1		15	
		栄養学	1 2 3		1	15	
		遺伝学	1	1		15	
		微生物学	1	2		30	
		分析化学	1	1		30	
		生化学	1	1		30	
		生化学実習	1	1		45	
		医用工学・情報概論	1	2		30	
		医用工学・情報実習	1	1		45	
		検査機器学・情報システム学総論	2	2		30	
		保健機能食品学	2 3		1	30	
		食の安全管理学	2 3		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	病理検査学演習	2	1		30	
		病理検査学	2	2		30	
		病理検査学実習Ⅰ（基礎）	3	1		45	
		病理検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		細胞診断検査学	3	2		30	
		細胞診断検査学実習	3	1		45	
		血液検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
		血液検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		血液検査学実習Ⅰ（基礎）	3	1		45	
		血液検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		一般検査学	1	2		30	
		一般検査学実習	2	1		45	
		臨床化学検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
		臨床化学検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		臨床化学検査学実習	3	1		45	
		遺伝子検査学	1	2		30	
		遺伝子検査学実習	2	1		45	
		医科分子生物学	1 2 3		1	15	
		微生物検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
		微生物検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		微生物検査学実習Ⅰ（基礎）	3	1		45	
		微生物検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		医動物検査学演習	2	1		30	
		免疫検査学	2	2		30	
		免疫検査学実習	2	1		45	
		移植検査学	2	1		15	
		輸血・移植検査学	3	2		30	
		輸血・移植検査学実習	3	1		45	
		生理検査学Ⅰ（総論）	1	2		30	
		生理検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		生理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		生理検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		超音波検査学	3	2		30	
		超音波検査学実習	3	1		45	
		循環動態画像診断学	3	1		15	
		臨床検査管理総論	1	2		30	
		精度保証学	3	1		15	
		臨床検査診断学	3	1		15	
		臨床検査基礎演習	1	1		30	
		先進臨床検査技術学	3		1	15	
		臨床検査統計学	3	1		30	
		医療安全管理学	2	2		30	
		臨床検査研究論	3	2		30	
		臨床検査特論Ⅰ（応用）	4	1		30	
		臨床検査特論Ⅱ（発展）	4	1		30	
		臨地実習	4	11		330	
		客観的臨床能力試験	3	1		30	
		卒業研究	4	4		120	

別表1 授業科目の名称及び単位数
成田薬学部 薬学科

授業科目の名称			配当年次						単位数		時間	備 考
									必修	選択		
総合教育科目	人間系	文学論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		演劇論	1	2	3	4	5	6		1	15	
		心理学	1							2	30	
		哲学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		コミュニケーション概論	1							2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	5	6		2	30	
		人間学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		歴史学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		倫理学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		宗教学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4	5	6		2	30	
		文化人類学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		教育学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		教育方法論	1	2	3	4	5	6		2	30	
	死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	5	6		2	30		
	社会系	法学	1							2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	5	6		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識				4				1	30	
		経済の仕組み	1	2	3	4	5	6		2	30	
		経済の歴史	1	2	3	4	5	6		2	30	
		世界の経済	1	2	3	4	5	6		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4	5	6		2	30	
		世界の中の和文化	1	2	3	4	5	6		1	15	
		経営の仕組み	1	2	3	4	5	6		2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		社会学（人間と社会）	1	2	3	4	5	6		2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		新聞でみた日本と世界	1	2	3	4	5	6		2	30	
		国際関係論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2						1	30	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2						1	45	
		ボランティア論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4	5	6		2	30	
		手話入門	1	2	3	4	5	6		2	30	
		防災と生活デザイン	1	2	3	4	5	6		2	30	
	自然・情報系	疫学・保健医療統計学	1	2	3	4	5	6		2	30	
		数学	1							2	30	
		物理学	1							2	30	
		化学	1							2	30	
		生物学	1							2	30	
		データリテラシー	1							1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	5	6		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	5	6		1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1							1	30	
		医学/医療史	1	2	3	4	5	6		2	30	
人間工学		1	2	3	4	5	6		2	30		
総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1							1	30		
	郷土論	1	2	3	4	5	6		1	15		
	医療福祉教養講義	1	2	3	4	5	6		1	15		
	メディカルマナー入門	1	2	3	4	5	6		2	30		
	食と人間	1	2	3	4	5	6		1	15		
外国語系	英語講読1（Primary）	1							1	30		
	英語講読2（Basic）		2						1	30		
	英語CALL1（Primary）	1							1	30		
	英語CALL2（Basic）		2						1	30		
	英語講読3（Intermediate）		2	3	4	5	6		1	30		
	英語講読4（Advanced）		2	3	4	5	6		1	30		
	英語会話1（Primary）	1	2	3	4	5	6		1	30		
	英語会話2（Basic）	1	2	3	4	5	6		1	30		
	英語会話3（Intermediate）		2	3	4	5	6		1	30		
	英語会話4（Advanced）		2	3	4	5	6		1	30		
	英語ライティング1（Primary）	1	2	3	4	5	6		1	30		
	英語ライティング2（Basic）	1	2	3	4	5	6		1	30		
	国際医療通訳入門	1	2	3	4	5	6		1	30		
	資格英語1（Primary）	1	2	3	4	5	6		1	30		
	資格英語2（Basic）	1	2	3	4	5	6		1	30		
	基礎英文法1（Primary）	1	2	3	4	5	6		1	30		
	基礎英文法2（Basic）	1	2	3	4	5	6		1	30		
	上級英語文献講読	1	2	3	4	5	6		1	30		
	上級英語会話1（発展）	1	2	3	4	5	6		1	30		
	上級英語会話2（総合）	1	2	3	4	5	6		1	30		

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育科目	外国語系	ドイツ語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ドイツ語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		中国語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		中国語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		韓国語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		フランス語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		スペイン語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		タイ語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		タイ語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ベトナム語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ベトナム語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ビルマ語入門(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		ビルマ語基礎(会話含む)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅰ-A(文法・表現)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅰ-B(記述)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅰ-C(読解)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅰ-D(会話)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅱ-A(文法・表現)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅱ-B(記述)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅱ-C(読解)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅱ-D(会話)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅲ-A(文法・表現)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅲ-B(記述)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅲ-C(読解)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		日本語Ⅲ-D(会話)	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医療福祉専門漢字	1 2 3 4 5 6		1	30	
		医療福祉専門語彙	1 2 3 4 5 6		1	30	
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1	30	
専門教育科目	専門基礎科目 / 学部共通	救急医学	1 2 3 4 5 6		1	15	
		感染と免疫	1 2 3 4 5 6		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		関連職種連携論	2	2	30		
		ケアマネジメント論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4 5 6		2	30	
		臨床心理学概論	1	2	30		
		医療情報学概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1	30		
		関連職種連携実習	5	1	45		
		リスクマネジメント論	2 3 4 5 6		2	30	
		電子カルテシステム入門	2	1	15		
		エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	1 2 3 4 5 6		1	15	
		レクリエーション概論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		医療関連法規Ⅰ(医薬品全般に関わる法律)	3	1	15		
		医療関連法規Ⅱ(医薬品開発と薬害に関する法律の理解)	4	1	15		
		災害保健学	1 2 3 4 5 6		1	15	
		予防保健学	1 2 3 4 5 6		1	15	
		国際医療保健学	1 2 3 4 5 6		1	15	
		異文化体験実習	1 2 3 4 5 6		1	45	
	専門基礎科目	公衆衛生学Ⅰ(保健統計、疫学、制度)	2	2	30		
		公衆衛生学Ⅱ(感染症と予防)	3	1	15		
		薬学演習Ⅰ(物理・化学・生物:基礎)	2	1	30		
		薬学演習Ⅱ(物理・化学・生物:応用)	3	1	30		
		薬学演習Ⅲ(医療倫理・ヒューマニズム)	3	1	30		
		病原微生物学	2	2	30		
		コミュニケーション実習	2	1	45		
		基礎薬学実習	1	1	45		
	専門科目	薬学概論	1	2	30		
		医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6	1	15		
		医療データサイエンス概論	4	1	15		
		医療データサイエンス演習	6	1	30		
		早期体験実習	1	1	45		
		分析化学Ⅰ(化学平衡と滴定)	1	2	30		
		分析化学Ⅱ(機器分析)	2	2	30		
		分析化学Ⅲ(分離分析と臨床分析)	3	2	30		
		薬品物理化学Ⅰ(物性とエネルギー)	1	2	30		
		薬品物理化学Ⅱ(平衡と変化)	2	2	30		
		放射化学	2	2	30		

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3	1		15	
		日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6	1		15	
		物理系薬学実習	2	1		45	
		有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1	2		30	
		有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2	2		30	
		有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2	2		30	
		生薬学	2	2		30	
		天然物化学	2	1		15	
		生物有機化学	3	1		15	
		医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）	4	1		15	
		医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）	6	1		15	
		医薬品構造解析演習	2	1		30	
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1		45	
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1		45	
		有機化学演習	1		1	30	
		免疫学	3	2		30	
		生化学Ⅰ（生体分子）	1	2		30	
		生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2	2		30	
		分子生物学	2	2		30	
		細胞生物学	2	1		15	
		解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系）	1	2		30	
		解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）	2	2		30	
		分子生物学実習	3	1		45	
		免疫微生物学実習	3	1		45	
		基礎統計学	1	1		15	
		疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系、循環器系疾患）	2	2		30	
		疾病と病態生理学Ⅱ（消化器系、呼吸器系、代謝性疾患）	2	2		30	
		薬理学Ⅰ（総論）	2	1		15	
		薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2	2		30	
		薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3	2		30	
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3	1		15	
		化学療法学	3	2		30	
		がん薬物療法学	3	2		30	
		ゲノム医療	3	1		15	
		臨床検査医学	4	2		30	
		OTC医薬品概論	3	2		30	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2		30	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4		1	15	
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2		30	
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4	1		15	
		医薬品安全性学	4	2		30	
		薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4	2		30	
		薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6	1		30	
		フィジカルアセスメント実習	4	1		45	
		生物系薬学実習	3	1		45	
		物理薬剤学	3	1		15	
		製剤設計とDDS	3	2		30	
		薬物動態学	4	2		30	
		臨床薬物動態学	4	2		30	
		薬剤学実習	3	1		45	
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2		30	
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2		30	
		環境衛生学	3	2		30	
		衛生系薬学実習	3	1		45	
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2		30	
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2		30	
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4	1		15	
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1		45	
		医療系薬学実習Ⅲ（薬物療法の実践）	4	1		45	
		薬局実務実習	5 6	10		450	
		病院実務実習	5 6	10		450	
		卒業研究	5 6	8		360	
		実務実習事前演習	4	2		60	
		総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6	1		30	
		総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6	1		30	

別表1 授業科目の名称及び単位数
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	人間系	心理学概論	1	2		30	
		コミュニケーション概論	1	2		30	
		雑談と傾聴	1	2		30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		死生学	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1	2		30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		経済学	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	数学	1		2	30	
		医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1	1		30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30	
		医療データサイエンスⅠ (DS基礎)	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ (AI基礎)	2 3 4		1	30	
		生命倫理	1 2 3 4		2	30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1	1		30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
	外国語系	英語講読Ⅰ (Primary)	1	1		30	
		英語講読Ⅱ (Basic)	1	1		30	
		英語CALLⅠ (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語CALLⅡ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話Ⅰ (Primary)	1	1		30	
		英語会話Ⅱ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅰ (基礎)	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅱ (応用)	1 2 3 4		1	30	
	系 体 保 育 健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	
専門教育	専 門 基 礎 学 部 共 通	公衆衛生学	3		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	1 2 3 4		2	30	
		災害医療論	1 2 3 4		2	30	
	専 門 基 礎	心理学史	1	2		30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		知覚・認知心理学	1	2		30	
		学習・言語心理学	1	2		30	
		感情・人格心理学	3	2		30	
		神経・生理心理学	3	2		30	
		人体の構造と機能及び疾病	1	2		30	
		精神疾患とその治療	3	2		30	
		心身医学	3		2	30	
		社会・集団・家族心理学Ⅰ (社会・集団)	3	2		30	
		心理学統計法Ⅰ (単変量解析講義・データリテラシー)	1	2		30	
		心理学統計法Ⅱ (単変量解析演習)	1	1		30	
		心理学実験Ⅰ (基礎)	2	1		45	
		心理学実験Ⅱ (応用)	2	1		45	
		発達心理学Ⅰ (胎児期から青年期)	2	2		30	
		発達心理学Ⅱ (成人期から高齢期)	2	2		30	
		心理学研究法Ⅰ (量的研究法)	1	2		30	
		心理学研究法Ⅱ (質的研究法)	2	2		30	
		障害者・障害児心理学	2	2		30	
		教育・学校心理学	2	2		30	
		心理学入門演習	1	2		60	
		心理学初級演習	2	2		60	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
専門教育	専門	公認心理師の職責	3	2		30		
		心理学的支援法	3	2		30		
		心理学中級演習	3	2		60		
		心理学上級演習	4	2		60		
		心理的アセスメントⅠ（講義）	2	2		30		
		心理的アセスメントⅡ（演習）	3	2		60		
		心理演習Ⅰ（人間理解）	3	1		30		
		心理演習Ⅱ（ロールプレイング）	3	1		30		
		心理演習Ⅲ（事例検討）	4		1	30		
		社会・集団・家族心理学Ⅱ（家族）	3	2		30		
		家族援助技法講義	3		2	30		
		家族援助技法演習	4		1	30		
		福祉心理学	4	2		30		
		健康・医療心理学	2	2		30		
		精神保健学	3	2		30		
		産業・組織心理学	4	2		30		
		司法・犯罪心理学	3	2		30		
		心理実習Ⅰ（基礎）	2		1	45		
		心理実習Ⅱ（福祉領域）	3		1	45		
		心理実習Ⅲ（保健・医療領域）	3	1		45		
		心理実習Ⅳ（保育・教育領域）	3		1	45		
		心理実習Ⅴ（産業・司法領域）	3		1	45		
		関係行政論	3	2		30		
		メンタルヘルスチェック制度演習	3		1	30		
		メンタルヘルス支援演習		4		1	30	

別表1 授業科目の名称及び単位数

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
総合教育	人間系	心理学概論	1	2		30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
		死生学	1 2 3 4		2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4		2	30	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		経済学	1 2 3 4		2	30	
	自然・情報系	数学	1 2 3 4		2	30	
		生物学	1 2 3 4		2	30	
		コンピュータの基礎	1	2		30	
		医療データサイエンスⅠ (DS基礎)	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ (AI基礎)	2 3 4		1	30	
		生命倫理	1 2 3 4		2	30	
		医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1	1		30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
	総合系	大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1	1		30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		メディカルマナー入門	1	2		30	
	外国語系	英語講読Ⅰ (Primary)	1	1		30	
		英語講読Ⅱ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語CALLⅠ (Primary)	1	1		30	
		英語CALLⅡ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話Ⅰ (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話Ⅱ (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅰ (基礎)	1 2 3 4		1	30	
		中国語初級Ⅱ (応用)	1 2 3 4		1	30	
	系 体保育健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	
専門教育	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	3		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	1 2 3 4		2	30	
		災害医療論	1 2 3 4		2	30	
	専門基礎	医療概論	1	2		30	
		経営学	1	2		30	
		会計学	1	2		30	
		医療管理総論	1	2		30	
		保健医療情報学	2	2		30	
		医療福祉関連法規	2	2		30	
		医療マネジメント論Ⅰ (外部・内部環境分析)	2	2		30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	人体構造・機能論	1	2		30	
		臨床医学総論	1	2		30	
		医療統計Ⅰ(統計理論・データリテラシー)	1	2		30	
		医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2	2		30	
		経営学演習	1		1	30	
		簿記論Ⅰ(初級)	1	2		30	
		簿記論Ⅱ(応用)	2		2	30	
		簿記演習	2		1	30	
		医療財務会計論	2		2	30	
		医学・医療用語	1		2	30	
		臨床医学各論A(新生物と消化器・泌尿器系)	1		2	30	
		臨床医学各論B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1		2	30	
		臨床医学各論C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2		2	30	
		臨床医学各論D(循環器・呼吸器と周産期系)	2		2	30	
		データ処理Ⅰ(初級・データリテラシー)	1	2		30	
		データ処理Ⅱ(中級)	3		2	30	
		データ処理Ⅲ(上級)	3		2	30	
		ゼミナールⅠ(入門)	1	2		60	
		ゼミナールⅡ(基礎)	2	2		60	
		ゼミナールⅢ(応用)	3	2		60	
		ゼミナールⅣ(発展)	4	2		60	
		診療報酬請求論Ⅰ(初級)	2	2		30	
		診療報酬請求論Ⅱ(中級)	2		2	30	
		診療報酬請求論Ⅲ(上級)	3		2	30	
		医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2	2		30	
		医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2	2		30	
		医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2	2		30	
		地域包括ケア論	2		2	30	
		医療マネジメント論Ⅱ(業務・物流の改善)	2	2		30	
		医療マネジメント論Ⅲ(パブリック・ヘルス)	3	2		30	
		医療マネジメント論Ⅳ(リスクマネジメント)	3	2		30	
		人的資源管理論	2		2	30	
		診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	2		2	30	
		診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)	1		2	30	
		診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者等の実務)	2		2	30	
		国際統計分類Ⅰ(基礎)	2		2	30	
		国際統計分類Ⅱ(応用)	3		2	30	
		国際統計分類特別講義	3		2	30	
		薬学概論	2		2	30	
		医療福祉施設実習	3	4		180	
		病院施設管理論	3	2		30	
		病院管理演習Ⅰ(基礎)	3	1		30	
		病院管理演習Ⅱ(応用)	3	1		30	
		経営戦略論	3		2	30	
		経営組織論	3		2	30	
		医療管理会計論	3		2	30	
		経営分析論	3		2	30	
		マーケティング論	3	2		30	
		病院原価計算論	3		2	30	
		社会福祉運営管理論	3		2	30	
		地域医療計画論	3		2	30	
		医療福祉マーケティング論	3	2		30	
		診療情報管理演習Ⅰ(基礎科目A)	3		1	45	
		診療情報管理演習Ⅱ(基礎科目B)	3		1	45	
		診療情報管理演習Ⅲ(専門科目A)	3		1	45	
		診療情報管理演習Ⅳ(専門科目B)	3		1	45	
		介護システム論	3		2	30	
		ケア・マネジメント論	3		2	30	
		保健医療制度論	3		2	30	
		医療マネジメント学特別講義Ⅰ(基礎)	4		2	30	
		医療マネジメント学特別講義Ⅱ(応用)	4		2	30	

別表1 授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部 看護学科

授業科目の名称			配当年次	単位数 必修 選択	時間	備 考
総合教育	人間系	文学論	1 2 3 4	2	30	
		演劇論	1 2 3 4	1	15	
		心理学	1 2 3 4	2	30	
		哲学	1 2 3 4	2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4	2	30	
		人間学	1 2 3 4	2	30	
		歴史学	1 2 3 4	2	30	
		倫理学	1 2 3 4	2	30	
		宗教学	1 2 3 4	2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4	2	30	
		文化人類学	1 2 3 4	2	30	
		教育学	1 2 3 4	2	30	養護教諭一種に必要
		死生学-死を通して生を考える	1 2 3 4	2	30	
	社会系	法学	1 2 3 4	2	30	養護教諭一種、二種に必要
		法と道徳・倫理	1 2 3 4	2	30	
		社会学	1 2 3 4	2	30	
		マスメディア論	1 2 3 4	2	30	
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1 2 3 4	2	30	
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1 2 3 4	2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4	2	30	
		海外保健福祉事情	1 2 3 4	2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1	30	
		ボランティア論	1 2 3 4	2	30	
		医療関連法規	1	2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2	30	
		物理学	1 2 3 4	2	30	
		化学	1 2 3 4	2	30	
		生物学	1 2 3 4	2	30	
		データリテラシー	1	1	30	
		データサイエンスとAIの基礎	1	1	30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4	1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4	1	30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1	30	
		医学/医療史	1 2 3 4	2	30	
		人間工学	1 2 3 4	2	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1	30	
		総合講義	1 2 3	1	15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30	
	外国語系	英語A-1（講読基礎）	1	1	30	
		英語A-2（講読応用）	1	1	30	
		英語B-1（聴解・発話基礎）	1	1	30	
		英語B-2（聴解・発話応用）	1	1	30	
		英語A-3（講読中級1）	2 3 4	1	30	
		英語A-4（講読中級2）	2 3 4	1	30	
		英語C-1（英会話初級）	2 3 4	1	30	
		英語C-2（英会話中級）	2 3 4	1	30	
		資格英語1（Primary）	1 2 3 4	1	30	
		資格英語2（Basic）	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法1（Primary）	1 2 3 4	1	30	
		基礎英文法2（Basic）	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語初級1（基礎）	1 2 3 4	1	30	
		ドイツ語初級2（応用）	1 2 3 4	1	30	
		中国語初級1（基礎）	1 2 3 4	1	30	
		中国語初級2（応用）	1 2 3 4	1	30	
	系 体 育 健	健康科学理論	1 2 3 4	1	15	養護教諭一種、二種に必要
		健康科学実践	1 2 3 4	1	30	養護教諭一種、二種に必要

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門基礎 (学部共通)	専門基礎 (学部共通)	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2 3 4	1		15	養護教諭一種に必要
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4	1		45	
		ケアマネジメント論	2	1		15	
		ケースワーク論	1 2 3 4	1		15	
		医療管理学	1 2 3 4	2		30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2 3 4	2		30	
		臨床心理学概論	1	1		30	
		医療情報学概論	2 3 4	2		30	
		生体情報処理概論	2 3 4	2		30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4	2		30	
		リスクマネジメント論	1 2 3 4	2		30	
	専門基礎	教職入門	1	2		30	養護教諭一種の履修者以外は選択不可
		教育課程論	1 2	2		30	
		道徳教育の理論と実践	2 3	1		15	
		特別活動及び総合的な学習の時間の基礎	2 3	1		15	
		教育方法論	2 3	2		30	
		発達心理学	1 2	1		15	
		特別支援教育概論	1 2	1		15	
		教育相談の基礎と方法	2 3	1		15	
		生徒指導論	2 3	1		15	
		教職実践演習（養護教諭）	4	2		30	
		養護概説	2 3	2		30	
		疫学	2	2		30	
		保健統計学Ⅰ（基礎）	2	1		15	
		保健統計学Ⅱ（発展）	3	1		15	保健師履修者以外は選択不可
		解剖学Ⅰ（運動器系・内臓学・循環器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓学・神経系）	1	1		30	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能・内分泌）	1	1		30	
		解剖学・生理学演習	2	1		30	
		栄養学	1	1		30	
		微生物学	1	1		30	
		病理学	2	1		30	
		薬理学	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅰ（呼吸、循環、腎泌尿器系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅱ（消化、代謝・内分泌系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅲ（免疫、脳神経、運動器、精神系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅳ（感覚器、口腔、皮膚系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅴ（リプロダクティブヘルス、小児）	2	1		30	
		看護英語Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		看護英語Ⅱ（発展）	3	1		30	
	専門教育	看護学原論	1	1		30	
		看護コミュニケーション論	1	1		15	
		看護援助論Ⅰ（看護援助の基本）	1	1		30	
		看護援助論Ⅱ（生活援助）	1	2		60	
		看護援助論Ⅲ（診療援助）	2	2		60	
		看護過程展開論	1	1		30	
		看護過程演習	2	1		30	
		フィールド体験実習	1	1		45	
		フィジカルアセスメントⅠ（基礎）	1	1		30	
		フィジカルアセスメントⅡ（発展）	2	1		15	
		基礎看護学実習Ⅰ（基礎）	1	1		45	
		基礎看護学実習Ⅱ（発展）	2	2		90	
		リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1		15	
		リプロダクティブヘルス看護学方法論	3	2		60	
		リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1		30	
		リプロダクティブヘルス看護学実習	3	2		90	
		小児看護学概論	2	1		15	
		小児看護学方法論	3	2		60	
		小児看護学演習	3	1		30	
		小児看護学実習	3	2		90	
		成人看護学概論	2	1		15	
		成人看護学方法論Ⅰ（急性期、周手術期看護）	2	2		60	
		成人看護学方法論Ⅱ（慢性期看護）	3	2		60	
		成人看護学方法論Ⅲ（がん看護、終末期看護）	3	1		30	
		老年看護学概論	2	1		15	
		老年看護学方法論	3	2		60	
		老年看護学演習	3	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	成人・老年看護学実習Ⅰ（急性期看護）	3	2		90	
		成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期看護）	3	2		90	
		成人・老年看護学実習Ⅲ（高齢者の理解）	3	1		45	
		成人・老年看護学実習Ⅳ（健康障害のある高齢者の看護）	3	2		90	
		成人・老年看護学実習Ⅴ（認知症を有する高齢者の看護）	4	1		45	
		精神看護学概論	2	1		15	
		精神看護学方法論	2	2		60	
		精神看護学演習	3	1		30	
		精神看護学実習	3	2		90	
		地域・在宅看護学概論	2	1		15	
		地域・在宅看護学方法論Ⅰ（地域生活の理解）	2	2		60	
		地域・在宅看護学方法論Ⅱ（地域療養の支援）	3	2		60	
		地域・在宅看護学演習	4	1		30	
		地域・在宅看護学実習	4	2		90	
		国際看護論	4		1	15	
		災害看護論	3	1		15	
		家族看護論	2		1	15	
		バリアティブケア	3	4	1	15	
		統合看護演習	4		1	30	
		統合技術演習	4		1	30	
		看護研究法概説	3	1		15	
		看護研究	4	2		60	
		看護倫理学	2	3	4	1	15
		看護管理論	3	1		15	
		看護マネジメント実習	4	1		45	
		統合看護実習	4	2		90	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（健康支援）	3		2	90	保健師履修者以外は選択不可
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（活動の展開）	4		2	90	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ（管理）	4		1	45	
		健康危機管理論	4		1	15	
		保健医療福祉行政論	4		2	30	
		公衆衛生看護学概論	1		2	30	
		健康教育・保健指導論	2		1	30	
		公衆衛生看護学対象別活動論	3		2	30	保健師履修者以外は選択不可
		コミュニティアセスメント論	3		1	30	養護教諭一種に必要
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ（基礎）	3		1	30	保健師履修者以外は選択不可
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ（発展）	4		1	30	
		産業における看護活動	4		1	15	
		学校における看護活動	3		1	15	
		公衆衛生看護管理論	4		1	15	
		養護実習	4		5	150	養護教諭一種の履修者以外は選択不可
		学校看護学実習	3	4	1	45	

別表1 授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1	2	3	4	2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
	社会系	死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30
		法学	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		社会学	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1	2	3	4	2	30
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1	30
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		医療関連法規	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4	2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1	2	3	4	2	30
		データリテラシー	1				1	30
		データサイエンスとAIの基礎	1	2	3		1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1				1	30
		医学/医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
	総合系	大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1				1	30
		総合講義	1	2	3		1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
	外国語系	英語A-1（講読基礎）	1				1	30
		英語A-2（講読応用）	1				1	30
		英語B-1（聴解・発話基礎）	1				1	30
		英語B-2（聴解・発話応用）	1				1	30
		英語A-3（講読中級1）		2	3	4	1	30
		英語A-4（講読中級2）		2	3	4	1	30
		英語C-1（英会話初級）		2	3	4	1	30
		英語C-2（英会話中級）		2	3	4	1	30
		資格英語1（Primary）	1	2	3	4	1	30
		資格英語2（Basic）	1	2	3	4	1	30
		基礎英文法1（Primary）	1	2	3	4	1	30
		基礎英文法2（Basic）	1	2	3	4	1	30
		ドイツ語初級1（基礎）	1	2	3	4	1	30
		ドイツ語初級2（応用）	1	2	3	4	1	30
		中国語初級1（基礎）	1	2	3	4	1	30
		中国語初級2（応用）	1	2	3	4	1	30
	体育健康系	健康科学理論	1	2	3	4	1	15
		健康科学実践	1	2	3	4	1	30

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎 (学部共通)	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		救急医学	1	1		15	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論		2		30	
		関連職種連携ワーク		3	1	30	
		関連職種連携実習		4	1	45	
		ケアマネジメント論		2 3 4	1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論		2	2	30	
		医療情報学概論		2 3 4	2	30	
		生体情報処理概論		2 3 4	2	30	
		福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論		3 4	2	30	
	専門基礎	疫学・保健医療統計学		2	2	30	
		解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1		1	30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1		1	30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1		1	45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1		1	45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1		1	30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1		1	30	
		生理学実習	1		1	45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1		1	30	
		運動学Ⅱ（応用）	1		1	30	
		運動生理学	1		2	30	
		病理学		2	1	30	
		臨床医学概論		2	1	30	
		内科学Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		内科学Ⅱ（臨床）		2	1	30	
		神経学Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		神経学Ⅱ（臨床）		2	1	30	
		整形外科Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		整形外科Ⅱ（臨床）		2	1	30	
		精神医学Ⅰ（総論・各論）		2	1	30	
		精神医学Ⅱ（各論）		2	1	30	
		運動学実習Ⅰ（基礎）		2	1	45	
		運動学実習Ⅱ（応用）		2	1	45	
		人間発達学		2	1	30	
		リハビリテーション医学			3 1	30	
		小児科学		2	1	30	
		老年学		2 3 4	1	30	
		神経心理学概論		2 3 4	2	30	
		臨床薬理学概論		2	1	15	
		スポーツ傷害学		2 3 4	1	15	
		外科学		2 3 4	1	15	
		脳神経外科学		2 3 4	1	30	
		栄養学		2 3 4	1	15	
	専門	バルペーション（運動機能）	1		1	15	
		理学療法概論	1		2	30	
		PTスキルⅠ演習（課題発表・PBL）	1		1	30	
		PTスキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）		2	1	30	
		PTスキルⅢ演習（課題学習）		3	1	30	
		PTスキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）		3	2	60	
		病態運動学		3	2	30	
		運動解剖学		2	2	30	
		理学療法用語論	1 2 3 4		1	15	
		バイオメカニクス	1 2 3 4		1	15	
		運動心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ心理学	1 2 3 4		1	15	
		スポーツ医科学	1 2 3 4		1	15	
		理学療法評価学		2	2	30	
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）		2	1	30	
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）		2	1	15	
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）		2 3 4	1	15	
		動作分析学		2 3 4	1	15	
		臨床動作分析学		2 3 4	1	15	
		運動負荷学		2 3 4	1	15	
		理学療法計測法		2	1	15	
		クリニカルリーズニング		2 3 4	1	15	
		高次脳機能障害学		2 3 4	1	15	
		物理療法学Ⅰ（基礎）	1		1	30	
		物理療法学Ⅱ（応用）		2	1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門	運動療法学総論	2	1		30	
		癌のリハビリテーション	2 3		1	15	
		呼吸管理	2 3		1	15	
		生活技術学	3	1		30	
		生活環境学	3	1		30	
		義肢学	3	1		30	
		装具学	3	1		30	
		理学療法治療総論	3	1		15	
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3	1		30	
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3	1		30	
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3	1		30	
		小児理学療法学	3	1		30	
		循環器系理学療法学	3	1		15	
		呼吸器系理学療法学	3	1		15	
		代謝系理学療法学	3	1		15	
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3	1		30	
		老人理学療法学	2 3 4		1	15	
		急性期理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ理学療法学	2 3 4		1	15	
		スポーツ傷害治療学	2 3 4		1	15	
		ヘルスプロモーション論	2 3 4		1	15	
		産科学療法学	2 3 4		1	15	
		精神科学療法学	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促通治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節）	2 3 4		1	15	
		理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱）	2 3 4		1	15	
		基礎実習	1		1	45	
		検査実習	2		2	90	
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45	
		評価実習	3	4		180	
		総合臨床実習	4	12		540	
		理学療法特論Ⅰ（基礎）	4	2		30	
		理学療法特論Ⅱ（応用）	2 3 4		2	30	
		理学療法研究法	2 3 4		1	15	
		理学療法教育学	2 3 4		1	15	
		理学療法統計法	4		1	15	
		理学療法管理学	2	2		30	
		障害者スポーツ概論	2 3 4		1	15	
		ジャーナルリーディング	2 3 4		1	15	
		レクリエーション概論	2 3 4		1	15	
		理学療法国際事情	1 2 3 4		1	15	
		卒業研究	4		4	180	

別表1 授業科目の名称及び単位数
小田原保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称			配当年次		単位数		時間	備 考
					必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4	2	30
		演劇論	1	2	3	4	1	15
		心理学	1	2	3	4	2	30
		哲学	1	2	3	4	2	30
		コミュニケーション概論	1	2	3	4	2	30
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4	2	30
		人間学	1	2	3	4	2	30
		歴史学	1	2	3	4	2	30
		倫理学	1	2	3	4	2	30
		宗教学	1	2	3	4	2	30
		日本近現代史	1	2	3	4	2	30
		文化人類学	1	2	3	4	2	30
		教育学	1				2	30
		教育方法論	1	2	3	4	2	30
		死生学-死を通して生を考える	1	2	3	4	2	30
	社会系	法学	1	2	3	4	2	30
		法と道徳・倫理	1	2	3	4	2	30
		社会学	1	2	3	4	2	30
		マスメディア論	1	2	3	4	2	30
		経済学基礎Ⅰ（経済原論）	1	2	3	4	2	30
		経済学基礎Ⅱ（日本経済論）	1	2	3	4	2	30
		国際医療福祉論	1	2	3	4	2	30
		組織運営管理論	1	2	3	4	2	30
		海外保健福祉事情	1	2	3	4	2	30
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1	30
		ボランティア論	1	2	3	4	2	30
		医療関連法規	1	2	3	4	2	30
	自然・情報系	統計学	1				2	30
		物理学	1	2	3	4	2	30
		化学	1	2	3	4	2	30
		生物学	1	2	3	4	2	30
		データリテラシー	1				1	30
		データサイエンスとAIの基礎	1	2	3		1	30
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4	1	30
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4	1	30
		医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—	1				1	30
		医学/医療史	1	2	3	4	2	30
		人間工学	1	2	3	4	2	30
		大学入門講座—医療人・社会人として成長するために—	1				1	30
	総合系	総合講義	1	2	3		1	15
		医療福祉教養講義	1	2	3	4	1	15
		メディカルマナー入門	1	2	3	4	2	30
	外国語系	英語A-1（講読基礎）	1				1	30
		英語A-2（講読応用）	1				1	30
		英語B-1（聴解・発話基礎）	1				1	30
		英語B-2（聴解・発話応用）	1				1	30
		英語A-3（講読中級1）		2	3	4	1	30
		英語A-4（講読中級2）		2	3	4	1	30
		英語C-1（英会話初級）		2	3	4	1	30
		英語C-2（英会話中級）		2	3	4	1	30
		資格英語1（Primary）	1	2	3	4	1	30
		資格英語2（Basic）	1	2	3	4	1	30
		基礎英文法1（Primary）	1	2	3	4	1	30
		基礎英文法2（Basic）	1	2	3	4	1	30
		ドイツ語初級1（基礎）	1	2	3	4	1	30
		ドイツ語初級2（応用）	1	2	3	4	1	30
		中国語初級1（基礎）	1	2	3	4	1	30
		中国語初級2（応用）	1	2	3	4	1	30
	体育健康系	健康科学理論	1	2	3	4	1	15
		健康科学実践	1	2	3	4	1	30

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎（学部共通）	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2	1		15	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4	1		45	
		ケアマネジメント論	2	1		15	
		ケースワーク論	1	1		15	
		医療管理学	1	2		30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1	2		30	
		臨床心理学概論	1	2		30	
		医療情報学概論	2	2		30	
		生体情報処理概論	2	2		30	
		福祉支援工学概論	1	2		30	
		リスクマネジメント論	3	2		30	
	専門基礎	疫学・保健医療統計学	2	2		30	
		解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系、感覚器系）	1	1		30	
		解剖学実習	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動学実習	1	1		45	
		運動生理学	2	1		30	
		病理学	2	1		30	
		内科学	2	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2	1		30	
		リハビリテーション医学	3	1		30	
		人間発達学	2	1		30	
		臨床薬理学概論	2	1		15	
		栄養学	2	1		15	
		外科学	2	1		15	
		脳神経外科学	2	1		30	
		神経心理学概論	2	1		30	
		レクリエーション概論	3	1		15	
		対人援助論	2	1		15	
	専門	専門英語	3	1		30	
		作業療法概論	1	1		15	
		作業学概論	1	1		15	
		作業工程技術学・基礎論	1	1		30	
		作業工程技術学・応用論	3	1		30	
		作業分析学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		作業分析学Ⅱ（応用）	2	1		30	
		作業応用論	3	1		30	
		研究法概論	3	1		15	
		研究法演習	3	1		30	
		卒業研究	4	1		30	
		作業療法倫理・管理	4	2		30	
		作業療法評価学概論	2	1		30	
		作業療法評価学各論	2	1		30	
		作業療法評価学演習	2	1		30	
		基礎運動機能評価法	2	1		30	
		上肢機能評価法	2	1		15	
		日常生活活動評価法	2	1		15	
		認知機能評価法	3	1		15	
		作業療法諸理論	4	1		15	
		作業療法適用学概論	3	1		15	
		内科系疾患作業療法学	3	1		30	
		運動器疾患作業療法学	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
専 門 教 育	専 門	老年作業療法学	3	1		30		
		認知障害作業療法学	3	1		30		
		作業療法適用学特論	4		1	15		
		作業療法応用学概論	3		1	15		
		就学・就労支援論	3		1	15		
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	1		30		
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30		
		コミュニケーション技術論	2	1		30		
		職業関連技術学	3	1		30		
		作業療法の諸外国事情	3		1	15		
		地域生活作業療法論	3	1		30		
		地域ケアシステム論	3		1	15		
		障害代償学概論	3	1		30		
		義肢適用論	3		1	15		
		装具・副子適用論	3		1	30		
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30		
		住環境整備論	3	1		30		
		バリアフリー論	3		1	15		
		臨床実習特論	3	1		15		
		作業療法総括論	4	1		30		
		基礎実習	1	1		45		
		検査実習	2	2		90		
		評価実習	3	5		225		
		総合実習Ⅰ（基礎的介入）	4	7		315		
		総合実習Ⅱ（応用的介入）	4	7		315		
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45		
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法計画立案）	3		1	15		
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践）	3		1	15		

別表1 授業科目の名称及び単位数
留学生用日本語科目(小田原保健医療学部)

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備 考
総合教育	外国語系		1	2	3	4	必修	選択		
		日本語Ⅰ－A(作文)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅰ－B(文法・語彙)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ－A(作文)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ－B(文法・語彙)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ－C(発表討論)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅱ－D(専門日本語)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ－A(作文)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ－B(文法・語彙)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ－C(発表討論)	1	2	3	4		1	30	
		日本語Ⅲ－D(専門日本語)	1	2	3	4		1	30	

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 看護学科

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備 考		
							必修	選択				
総合 教育 科目	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30			
		死生学－死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30			
		演劇論	1	2	3	4		1	15			
		心理学	1	2	3	4		2	30			
		哲学	1	2	3	4		2	30			
		コミュニケーション概論	1					2	30			
		雑談と傾聴～話す力と聞く力～	1	2	3	4		2	30			
		人間学	1	2	3	4		2	30			
		倫理学	1	2	3	4		2	30			
		宗教学	1	2	3	4		2	30			
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30			
		文化人類学	1	2	3	4		2	30			
		教育学	1	2	3	4		2	30			
	社会科学系	経済の仕組み	1	2	3	4		2	30			
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2	3	4	1		15			
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2	3	4	1		45			
		社会学	1	2	3	4		2	30			
		国際関係論	1	2	3	4		2	30			
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30			
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30			
		法学	1	2	3	4		2	30			
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30			
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1				1		30			
		手話入門	1	2	3	4		2	30			
		医療関連法規	1				2		30			
	自然・情報系	物理学	1	2	3	4		2	30			
		情報処理Ⅰ（基礎）	1				1		30			
		情報処理Ⅱ（応用）	1	2	3	4		1	30			
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1				1		30			
		医学/医療史	1	2	3	4		2	30			
		生物学	1	2	3	4		2	30			
		化学	1	2	3	4		2	30			
		人間工学	1	2	3	4		2	30			
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1				1		30			
		メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30			
		医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15			
		郷土論-大川学	1	2	3	4		1	15			
	外国語系	英語講読1 (Primary)	1				1		30			
		英語講読2 (Basic)	1				1		30			
		英語CALL1 (Primary)	1				1		30			
		英語CALL2 (Basic)	1				1		30			
		英会話	1	2	3	4		1	30			
		実用英会話		2	3	4		1	30			
		中国語	1	2	3	4		2	60			
		実用中国語会話		2	3	4		1	30			
		韓国語	1	2	3	4		2	60			
		実用韓国語会話		2	3	4		1	30			
		資格英語1 (Primary)	1	2	3	4		1	30			
		資格英語2 (Basic)	1	2	3	4		1	30			
	体育健康系	健康科学理論	1	2	3	4		1	15			
		健康科学実践	1	2	3	4		1	30			

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 基礎 科目	公衆衛生学	1	2		30	
		救急医学	2 3 4		1	15	
		微生物と病気	1	2		30	
		生化学	1 2 3 4		2	30	
		リハビリテーション概論	3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		保健医療福祉行政論	2		1	15	
		保健統計学	2	2		30	
		疫学	3		2	30	
		ケアマネジメント論	2 3 4		1	15	
		ケースワーク論	1 2 3 4		1	15	
		医療管理学	1 2 3 4		2	30	
		社会福祉学	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	2 3 4		2	30	
		臨床心理学概論	2 3 4		2	30	
		医療情報学概論	2 3 4		2	30	
		国際医療保健学	1 2 3 4		1	15	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		からだの構造	1	2		30	
		からだの機能	1	2		30	
		臨床薬理学	2	2		30	
		栄養と健康	2	1		15	
		遺伝と医療	1	1		15	
		放射線科学概論	1 2 3 4		1	15	
		疾病の成り立ち（病理学）	1	1		30	
		疾病・治療論Ⅰ（呼吸、循環、腎泌尿器系）	1	1		30	
		疾病・治療論Ⅱ（消化、代謝・内分泌系）	1	1		30	
		疾病・治療論Ⅲ（免疫、脳神経、運動器、精神系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅳ（感覚器、口腔、皮膚系）	2	1		30	
		疾病・治療論Ⅴ（リプロダクティブヘルス、小児）	2	1		30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	看護学概論	1	2		30	
		看護理論	1	1		15	
		看護コミュニケーション	1	1		15	
		看護技術論Ⅰ（共通基本技術）	1	1		30	
		看護技術論Ⅱ（日常生活援助技術）	1	2		60	
		看護技術論Ⅲ（医療支援技術）	2	1		30	
		看護過程展開論	2	1		30	
		フィジカルアセスメントⅠ（概論・基本技術・問診・呼吸器系・循環器系）	1	1		30	
		フィジカルアセスメントⅡ（運動器系・消化器系・乳房・中枢神経系・感覚器系）	2	1		30	
		基礎看護学実習Ⅰ（生活支援）	1	1		45	
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程）	2	2		90	
		地域・在宅看護論Ⅰ（地域での暮らしと健康）	1	1		15	
		地域・在宅看護論Ⅱ（地域での療養支援）	2	2		30	
		地域・在宅看護方法論	3	2		30	
		地域・在宅看護論演習	3	1		30	
		地域・在宅看護論実習Ⅰ（対象理解）	1	1		45	
		地域・在宅看護論実習Ⅱ（地域療養支援）	3	2		90	
		地域・在宅看護論実習Ⅲ（継続看護）	4	1		45	
		成人看護学概論	2	2		30	
		成人看護学方法論Ⅰ（急性期・回復期）	3	2		45	
		成人看護学方法論Ⅱ（慢性期・終末期）	2	2		45	
		老年看護学概論	2	1		15	
		老年看護学方法論	2	2		30	
		老年看護学演習	3	1		30	
		成人・老年看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	3	3		135	
		成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）	3	3		135	
		成人・老年看護学実習Ⅲ（高齢者施設）	3	1		45	
		小児看護学概論	1	1		15	
		小児看護学方法論	2	2		30	
		小児看護学演習	3	1		30	
		小児看護学実習Ⅰ（保育所）	1	1		45	
		小児看護学実習Ⅱ（病棟）	3	1		45	
		リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1		15	
		リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2		30	
		リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1		30	
		リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅰ（地域育児支援）	3	1		45	
		リプロダクティブヘルス看護学実習Ⅱ（病棟）	3	1		45	
		精神看護学概論	2	1		15	
		精神看護学方法論	3	2		30	
		精神看護学演習	3	1		30	
		精神看護学実習	3	2		90	
		感染看護論	2	1		15	
		国際看護論	4	1		15	
		看護管理論	4	1		15	
		看護倫理学	2	1		15	
		看護教育学	4	1		15	
		家族看護論	2	1		15	
		災害看護論	4	2		30	
		看護学特論	4	1		15	
		看護研究Ⅰ（研究方法）	3	2		30	
		看護研究Ⅱ（卒業論文）	4	2		60	
		看護統合実習	4	3		135	
		公衆衛生看護学概論	2	2		30	
		公衆衛生看護活動対象論Ⅰ（母子・成人・高齢者保健）	3	2		30	
		公衆衛生看護活動対象論Ⅱ（難病・精神・障害等保健活動）	3	2		30	
		公衆衛生看護活動方法論Ⅰ（家庭訪問・健康診査等）	4	1		30	
		公衆衛生看護活動方法論Ⅱ（地区踏査・地域診断）	4	1		30	
		公衆衛生看護活動展開論	4	2		30	
		産業保健	2	1		15	
		学校保健	2	1		15	
		健康教育・保健指導論	2	2		30	
		公衆衛生看護管理論	4	1		15	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政保健）	4	4		180	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（産業保健）	4	1		45	

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 理学療法学科

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備考	
							必修	選択			
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30		
		死生学－死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30		
		演劇論	1	2	3	4		1	15		
		心理学	1	2	3	4		2	30		
		哲学	1	2	3	4		2	30		
		コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30		
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30		
		人間学	1	2	3	4		2	30		
		倫理学	1	2	3	4		2	30		
		宗教学	1	2	3	4		2	30		
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30		
		文化人類学	1	2	3	4		2	30		
		教育学	1					2	30		
		教育方法論			3	4		2	30		
	社会系	経済の仕組み	1	2	3	4		2	30		
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）			2	3	4	1	15		
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）			2	3	4	1	45		
		社会学	1	2	3	4		2	30		
		国際関係論	1	2	3	4		2	30		
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30		
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30		
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30		
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30		
		法学	1	2	3	4		2	30		
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1					1	30		
	自然・情報系	統計学			2			2	30		
		物理学	1	2	3	4		2	30		
		データリテラシー	1					1	30		
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1					1	30		
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）			2	3	4	1	30		
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）			2	3	4	1	30		
		医学／医療史	1	2	3	4		2	30		
		数学	1	2	3	4		2	30		
		生物学	1	2	3	4		2	30		
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1					1	30		
		メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
		医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
		郷土論－大川学	1	2	3	4		1	15		
	外国語系	医学英語Ⅰ（入門）	1					1	30		
		医学英語Ⅱ（応用）	1					1	30		
		英会話	1					1	30		
		中国語 ※1	1	2	3	4		2	60	※1から2単位以上選択必修	
		韓国語 ※1	1	2	3	4		2	60		
		実用英会話 ※2			2			1	30	※2から1単位以上選択必修	
		実用中国語会話 ※2			2			1	30		
		実用韓国語会話 ※2			2			1	30		
		資格英語1（Primary）	1	2	3	4		1	30		
		資格英語2（Basic）	1	2	3	4		1	30		
	保健体育系	健康科学理論	1	2	3	4		1	15		

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育	専門基礎	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2 3 4		1	15	
		リスクマネジメント論		3 4	2	30	
		関連職種連携実習		4	1	45	
		リハビリテーション概論	1		2	30	
		臨床心理学概論		2		30	
		救急医学		2	1	15	
		関連職種連携論		2		30	
		関連職種連携ワーク		3	1	30	
		解剖学Ⅰ（循環器系、消化器系、呼吸器系）	1		1	30	
		解剖学Ⅱ（神経系、内分泌系、生殖器系）	1		1	30	
		解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1		1	45	
		解剖学実習Ⅱ（組織）	1		1	45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1		1	30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1		1	30	
		生理学実習	1		1	45	
		病理学		2	1	30	
		臨床医学概論	1		1	30	
		内科学Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		内科学Ⅱ（臨床）		2	1	30	
		神経学Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		神経学Ⅱ（臨床）		2	1	30	
		整形外科Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		整形外科Ⅱ（臨床）		2	1	30	
		精神医学Ⅰ（総論・各論）		2	1	30	
		精神医学Ⅱ（各論）		2 3	1	30	
		リハビリテーション医学	1		1	30	
		小児科学		2	1	30	
		老年学		2	1	30	
		臨床薬理学概論	1		1	15	
		栄養学	1 2 3 4		1	15	
		人間発達学	1		1	30	
		カウンセリング論	1 2 3 4		1	15	
		運動学Ⅰ（基礎）	1		1	30	
		運動学Ⅱ（応用）	1		1	30	
		運動生理学	1		2	30	
		運動学演習Ⅰ（基礎）		2	1	30	
		運動学演習Ⅱ（応用）		2	1	30	
	専門	理学療法概論	1		2	30	
		PTスキルⅠ演習	1		1	30	
		PTスキルⅡ演習		2	1	30	
		PTスキルⅢ演習		3	2	60	
		PTスキルⅣ演習		4	1	30	
		病態運動学		3	2	30	
		運動解剖学	1		2	30	
		理学療法用語論	1		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考	
				必修	選択			
専門教育	専門	バイオメカニクス	1	1		15		
		理学療法評価学	1	1		30		
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2	2		60		
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	2	1		30		
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	2	2		30		
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	2 3 4		1	15		
		高次脳機能障害学	2 3 4		1	15		
		物理療法学Ⅰ（基礎）	2	1		30		
		物理療法学Ⅱ（応用）	2	1		30		
		運動療法学総論	2	1		30		
		生活技術学	2	1		30		
		生活環境学	2	1		30		
		義肢学	2	1		30		
		装具学	2	1		30		
		理学療法治療総論	3	1		15		
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3	1		30		
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3	1		30		
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3	1		30		
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3	1		30		
		小児理学療法学	2	1		30		
		呼吸器系理学療法学	3	2		30		
		循環器系理学療法学	3	1		15		
		代謝系理学療法学	3	1		15		
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3	2		30		
		老人理学療法学	2	1		15		
		スポーツ理学療法学	3 4		1	15		
		障害者スポーツⅠ（入門）	1 2 3 4		1	15		
		障害者スポーツⅡ（応用）	3 4		1	45		
		癌のリハビリテーション	2 3 4		1	15		
		福祉住環境論	2 3		1	15		
		理学療法技術学	3 4		1	30		
		理学療法特論Ⅰ（基礎）	4	1		30		
		理学療法特論Ⅱ（総合）	4	2		30		
		理学療法管理学	3	2		30		
		卒業研究	4		4	120		
		基礎実習	1	1		45		
		検査実習	2 3	1		45		
		評価実習	3	1		45		
		地域リハビリテーション実習	3 4	1		45		
		臨床実習Ⅰ（入門）	3 4	8		360		
		臨床実習Ⅱ（応用）	4	8		360		

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 作業療法学科

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備考	
							必修	選択			
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30		
		死生学－死を通して生を考える	1	2	3	4		2	30		
		演劇論	1	2	3	4		1	15		
		心理学	1	2	3	4		2	30		
		哲学	1	2	3	4		2	30		
		コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30		
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30		
		人間学	1	2	3	4		2	30		
		倫理学	1	2	3	4		2	30		
		宗教学	1	2	3	4		2	30		
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30		
		文化人類学	1	2	3	4		2	30		
		教育学	1	2	3	4		2	30		
		教育方法論			3	4		2	30		
	社会系	経済の仕組み	1	2	3	4		2	30		
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）			2	3	4	1	15		
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）			2	3	4	1	45		
		社会学	1	2	3	4		2	30		
		国際関係論	1	2	3	4		2	30		
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30		
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30		
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30		
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30		
		法学	1	2	3	4		2	30		
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1					1	30		
	自然・情報系	統計学		2				2	30		
		物理学	1	2	3	4		2	30		
		データリテラシー	1					1	30		
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1					1	30		
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4		1	30		
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4		1	30		
		医学／医療史	1	2	3	4		2	30		
		数学	1	2	3	4		2	30		
		生物学	1	2	3	4		2	30		
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1					1	30		
		メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30		
		医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15		
		郷土論－大川学	1	2	3	4		1	15		
	外国語系	医学英語Ⅰ（入門）	1					1	30		
		医学英語Ⅱ（応用）	1					1	30		
		英会話	1					1	30		
		中国語 ※1	1	2	3	4		2	60	※1から2単位以上選択必修	
		韓国語 ※1	1	2	3	4		2	60		
		実用英会話 ※2		2				1	30	※2から1単位以上選択必修	
		実用中国語会話 ※2		2				1	30		
		実用韓国語会話 ※2		2				1	30		
		資格英語1（Primary）	1	2	3	4		1	30		
		資格英語2（Basic）	1	2	3	4		1	30		
	保健体育系	健康科学理論	1	2	3	4		1	15		

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	公衆衛生学	1	2		30	
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4	2		30	
		ケアマネジメント論	1 2 3 4	1		15	
		リスクマネジメント論	3 4	2		30	
		関連職種連携実習	4	1		45	
		リハビリテーション概論	1	2		30	
		臨床心理学概論	2	2		30	
		救急医学	2	1		15	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		解剖学Ⅰ（循環器系、消化器系、呼吸器系）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（神経系、内分泌系、生殖器系）	1	1		30	
		解剖学実習	1	1		45	
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30	
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30	
		生理学実習	1	1		45	
		病理学	1	1		30	
		臨床医学概論	1 2 3 4	1		30	
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		内科学Ⅱ（臨床）	2 3	1		30	
		神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		整形外科Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		整形外科Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		精神医学Ⅰ（基礎）	2	1		30	
		精神医学Ⅱ（臨床）	2	1		30	
		リハビリテーション医学	1	1		30	
		小児科学	2	1		30	
		老年学	2	1		30	
		臨床薬理学概論	1	1		15	
		栄養学	1 2 3 4	1		15	
		人間発達学	1	1		30	
		カウンセリング論	1 2 3 4	1		15	
		運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30	
		運動学Ⅱ（応用）	1	1		30	
		運動生理学	2	1		30	
		運動学実習	2	1		45	
	専門科目	作業療法概論	1	1		15	
		作業学概論	1	1		15	
		作業工程技術学	1	1		45	
		作業分析学	2	1		45	
		作業応用論	2 3 4	1		30	
		研究法概論	3	1		15	
		研究法演習	3	1		30	
		卒業研究	4	4		120	
		作業療法管理学	4	1		15	
		作業療法教育学	3	1		15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門科目	作業療法評価学概論	2	1		15	
		作業療法評価学各論	2	1		30	
		作業療法評価学演習	2	1		30	
		基礎運動機能評価法	2	1		30	
		生活機能評価法	2	1		30	
		上肢機能評価法	2	1		15	
		高次脳機能評価法	2	1		15	
		作業療法諸理論	2 3 4		1	15	
		作業療法適用学概論	2	1		15	
		内科系疾患作業療法学	3	1		30	
		運動器疾患作業療法学	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		中枢神経疾患作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		精神疾患作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		小児作業療法学Ⅲ（特論）	3 4		1	15	
		老年作業療法学	3	1		30	
		認知障害作業療法学	3	1		30	
		作業療法応用学概論	4	1		15	
		就学・就労支援論	3	1		15	
		生活技術学Ⅰ（総論）	3	1		30	
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1		30	
		コミュニケーション技術論	3	1		30	
		職業関連技術学	3 4		1	15	
		地域生活作業療法論	3	1		15	
		地域ケアシステム論	3	1		15	
		地域生活支援論	3	1		15	
		地域生活支援演習	3	1		30	
		障害代償学概論	2	1		15	
		義肢適用論	3	1		15	
		装具・副子適用論	3	1		30	
		自助具・福祉機器適用論	3	1		30	
		住環境整備論	3	1		15	
		バリアフリー論	2 3		1	15	
		作業療法総括論	4	1		30	
		基礎実習	1	1		45	臨床実習
		検査実習	2	1		45	臨床実習
		地域作業療法実習	3	1		45	臨床実習
		評価実習	3	3		135	臨床実習
		総合実習	4	18		810	臨床実習

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡保健医療学部 医学検査学科

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合 教育 科目	人間系	文学論	1 2 3 4		2	30	
		死生学－死を通して生を考える	1 2 3 4		2	30	
		演劇論	1 2 3 4		1	15	
		心理学	1 2 3 4		2	30	
		哲学	1 2 3 4		2	30	
		コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30	
		人間学	1 2 3 4		2	30	
		倫理学	1 2 3 4		2	30	
		宗教学	1 2 3 4		2	30	
		日本近現代史	1 2 3 4		2	30	
		文化人類学	1 2 3 4		2	30	
		教育学	1 2 3 4		2	30	
	社会系	経済の仕組み	1 2 3 4		2	30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2 3 4	1		15	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3 4	1		45	
		社会学	1 2 3 4		2	30	
		国際関係論	1 2 3 4		2	30	
		ボランティア論	1 2 3 4		2	30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30	
		組織運営管理論	1 2 3 4		2	30	
		日本国憲法	1 2 3 4		2	30	
		法学	1 2 3 4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1		30	
	自然・情報系	統計学	2	2		30	
		物理学	1 2 3 4		2	30	
		データリテラシー	1	1		30	
		医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－	1	1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4		1	30	
		医学／医療史	1 2 3 4		2	30	
		数学	1 2 3 4		2	30	
		基礎生物学	1		2	30	
		基礎化学	1		1	30	
	総合系	大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－	1	1		30	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15	
		郷土論－大川学	1 2 3 4		1	15	
		医学英語Ⅰ（入門）	1	1		30	
	外国語系	医学英語Ⅱ（応用）	1	1		30	
		英会話	1	1		30	
		中国語 ※3	1 2 3 4		2	60	※3から2単位以上選択必修
		韓国語 ※3	1 2 3 4		2	60	
		実用英会話 ※4	2		1	30	※4から1単位以上選択必修
		実用中国語会話 ※4	2		1	30	
		実用韓国語会話 ※4	2		1	30	
		資格英語1（Primary）	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2（Basic）	1 2 3 4		1	30	
	体育健康系	健康科学理論 ※5	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践 ※5	1 2 3 4		1	30	

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考
				必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	保健医療福祉制度論	1	2		30	
		公衆衛生学	2	1		30	
		臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	
		リスクマネジメント論	2 3 4		2	30	
		救急医学	1 2 3 4		1	15	
		関連職種連携論	2	2		30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		解剖学Ⅰ（総論）	1	1		30	
		解剖学Ⅱ（各論）	1	1		30	
		解剖組織学実習	1	1		45	
		食品栄養学	4	2		30	
		生理学	1	1		30	
		病理学	1	1		30	
		臨床医学概論	1	1		30	
		内科学	2	2		30	
		臨床神経学	2		1	30	
		薬理学	1 2 3 4		1	15	
		遺伝学	1	1		30	
		分析化学	1	1		30	
		生化学	1	1		30	
		生化学実習	1	1		45	
		医用工学・情報概論	1	1		30	
		医用工学・情報実習	2	1		45	
		検査機器学・情報システム学総論	3	2		30	
		保健機能食品学	4		1	30	
		食の安全管理学	3		1	30	
	専門科目	病理検査学	2	2		30	
		病理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		病理検査学実習Ⅱ（応用）	3	1		45	
		細胞診断検査学	2	2		30	
		細胞検査学実習	2	1		45	
		血液検査学Ⅰ（基礎）	1	2		30	
		血液検査学Ⅱ（臨床）	2	2		30	
		血液検査学実習Ⅰ（形態検査）	2	1		45	
		血液検査学実習Ⅱ（分析検査）	2	1		45	
		一般検査学Ⅰ（分析）	1	2		30	
		一般検査学Ⅱ（形態）	2	2		30	
		一般検査学実習Ⅰ（分析）	2	1		45	
		一般検査学実習Ⅱ（形態）	2	1		45	
		臨床化学検査学Ⅰ（総論）	2	2		30	
		臨床化学検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		臨床化学検査学実習	3	1		45	
		遺伝子検査学	2	2		30	
		遺伝子検査学実習	3	1		45	
		分子病態検査学演習	3		1	30	
		微生物検査学Ⅰ（総論）	1	2		30	
		微生物検査学Ⅱ（各論）	1	2		30	
		微生物学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		微生物学実習Ⅱ（応用）	2	1		45	
		医動物検査学演習	3	1		30	
		免疫検査学	2	2		30	
		輸血検査学	2	2		30	
		免疫検査学実習	2	1		45	
		輸血検査学実習	3	1		45	
		生理検査学Ⅰ（総論）	1	2		30	
		生理検査学Ⅱ（各論）	2	2		30	
		生理検査学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45	
		生理検査学実習Ⅱ（応用）	2	1		45	
		超音波画像検査学	3	2		30	
		超音波検査学実習	3	1		45	
		検査学入門	1	1		30	
		精度管理学	3	2		30	
		検査管理運営学	4	2		30	
		臨床検査統計学	3	2		30	
		臨床検査医学総論	3	2		30	
		医療安全管理学	4	1		15	
		医学検査特論Ⅰ（応用）	4	2		60	
		医学検査特論Ⅱ（発展）	4		1	30	
		臨地実習	3	12		360	
		総合病態学演習	3	2		60	
		卒業研究	4	4		120	
		移植検査学	3	1		15	
		シミュレーション医学検査演習	2	1		30	
		先端臨床検査学	4		1	15	

別表1 授業科目の名称及び単位数
福岡薬学部薬学科

授業科目の名称			配当年次	単位数			時間	備 考
				必修	選択	自由		
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4 5 6		2		30	
		演劇論	1 2 3 4 5 6		1		15	
		心理学	1	2			30	
		哲学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		コミュニケーション概論	1	2			30	
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4 5 6		2		30	
		人間学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		倫理学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		宗教学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		日本近現代史	1 2 3 4 5 6		2		30	
		文化人類学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		教育学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4 5 6		2		30	
	社会系	法学	1	2			30	
		日本国憲法	1 2 3 4 5 6		2		30	
		社会学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		国際関係論	1 2 3 4 5 6		2		30	
		国際医療福祉論	1 2 3 4 5 6		2		30	
		組織運営管理論	1 2 3 4 5 6		2		30	
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2	1			15	
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2	1			45	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	1			30	
		ボランティア論	1 2 3 4 5 6		2		30	
	自然・情報系	経済の仕組み	1 2 3 4 5 6		2		30	
		数学	1	2			30	
		物理学	1 2 3 4 5 6		2		30	
		化学	1	2			30	
		生物学	1	2			30	
		データリテラシー	1	1			30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4 5 6		1		30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4 5 6		1		30	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	1			30	
		医学／医療史	1 2 3 4 5 6		2		30	
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1			30	
		郷土論～大川学～	1 2 3 4 5 6		1		15	
		医療福祉教養講義	1 2 3 4 5 6		1		15	
		メディカルマナー入門	1 2 3 4 5 6		2		30	
	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1			30	
		英語講読2 (Basic)	2	1			30	
		英語CALL1 (Primary)	1	1			30	
		英語CALL2 (Basic)	2	1			30	
		英会話	1 2 3 4 5 6		1		30	
		実用英会話	2 3 4 5 6		1		30	
		医学英語Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		医学英語Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
		中国語	1 2 3 4 5 6		2		60	
		実用中国語会話	2 3 4 5 6		1		30	
		韓国語	1 2 3 4 5 6		2		60	
		実用韓国語会話	2 3 4 5 6		1		30	
	外国語系 留学生用日本語科目	作文・読解Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		作文・読解Ⅱ（応用）	1		1		30	留学生は必修
		作文・読解Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		文法・語彙Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		文法・語彙Ⅱ（応用）	1		1		30	留学生は必修
		文法・語彙Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		発表・討論Ⅰ（応用）	1		1		30	留学生は必修
		発表・討論Ⅱ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		30	
		医療福祉専門漢字	1		1		30	留学生は必修
		医療福祉専門語彙	1		1		30	留学生は必修
		日本語基礎Ⅰ（初級）	1 2 3 4 5 6			1	30	
		日本語基礎Ⅱ（初級）	1 2 3 4 5 6			1	30	
	体育健康系	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1		15	
		健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1		30	

授業科目の名称				配当年次	単位数			時間	備 考
					必修	選択	自由		
専 門 科 目	学 部 共 通	救急医学(救命救急を含む)		2 3		1		15	
		リハビリテーション概論		1 2 3 4 5 6		2		30	
		微生物と病気		1 2 3 4 5 6		2		30	
		関連職種連携論		2	2			30	
		ケアマネジメント論		2 3 4 5 6		1		15	
		保健医療福祉制度論		1 2 3 4 5 6		2		30	
		臨床心理学概論		1	2			30	
		関連職種連携ワーク		3	1			30	
		関連職種連携実習		5		1		45	
		リスクマネジメント論		3 4 5 6		2		30	メディア授業
	薬 学 科	医療関連法規Ⅰ(医薬品全般に関わる法律)		3	1			15	
		医療関連法規Ⅱ(医薬品開発と薬害に関する法律の理解)		4	1			15	
		薬学演習Ⅰ(物理・化学・生物：基礎)		2	1			30	
		薬学演習Ⅱ(物理・化学・生物：応用)		3	1			30	
		薬学演習Ⅲ(医療倫理・ヒューマニズム)		3	1			30	
		薬学計算		2		1		30	
		病原微生物学		2	2			30	
		コミュニケーション実習		2	1			45	
		基礎薬学実習		1	1			45	
		公衆衛生学Ⅰ(保健統計、疫学、制度)		2	2			30	
		公衆衛生学Ⅱ(感染症と予防)		3	1			15	
		薬学概論		1	2			30	
		基礎統計学		1	1			15	
		有機化学Ⅰ(脂肪族化合物1)		1	2			30	
		有機化学Ⅱ(脂肪族化合物2)		2	2			30	
		有機化学Ⅲ(芳香族化合物)		2	2			30	
		生物有機化学		3	1			15	
		生薬学		2	2			30	
		天然物化学		2	1			15	
		医薬品構造化学Ⅰ(コア構造と作用機構)		4	1			15	
		医薬品構造化学Ⅱ(代表的医薬品の構造と作用)		6	1			15	
		医薬品構造解析演習		2	1			30	
		有機化学演習		1		1		30	
		分析化学Ⅰ(化学平衡と滴定)		1	2			30	
		分析化学Ⅱ(機器分析)		2	2			30	
		分析化学Ⅲ(分離分析と臨床分析)		3	2			30	
		薬品物理化学Ⅰ(物性とエネルギー)		1	2			30	
		薬品物理化学Ⅱ(平衡と変化)		2	2			30	
		放射化学		2	2			30	
		生化学Ⅰ(生体分子)		1	2			30	
		生化学Ⅱ(生体エネルギー・代謝)		2	2			30	
		分子生物学		2	2			30	
		細胞生物学		2	1			15	
		解剖生理学Ⅰ(器官系概論、神経系等)		1	2			30	
		解剖生理学Ⅱ(循環器系、消化器系等)		2	2			30	
		がん薬物療法学		3	2			30	
		ゲノム医療		3	1			15	
		化学療法学		3	2			30	
		免疫学		3	2			30	
		疾病と病態生理学Ⅰ(神経精神系疾患、循環器系疾患等)		2	2			30	
		疾病と病態生理学Ⅱ(代謝系疾患、消化器系疾患等)		2	2			30	
		薬理学Ⅰ(総論)		2	1			15	
		薬理学Ⅱ(末梢神経薬理、中枢神経薬理等)		2	2			30	
		薬理学Ⅲ(免疫・炎症薬理、循環器薬理等)		3	2			30	
		薬理学Ⅳ(呼吸器薬理、内分泌薬理等)		3	1			15	
		医薬品安全性学		4	2			30	
		臨床検査医学		4	2			30	
		薬物治療学Ⅰ(神経精神系疾患、内分泌系疾患等)		4	2			30	
		薬物治療学Ⅱ(循環器系疾患、呼吸器系疾患等)		4	2			30	
		薬物治療学Ⅲ(症例・病態解析)		6	1			30	
		物理薬剤学		3	1			15	
		製剤設計とDDS		3	2			30	
		臨床薬学Ⅰ(調剤の基礎)		3	2			30	
		臨床薬学Ⅱ(調剤の実践)		4	2			30	
		臨床薬学Ⅲ(薬物療法の実践)		4	2			30	
		臨床薬学Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に)		4 5	1			15	
		薬物動態学		3	2			30	
		臨床薬物動態学		4	2			30	
		医薬品情報学Ⅰ(医薬品情報の収集と活用)		3	2			30	
		医薬品情報学Ⅱ(EBMと臨床研究)		4	1			15	
		衛生化学Ⅰ(食品・栄養)		2	2			30	

授業科目の名称			配当年次	単位数			時間	備 考
				必修	選択	自由		
専門教育科目	専門科目	衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2			30	
		環境衛生学	3	2			30	
		日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3	1			15	
		日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6	1			15	
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2			30	
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4		1		15	
		OTC医薬品概論	3	2			30	
		医療データサイエンス概論	4	1			15	
		医療データサイエンス演習	6	1			30	
		医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6	1			15	
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1			45	
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1			45	
		物理系薬学実習	2	1			45	
		生物系薬学実習	3	1			45	
		分子生物学実習	3	1			45	
		免疫・微生物学実習	3	1			45	
		薬剤学実習	4	1			45	
		フィジカルアセスメント実習	4	1			45	
		衛生系薬学実習	3	1			45	
		早期体験実習	1	1			45	
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1			45	
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1			45	
		医療系薬学実習Ⅲ（実務実習に必要な基本的技能）	4	1			45	
		実務実習事前演習	4	2			60	
		薬局実務実習	5 6	10			450	
		病院実務実習	5 6	10			450	
		総合薬学演習Ⅰ（主として物理・化学・生物・衛生）	6	1			30	
		総合薬学演習Ⅱ（主として薬理・薬剤・病態・実務）	6	1			30	
		卒業研究	5 6	8			360	

別表1 授業科目の名称及び単位数
留学生用日本語科目(福岡保健医療学部)

授業科目の名称			配当年次				単位数			時間	備 考
							必修	選択	自由		
総合教育	外国語系	作文・読解Ⅰ(入門)	1	2	3	4		1		30	
		作文・読解Ⅱ(応用)	1	2	3	4	1			30	
		作文・読解Ⅲ(完成)	1	2	3	4		1		30	
		文法・語彙Ⅰ(入門)	1	2	3	4		1		30	
		文法・語彙Ⅱ(応用)	1	2	3	4	1			30	
		文法・語彙Ⅲ(完成)	1	2	3	4		1		30	
		発表・討論Ⅰ(応用)	1	2	3	4	1			30	
		発表・討論Ⅱ(完成)	1	2	3	4		1		30	
		医療福祉専門漢字	1	2	3	4	1			30	
		医療福祉専門語彙	1	2	3	4	1			30	
		日本語基礎Ⅰ(初級)	1	2	3	4			3	90	
		日本語基礎Ⅱ(初級)	1	2	3	4			3	90	

別表2 卒業に必要な単位数

区 分		保 健 医 療 学 部														医 療 福 祉 学 部										薬学部	
																医 療 福 祉 ・ マ ネ ジ メ ン ト 学 科										薬学科	
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		視機能療法学科		放射線・情報科学科		医学検査学科		社会福祉コース		精神保健福祉コース		介護福祉コース		診療情報管理コース		医療福祉マネジメントコース			
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
総合教育	人間系	2	—	—	4以上	—	4以上	—	6以上	2	—	—	2以上	—	—	—	—	—	—	4	4以上	—	—	—	—	4	—
	社会系	1	—	1	2以上	1	2以上	1	5以上	1	—	1	2以上	1	—	3	—	3	—	3	2以上	1	—	1	—	3	—
	自然・情報系	8	—	2	2以上	2	—	4	1以上	12	—	4	—	4	—	2	14以上	2	14以上	2	3以上	2	16以上	2	16以上	8	3以上
	総合系	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—
	外国語系	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	4以上	4	4以上	4	2以上	4	—	4	—	4	—	4	—	4	—	4	—
	保健体育系	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専門教育	専門基礎	23	—	34	—	33	—	39	—	36	—	24	—	30	—	54	46以上	55	45以上	97	9以上	61	39以上	61	39以上	17	—
	専門	75	4以上	58	12以上	61	10以上	47	8以上	60	3以上	76	5以上	83	3以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	142	—
卒業に必要な単位数		114	10以上	100	26以上	102	24以上	98	26以上	116	10以上	110	18以上	123	5以上	64	60以上	65	59以上	111	19以上	69	55以上	69	55以上	179	12以上
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上		124単位以上		126単位以上		128単位以上		128単位以上		124単位以上		124単位以上		130単位以上		124単位以上		124単位以上		191単位以上	

区 分		医学部		区 分	成田看護学部		成 田 保 健 医 療 学 部										成田薬学部		区 分	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部					
		医学科			看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		医学検査学科		放射線・情報科学科		薬学科			心理学科		医療マネジメント学科			
		必 修	選 択		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択		必 修	選 択	必 修	選 択		
総合 教育	人間系	5	1 以上	総合 教育	人間系	—	6 以上	2	2 以上	—	4 以上	—	6 以上	—	2 以上	—	2	4	10 以上	総合 教育	人間系	6	13 以上	2	12 以上
	社会系	2	—		社会系	5		3	2 以上	3	2 以上	3	3 以上	3	2 以上	3	—	5			社会系	3		1	
	全地球的な課題	3	1 以上		自然・情報系	2		2	2 以上	2	2 以上	4	1 以上	4	2 以上	2	—	8			自然・情報系	1		3	
	数学・自然科学系	5	—		総合系	1		1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1			総合系	1		3	
	外国語系	5	—		外国語系	4		4	2 以上	4	2 以上	4	2 以上	4	2 以上	4	4	4			外国語系	3		2	
					保健体育系	—		—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—			保健体育系	—		—	
専 門 教 育	専門基礎	73.5	—	専 門 教 育	専門基礎	27	7 以上	30	4 以上	33	10以上	39	10以上	26	3以上	23	5以上	17	専 門 教 育	専門基礎	42	13 以上	17	38 以上	
	専 門	123.5	8 以上		専 門	72		59	11 以上	61		49		77		79		142		専 門	30		46		
卒業に必要な単位数		217	10 以上	卒業に必要な単位数		111 13以上	101 25以上	104 22以上	102 24以上	115 13以上	112 16以上	181 10以上	卒業に必要な単位数		86 38以上	74 50以上									
卒業単位数合計		227単位以上		卒業単位数合計		124単位以上	126単位以上	126単位以上	126単位以上	128単位以上	128単位以上	191単位以上	卒業単位数合計		124単位以上	124単位以上									

区 分		小田原保健医療学部							
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科			
		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択		
総合教育	人間系	2	—	—	4以上	2	4以上		
	社会系	1	—	1	2以上	1	2以上		
	自然・情報系	5	2* *	2	2以上	4	1* *	1以上	
	総合系	1	—	1	—	1	—		
	外国語系	4	2* *	4	2以上	4	2以上		
	保健体育系	—	2* *	—	—	—	1* *		
専門教育	専門基礎	28	2以上	34	12以上	33	12以上		
	専門	70	2以上	58		59			
卒業に必要な単位数		111	13以上	100	26以上	104	22以上		
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上			

区 分		福岡保健医療学部								福岡薬学部	
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		医学検査学科		薬学科	
		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択
総合教育	人間系	2	—	13	8以上 (うち3単位は外国語系選択必修)	11	10以上 (うち3単位は外国語系選択必修)	11	8以上 (うち3単位は外国語系選択必修)	4	3以上
	社会系	5	—							5	
	自然・情報系	2	—							8	
	総合系	1	—							1	
	外国語系	4	2							4	
	保健体育系	—	—							—	7以上
専門教育	専門基礎	25	5以上	35	5以上	33	7以上	24	4以上	17	—
	専門	74		65		65		81		142	
卒業に必要な単位数		113	11以上	113	13以上	109	17以上	116	12以上	181	10以上
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上		128単位以上		191単位以上	

【注1】小田原保健医療学部看護学科の自然・情報系、外国語系、保健体育系の2* * は自然・情報系、外国語系、保健体育系から2単位以上選択の意。

【注2】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の1* * は自然・情報系及び保健体育系から1単位以上選択の意。

別表2-2 卒業に必要な単位数(留学生用)

区 分		保 健 医 療 学 部												医 療 福 祉 学 部										薬学部					
														医 療 福 祉 ・ マ ネ ジ メ ン ト 学 科										薬学科					
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		視機能療法学科		放射線・情報科学科		医学検査学科		社会福祉コース		精神保健福祉コース		介護福祉コース		診療情報管理コース		医療福祉マネジメントコース		必修		選択	
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
総合教育	人間系	2	—	—	4以上	—	4以上	—	6以上	2	—	—	2以上	—	—	—	—	4	4以上	—	—	—	—	—	—	4	—		
	社会系	1	—	1	2以上	1	2以上	1	5以上	1	—	1	2以上	1	—	3	—	3	2以上	1	—	1	—	1	—	3	—		
	自然・情報系	8	—	2	2以上	2	—	4	1以上	12	—	4	—	4	—	2	—	2	3以上	2	—	2	—	2	—	8	—		
	総合系	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—		
	外国語系	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上		
	保健体育系	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
専門教育	専門基礎	23	—	34	—	33	—	39	—	36	—	24	—	30	—	54	46以上	55	45以上	97	9以上	61	39以上	61	39以上	17	—		
	専門	75	4以上	58	12以上	61	10以上	47	8以上	60	3以上	76	5以上	83	3以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	142	—		
卒業に必要な単位数		115	9以上または11以上	101	25以上または27以上	103	23以上または25以上	99	25以上または27以上	117	9以上または17以上	111	17以上または19以上	124	6以上または8以上	65	59以上または61以上	66	58以上または60以上	112	21以上または23以上	70	54以上または56以上	70	54以上または56以上	180	11以上または13以上		
卒業単位数合計		124単位以上または126単位以上		126単位以上または128単位以上		126単位以上または128単位以上		124単位以上または126単位以上		126単位以上または128単位以上		128単位以上または130単位以上		130単位以上または132単位以上		124単位以上または126単位以上		124単位以上または126単位以上		133単位以上または135単位以上		124単位以上または126単位以上		124単位以上または126単位以上		191単位以上または193単位以上			

※ 留学生の卒業要件単位数の違いは、日本語能力レベルに応じて、外国語選択科目単位数が増えるため

区 分		小田原保健医療学部					
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科	
		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択
総合 教 育	人間系	2	—	—	—	2	2 以上
	社会系	1	—	1	—	1	—
	自然・情報系	5	—	2	—	4	1 * *
	総合系	1	—	1	—	1	—
	外国語系	—	10 以上	—	10 以上	—	10 以上
	保健体育系	—	—	—	—	—	1 * *
専 門 教 育	専門基礎	28	2以上	34	—	33	12 以上
	専 門	70	2以上	58	—	59	—
卒業に必要な単位数		107	17以上	96	30以上	100	26以上
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上	

区 分		福岡保健医療学部								福岡薬学部	
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		医学検査学科		薬学科	
		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択
総合 教 育	人間系	2	—	—	—	—	—	—	—	4	—
	社会系	5	—	—	—	—	—	—	—	5	—
	自然・情報系	2	—	2 以上	6 以上（うち 5は日本語 の選択必修）	13	8 以上（うち 5は日本語 の選択必修）	13	8 以上（うち 5は日本語 の選択必修）	8	—
	総合系	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	外国語系	5	本 5 語（日）	—	—	—	—	—	—	5	3以上 または 5以上
	保健体育系	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専 門 教 育	専門基礎	25	5 以上	35	5 以上	33	7 以上	24	4 以上	17	—
	専 門	74	—	65	—	65	—	81	—	142	—
卒業に必要な単位数		114	12以上	115	11以上	111	15以上	118	12以上	182	9以上 または 11以上
卒業単位数合計		126単位以上		126単位以上		126単位以上		130単位以上		191単位以上 または 193単位以上	

【注1】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の1* * は自然・情報系及び保健体育系から1単位以上選択の意。

国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程（案）

（目的）

第1条 この規程は、国際医療福祉大学学則（以下「大学学則」という。）第53条に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）の学部入学検定料及び学生納付金について定めることを目的とする。

（定義）

第2条 入学検定料とは、入学試験の出願に際し納付する料金をいう。

2 学生納付金とは、次の各号に定める料金をいう。

- 一 保健医療学部、薬学部、小田原保健医療学部、福岡保健医療学部、成田看護学部、成田保健医療学部、医学部、福岡薬学部、成田薬学部
入学金、授業料、実験実習費、施設設備費
- 二 医療福祉学部、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部
入学金、授業料、実習・文献費、施設費

3 前項に定めるもののほか、保健医療学部看護学科保健師履修コース、小田原保健医療学部看護学科保健師履修コース、福岡保健医療学部看護学科保健師履修コース、成田看護学部保健師履修コース、小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程及び「海外保健福祉事情」を履修する者については、別表に定める「履修費」をその学生納付金に含めるものとする。

（入学検定料の額）

第3条 入学検定料の額は、別表1のとおりとする。

（学生納付金の額）

第3条の2 学生納付金の額は、別表2のとおりとする。

（学生納付金の納付）

第4条 学生納付金は、当該学生納付金に係る年度の前年度の3月31日までに、原則として一括して納付しなければならない。ただし、分割納入（以下「分納」という。）及び納付期限後の納付（以下「延納」という。）を認めることがある。

（学生納付金の分納）

第5条 学生納付金を一括して納付することが困難な場合、その他特別の事情がある場合は、分納の申請により、当該年度の学生納付金を、第1回と第2回の2回に分けて納付することを認めることがある。

2 前項に規定する分納の納付期限は、第1回については、当該年度の前年度の3月31日、第2回については、当該年度の9月30日とする。

3 第1項に規定する分納に係る第1回及び第2回の学生納付金の額は、別表3のとおりとする。

（学生納付金の延納）

第6条 経済的理由により学生納付金を第4条又は前条第2項に規定する期限までに納付することが困難な者で、延納を希望するものは、所定の様式により願い出ることにより、3箇月以内の延納を認めることがある。

(分納及び延納の手続き)

第7条 学生納付金の分納又は延納を希望する場合は、所定の様式により、分納申請書又は延納願を、保証人連署のうえ、次の各号に定める期限までに提出しなければならない。

- | | |
|---------|---------------------------|
| 一 分納申請書 | 当該年度の前年度の3月31日 |
| 二 延納願 | 一括納付又は第1回分 当該年度の前年度の3月31日 |
| | 第2回分 当該年度の9月30日 |

(学生納付金の特例)

第7条の2 所定の修業年限を超えて在学する者が、学年の前期末までに卒業する場合は、第3条の2の規定にかかわらず、第5条第3項に規定する第1回の学生納付金の額をもって当該年度の学生納付金の額とする。

(滞納処分)

第8条 第4条、第6条に規定する手続きを経ることなく、学生納付金を滞納した場合は、次の各号に規定する資格を停止することができる。

- 一 授業への出席及び定期試験等を受験すること。
- 二 本学が発行する証明書及び学校学生生徒旅客運賃割引証の発行を受けること。
- 三 その他学内において、教務事務主管課、学生事務主管課、図書館、大学クリニック等のサービスを受けること。

2 学生納付金の督促を受けた者が、指定された期限までに納付しない場合は、大学学則第41条の規定により除籍とする。

別表1 入学検定料

別表2 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

別表3 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の成田看護学部、成田保健医療学部入学検定料について

ては、平成28年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の医学部入学検定料については、平成29年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の医学部入学検定料及び赤坂心理・医療福祉マネジメント学部入学検定料については、平成30年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和元（2019）年5月27日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和2（2020）年4月1日から施行する。
- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の福岡薬学部入学検定料については、令和2年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

この規程は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5（2023）年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和6（2024）年4月1日から施行する。
- 2 第3条（入学検定料の額）に定める別表1の成田薬学部入学検定料については、令和6年度入学に係る入学試験から適用する。

附 則

この規程は、令和7（2025）年4月1日から施行する。

別表1 入学検定料

単位：円

学 部 名	入 学 検 定 料
保健医療学部 医療福祉学部 小田原保健医療学部 福岡保健医療学部 成田看護学部 成田保健医療学部 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	30,000
薬学部 福岡薬学部 成田薬学部	35,000
医学部	60,000

- (※1) 大学入学共通テスト利用選抜の入学検定料は、各学部20,000円とする。但し、医学部は50,000円とする。
- (※2) 特待奨学生特別選抜及び一般選抜前期において、1日の試験で複数学部に出願する場合は、2学部目を10,000円引き、3学部目以降は1学部に出願することにより入学検定料を10,000円とする。
- (※3) 一般選抜前期 日程A・日程B・日程Cにおいて、同一学部複数回出願する場合は、2回目を10,000円引き、3回目の入学検定料を10,000円とする。
(成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料割引を適用する。)
- (※4) 一般選抜前期 日程A・日程B・日程Cにおいて、複数学部複数回出願する場合は、2学部目の1回目の入学検定料を10,000円引きとし、2回目以降は1回出願することにより入学検定料を10,000円とする。また、3学部目以降は1回出願することにより入学検定料を10,000円とする。
(成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料割引を適用する。)
- (※5) 一般選抜前期で同一学部2回以上出願し、さらに同一学部の大学入学共通テスト利用選抜に出願する場合、大学入学共通テスト利用選抜の入学検定料を10,000円引きとする。
(成田看護学部、成田保健医療学部の2学部に出願する場合も、上記入学検定料の割引を適用する。)
- (※6) 当該年度中に実施された入試で、既に入學手続を行っている者（二段階納入方式の1次手続のみ完了者及び手続見込者も含む）が、特待奨学生特別選抜で手続済みの学部・学科を第一志望として出願（チャレンジ受験）する場合、入学検定料を10,000円とする。
- (※7) 医学部留学生特別選抜の入学検定料は15,000円とする。
但し、政府機関による推薦等、本学が特に認めた場合については、入学検定料を減免することがある。

別表 2 - 1 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成26年度～平成28年度入学者（下段：平成25年度以前の入学者）

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部（※2） 小田原保健医療学部（※2）（※3） 福岡保健医療学部 （理学療法学科・作業療法学科 ・言語聴覚学科） 成田看護学部（※2） 成田保健医療学部	1	300,000	900,000	50,000 (200,000)	300,000	1,550,000 (1,700,000)
	2	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
	3	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
	4	—	900,000	250,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,400,000)
福岡保健医療学部 （医学検査学科）	1	300,000	800,000	50,000 (200,000)	300,000	1,450,000 (1,600,000)
	2	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
	3	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
	4	—	800,000	250,000 (200,000)	300,000	1,350,000 (1,300,000)
医療福祉学部（※4）	1	250,000	700,000	30,000 (150,000)	100,000	1,080,000 (1,200,000)
	2	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
	3	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
	4	—	700,000	190,000 (150,000)	100,000	990,000 (950,000)
薬学部	1	300,000	1,100,000	50,000 (200,000)	250,000	1,700,000 (1,850,000)
	2	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	3	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	4	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	5	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)
	6	—	1,100,000	230,000 (200,000)	250,000	1,580,000 (1,550,000)

（※1）医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

（※2）保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、平成28年度入学者について、上記以外に履修費50,000円（4年間総額）を加える。

但し、平成27年度以前入学者は、小田原保健医療学部看護学科保健師履修コースのみ、上記以外に履修費30,000円（4年間総額）を加える。

（※3）小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円（4年間総額）を加える。

（※4）医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科介護福祉コースは、上記以外に履修費50,000円（毎年次）を加える。

（※5）「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表 2 - 2 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科 (※2) ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (※4) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	250,000	700,000	30,000	130,000	1,110,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科 (※2)(※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
福岡保健医療学部 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
成田看護学部 ・看護学科 (※2) 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科介護福祉コースは、上記以外に履修費50,000円(毎年次)を加える。

(※5) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表 2－3 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成31年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	300,000	1,550,000
	2	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	3	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
	4	—	900,000	250,000	300,000	1,450,000
成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円（4年間総額）を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円（4年間総額）を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表 2－4 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科 (※2) ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科 (※2) (※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科 (※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表 2－5 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科 (※2) ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 (介護福祉コース以外) 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科 (※2) (※3)	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科 (※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
福岡保健医療学部 ・看護学科 (※2)	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000

- (※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。
- (※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。
- (※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。
- (※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表 2－6 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1)実習・文献費	施設設備費 (※1)施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表 2-7 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	—	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	—	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	—	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	—	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	—	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	—	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	—	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表３－１ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成26年度～平成28年度入学者（下段：平成25年度以前の入学者）

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部（※2） 小田原保健医療学部（※2）（※3） 福岡保健医療学部 （理学療法学科・作業療法学科 ・言語聴覚学科） 成田看護学部（※2） 成田保健医療学部	1	第1回	300,000	450,000	25,000 (100,000)	300,000	1,075,000 (1,150,000)
		第2回	—	450,000	25,000 (100,000)	—	475,000 (550,000)
	2	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)
	3	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)
	4	第1回	—	450,000	125,000 (100,000)	300,000	875,000 (850,000)
		第2回	—	450,000	125,000 (100,000)	—	575,000 (550,000)
福岡保健医療学部 （医学検査学科）	1	第1回	300,000	400,000	25,000 (100,000)	300,000	1,025,000 (1,100,000)
		第2回	—	400,000	25,000 (100,000)	—	425,000 (500,000)
	2	第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)
		第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)
	3	第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)
		第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)
	4	第1回	—	400,000	125,000 (100,000)	300,000	825,000 (800,000)
		第2回	—	400,000	125,000 (100,000)	—	525,000 (500,000)
医療福祉学部（※4）	1	第1回	250,000	350,000	15,000 (75,000)	100,000	715,000 (775,000)
		第2回	—	350,000	15,000 (75,000)	—	365,000 (425,000)
	2	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)
		第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)
	3	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)
		第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)
	4	第1回	—	350,000	95,000 (75,000)	100,000	545,000 (525,000)
		第2回	—	350,000	95,000 (75,000)	—	445,000 (425,000)
薬学部	1	第1回	300,000	550,000	25,000 (100,000)	250,000	1,125,000 (1,200,000)
		第2回	—	550,000	25,000 (100,000)	—	575,000 (650,000)
	2	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	3	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	4	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	5	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)
	6	第1回	—	550,000	115,000 (100,000)	250,000	915,000 (900,000)
		第2回	—	550,000	115,000 (100,000)	—	665,000 (650,000)

(※1) ～ (※5) 別表2の脚注に同じ。

別表３－２ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （※4） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	250,000	350,000	15,000	130,000	745,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－２ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成29年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
福岡保健医療学部 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田看護学部 ・看護学科 (※2) 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000

(※1) ～ (※5) 別表2の脚注に同じ。

別表３－３ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成31年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－３ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■平成31年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	300,000	1,075,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	300,000	875,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

(※1) ～ (※4) 別表2の脚注に同じ。

別表３－４ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－４ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和3年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

(※1) ～ (※4) 別表2の脚注に同じ。

別表３－５ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－５ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和5年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000

(※1) ～ (※4) 別表2の脚注に同じ。

別表３－６ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－６ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000

別表３－６ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和6年度以降の入学者 単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

(※1) ～ (※4) 別表2の脚注に同じ。

別表３－７ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	—	350,000	15,000	—	365,000
	2	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	3	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
	4	第1回	—	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	—	350,000	95,000	—	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	—	300,000	15,000	—	315,000
	2	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	3	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
	4	第1回	—	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	—	300,000	95,000	—	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000

別表３－７ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
福岡保健医療学部 ・看護学科（※2）	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000

別表３－７ 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000

(※1) ～ (※4) 別表2の脚注に同じ。

国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程（案）

（趣旨）

第1条 国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程は、国際医療福祉大学学則第2条に基づき、国際医療福祉大学（以下「本学」という。）各学部、各学科の教育研究上の目的について定めるものである。

（学部の教育研究上の目的）

第2条 本学学部の教育研究上の目的は、以下の各号のとおり定める。

- 一 保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学、医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 二 医療福祉学部は、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 三 薬学部は、薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成することを目的とする。
- 四 福岡保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、医学検査学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 五 小田原保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 六 成田看護学部は、看護学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 七 成田保健医療学部は、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国内外で保健医療の実践を担うことので

- きる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。
- 八 医学部は、医学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国際的な素養を身に付け医学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医師を育成する。
- 九 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部は、心理学若しくは医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、心理に関する支援若しくは医療福祉の実践を、チームで担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた公認心理師、認定心理士、カウンセラー等の心理の専門職業人、医療福祉施設経営者・管理者、診療情報管理士、医療情報・医事の専門職業人等の人材を育成することを目的とする。
- 十 福岡薬学部は、薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成することを目的とする。
- 十一 成田薬学部は、薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、国内外で薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

(保健医療学部各学科の教育研究上の目的)

第3条 前条第1項第一号に定める保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

- 一 看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付けた看護師、保健師の育成を目的とする。
- 二 理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れた理学療法士の育成を目的とする。
- 三 作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できる作業療法士の育成を目的とする。
- 四 言語聴覚学科は、検査、指導、訓練の技術を修得し、コミュニケーション能力や言語能力に障害をもつ方の回復を支援するために必要なスキルを身に付け、人間の尊厳を支える高度な専門職としての言語聴覚士の育成を目的とする。
- 五 視機能療法学科は、繊細な目を守るエキスパートとしての質の高い専門知識や技術を幅広く修得し、医療人としての総合力を高め、「見ること」、「見え

ること」の素晴らしさを伝えることのできる視能訓練士の育成を目的とする。

六 放射線・情報科学科は、基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場における対応力を培い、社会に貢献する診療放射線技師の育成を目的とする。

七 医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身に付けるとともに、高度先進医療に対応する能力並びに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。

(医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の教育研究上の目的)

第4条 第2条第1項第二号に定める医療福祉学部の教育研究上の目的をふまえ、医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

医療福祉・マネジメント学科は、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事、社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の各分野について、必要な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

(薬学部薬学科の教育研究上の目的)

第5条 第2条第1項第三号に定める薬学部の教育研究上の目的をふまえ、薬学部薬学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

(福岡保健医療学部各学科の教育研究上の目的)

第6条 第2条第1項第四号に定める福岡保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、福岡保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおりに定める。

- 一 看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付けた看護師、保健師の育成を目的とする。
- 二 理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れた理学療法士の育成を目的とする。
- 三 作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できる作業療法士の育成を目的とする。
- 四 言語聴覚学科は、検査、指導、訓練の技術を修得し、コミュニケーション能力や言語能力に障害をもつ方の回復を支援するために必要なスキルを身に

付け、人間の尊厳を支える高度な専門職としての言語聴覚士の育成を目的とする。

五 医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身に付けるとともに、高度先進医療に対応する能力並びに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。

(小田原保健医療学部各学科の教育研究上の目的)

第7条 第2条第1項第五号に定める小田原保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、小田原保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

一 看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付けた看護師、保健師の育成を目的とする。

二 理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れた理学療法士の育成を目的とする。

三 作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できる作業療法士の育成を目的とする。

(成田看護学部看護学科の教育研究上の目的)

第8条 第2条第1項第六号に定める成田看護学部の教育研究上の目的をふまえ、成田看護学部看護学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付け、国内外で活躍できる看護師、保健師の育成を目的とする。

(成田保健医療学部各学科の教育研究上の目的)

第9条 第2条第1項第七号に定める成田保健医療学部の教育研究上の目的をふまえ、成田保健医療学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおり定める。

一 理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れ、国内外で活躍できる理学療法士の育成を目的とする。

二 作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応し、国内外で活躍できる作業療法士の育成を目的とする。

三 言語聴覚学科は、検査、指導、訓練の技術を修得し、コミュニケーション能力や言語能力に障害をもつ方の回復を支援するために必要なスキルを身に付け、人間の尊厳を支える高度な専門職として、国内外で活躍できる言語

聴覚士の育成を目的とする。

四 医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身に付けるとともに、高度先進医療に対応する能力並びに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。

五 放射線・情報科学科は、基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場における対応力を培い、社会に貢献する診療放射線技師の育成を目的とする。

(医学部医学科の教育研究上の目的)

第10条 第2条第1項第八号に定める医学部の教育研究上の目的をふまえ、医学部医学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

医学科は、医学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、国際的な素養を身につけ医学の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた医師を育成することを目的とする。

(赤坂心理・医療福祉マネジメント学部各学科の教育研究上の目的)

第11条 第2条第1項第九号に定める赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の教育研究上の目的をふまえ、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部各学科の教育研究上の目的を以下の各号のとおりに定める。

一 心理学科は、心理学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、人のこころの多様な問題の解決に、チームで適切に支援できる人材を育成することを目的とする。

二 医療マネジメント学科は、医療福祉経営、診療情報管理、医療情報・医事の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、医療福祉の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。

(福岡薬学部薬学科の教育研究上の目的)

第12条 第2条第1項第十号に定める福岡薬学部の教育研究上の目的をふまえ、福岡薬学部薬学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

(成田薬学部薬学科の教育研究上の目的)

第13条 第2条第1項第十一号に定める成田薬学部の教育研究上の目的をふまえ、成田薬学部薬学科の教育研究上の目的を以下のとおり定める。

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規定は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。ただし、第5条第1項第4号については、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2（2020）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3（2021）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5（2023）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6（2024）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7（2025）年4月1日から施行する。

学則の変更事項を記載した書類

1. 変更の事由

国際医療福祉大学に保健医療学部医学検査学科を設置することに伴い、学則の一部を下記のとおり変更する。

2. 主な変更点

①国際医療福祉大学学則

- (1) 第2条（学部）第1項第一号に、医学検査学、臨床検査技師を追加するとともに、別表に医学検査学科を追加する。
- (2) 施行日（令和7（2025）年4月1日）の附則を追加するとともに、第2項に収容定員について追加する。

②国際医療福祉大学学位規程

- (1) 別表1の保健医療学部医学検査学科の学位〔学士（医学検査学）〕を追加する。
- (2) 施行日（令和7（2025）年4月1日）の附則を追加する。

③国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程

- (1) 別表1（授業科目の名称及び単位数）の保健医療学部放射線・情報科学科の次に、医学検査学科を追加する。
- (2) 別表2（卒業に必要な単位数）の保健医療学部放射線・情報科学科の次に、医学検査学科を追加する。
- (3) 別表2-2（卒業に必要な単位数（留学生用））の保健医療学部放射線・情報科学科の次に、医学検査学科を追加する。
- (4) 施行日（令和7（2025）年4月1日）の附則を追加する。

④国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程

- (1) 別表2-7（学生納付金）の保健医療学部、医学検査学科を追加する。
- (2) 別表3-7（分納に係る学生納付金）の保健医療学部、医学検査学科を追加する。
- (3) 施行日（令和7（2025）年4月1日）の附則を追加する。

⑤国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程

- (1) 第2条（学部の教育研究上の目的）第1項第一号に、医学検査学を追加する。

- (2) 第3条（保健医療学部各学科の教育研究上の目的）に、医学検査学科の教育研究上の目的を第七号として追加する。
- (3) 施行日（令和7（2025）年4月1日）の附則を追加する。

以 上

国際医療福祉大学学則新旧対照表（案）

新	旧												
第 1 条 （略） （学部） 第 2 条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。 一 保健医療学部 看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、<u>医学検査学</u>、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、<u>臨床検査技師</u>、診療放射線技師等の人材を育成する。 二～十一 （略） 2 前項の学部に置く学科及びその学生定員は、別表のとおりとする。 （以下、略） <u>附 則</u> <u>1 この学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。</u> <u>2 第 2 条第 2 項に規定する保健医療学部医学検査学科の収容定員は、同条にかかわらず、令和 7 年度から令和 9 年度までは、次のとおりとする。</u> <table><tr><td></td><td><u>令和 7 年度</u></td><td><u>令和 8 年度</u></td><td><u>令和 9 年度</u></td></tr><tr><td><u>保健医療学部</u></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td><u>医学検査学科</u></td><td><u>80 名</u></td><td><u>160 名</u></td><td><u>240 名</u></td></tr></table>		<u>令和 7 年度</u>	<u>令和 8 年度</u>	<u>令和 9 年度</u>	<u>保健医療学部</u>				<u>医学検査学科</u>	<u>80 名</u>	<u>160 名</u>	<u>240 名</u>	第 1 条 （略） （学部） 第 2 条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。 一 保健医療学部 看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師等の人材を育成する。 二～十一 （略） 2 前項の学部に置く学科及びその学生定員は、別表のとおりとする。 （以下、略）
	<u>令和 7 年度</u>	<u>令和 8 年度</u>	<u>令和 9 年度</u>										
<u>保健医療学部</u>													
<u>医学検査学科</u>	<u>80 名</u>	<u>160 名</u>	<u>240 名</u>										

別 表

学部名	学科名	入学定員	3 年次 編入学定員	収容定員
保 健 医 療 学 部	看護学科	115	—	460
	理学療法学科	100	—	400
	作業療法学科	80	—	320
	言語聴覚学科	80	—	320
	視機能療法学科	50	—	200
	医学検査学科	80	—	320
	放射線・情報科学科	110	—	440
	合 計	615	—	2,460
(略)				

別 表

学部名	学科名	入学定員	3 年次 編入学定員	収容定員
保 健 医 療 学 部	看護学科	115	—	460
	理学療法学科	100	—	400
	作業療法学科	80	—	320
	言語聴覚学科	80	—	320
	視機能療法学科	50	—	200
	(新設)			
	放射線・情報科学科	110	—	440
	合 計	535	—	2,140
(略)				

国際医療福祉大学学位規程新旧対照表（案）

新	旧
第 1 条 （略） （学位） 第 2 条 本学において授与する学位は、学士、修士、博士及び修士（専門職）とする。 <u>2 学士の学位は、別表 1 のとおりとする。</u> 3 修士の学位は、別表 2 のとおりとする。 4 博士の学位は、別表 3 のとおりとする。 5 修士（専門職）の学位は、別表 4 のとおりとする。 （以下、略） <u>附 則</u> <u>この規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。</u>	第 1 条 （略） （学位） 第 2 条 本学において授与する学位は、学士、修士及び博士とする。 2 学士の学位は、別表 1 のとおりとする。 3 修士の学位は、別表 2 のとおりとする。 4 博士の学位は、別表 3 のとおりとする。 5 修士（専門職）の学位は、別表 4 のとおりとする。 （以下、略）

別表 1（第 2 条第 2 項関係）

学 部	学科	学位（専攻分野）
保健医療学部	看護学科	学士（看護学）
	理学療法学科	学士（理学療法学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
	視機能療法学科	学士（視機能療法学）
	<u>医学検査学科</u>	<u>学士（医学検査学）</u>
	放射線・情報科学科	学士（放射線・情報科学）
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	学士（医療福祉学）、 学士（医療マネジメント学）

（以下、略）

別表 1（第 2 条第 2 項関係）

学 部	学科	学位（専攻分野）
保健医療学部	看護学科	学士（看護学）
	理学療法学科	学士（理学療法学）
	作業療法学科	学士（作業療法学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
	視機能療法学科	学士（視機能療法学）
	（新設）	
	放射線・情報科学科	学士（放射線・情報科学）
医療福祉学部	医療福祉・マネジメント学科	学士（医療福祉学）、 学士（医療マネジメント学）

（以下、略）

国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程新旧対照表（案）

新	旧
第 1 条～第 3 条 (略)	第 1 条～第 3 条 (略)
<u>附 則</u> <u>この規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。</u>	
別表 1 授業科目の名称及び単位数	別表 1 授業科目の名称及び単位数
(別紙を追加)	(略)
別表 2 卒業に必要な単位数	別表 2 卒業に必要な単位数
(別紙を追加)	(略)

国際医療福祉大学の学部の授業科目等及び卒業に必要な単位数を定める規程新旧対照表（案） 別紙

別表1 授業科目の名称及び単位数

保健医療学部 医学検査学科

授業科目の名称			配当年次				単位数		時間	備 考
			1	2	3	4	必修	選択		
総合教育	人間系	文学論	1	2	3	4		2	30	
		演劇論	1	2	3	4		1	15	
		心理学	1	2	3	4		2	30	
		哲学	1	2	3	4		2	30	
		コミュニケーション概論	1	2	3	4		2	30	
		雄談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2	3	4		2	30	
		人間学	1	2	3	4		2	30	
		歴史学	1	2	3	4		2	30	
		倫理学	1	2	3	4		2	30	
		宗教学	1	2	3	4		2	30	
		日本近現代史	1	2	3	4		2	30	
		文化人類学	1	2	3	4		2	30	
		教育学	1	2	3	4		2	30	
		教育方法論	1	2	3	4		2	30	
		死生学-死を通して生を考える-	1	2	3	4		2	30	
		生きがい論	1	2	3	4		2	30	
	社会系	法学	1	2	3	4		2	30	
		日本国憲法	1	2	3	4		2	30	
		法と道徳・倫理	1	2	3	4		2	30	
		社会学	1	2	3	4		2	30	
		日本政治経済論	1	2	3	4		2	30	
		マスメディア論	1	2	3	4		2	30	
		福祉経済学	1	2	3	4		2	30	
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2	3	4		2	30	
		国際関係論	1	2	3	4		2	30	
		世界の経済	1	2	3	4		2	30	
		国際医療福祉論	1	2	3	4		2	30	
		組織運営管理論	1	2	3	4		2	30	
		海外保健福祉事情	1	2	3	4		2	30	
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2	3	4	1		30	
		地球環境論	1	2	3	4		2	30	
		ボランティア論	1	2	3	4		2	30	
		ボランティアコーディネート論	1	2	3	4		2	30	
		手話入門	1	2	3	4		2	30	
		経済の仕組み	1	2	3	4		2	30	
		経済の歴史	1	2	3	4		2	30	
	自然・情報系	統計学	1	2	3	4		2	30	
		疫学・保健医療統計学	1	2	3	4		2	30	
		数学	1	2	3	4		2	30	
		物理学	1	2	3	4		2	30	
		化学	1	2	3	4	2		30	
		生物学	1	2	3	4		2	30	
		コンピュータの基礎	1	2	3	4		2	30	
		データリテラシー	1				1		30	
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2	3	4		1	30	
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2	3	4		1	30	
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1	2	3	4	1		30	
		医学／医療史	1	2	3	4		2	30	
		人間工学	1	2	3	4		2	30	
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1				1		30	
		郷土論～栃木学～	1	2	3	4		1	15	
		医療福祉教養講義	1	2	3	4		1	15	
		メディカルマナー入門	1	2	3	4		2	30	
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2	3	4		1	15	
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2	3	4		1	15	
		食と人間	1	2				1	15	
		持続可能な発展	1	2	3	4		2	30	
		ボランティア実践	1	2	3	4		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
総合教育	外国語系	英語講読1 (Primary)	1	1		30	
		英語講読2 (Basic)	1	1		30	
		英語講読3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語講読4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		英語C A L L 1 (Primary)	1	1		30	
		英語C A L L 2 (Basic)	1	1		30	
		英語会話1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語会話3 (Intermediate)	2 3 4		1	30	
		英語会話4 (Advanced)	2 3 4		1	30	
		聖書英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		聖書英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		医学英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語リスニング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語ライティング2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		英語医療通訳入門2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		資格英語2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法1 (Primary)	1 2 3 4		1	30	
		基礎英文法2 (Basic)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話1 (発展)	1 2 3 4		1	30	
		上級英語会話2 (総合)	1 2 3 4		1	30	
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30	
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30	
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30	
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30	
		中国語入門	1 2 3 4		1	30	
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30	
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30	
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30	
	体育保健系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15	
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門基礎／学部共通	専門基礎	公衆衛生学	2	2		30	
		救急医学	2 3		1	15	
		微生物と病気	1 2		2	30	
		リハビリテーション概論	1 2		2	30	
		関連職種連携論	2	2		30	
		看護論	1		2	30	
		ケアマネジメント論	1 2		1	15	
		ケースワーク論	1 2		1	15	
		医療管理学	1 2		2	30	
		保健医療福祉制度論	1	2		30	
		社会福祉学	1 2		2	30	
		臨床心理学概論	1 2		2	30	
		福祉支援工学概論	1 2		2	30	
		関連職種連携ワーク	3	1		30	
		関連職種連携実習	4		1	45	
		リスクマネジメント論	2		2	30	
		電子カルテシステム入門	2		1	15	
		レクリエーション概論	2		1	15	
	専門基礎	解剖学Ⅰ（総論）	1	2		30	
		解剖学Ⅱ（各論）	1	2		30	
		組織学演習	2	1		30	
		生理学	1	1		30	
		病理学	1	2		30	
		臨床医学概論	2	1		30	
		内科学	2	1		30	
		臨床神経学	1 2 3		1	30	
		精神医学	1 2 3		1	30	
		リハビリテーション医学	1 2 3	1		30	
		小児科学	1 2 3		1	30	
		老年学	1 2 3	1		30	
		病態薬理学	1	1		15	
		臨床栄養学	1	1		15	
		遺伝学	1	1		15	
		分析化学	1	1		30	
		生化学	1	1		30	
		生化学実習	1	1		45	
		医用工学・情報概論	1	2		30	
		医用工学・情報実習	1	1		45	
		検査機器学・情報システム学総論	2	2		30	
	専門教育	病理検査学	2	2		30	
		病理検査学実習	3	2		60	
		細胞診断学	2	1		30	
		細胞診断学実習	2	1		30	
		血液検査学Ⅰ（形態系、凝固・線溶系の基礎）	2	2		30	
		血液検査学Ⅱ（形態系、凝固・線溶系の応用）	2	2		30	
		血液検査学実習	3	2		60	
		一般検査学	1	2		30	
		一般検査学実習	2	1		30	
		臨床化学検査学Ⅰ（糖質、タンパク質、脂質）	1	2		30	
		臨床化学検査学Ⅱ（酵素、ホルモン、ビタミン）	2	2		30	
		臨床化学検査学実習	2	2		60	
		遺伝子検査学	1	2		30	
		遺伝子検査学実習	2	1		30	
		微生物検査学Ⅰ（細菌）	2	2		30	
		微生物検査学Ⅱ（ウイルス、真菌）	2	2		30	
		微生物検査学実習	3	2		60	
		医動物学演習	2	1		30	
		免疫検査学	2	1		30	
		免疫検査学実習	2	1		30	
		輸血・移植検査学	2	2		30	
		輸血・移植検査学実習	3	2		60	
		生理検査学Ⅰ（循環器、脳・神経、筋系）	2	2		30	
		生理検査学Ⅱ（呼吸器、感覚器、平衡機能）	2	2		30	
		生理検査学実習	3	3		90	
		超音波・MRI検査学	2	2		30	
		超音波・MRI検査学実習	2	1		45	
		先進臨床検査技術学	3		2	30	
		臨床検査統計学	2	2		30	
		医療安全管理学演習	2	2		60	
		精度管理学	3	1		15	
		臨床検査特論Ⅰ（応用）	3	2		30	
		臨床検査特論Ⅱ（発展）	4	4		60	
		臨地実習	3	11		330	
		卒業研究	4	4		120	
		医科分子生物学	1 2 3		1	15	

授業科目の名称			配当年次	単位数		時間	備考
				必修	選択		
専門教育	専門	臨床検査研究論	3	2		30	
		循環動態画像診断学	3	1		15	
		臨床検査管理総論	1	2		30	
		臨床検査診断学 (Reversed-CPC) I (基礎)	3	1		15	
		臨床検査診断学 (Reversed-CPC) II (応用)	4	2		30	
		臨床検査基礎演習	1	1		30	
		客観的臨床能力試験	3	1		30	
		入門細胞診断学演習	1		1	30	
		細胞診断学演習 I (婦人科基礎)	2		1	30	
		細胞診断学演習 II (婦人科応用)	2		1	30	
		細胞診断学演習 III (呼吸器, 体腔液基礎)	3		1	30	
		細胞診断学演習 IV (呼吸器, 体腔液応用)	3		1	30	
		臨床検査質量分析学演習	4		1	30	
		遺伝子分析科学演習 I (基礎)	3		1	30	
		遺伝子分析科学演習 II (実践)	4		1	30	
		生殖補助医療胚培養学	2		1	15	
		生殖補助医療胚培養学演習	4		1	30	

別表2 卒業に必要な単位数

区 分		保 健 医 療 学 部														医 療 福 祉 学 部										薬学部	
																医 療 福 祉 ・ マ ネ ジ メ ン ト 学 科										薬学科	
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		視機能療法学科		放射線・情報科学科		医学検査学科		社会福祉コース		精神保健福祉コース		介護福祉コース		診療情報管理コース		医療福祉マネジメントコース			
必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択
総合教育	人間系	2	—	—	4以上	—	4以上	—	6以上	2	—	—	2以上	二	二	—	—	—	—	4	4以上	—	—	—	—	4	—
	社会系	1	—	1	2以上	1	2以上	1	5以上	1	—	1	2以上	1	二	3	3	3	2以上	1	1	1	—	1	3	—	
	自然・情報系	8	—	2	2以上	2	—	4	1以上	12	—	4	—	4	二	2	2	3以上	1以上	2	2	2	16以上	2	16以上	8	—
	総合系	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	二	1	1	—	—	1	1	1	16以上	1	16以上	1	—
	外国語系	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	2以上	4	4以上	4	4以上	4	2以上	4	4	—	—	4	4	4	—	4	4	4	—
	保健体育系	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	二	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専門教育	専門基礎	23	—	34	—	33	—	39	—	36	—	24	—	30	—	54	46以上	55	45以上	97	9以上	61	39以上	61	39以上	17	—
	専門	75	4以上	58	12以上	61	10以上	47	8以上	60	3以上	76	5以上	83	3以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	142	—
卒業に必要な単位数		114	10以上	100	26以上	102	24以上	98	26以上	116	10以上	110	18以上	123	5以上	64	60以上	65	59以上	111	19以上	69	55以上	69	55以上	179	12以上
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上		124単位以上		126単位以上		128単位以上		128単位以上		124単位以上		124単位以上		130単位以上		124単位以上		124単位以上		191単位以上	

区 分		医学部		区 分	成田看護学部		成 田 保 健 医 療 学 部										成田薬学部		区 分	赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部					
		医学科			看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		医学検査学科		放射線・情報科学科		薬学科			心理学科		医療マネジメント学科			
		必 修	選 択		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択		必 修	選 択	必 修	選 択		
総合 教育	人間系	5	1 以上	総合 教育	人間系	—	6 以上	2	2 以上	—	4 以上	—	6 以上	—	2 以上	—	2	4	10 以上	総合 教育	人間系	6	13 以上	2	12 以上
	社会系	2	—		社会系	5		3	2 以上	3	2 以上	3	3 以上	3	2 以上	3	—	5			社会系	3		1	
	全地球的な課題	3	1 以上		自然・情報系	2		2	2 以上	2	2 以上	4	1 以上	4	2 以上	2	—	8			自然・情報系	1		3	
	数学・自然科学系	5	—		総合系	1		1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1			総合系	1		3	
	外国語系	5	—		外国語系	4		4	2 以上	4	2 以上	4	2 以上	4	2 以上	4	4	4			外国語系	3		2	
					保健体育系	—		—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—			保健体育系	—		—	
専 門 教 育	専門基礎	73.5	—	専 門 教 育	専門基礎	27	7 以上	30	4 以上	33	10以上	39	10以上	26	3以上	23	5以上	17	専 門 教 育	専門基礎	42	13 以上	17	38 以上	
	専 門	123.5	8 以上		専 門	72		59	11 以上	61		49		77		79		142		専 門	30		46		
卒業に必要な単位数		217	10 以上	卒業に必要な単位数		111 13以上	101 25以上	104 22以上	102 24以上	115 13以上	112 16以上	181 10以上	卒業に必要な単位数		86 38以上	74 50以上									
卒業単位数合計		227単位以上		卒業単位数合計		124単位以上	126単位以上	126単位以上	126単位以上	128単位以上	128単位以上	191単位以上	卒業単位数合計		124単位以上	124単位以上									

区 分		小田原保健医療学部							
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科			
		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択		
総合教育	人間系	2	—	—	4以上	2	4以上		
	社会系	1	—	1	2以上	1	2以上		
	自然・情報系	5	2* *	2	2以上	4	1* *	1以上	
	総合系	1	—	1	—	1	—		
	外国語系	4	2* *	4	2以上	4	2以上		
	保健体育系	—	2* *	—	—	—	1* *		
専門教育	専門基礎	28	2以上	34	12以上	33	12以上		
	専門	70	2以上	58		59			
卒業に必要な単位数		111	13以上	100	26以上	104	22以上		
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上			

区 分		福岡保健医療学部								福岡薬学部	
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		医学検査学科		薬学科	
		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択
総合教育	人間系	2	—	13	8以上 (うち3単位は外国語系選択必修)	11	10以上 (うち3単位は外国語系選択必修)	11	8以上 (うち3単位は外国語系選択必修)	4	3以上
	社会系	5	—							5	
	自然・情報系	2	—							8	
	総合系	1	—							1	
	外国語系	4	2							4	
	保健体育系	—	—							—	7以上
専門教育	専門基礎	25	5以上	35	5以上	33	7以上	24	4以上	17	—
	専門	74		65		65		81		142	
卒業に必要な単位数		113	11以上	113	13以上	109	17以上	116	12以上	181	10以上
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上		128単位以上		191単位以上	

【注1】小田原保健医療学部看護学科の自然・情報系、外国語系、保健体育系の2* * は自然・情報系、外国語系、保健体育系から2単位以上選択の意。

【注2】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の1* * は自然・情報系及び保健体育系から1単位以上選択の意。

別表2-2 卒業に必要な単位数(留学生用)

区 分		保 健 医 療 学 部												医 療 福 祉 学 部										薬学部							
														医 療 福 祉 ・ マ ネ ジ メ ン ト 学 科										薬学科							
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		言語聴覚学科		視機能療法学科		放射線・情報科学科		医学検査学科		社会福祉コース		精神保健福祉コース		介護福祉コース		診療情報管理コース		医療福祉マネジメントコース		必修		選択			
必修		選択		必修		選択		必修		選択		必修		選択		必修		選択		必修		選択		必修		選択		必修		選択	
総合教育	人間系	2	—	—	4以上	—	4以上	—	6以上	2	—	—	2以上	—	—	—	—	—	4	4以上	—	—	—	—	—	—	4	—			
	社会系	1	—	1	2以上	1	2以上	1	5以上	1	—	1	2以上	—	—	3	—	3	2以上	1	—	1	—	1	—	3	—				
	自然・情報系	8	—	2	2以上	2	—	4	1以上	12	—	4	—	—	—	2	—	2	3以上	2	—	2	—	2	—	8	—				
	総合系	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—				
	外国語系	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	—	—	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上	5	3以上または5以上				
	保健体育系	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
専門教育	専門基礎	23	—	34	—	33	—	39	—	36	—	24	—	30	—	54	46以上	55	45以上	97	9以上	61	39以上	61	39以上	17	—				
	専門	75	4以上	58	12以上	61	10以上	47	8以上	60	3以上	76	5以上	83	3以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	142	—				
卒業に必要な単位数		115	9以上または11以上	101	25以上または27以上	103	23以上または25以上	99	25以上または27以上	117	9以上または17以上	111	17以上または19以上	124	6以上または8以上	65	59以上または61以上	66	58以上または60以上	112	21以上または23以上	70	54以上または56以上	70	54以上または56以上	180	11以上または13以上				
卒業単位数合計		124単位以上または126単位以上		126単位以上または128単位以上		126単位以上または128単位以上		124単位以上または126単位以上		126単位以上または128単位以上		128単位以上または130単位以上		130単位以上または132単位以上		124単位以上または126単位以上		124単位以上または126単位以上		133単位以上または135単位以上		124単位以上または126単位以上		124単位以上または126単位以上		191単位以上または193単位以上					

※ 留学生の卒業要件単位数の違いは、日本語能力レベルに応じて、外国語選択科目単位数が増えるため

区 分		小田原保健医療学部					
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科	
		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択
総合 教 育	人間系	2	—	—	—	2	2 以上
	社会系	1	—	1	—	1	—
	自然・情報系	5	—	2	—	4	1 * *
	総合系	1	—	1	—	1	—
	外国語系	—	10 以上	—	10 以上	—	10 以上
	保健体育系	—	—	—	—	—	1 * *
専 門 教 育	専門基礎	28	2以上	34	—	33	12 以上
	専 門	70	2以上	58	—	59	—
卒業に必要な単位数		107	17以上	96	30以上	100	26以上
卒業単位数合計		124単位以上		126単位以上		126単位以上	

区 分		福岡保健医療学部								福岡薬学部	
		看護学科		理学療法学科		作業療法学科		医学検査学科		薬学科	
		必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択
総合 教 育	人間系	2	—	—	—	—	—	—	—	4	—
	社会系	5	—	—	—	—	—	—	—	5	—
	自然・情報系	2	—	2	—	13	—	13	—	8	—
	総合系	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	外国語系	5	本 5 語（日	—	—	—	—	—	—	5	3以上 または 5以上
	保健体育系	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専 門 教 育	専門基礎	25	—	35	—	33	—	24	—	17	—
	専 門	74	5 以上	65	5 以上	65	7 以上	81	4 以上	142	—
卒業に必要な単位数		114	12以上	115	11以上	111	15以上	118	12以上	182	9以上 または 11以上
卒業単位数合計		126単位以上		126単位以上		126単位以上		130単位以上		191単位以上 または 193単位以上	

【注1】小田原保健医療学部作業療法学科の自然・情報系と保健体育系の1* * は自然・情報系及び保健体育系から1単位以上選択の意。

国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程新旧対照表（案）

新	旧
第 1 条 ～ 第 8 条 （略） <u>附 則</u> <u>1 この規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。</u> 別表 2－1 ～ 6 （略） <u>別表 2－7 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設整備費又は施設費）</u> <u>（別紙を追加）</u> 別表 3－1 ～ 6 （略） <u>別表 3－7 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設整備費又は施設費）</u> <u>（別紙を追加）</u>	第 1 条 ～ 第 8 条 （略） 別表 2－1 ～ 6 （略） （新設） 別表 3－1 ～ 6 （略） （新設）

国際医療福祉大学入学検定料及び学生納付金に関する規程新旧対照表（案） 別紙

別表２－７ 学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	200,000	700,000	30,000	130,000	1,060,000
	2	＝	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	3	＝	700,000	190,000	130,000	1,020,000
	4	＝	700,000	190,000	130,000	1,020,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	200,000	600,000	30,000	130,000	960,000
	2	＝	600,000	190,000	130,000	920,000
	3	＝	600,000	190,000	130,000	920,000
	4	＝	600,000	190,000	130,000	920,000
薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	200,000	1,450,000
	2	＝	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	3	＝	900,000	200,000	300,000	1,400,000
	4	＝	900,000	200,000	300,000	1,400,000
成田看護学部 ・看護学科（※2） 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	300,000	900,000	50,000	360,000	1,610,000
	2	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	3	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
	4	＝	900,000	250,000	360,000	1,510,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	300,000	900,000	50,000	350,000	1,600,000
	2	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	3	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
	4	＝	900,000	250,000	350,000	1,500,000
医学部	1	1,500,000	1,900,000	600,000	500,000	4,500,000
	2	＝	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	3	＝	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	4	＝	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	5	＝	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
	6	＝	1,900,000	600,000	300,000	2,800,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	＝	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

学 部 名	学年	学 生 納 付 金				合 計
		入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
福岡保健医療学部 ・看護学科 (※2)	1	300,000	900,000	60,000	150,000	1,410,000
	2	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	3	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
	4	—	900,000	180,000	250,000	1,330,000
成田薬学部 ・薬学科	1	300,000	1,100,000	50,000	300,000	1,750,000
	2	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	3	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	4	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	5	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000
	6	—	1,100,000	230,000	300,000	1,630,000

(※1) 医療福祉学部は、「実習・文献費」、「施設費」の納付金。

(※2) 保健医療学部、小田原保健医療学部、成田看護学部、福岡保健医療学部の看護学科保健師履修コースは、上記以外に履修費50,000円(4年間総額)を加える。

(※3) 小田原保健医療学部看護学科養護教諭一種免許課程は、上記以外に履修費60,000円(4年間総額)を加える。

(※4) 「海外保健福祉事情」を履修する者は、上記以外に海外実習に必要な費用を履修費に加える。

別表3－7 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
保健医療学部 ・看護学科（※2） ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	＝	450,000	25,000	＝	475,000
	2	第1回	＝	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000
	3	第1回	＝	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000
	4	第1回	＝	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000
保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科 ・視機能療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	＝	450,000	25,000	＝	475,000
	2	第1回	＝	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000
	3	第1回	＝	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000
	4	第1回	＝	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 （介護福祉コース以外） 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 ・心理学科 ・医療マネジメント学科	1	第1回	200,000	350,000	15,000	130,000	695,000
		第2回	＝	350,000	15,000	＝	365,000
	2	第1回	＝	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	＝	350,000	95,000	＝	445,000
	3	第1回	＝	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	＝	350,000	95,000	＝	445,000
	4	第1回	＝	350,000	95,000	130,000	575,000
		第2回	＝	350,000	95,000	＝	445,000
医療福祉学部 ・医療福祉・マネジメント学科 介護福祉コース	1	第1回	200,000	300,000	15,000	130,000	645,000
		第2回	＝	300,000	15,000	＝	315,000
	2	第1回	＝	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	＝	300,000	95,000	＝	395,000
	3	第1回	＝	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	＝	300,000	95,000	＝	395,000
	4	第1回	＝	300,000	95,000	130,000	525,000
		第2回	＝	300,000	95,000	＝	395,000
薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	＝	550,000	25,000	＝	575,000
	2	第1回	＝	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	＝	550,000	115,000	＝	665,000
	3	第1回	＝	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	＝	550,000	115,000	＝	665,000
	4	第1回	＝	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	＝	550,000	115,000	＝	665,000
	5	第1回	＝	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	＝	550,000	115,000	＝	665,000
	6	第1回	＝	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	＝	550,000	115,000	＝	665,000
小田原保健医療学部 ・看護学科（※2）（※3）	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	＝	450,000	25,000	＝	475,000
	2	第1回	＝	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000
	3	第1回	＝	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000
	4	第1回	＝	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000
小田原保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	＝	450,000	25,000	＝	475,000
	2	第1回	＝	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000
	3	第1回	＝	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000
	4	第1回	＝	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	＝	450,000	125,000	＝	575,000

別表3－7 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
福岡保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	200,000	975,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	3	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
	4	第1回	—	450,000	100,000	300,000	850,000
		第2回	—	450,000	100,000	—	550,000
成田看護学部 ・看護学科 (※2) 成田保健医療学部 ・放射線・情報科学科 ・医学検査学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	360,000	1,135,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	360,000	935,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
成田保健医療学部 ・理学療法学科 ・作業療法学科 ・言語聴覚学科	1	第1回	300,000	450,000	25,000	350,000	1,125,000
		第2回	—	450,000	25,000	—	475,000
	2	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	3	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
	4	第1回	—	450,000	125,000	350,000	925,000
		第2回	—	450,000	125,000	—	575,000
医学部	1	第1回	1,500,000	950,000	300,000	500,000	3,250,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	2	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	3	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	4	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	5	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
	6	第1回	—	950,000	300,000	300,000	1,550,000
		第2回	—	950,000	300,000	—	1,250,000
福岡薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	—	550,000	25,000	—	575,000
	2	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	3	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	4	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	5	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
	6	第1回	—	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	—	550,000	115,000	—	665,000
福岡保健医療学部 ・看護学科 (※2)	1	第1回	300,000	450,000	30,000	150,000	930,000
		第2回	—	450,000	30,000	—	480,000
	2	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	3	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000
	4	第1回	—	450,000	90,000	250,000	790,000
		第2回	—	450,000	90,000	—	540,000

別表3－7 分納に係る学生納付金（入学金、授業料、実験実習費又は実習・文献費、施設設備費又は施設費）

■令和7年度以降の入学者

単位：円

学 部 名	学年	納付 時期	学 生 納 付 金				合 計
			入学金	授業料	実験実習費 (※1) 実習・文献費	施設設備費 (※1) 施設費	
成田薬学部 ・薬学科	1	第1回	300,000	550,000	25,000	300,000	1,175,000
		第2回	＝	550,000	25,000	＝	575,000
	2	第1回	＝	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	＝	550,000	115,000	＝	665,000
	3	第1回	＝	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	＝	550,000	115,000	＝	665,000
	4	第1回	＝	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	＝	550,000	115,000	＝	665,000
	5	第1回	＝	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	＝	550,000	115,000	＝	665,000
	6	第1回	＝	550,000	115,000	300,000	965,000
		第2回	＝	550,000	115,000	＝	665,000

(※1) ～ (※4) 別表2の脚注に同じ。

国際医療福祉大学教育研究上の目的を定める規程新旧対照表（案）

新	旧
第 1 条 （略） （学部の教育研究上の目的） 第 2 条 本学学部の教育研究上の目的は、以下の各号のとおり定める。 一 保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学、<u>医学検査学</u>の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。 二～六 （略） <u>七 医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身に付けるとともに、高度先進医療に対応する能力並びに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。</u> 第 3 条～第 1 2 条 （略） <u>附 則</u> <u>この規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。</u>	第 1 条 （略） （学部の教育研究上の目的） 第 2 条 本学学部の教育研究上の目的は、以下の各号のとおり定める。 一 保健医療学部は、看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた人材を育成することを目的とする。 二～六 （略） （新設） 第 3 条～第 1 2 条 （略）

国際医療福祉大学教授会規程

(目的)

第1条 この規程は、国際医療福祉大学学則第9条第6項に基づき、教授会に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 本学に、学部ごと又は複数学部にまたがって教授会を置く。

(代表者会議)

第3条 教授会に代表者会議を置くことができる。

- 2 代表者会議は、当該学部長及び学科長等の意見を聴いて学長が指名した者をもって構成する。
- 3 代表者会議は、学長が招集する。
- 4 代表者会議に議長を置き、学長をもってこれに充てる。ただし、学長が認めた場合は、学長が指名した副学長又は当該学部の学部長が学長に代わり議長となることができる。
- 5 代表者会議による議決をもって教授会の議決とすることができる。

(審議事項)

第4条 教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- 一 学生の入学、卒業及び課程の修了
- 二 学位の授与
- 三 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの
- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(招集通知)

第5条 学長は、教授会の招集に当たり、その日時、場所及び議案をあらかじめ当該構成員に通知しなければならない。

(定足数)

第6条 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ議事を開くことはできない。

- 2 議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(合同教授会)

第7条 本学に合同教授会を置くことができる。

- 2 合同教授会は、第4条の事項のうち全学的に審議することが必要であると学長が認めたものにつき審議する。
- 3 合同教授会は、学部長及び学科長等の意見を聴いて学長が指名した者をもって構成する。
- 4 合同教授会の議決をもって教授会の議決とすることができる。
- 5 合同教授会は学長が招集し、議長は学長をもってこれに充てる。
- 6 第5条及び第6条の規定は、合同教授会に準用する。

(事務の処理)

第8条 教授会の事務は、各キャンパス教務事務主管課で処理する。

(改廃)

第9条 本規程の改廃は、教授会の意見を聴いて常任理事会が行う。

附 則

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成8年4月1日から適用する。ただし、改正後の第7条の規定は、平成9年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

設置の趣旨等を記載した書類（目次）

1. 設置の趣旨及び必要性	P. 2
2. 学部・学科等の特色	P. 17
3. 大学、学部・学科等の名称及び学位の名称	P. 19
4. 教育課程の編成の考え方及び特色	P. 19
5. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件	P. 31
6. 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる 場合の具体的計画	P. 38
7. 実習の具体的計画	P. 39
8. 企業実習（インターンシップを含む。）や海外語学研修等の学外実習を 実施する場合の具体的計画	P. 43
9. 取得可能な資格	P. 44
10. 入学者選抜の概要	P. 45
11. 教育研究実施組織等の編成の考え方及び特色	P. 50
12. 研究の実施についての考え方、体制、取組	P. 53
13. 施設、設備等の整備計画	P. 54
14. 管理運営	P. 58
15. 自己点検・評価	P. 59
16. 情報の公表	P. 62
17. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等	P. 65
18. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制	P. 66

国際医療福祉大学保健医療学部医学検査学科の設置の趣旨等を記載した書類

1. 設置の趣旨及び必要性

(1) 本学の沿革

国際医療福祉大学(以下、「本学」という。)は、教育基本法及び学校教育法に基づき、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を育成するとともに、学術文化の向上と国際社会及び保健医療福祉に貢献する有能な人材を育成することを目的としている。

上記目的を達成するため、本学には保健医療学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科及び放射線・情報科学科)、医療福祉学部(医療福祉・マネジメント学科)、薬学部(薬学科)【以上、栃木県大田原市】、医学部(医学科)、成田看護学部(看護学科)、成田保健医療学部(理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、放射線・情報科学科及び医学検査学科)、成田薬学部(薬学科)【以上、千葉県成田市】、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部(心理学科及び医療マネジメント学科)【東京都港区】、小田原保健医療学部(看護学科、理学療法学科及び作業療法学科)【神奈川県小田原市】、福岡保健医療学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科及び医学検査学科)、福岡薬学部(薬学科)【福岡県大川市】を置き、学則に定めている。併せて、国際医療福祉大学大学院(以下、「本大学院」という。)医学研究科、医療福祉学研究科、薬学研究科及び薬科学研究科を設置し、各キャンパスに附属図書館を置く。さらに、国際医療福祉大学社会保障政策研究所、国際医療福祉大学ゲノム医学研究所、国際医療福祉大学トランスレーショナルニューロサイエンスリサーチセンター及び国際医療福祉大学循環器バイオバンクリサーチセンターを置き、附属施設として国際医療福祉大学病院(栃木県那須塩原市)、国際医療福祉大学塩谷病院(栃木県矢板市)、国際医療福祉大学成田病院(千葉県成田市)、国際医療福祉大学市川病院(千葉縣市川市)、国際医療福祉大学三田病院(東京都港区)、国際医療福祉大学熱海病院(静岡県熱海市)、国際医療福祉大学クリニック(栃木県大田原市)、国際医療福祉大学健康管理センター(千葉県成田市)、介護老人保健施設マロニエ苑(栃木県那須塩原市)、にしなすの総合在宅ケアセンター(栃木県那須塩原市)及び塩谷看護専門学校を設け、地域の医療福祉に貢献し、かつ学生の臨地実習の中心として機能している。

本学は、栃木県大田原市に 1995(平成 7)年 4 月、ヘルス・プロフェッションの領域を網羅した 4 年制の総合大学として誕生した大学であり、病める人も障害を持つ人も健康な人も互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を大学の理念に掲げ、次の 3 つを本学の基本理念としている。

- ① 人間中心の大学であること
- ② 社会に開かれた大学であること
- ③ 国際性を目指した大学であること

また、教育理念として「人格形成」、「専門性」、「学際性」、「情報科学技術」、「国際性」、「自由な発想」、「新しい大学運営」の7つを掲げ、21世紀の高齢化社会を踏まえて、高度で専門的な知識を有し、かつ総合的に医療福祉を把握しうる専門職の育成を目指して開学した。その後、組織を拡充しながら教育研究機能の充実を図ってきたところである。現在、全国5つのキャンパスに11学部27学科と大学院、3つの別科（留学生別科、臨床工学特別専攻科及び介護福祉特別専攻科）を設置する医療福祉の総合大学として、医療福祉分野の人材育成に努めている。

開学以来、看護師、保健師、助産師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、臨床検査技師、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、臨床工学技士、診療情報管理士など約3万2千人の医療福祉専門職が社会に巣立っている。なお、2023(令和5)年3月からは医師を本学より輩出している。

本学の学部の主な沿革は以下のとおり。

1995(平成 7)年	4 月	国際医療福祉大学開学・保健学部(現：保健医療学部)開設(大田原キャンパス)
1997(平成 9)年	4 月	医療福祉学部開設(大田原キャンパス)
2005(平成 17)年	4 月	薬学部4年制開設(大田原キャンパス) リハビリテーション学部(現：福岡保健医療学部)開設(大川キャンパス)
2006(平成 18)年	4 月	薬学部を6年制に移行 小田原保健医療学部開設(小田原キャンパス)
2009(平成 21)年	4 月	福岡看護学部開設(福岡天神キャンパス) ※2021(令和3)年4月に福岡国際医療福祉大学に移管
2016(平成 28)年	4 月	成田看護学部・成田保健医療学部開設(成田キャンパス)
2017(平成 29)年	4 月	医学部開設(成田キャンパス)
2018(平成 30)年	4 月	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部開設(東京赤坂キャンパス)
2020(令和 2)年	4 月	福岡薬学部開設(大川キャンパス)
2024(令和 6)年	4 月	成田薬学部 開設(成田キャンパス)

(大学院)

実践的な教育・研究環境が整った本学は、学部開設から4年後の1999(平成11)年4月に国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻(修士課程)を開設し、2年後の2001(平成13)年4月には同研究科保健医療学専攻(博士課程)及び同研究科医療福祉経営専攻(修士課程)を開設し、2007(平成19)年4月には同研究科臨床心理学専攻(修士課程)を開設した。

また、2010(平成 22)年 4 月には大学院薬科学研究科医療・生命薬科学専攻(現生命薬科学専攻)(修士課程)を、2012(平成 24)年 4 月には大学院薬学研究科医療・生命薬科学専攻(博士課程・4 年制)を開設した。さらに、2018(平成 30)年 4 月には、大学院の重要性に鑑み、学年進行中の医学部を基礎とする医学研究科公衆衛生学専攻(修士課程)及び医学専攻(博士課程)を開設し、研究力の強化を図った。しかしながら、変革期においてグローバル社会が直面する様々な公衆衛生にかかる課題に取り組む優れた実務家を養成する必要性が高まっていることから、医学研究科公衆衛生学専攻(修士課程)を専門職大学院に改組することとし、2024(令和 6)年 4 月に、より実践的な教育を行うことにより、現代の公衆衛生上のニーズに適合し、国際的に活躍できる公衆衛生の専門家の養成を実現することを目的とした公衆衛生学専攻(専門職学位課程)を開設した。本学大学院は、仕事を持つ社会人にも十分な研究環境を提供できるよう様々な配慮がなされ、主な授業を平日の夜間と土曜日の日中に配置する等、臨床の現場で働きながら学位取得を目指せるように教育運営を行っていることが特長である。

さらに、本学大学院は、多様化する保健医療福祉分野の需要に対応するとともに、国際性を身につけた指導的な専門職業人の養成を実現すべく、年齢を問わず、また学生であるか社会人であるかを問わず生涯にわたって学習の機会を提供し、様々な社会的な要請に応える教育を展開している。

(附属病院・臨床医学研究センター)

一方で、実務経験を積み、技能を向上させるのみならず、医療チームの一員として主体性を持ち積極的に参加することができるよう、本学は医学部を設置する以前から、附属病院を逐次整備している。2002(平成 14) 年の熱海病院を初めとして、2020(令和 2)年 3 月には、千葉県成田市に 6 つ目の附属病院となる高度先進医療を提供できる「世界基準のハブ病院」を目指した国際医療福祉大学成田病院を開設している。

また、6 つの附属病院に加え、臨床医学研究センターとして位置づけている関連医療施設及び福祉施設を数多く配置して学生の早期体験実習や臨地実習を行っている。早期体験実習や臨地実習に当たっては、本学とともにこれらの関連医療機関及び福祉施設も共通の意識を持って「チーム医療・チームケア」の教育を実践するなど、緊密に連携している。つまり、学生が患者に接して臨地実習を行うためには、医療の安全や患者との良好なコミュニケーション能力を含めた必要不可欠な知識・技能・態度が十分に備わっていることが望ましいとされる中で、本学においては従前よりこれらのことを学べる教育環境が整っているといえる。

こうした臨床に則した姿勢が社会から評価され、本学の卒業生の就職率は全学科毎年おおむね 100%である。(資料 1)

(国際活動)

今後の医療人養成において、国際性を涵養し、国際的な動向から医療等の課題を抽出する能力が求められる中で、本学は、国際的センスを備え、いかなる国の人々とも伸び伸びと協働できる真の国際人を育成する「国際性を目指した大学」を基本理念の一つとしており、留学生の積極的な受入れの他、国際貢献できる医療福祉専門職の育成を視野に入れ、韓国・中国・台湾・ベトナム・タイ・オーストラリアなどにおける学生の海外研修を毎年行ってきており、今後もグローバル化に対応できる人材育成を目指していくこととしている。

また、開学以降長年にわたり、東南アジアを中心とした医療福祉分野での人材育成に貢献してきており、中国リハビリテーション研究センターとは本学教員の派遣や留学生の受入れ、ベトナム南部の拠点病院である国立チョーライ病院とは、身体障害者支援センター設立への支援や、研修医の受入れ等を通じて、密接な協力関係を構築してきた。2018(平成 30)年 10 月には、本学とチョーライ病院と共同で、同院の隣接地に、ベトナム初の健診専門施設である「ドック健診センター(HECI)」を開設した。さらに、アジア諸国からフルスカラシップによる奨学生の受入れを毎年実施し、2017(平成 29)年 4 月成田キャンパスに開設した医学部では、定員 140 人のうち 20 人を外国人学生枠とし、アジアを中心とした海外国立医科大学から推薦を受けた者を医学部奨学留学生として受け入れている。これらの医学部奨学留学生には、生活費や授業料など 1 人当たり 6 年間総額 3,000 万円の奨学金を供与しており、将来彼らが医療分野におけるリーダーとして母国に貢献することを期待している。

この他、2016(平成 28)年の国際医療シンポジウムの開催や 2018(平成 30)年及び 2023(令和 5)年の国際医学教育シンポジウムの開催などを通じ医療環境整備や医療福祉分野での人材育成に係る新たな支援等の準備を進めるなど、多彩な活動を展開している。

現在、ASEAN 諸国を中心とした 22 の国や地域の 46 機関の大学や医療福祉施設と学術交流協定を締結している。(資料 2)

(2)保健医療学部医学検査学科設置の趣旨及び必要性

(本学の理念と専門職教育の特色)

本学は、開学以来、病気や障害を持つ人も健常な人もお互いを認め合う「共に生きる社会」の実現を大学の理念に掲げ、また 21 世紀の健康、医療、福祉を担うことができ、広い視野と国際性を身につけた人材の育成を教育目標としている。

この理念・目標は、2015(平成 27)年 9 月 25 日に国連総会で採択された 2030(令和 12)年までに達成すべき国際目標である「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals : SDGs)」の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」という基本理念とも一致するものであり、17 の国際目標の達成にも寄与するものといえる。

本学は、従前より実践的な専門職教育に全学で取り組んでおり、職能に直結する実習教育を重視し、さらに医療福祉の総合大学として関連医療施設及び福祉施設を有し、少人数制での細やかな教育を実践している。加えて、語り合う体験を通して、様々な人々が共に生きる社会を学生に実感させること、英語による医療コミュニケーションの実践など大学における知識・理論の講義と臨床現場での臨地実習を一体化させることなど人として成長を促す教育にも取り組んでいる。

さらには、多職種連携・協働やチーム医療・チームケアの一層の成熟を目指して、本学では従前より関連医療施設等と医学部・看護学部・保健医療学部などと連携した独自のカリキュラムを構築(本学では「関連職種連携教育」と称する)し、教育研究活動に取り組んでいる。具体的には、施設見学、講義、グループワーク、臨地実習を通して学部・学科の垣根を越えたチームで実践しながら学年ごとに学びを深めていくものであり、これらの活動を通してチーム医療の一翼を担える医療人の育成を目指している。

(本学医学検査学科教育の特色及び実績)

本学既設の医学検査学科(福岡保健医療学部医学検査学科(2013 年設置)、成田保健医療学部医学検査学科(2016 年設置))においては、ともに長年の教育実績に基づいた確かな教育成果を有している。両学科では、開設から現在に至るまでの着実な教育実績及び前述の本学の専門職教育の特色を生かしつつ、医学検査の基礎から臨床応用までの講義、実習・演習を有機的に構成したカリキュラムによる教育に加え、関連職種連携ワークや関連職種連携実習等といった本学の医療福祉系学部との共通カリキュラムを通して対人援助職としての医療人教育を行っている。

さらに、本学の先進設備を備えた関連医療施設及び多彩な福祉施設における臨地実習により、高度な専門性を備え、医療人としてチーム医療に貢献できる人間性、社会性、国際性豊かな臨床検査技師を養成する全人教育を行っている。

本年度 10 年目を迎える本学医学検査学科は、開設から現在に至るまでの間に教育実績を着実に積み上げ、国家試験合格者についても 800 人を超え、就職率も概ね 100%と、これまで多くの質の高い臨床検査技師を輩出している。

また本学は社会的、地域的な人材需要の動向等社会の要請に応え、地域の健康増進に寄与し地域の活性化に貢献することが期待されており、既存の医学検査学科においては、いずれもキャンパスのある福岡県及び千葉県への就職率が3割から4割程度と高い結果となっており、地域への医療人材の安定供給という点で本学は重要な役割を担っているといえる。(資料3)

(大田原キャンパスにおける保健医療学部医学検査学科設置の背景)

令和4年度版厚生労働白書において、「2040(令和22)年に医療・福祉分野の就業者数は974万人(総就業者数の16%)と推計されている。他方、医療・介護サービスの2018(平成30)年の年齢別利用実績を基に、人口構造の変化を加味して求めた2040年

の医療・福祉分野の就業者数は 1,070 万人(総就業者数の 18～20%)が必要となると推計されており、96 万人の差が生じている。」との報告がなされた。この不足する 96 万人の中には医療福祉領域の専門職も含まれており、以前よりこれらの地域偏在、業態偏在が課題とされる中で、地域において地域医療や地域包括ケアシステムを担う人材を養成することは重要であるといえる。

このような中で、厚生労働省の令和 2 (2020) 年医療施設(静態・動態)調査(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/20/>)によると、大田原キャンパスが所在する栃木県において 2020 年の人口 10 万人あたりの臨床検査技師数は病院で 40.82 人、診療所で 8.79 人であり、全国平均の病院 43.73 人、診療所 9.97 人に比較していずれも低値にとどまっている。とりわけ注目すべきことは、2017 年から 2020 年にかけて、人口 10 万人あたりの医療機関における臨床検査技師数は、全国平均では 52.77 人から 53.71 人とやや増加傾向が見られるに対し、栃木県では 54.71 人から 49.61 人と減少している。このことから、栃木県では臨床検査技師が不足しており、少なくとも近年は減少傾向にあるといえる。(資料 4)

また、少子高齢化の進行と健康志向の高まりから、病気の治療だけでなく、予防医療にも注目が集まっているが、臨床検査は正しい治療のために不可欠なものであるとともに、生活習慣病やがんなどの予防・早期発見のためにも重要な役割を果たしている。さらに、近年、国民の医療へのニーズの増大と多様化、チーム医療の推進による業務の拡大、新たな検査項目の登場、検査機器の高度化など、臨床検査技師を取り巻く環境が変化するとともに、求められる役割や知識等も変化している。

このような中、栃木県内の臨床検査技師の養成施設は、現在、3 年制の栃木県立衛生福祉大学校(専門学校、入学定員 20 名)のみとなっており、臨床検査のニーズの高まりに十分応えきれていない。さらに、東北 6 県においては、私立の 4 年制大学臨床検査技師養成施設が 1 校も設置されていない。門戸が広く、地元への就職率の高い私学の 4 年制大学臨床検査技師養成施設の設置は、東北地方医療機関の人材不足の解消に貢献できうと考えられる。

(大田原キャンパスにおける保健医療学部医学検査学科設置の意義)

現在の医療は、医師の知識と経験のみに基づき触診・診察を行っていた時代とは異なり、患者の詳細なデータを速やかに取得し、その解析に基づき治療方針を立てることが主流である。したがって、臨床検査等の重要性が高まっており、それを担う臨床検査技師の需要も増すものと考えられる。そのため、高度専門知識や技術を体系的に学ぶことができる 4 年制臨床検査技師養成の意義及び必要性は大きいものといえる。

大田原キャンパスに新たに設置する保健医療学部医学検査学科は、県内初の 4 年制大学臨床検査技師養成学科であるとともに、地域の中核医療を担う国際医療福祉大学病院や学科設置を要望している栃木県臨床検査技師会との緊密な連携を通じて、臨床

検査に関する教育・研究を地域において実践的に推進することとしており、大田原キャンパスにおける保健医療学部医学検査学科設置の意義は大きい。(資料5)(資料6)

一方、臨床検査技師自体の役割についても変化が見られる。近年、医師の働き方改革などとも関連して、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が成立し、臨床検査技師等の業務範囲の見直しが行われ、厚生労働大臣の指定する適切な研修も指定されている※。すなわち現行制度下で実施可能な範囲における医療行為のタスク・シフト/シェアの推進により、多くの検査行為に関して臨床検査技師が医師や看護師の代わりに医療補助行為を安全・安心に実施できることが求められており、今後、臨床検査技師が診療補助を行う範囲は確実に広がることが想定される。より実践的で高度な教育が必要とされる時代となったといえる。

1995年に誕生した大田原キャンパスは、保健医療学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科)、医療福祉学部(医療福祉・マネジメント学科)、薬学部(薬学科)の3学部8学科の教育伝統を有し、約3900人の学生が学んでいる。大田原キャンパスでは、医療現場で働く殆どの職種をカバーした学科が設けられており、加えて附属病院等の実習施設も有する大学は数少ない。これまでに、約2万人の卒業生が医療福祉の現場を中心に活躍している。本学では大田原キャンパスに限らず全てのキャンパスで、既存学部・学科の垣根を越えた学びの機会(本学教育の特色の一つ：後述)を設けており、これらにより地域医療やチーム医療・チームケアに貢献できる人材養成を行っている。今回の学科設置を通じて高い専門性を身につけ対人援助能力に優れた在宅医療をはじめとする地域医療及び地域包括ケアシステムを支える臨床検査技師を養成することにより、活発な多職種連携を通じて大田原市のみならず隣接した市町村住民の健康増進に寄与し、地域の活性化に貢献することも期待される。

さらに、人生100年時代といわれ、社会福祉コストの増大が社会的課題とされる中で、予防医療や健康維持増進などの社会的課題に対する様々な諸施策に対峙するという観点からも臨床検査技師の養成は重要である。それらの役割を果たす臨床検査技師は、我が国が目指すべき未来社会の姿として、2016年に閣議決定された「第5期科学技術基本計画」において内閣府が提唱した経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会である“Society 5.0”の実現に寄与するものといえる。

※ 2021年10月施行の「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」には、心臓・血管カテーテル検査装置の操作・持続陽圧呼吸療法導入の際の陽圧の適正域の測定、血液製剤の洗浄・分割、血液細胞(幹細胞など)・胚細胞に関する操作、救急救命処置の場における補助行為の実施、細胞診や超音波検査等の検査所見の記載、造影超音波検査のための操作、生検材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本などの所見報告書の作成、病理診断における手術検体等の切り出しや画像解析システムの操作、誘発電位検査、直腸肛門機能検査などの高度な専門的な知識と技術を要する検査も含まれる

(保健医療学部医学検査学科の特色)

保健医療学部医学検査学科(大田原キャンパス)については、前述の設置の背景や意義を踏まえて次のような特長を有している。

- ①県内初の4年制大学臨床検査技師養成学科
- ②充実した医療福祉施設の併設
- ③臨床検査技師業務のタスク・シフト/シェアにも対応した先進医療を学べる環境
- ④チーム医療・チームケアに対応した教育
- ⑤将来の専門性を高めるための各種資格を取得するための選択科目の設定
- ⑥専門性を支える幅広い総合科目の開設及び継続学習への対応

(①県内初の4年制大学臨床検査技師養成学科)

まず、栃木県内初の4年制大学臨床検査技師養成学科であるということである。臨床検査技師の国家試験受験資格取得という点においては、専修学校(専門課程)での取得も可能である。しかし、専修学校(専門課程)と4年制大学においては、選択科目を含めた多様な科目履修という学びの面や卒業後の選択肢の多さという就職・進学に大きな違いがある。

大学の選択科目の中には、一見すると専門領域とは結び付きにくい科目も含まれる。しかし、そのような学問を修めることは物事の多様な見方を可能にし、患者に接する際には他者の立場になって考えることを可能にする。それは将来、思慮深い人間的な深み厚みとなって現れてくる。また、専門領域に関連する科目や語学などは、臨床検査技師として臨床現場で働く上でも重要となる最新の知識とスキルを学び身につけることができ、国際的な視野を涵養することができる。さらに本学では、社会的ニーズに応じて、数理・データサイエンス・AI教育やチーム医療・チームケア、臨床検査診断学(Reversed-CPC)に関する科目を必修化している。これらをデータリテラシーや我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、関連職種連携論、疾患・病態を推測できる基礎的な考え方などの授業を通じて学び、実践に役立つ知識、問題解決能力、医療人としての常識や教養を幅広く身につけることが可能である。

また、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」(令和3年法律第49号)が成立し、臨床検査技師等に関する法律施行令及び施行規則についても改正されたことで臨床検査技師の業務範囲が拡大されており、それらに対応する知識や技術を身につけることが求められている。言い換えれば、タスクシフト・シェアにともない検査に必要な業務を一貫して担える人材が更に求められるようになる。このような臨床検査技師業務の範囲拡大に関する社会的な期待とその責務を踏まえると、系統的かつ実践的な知識、先進かつ発展的な技術力、柔軟なコミュニケーション能力及び高度な問題解決能力を身につけた臨床検査技師の育成が必要である。

(②充実した医療福祉施設の併設)

次に、充実した医療福祉施設を併設しているという点である。

大田原キャンパスに隣接する那須塩原市及び矢板市に大学附属病院として、それぞれ国際医療福祉大学病院及び国際医療福祉大学塩谷病院を有している。このうち国際医療福祉大学病院では、2013年には、栃木県内で初めて手術支援ロボット「ダビンチ」を、2014年には栃木県県北地域で初めてPET-CTを導入し、地域中核病院として質の高い医療を提供してきた。栃木県のみならず広く関東地方北部や東北地方南部から、多くの来院者を迎える中核的な総合病院となっている。

また、キャンパス内に障害者支援施設やリハビリテーション施設、特別養護老人ホーム、栃木県で唯一の児童心理治療施設、認定こども園、アジア有数の言語聴覚センターを持つ大学クリニックなど、多様なミッションを担う医療福祉施設を併設しており、栃木県県北地域の基幹医療施設として地域医療に貢献するとともに保健・医療・福祉の一大ゾーンを形成している。さらに、大田原キャンパス、国際医療福祉大学病院及び国際医療福祉大学塩谷病院を含めて全国に5つの大学キャンパス及び6つの大学附属病院を有し、関連職種連携を推進し医療に対する社会的ニーズに応える人材の育成と教育を展開している。

このような教育環境は、より実践的な臨床検査技師の育成には、最も適したものであると考える。

2025年には後期高齢者は2,200万人を超えると予想され、国民の4人に1人が後期高齢者となる超高齢社会が到来する。この状況に対し厚生労働省は住み慣れた環境で療養し、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築を推奨している。地域包括ケアシステムではその地域に暮らす人々を多職種協働で支えていくことが重要であるが、その中で臨床検査技師の役割の重要性は益々注目される。すなわち、病院や医療施設での検体検査や生理検査における高齢者への配慮の他に、今後患者が増加することが予想される在宅医療においても多様な本学が有する充実した医療福祉施設での多様な実践経験が十分に生かされることが考えられる。

このように大田原キャンパスにおいては、キャンパス内及び近接地に様々な、保健・医療・福祉施設を有し、地域医療や地域包括ケアに必要な知識を実践的に学ぶ教育・医療・福祉一体の理想的な教育環境が長年整備されており、将来の臨床検査技師の活躍の場を具体的にイメージできる環境が整っているといえる。

加えて、医療現場では多くの新規検査が導入されているため、これらに対応できる専門的な知識を持つ臨床検査技師の存在は不可欠である。一方でDXによってマニュアル作業がオートメーションに移行し、細かく煩雑な人為的作業は大きく削減しつつある中、今後、オートメーション作業を管理し、複雑な表現を交えたコミュニケーションが求められる現場においては、専門的知識を有しながらも機械化できない部分も担うことができる臨床検査技師の需要は高まるものと考えられる。近い将

来、オートメーション作業を総合管理する AI の開発と実装及びその管理運用、加えて検査データの価値付与が次世代の臨床検査技師の業務になるともいわれており、AI を活用できるコミュニケーション力が高い臨床検査技師が求められると考えられる。

このような中であって、本学には、栃木県内にある国際医療福祉大学附属病院をはじめ 6 つの附属病院を有し最新の医療機器に接することが可能であり、DX を積極的に取り入れた検査体制を有しており、先進の教育・研究を行っていることから充実した臨地実習を行える環境が整っている。

(③臨床検査技師業務のタスク・シフト/シェアにも対応した先進医療を学べる環境)

臨床検査技師等に関する法律の一部改正が 2014 年 6 月に成立し、採血以外の検体採取も臨床検査技師が行うことができるようになった。これにより 2020 年以降の新型コロナウイルスの流行拡大に対し、PCR 検査、抗原検査を導入、鼻咽頭ぬぐい液など臨床検査技師が、検体採取し検査から報告までを連続して担うことにより、迅速で質の高い新型コロナウイルス検査が全国どの医療機関でも実施されたところである。検体採取による病因微生物の分析のみならず、血液や組織中に含まれる酵素、蛋白や脂質、生体活性物質などを正しく分析し、あるいはその遺伝子情報を詳細に分析することは、がんなどの種々の疾患の病態生理の解明に役立つのみならず、成人病や難病に対する予防医学の観点からも貢献が大きい。また近年、内視鏡検査においても臨床検査技師が医師の具体的な指示の許で内視鏡下の生検を担当し検体を採取する行為が実施可能とされている。臨床検査技師の検体採取業務は、単なるタスク・シフトだけでなく、遺伝学的検査や検体検査をはじめとする臨床検査データの品質管理を保証することになり、さらに臨床検査技師の専門能力をチーム医療の中で十分に発揮させることに繋がると考えられる。

「医師の業務のタスク・シフト/シェア」の推進が進められてゆく上で、現行制度の下でも実施可能な業務が厚生労働省の検討会において選定された。更に「法令改正を行いタスク・シフト/シェアを推進する業務」が分別され、前述のように臨床検査技師等の業務を含んだ「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が 2021 年 10 月から施行されている。近年では医療現場において最先端技術の導入が急速に進んでおり、新興感染症や再興感染症に対応できる微生物検査の開発が進んでおり、がんや成人病の発病や薬効を左右する個人差を解明してオーダーメイド治療を可能にする遺伝子検査が期待されている。再生・免疫分野の細胞療法や生殖補助療法、あるいは生理検査や生理画像検査においても、より診断・治療の精度を高める工夫が日々なされている。大学教育ではこれらの先進的な内容に、積極的に対応して教育を実施することとしている。

具体的には、本学では臨床検査技師として必要な、最先端の微生物検査、遺伝子検査、病理検査、血液検査、臨床化学・免疫検査、生理機能検査、超音波検査などを実践臨床の現場で系統立てて学べる環境を用意している。本学附属病院や関連医療施設やセンターでは、最先端の医療機器を導入し長年にわたる豊富な診療実績を有している。本学がこれまで設置し発展させてきた福岡保健医療学部医学検査学科(大川キャンパス)、成田保健医療学部医学検査学科(成田キャンパス)との相互的協力関係も構築することとしている。

また、前述のごとく医療福祉の総合大学としての特性を活かし、豊富な多職種との連携が可能である。中でも放射線・情報科学科との連携により、種々な画像診断・治療分野(MRI、超音波、内視鏡など)における最新機器へのアプローチとエキスパートの協力が得られる。

以上のような環境を活かして、教育を行うことにより臨床検査技師業務のタスク・シフト/シェア等に対応した先進医療を学べ、国内外で活躍できる臨床検査技師の育成が可能である。

(④チーム医療・チームケアに対応した教育)

タスク・シフト/シェアの円滑な実施にあたっては、具体的な役割分担・連携の在り方、導入方法などの個別論点を整理する必要がある。そのため、今まで以上にチーム医療・チームケアの理解が必要であり、大学教育においても重要性が増している。

これらに対応した教育として、本学では従前より独自のカリキュラム「関連職種連携教育(IPE: Interprofessional Education)」で、学部・学科の垣根を越えて、医療福祉の臨床現場に不可欠の「チーム医療・チームケア」を、段階的に学ぶ機会や環境を設けている。これによって、学部・学科の垣根を越えて、医療福祉の現場に不可欠な「チーム医療・チームケア」を段階的に学ぶ機会や環境を整えている。

具体的には、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師といった医療関連職種に加えて、理学療法士、作業療法士、視能訓練士などのリハビリテーション関連職種、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士といった福祉関連職種、診療情報管理士を中心とした事務関連職種を目指す学生らが共に学びあう。このような充実した多職種との連携教育は本学の特長及び伝統であり、全国的にも優れているのではないかと考える。

関連職種連携教育の進め方は、以下のとおりである。

1年次に、「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」を開講し、本学が養成する医療福祉専門職の職域や職務について、実際に資格を有する教員が授業を行い、チーム医療・チームケアの概要を学修する。

2年次は、「関連職種連携論」により、各職種の共通用語である「国際生活機能分類」の活用方法を始めとした、チーム医療・チームケアの実践に必須となる知識などを学修したうえで、実例をとおして様々な患者に対するチームによる介入方法や自立支援の方法を学ぶ。

3年次は、「関連職種連携ワーク」により、各学科の学生から構成される少人数制グループで、模擬患者に対するアプローチ方法をチューター教員の指導のもと検討する。そして、グループワークの成果を学内報告会で発表し、第三者からの評価や第三者への説明を通じて、学生が主体的に学びや気づきを得る教育を行う。

4年次には、選択科目として「関連職種連携実習」を開講する。本学附属病院や関連施設に加えて、本学のチーム医療・チームケア教育に理解をいただいた地域の基幹病院にて、キャンパスの垣根を越えて11学科11職種を目指す学生による混成チームを作り、1週間ほどの実習を行う。2022年度は13チーム、127名の学生が9か所の病院・施設で実習を行い、2023年度においては更に規模を拡大して、18チーム、167名の学生が14か所の病院・施設で実習を行っている。

実習では、実際にケースカンファレンスへの参加や、患者に対するアプローチ方法を検討して、チームでアセスメントサマリー・総合サービス計画の作成と評価を実施する。実習後は学内報告会で実習指導者及び教員、他チームの学生を前に発表を行う。

また、関連職種連携教育に関する一連の科目群において、2種類のアンケート(RIPLS: Readiness for Interprofessional Learning Scale/IEPS: Interdisciplinary Education Perception Scale)を他学科と同様に実施する。本アンケートは、受講者に授業の教育効果の認識(前者)、自職種に対する認識(後者)を調査するものであり、これらのアンケート結果をもとに、関連職種連携教育に関する会議体(臨床教育委員会)にて、教育効果が高まるよう議論及び検討を行う。

(⑤将来の専門性を高めるための各種資格を取得するための選択科目の設定)

進路として臨床検査技師の資格取得にとどまらず、卒業後のキャリアアップを目指した、様々な選択科目のオプションを設定している。

すなわち、臨床検査技師国家試験の受験資格に加え、細胞検査士、遺伝子分析科学認定士、医用質量分析認定士など複数の資格取得を学生の希望に応じて目指すことが可能なカリキュラム編成を行うとともに、卒業後の胚培養士資格も視野に入れた幅広い専門的な選択科目、具体的には「細胞診断学演習」、「遺伝子分析科学演習」、あるいは「生殖補助医療胚培養学」などの授業科目を用意している。

近年、我が国は社会的要因による晩婚化・晩産化が進み、少子化が進んでいる。その対策の1つとして不妊治療が保険適用となったことに加え、地方自治体から患者に対して助成金が交付されるなど、以前に比べると治療を受けやすい状況となっている。このような状況では、今後、医療職である臨床検査技師が胚培養士として

不妊治療において各種検査を行うのみならず、胚培養技術を広く普及させることにより、少子化が進む我が国の生殖補助医療に深く貢献できると考えられる。

本学では 2005(平成 17)年に我が国で初めて胚培養士養成のための大学院保健医療学専攻修士課程を開設するとともに、生殖医療分野において豊富な実績を有する関連医療機関を有している。本学が地域において医療の知識や技術、倫理観を備えた胚培養士(エンブリオロジスト)を学部及び大学院での学びをとおして養成することの意義は大きい。さらに、胚培養士となった場合においても、関連施設での就学や大学院進学などキャリアアップを支える環境が整っているといえる。

このような臨床検査技師が卒業後においても社会の変化に対応して自らの能力をアップデートできる体制を整えている点が特長の一つである。

なお、いずれの資格取得も決して容易なものではないが、本学では可能な限り学生の希望に沿った学びを支援する意向である。

(⑥専門性を支える幅広い総合科目の開設及び継続学習への対応)

資格取得を目指す授業科目だけでなく、特に低学年においては幅広い教養と豊かな人間性を涵養するための多彩な総合教育科目を用意している。約 2 週間海外の医療機関などで実習を行う「海外保健福祉事情」をはじめとして英語のみならず幅広い外国語教育などの選択科目を提供し、国際的なコミュニケーション能力の向上にも注力している。一方、高学年においては、先進臨床検査技術学で先進医学の進歩を学び、「臨床検査研究論」の授業に加え研究室配属や卒業研究を通して、臨床検査を基盤とした基礎及び実践的研究へのモチベーションを高めるプログラムを用意している。本学は、卒業後も大学院への入学を通じて臨床検査学の研鑽に励む学生への対応として、2016(平成 28)年から大学院の医療福祉学研究科に臨床検査学修士課程及び博士課程を開設している。毎年、多数の院生が大学院に入学しており、現在までの修了生も本年 3 月で修士課程 50 名、博士課程 17 名、論文博士 3 名に達する。充実した研究施設を元に充実した研究を継続できる伝統と環境は、生涯にわたる臨床検査技師としてのキャリアアップの醸成に貢献できる。

以上のように、社会的、地域的な課題や人材需要の動向等社会の要請を踏まえ、将来の臨床検査技師像を見据えた教育機関として、地域に根ざした専門職を養成することを目的として、大田原キャンパスに医学検査学科を設置するものである。

(3)保健医療学部医学検査学科において養成する人材

上記のとおり、栃木県内には 4 年制大学の臨床検査技師養成学科が存在せず、東北地区には臨床検査技師養成校が全国的にも数少ない。そこで本学は、栃木県を中心とする北関東及び東北地方に貢献することを主たる目的として、大田原キャンパスに医学検査学科を設置し、本学の教育理念・教育目的に則り、以下のディプロマ・ポリシーを掲げ、

高い倫理観・探究心・向上心を有し、病院や検査センター、研究施設、そして、在宅医療などの大きく変貌する医療現場での多様な変化に応え、実践的に活躍できる臨床検査技師を養成する。

また、地域における医療等の現状と課題について理解し、チーム医療に携わり活躍できる医療人としての見識を早くから身につけるために、医学科、看護学科、薬学科等の学生とともに医療福祉を総合的に学ぶ関連職種連携教育を実施し、チーム医療・チームケアの一翼を担う地域医療を支える人材を養成する。

さらに、自らの世界観を育むとともに広い見識を持つために、海外研修や語学教育を通じて国際性を養い、IoT、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータといった社会の在り方に影響を及ぼすデータサイエンスの領域の進展にも積極的に対応できる人材を養成する。即ち、いわゆる社会福祉コスト増大が社会的課題とされる中において、Society 5.0の目指す経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会の実現に必要とされる知識や技術、さらに思考力を修得した、将来の臨床検査業界を牽引できる臨床検査技師を養成することを目指す。

豊かな人間性を身につけ、正確かつ高精度な検査情報を提供でき、検査データから疾患・病態を推測できる臨床検査技師を育成する。4つの養成コース（細胞検査士養成コース、遺伝子分析科学認定士（初級）コース、胚培養士コース、医用質量分析認定士コース）を設置し、高度な医療専門人材を養成する。

これらにより、栃木県及び隣接する周辺地域や東北地方はもとより、全国あるいは世界において活躍・貢献できる人材の養成を目指すものである。

（教育目的：ディプロマ・ポリシー）

教育理念：

前述のとおり、本学は、「共に生きる社会」の実現を建学の精神とし、次の3つを基本理念として医療福祉専門職の養成を行ってきた。

- ア．人間中心の大学であること
- イ．社会に開かれた大学であること
- ウ．国際性を目指した大学であること

そして、本学は教育理念として「人格形成」、「専門性」、「学際性」、「情報科学技術」、「国際性」、「自由な発想」、「新しい大学運営」の7つを掲げている。この建学の精神・基本理念・教育理念に基づき、地域医療に貢献する臨床検査技師の育成を目指し、7つのディプロマ・ポリシーを教育目的として教育を実施する。

教育目的(ディプロマ・ポリシー)：

- DP1： 臨床検査技師を目指す者として、広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につけ、人間理解、国際的感覚を養い、医療関連分野での倫理的側面を理解した医療従事者として行動できる。
- DP2： 臨床検査における基本的知識及び技術を修得し、専門医療職の立場のみならず患者の立場に立って、他者を思いやり、自らの考えを表現できる。
- DP3： チーム医療に積極的に参画できる幅広い教養を身につけ、自職種の専門性に誇りを持って他職種を理解し、調整・連携の役割を果たすための適切な他部門とのコミュニケーション能力を身につけている。
- DP4： 臨床検査の正確かつ高精度な検査情報を提供するために必要な基礎的な知識及び技術を身につけている。
- DP5： 臨床検査に必要な専門的な知識及び技術と実践能力を身につけ、検査データを総合的に解析する力を培い、臨床診断に寄与する検査能力を身につけている。
- DP6： 問題解決に対する柔軟な応用力や想像力を身につけ、社会に貢献できる新たな技術や機器開発に取り組む基礎的能力を身につけている。
- DP7： 医療の高度化に対応し、各自の実践の中から研究の課題を発見し、それを新しい知識の追求(研究活動)に発展させることができる。

ここに3つのポリシーとその相関図について資料を提示する。(資料7)

(4)研究対象とする中心的な学問分野

本学医学検査学科が対象とする中心的な学問分野は、学位の分野からみると「保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)」に属する。医学検査学科の研究対象とする中心的な学問分野は、保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く)の中の臨床検査学分野である。本学は大講座制をとっており、本学科においては、大きく「形態検査学」、「生化学分析検査学」、「病態生体防御検査学」、「生理機能検査学」に分類され、これをもとに教育・研究体制として置く。

形態検査学は病理組織細胞学、臨床血液学を、生化学分析検査学は、臨床化学、臨床質量分析学を、病態生体防御検査学は、臨床微生物学、臨床免疫学、輸血・移植検査学、遺伝子分析科学を、生理機能検査学は臨床生理学と定める。なお、遺伝子分析科学及び臨床質量分析学は横断的な共同研究の体制をとる。

医学検査学科では細胞検査士養成コース、遺伝子分析科学認定士(初級)コース、胚培養士コース、医用質量分析認定士コースの4つの養成課程を設置し、各コースの分野において研究を発展させることで教育の充実を図る。細胞検査士養成コースでは、形態検査学における内容とし、遺伝子検査学や臨床質量分析学など多角的な視点で研究を実施し、形態検査学を発展させる内容とする。遺伝子分析科学認定士(初級)コ

コースでは、分子生物学的解析技術を用いて臨床診断する手法を研究する。胚培養士コースでは、先進・高度化する専門分野の基本的技術を提供する実践能力を養う内容とし、体外受精を中心とした生殖補助医療に関する広範囲な研究内容を実践する。医用質量分析認定士コースでは、近年急速に進化している医用質量分析学に対応するため、臨床検査法としての質量分析技術を修得する内容の研究とする。

教員各自が専門領域において独自の先進的な研究に取り組むとともに、大講座制とすることにより、各教員の自由度を高めながらも、共同で課題解決に向けた組織が構築可能な体制とする。加えて、本学の強みである国際医療福祉大学病院をはじめとした本学関連の医療福祉施設との連携を生かし、基礎から臨床へ、またその逆に臨床から基礎へと双方向トランスレーショナルリサーチを実施することで、常に大学と臨床現場の課題解決に努め最新の知見が得られるよう課題に合わせた学問分野を組織する。その結果、「エビデンスとなる医療データを創出する」を標榜する医学検査学科としての教育・研究内容を高めていく。

(5)教育研究上の数量的・具体的な到達目標等

臨床検査技師学校養成所指定規則に準拠した臨床検査学教育を中心に、臨床検査技師として必要な資質を養うための一般教養科目、臨床検査学基礎科目、臨床検査学専門科目等を適正に配置し、人間性・社会性・専門性を備えた臨床検査技師を養成する。国家試験では合格率100%を目指す。

また、臨床検査学の基礎から臨床応用までの講義、実習・演習を有機的に構成したカリキュラムによる教育に加え、チーム医療に貢献できる人間性、社会性、国際性豊かな臨床検査技師を養成するために、本学の医療福祉系学部との共通カリキュラムによる医療人としての教育、本学の関連医療施設及び福祉施設における臨地実習を実施し、いわゆるチーム医療において活躍できる人材育成を目指す。さらに、地域の臨床検査技師会等と密に連携し、情報交換や教育の質向上に向けた意見交換の場を定期的に設けることで、栃木県内への就職比率について、保健医療学部医学検査学科では30%以上を目指す。

グローバル社会におけるコミュニケーション力を涵養するため、多くの外国語科目を設けるとともに、海外研修としての「海外保健福祉事情」への積極的な参加を促すことで、国際的な視野をもつ学生を養成し、外国語が必要とされる医療機関等への就職も実現する。

2. 学部・学科等の特色

保健医療学部医学検査学科は、前述のとおり高度な専門性を備え、医療人としてチーム医療に貢献できる臨床検査技師の養成とともに、先進医療(再生医療、移植医療、生殖

補助医療等)やゲノム医療やオーダーメイド医療にも対応できる高度医療専門人材を養成するという目的に沿い、教育・研究体制を置く。

本学には、大田原キャンパスに近接する地域に不妊治療を行うリプロダクションセンター等を開設している附属病院としての国際医療福祉大学病院、またキャンパス内には障害者支援施設やリハビリテーション施設、特別養護老人ホーム、児童心理治療施設、認定こども園、言語聴覚センターを持つ大学クリニックなど6つの医療福祉施設を有しており、教員と臨床現場が緊密に連携できる環境が既に整っている。つまり、本学科の特色の1つとして教員が相互に密接に連携し、1年次より4年次までのカリキュラムを担当することにより、現在医療人としての臨床検査技師に必須な基礎から臨床までの高度な知識と技能を効率よく修得させることがある。加えて、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・診療放射線技師・薬剤師、社会福祉士や精神保健福祉士を目指す学部学科が併設されており、チーム医療・多職種連携を学ぶ環境が整っていることも特色である。

また、未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍する医療人を養成するために全人的教育に力を注ぎ、医療人・社会人として成長するための「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」、医療倫理やプロ意識・医療情報を学ぶ「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」、我が国の社会福祉や医療保障政策を学ぶ「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」を必修科目として設定した。

さらに、数理・データサイエンス・AI教育プログラムとして「データリテラシー」を必修科目、「医療データサイエンスⅠ(DS基礎)」「医療データサイエンスⅡ(AI基礎)」を選択科目として提供している。

その他、社会系科目の講義「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」、国際人を目指した語学力(会話力)向上のための「英語講読1(Primary)」「英語講読2(Basic)」「英語CALL1(Primary)」「英語CALL2(Basic)」を必修としている。

加えて、卒業後の地域医療、チーム医療・多職種連携に対応できるよう「関連職種連携論」、「関連職種連携ワーク」を必修とし、「関連職種連携実習」や「ケアマネジメント論」「ケースワーク論」などの充実した選択科目を提供している。

また、本学は、高度な臨床能力と研究能力を修得した臨床検査学分野の研究者の育成を目的に、大学院医療福祉学研究科臨床検査学分野の修士課程・博士課程を2016(平成28)年4月から開設している。本学大学院は、臨床検査学分野の修士・博士課程において、臨床検査学講義・演習を通じ、最新の検査知識及び技術を学ぶと共に、次世代に必要とされる検査法や機器・試薬の開発など、多方面からの研究を行うことで研究的思考を兼ね備えた人材の育成を目指している。修士課程・博士課程修了生は、豊富な知識と技術及び高度な研究能力を兼ね備えた専門性の高い人材として、多彩な領域で教育者・研究者として活躍している。保健医療学部医学検査学科の卒業生においても本学大学院の修士課程・博士課程進学につながる課題を卒業研究などで学び、積極的に臨床検査学研究に取り組むことができる環境を提供する。

3. 大学、学部・学科等の名称及び学位の名称

(1) 学部、学科の名称

医学検査学の学問全般に関わる知識、技能、態度を培い、臨床検査技師を養成することを主たる目的とする学部、学科であり、学生や一般の人にも理解しやすい名称であることが好ましいため、学部、学科の名称は以下のとおりとした。

また本学では、既に千葉県成田市及び福岡県大川市の成田保健医療学部、福岡保健医療学部それぞれ医学検査学科を設置しており、この2つの学部は設置場所を明確にするため地名を冠することとしているが、開学の地であり、本部を置く大田原キャンパスにおいては次のとおりとする。

○学部の名称 保健医療学部

○学科の名称 医学検査学科

(2) 学位及び専攻分野の名称

授与する学位の名称は、教育研究分野に基づき、下記のとおりとする。

医学検査学科：学士(医学検査学)

(3) 学部、学科及び学位の英訳名称

学部、学科及び学位の英訳名称は、国際的な通用性や成田市や大川市に設置する各保健医療学部医学検査学科の英訳を考慮して下記のとおりとする。

学部名称	保健医療学部	School of Health Sciences
学科名称	医学検査学科	Department of Medical Technology and Sciences
学位名称	学士(医学検査学)	Bachelor of Medical Technology and Sciences

4. 教育課程の編成の考え方及び特色

(1) カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

保健医療学部医学検査学科では、以下のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)及び前述のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)に基づいて教育を行う。

CP1： 臨床検査関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。

- CP2： 獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、適切な病態評価を行うための検査方法の選択や正確な検査データを提供できる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。
- CP3： 臨床検査の過程で得た情報をエビデンスに基づき定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有すると共に、他部門とのチームを構築して問題解決にあたることのできる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。
- CP4： 生涯にわたって探究心を持って学び続ける能力と姿勢を身につけ、修得した知識や技術を関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

2013(平成 25)年に設置された福岡県大川市にある福岡保健医療学部医学検査学科では、10 年以上教育・研究活動を行い、これまでに多くの有為な人材を輩出してきた。本学では、医療機関・在宅介護等さまざまな局面で多職種と連携してチーム医療に貢献する臨床検査技師の育成を主眼にしており、2016(平成 28)年に設置された成田保健医療学部医学検査学科も同様の教育方針としている。

今回設置を予定している保健医療学部医学検査学科においても基本的に既存の医学検査学科の教育方針を踏襲するとともに、臨床検査技師学校養成所指定規則に準拠した教育を行い、学生は、知識・技能・態度のバランスを保ちながら講義と実習を通して臨床検査学を学ぶ。

(2)教育課程の体系的な編成方針・編成方法

保健医療学部医学検査学科は、既存の医学検査学科同様にチーム医療に貢献する臨床検査技師の育成を主眼として教育を行う。臨床検査技師の活躍する主たる場として医療機関、各種検査機関や在宅などを想定する。そのため臨床検査技師に必要な知識・技能等に加え、関連職種連携やコミュニケーション力涵養のための教育を行う。1 年次では臨床検査学専門科目以外の科目を多く学び、総合教育科目により教養の涵養に努める。1 年次から 3 年次にかけて基礎系科目、検体系検査科目、生理学的検査科目、検査機器管理科目を、科目間の連携を重視しながら学ぶ。3 年次後期に医療機関等で長期臨地実習を行う。4 年次には実習で得られた知識・技術の統合を図る。また 4 年次は、卒業研究を行い、問題発見・解決能力を身につける。

以上のような教育を通して、知識・技能のみならず国際性・倫理感・研究能力を備えた臨床検査技師を育成する。

保健医療学部医学検査学科の各年次の授業科目の履修等の概要については、以下のとおりである。

● 1 年次

1 年次前期は幅広く教養を深めるための学修が中心となるが、それと並行して医療への理解を深める専門基礎科目や、臨床検査への意識を高める専門的な科目を開設する。

1 年次前期から必修科目として英語を学ぶ。1 年次前期から後期にかけて講読主体の授業と CALL による教室でのコミュニケーション主体の授業を並行して実施して基礎をしっかりと学ぶ。いずれの授業も全授業の半分以上は医療英語を扱うものである。英語に関しては、必修科目以外にも「英語会話 1 (Primary)、2 (Basic)、3 (Intermediate)、4 (Advanced)」、「上級英語会話 1(発展)、2(総合)」、「英語医療通訳入門 1、2」など様々な内容の授業を選択科目として用意し、低学年のうちから国際性の涵養に努める。

英語以外にも「フランス語入門、基礎」、「ドイツ語入門、基礎」、「スペイン語入門、基礎」、「中国語入門、基礎」、「韓国語入門、基礎」を選択科目として用意している。なお、語学の選択科目は在学中任意の学年で履修できるようになっている。

「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」など社会科学系科目も必修科目として学ぶ。この他に総合教育科目として「哲学」、「文化人類学」、「死生学-死を通して生を考える-」などの科目も用意しており、人としての知性や倫理観を磨くため学生の興味に応じて科目を自由に選択できる。

1 年次前期の必修科目「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」では大学の授業を受けるに当たっての心構えを学ぶ。

また、1 年次前期の必修科目「データリテラシー」、1 年次後期の必修科目「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」では、医療統計・生物統計の基礎を学び、情報リテラシーの育成に資する。さらに、1 年次後期に選択科目「疫学・保健医療統計学」を設け、1 年次後期から 2 年次後期にかけて物理系、化学系、生物系の専門科目を学ぶ。なお、1 年次から 4 年次に渡り、配当年次を決めずに選択できる様々な総合教育の選択科目が用意されている。

医療専門職への意識を早期に高めるために 1 年次に学ぶ専門基礎科目の必修科目として、「保健医療福祉制度論」が設定されている。このほかにも「微生物と病気」「看護論」「ケアマネジメント論」「社会福祉学」「臨床心理学概論」「医療経営管理学」「ケースワーク論」などの専門基礎科目が 1 年次からの選択科目として用意されている。

また、臨床検査技師専門職への意識を早期に高めるために、1 年次後期において学ぶ必修の専門科目として、「一般検査学」「臨床化学検査学 I (糖質, タンパク質, 脂

質)」「遺伝子検査学」「臨床検査基礎演習」「入門細胞診断学演習」を履修することになっており、1年次から3年次にかけて配当年次を決めずに選択できる「医科分子生物学」も用意している。

●2年次

2年次では、1年次に引き続き、臨床検査学に関する専門基礎知識と技能について修得するとともに、臨床現場で応用できる専門技能を修得するために、「公衆衛生学」、「組織学演習」、「臨床医学概論」、「内科学」、「検査機器学・情報システム学総論」を必修の専門基礎科目とし、「病理検査学」、「細胞診断学」、「細胞診断学実習」、「血液検査学Ⅰ(形態系,凝固・線溶系の基礎)」、「血液検査学Ⅱ(形態系,凝固・線溶系の応用)」、「一般検査学実習」、「臨床化学検査学Ⅱ(酵素、ホルモン、ビタミン)」、「臨床化学検査学実習」、「免疫検査学」、「免疫検査学実習」、「遺伝子検査学実習」、「微生物検査学Ⅰ(細菌)」「微生物検査学Ⅱ(ウイルス、真菌)」、「医動物学演習」、「輸血・移植検査学」、「生理検査学Ⅰ(循環器,脳・神経、筋系)」、「生理検査学Ⅱ(呼吸器,感覚器、平衡機能)」、「超音波・MRI検査学」、「超音波・MRI検査学実習」、「臨床検査統計学」、「医療安全管理学演習」を必修の専門科目として学ぶ。

また、情報・科学技術を生かす能力の向上を目指して、数理・データサイエンス・AI教育特にビッグデータの適切な活用能力の強化のために2年次以降に修得できる「医療データサイエンスⅠ(DS基礎)」、「医療データサイエンスⅡ(AI基礎)」を用意している。

特に、3年次後期に実施する臨地実習に備えて本学独自のカリキュラム関連職種連携教育(IPE: Interprofessional Education)である「関連職種連携論」を必修科目として学ぶ。

その他にも、「救急医学」「リスクマネジメント論」「電子カルテシステム入門」などを医療に役立つ選択科目として用意している。さらに、細胞検査士資格取得を目指す学生のために、2年次に「細胞診断学演習Ⅰ(婦人科基礎)およびⅡ(婦人科応用)」を用意し、胚培養士資格取得を目指す学生のために「生殖補助医療胚培養学」を用意している。

●3年次

3年次では、客観的臨床能力試験合格後に実施される臨地実習に参加することとし、それに向けて主に3年前期では臨地実習に備えて2年次に引き続いて、臨床現場で応用できる臨床検査学のより実践的な専門知識と技能の修得を主目的とし、以下の必修専門科目を学びつつ、関連職種連携教育(IPE: Interprofessional Education)を通じて、現在の医療システムの全体像とそこにおける臨床検査技師の役割を理解する(「病理検査学実習」、「血液検査学実習」、「微生物検査学実習」、「輸血・移植検査学実習」、「生理検査学実習」、「精度管理学」、「臨床検査特論Ⅰ(応用)」

「臨床検査研究論」、「循環動態画像診断学」、「臨床検査診断学(Reversed-CPC) I (基礎)」、「関連職種連携ワーク」)。

また、最も重要視される学外臨地実習が後期に実施される。本学外臨地実習では、学外の病院等において、11 週間にわたり、検査受付・採血、一般検査、血液検査、免疫検査、生化学検査、細菌検査、遺伝子検査、病理検査、輸血検査、生理学的検査等を経験する。

3 年次では、それまでの臨床的総括と発展的な内容にふれる「臨床検査特論 I (応用)」や 4 年次の卒業研究に向けての「臨床検査研究論」も用意されている。さらに、細胞検査士資格取得を目指す学生のために「細胞診断学演習 III (呼吸器,体腔液基礎) および IV (呼吸器,体腔液応用)」を、遺伝子分析科学認定士(初級)資格取得を目指す学生のために「遺伝子分析学演習 I (基礎)」を用意している。

● 4 年次

4 年次には、これまでに修得した臨床検査学専門知識及び医学知識を活用し、さらなる臨床応用力を養うために「臨床検査特論 II (発展)」、「臨床検査診断学(Reversed-CPC) II (応用)」を学ぶ。

また、4 年次には「卒業研究」を行う。「卒業研究」は、テーマに沿った問題解決能力を養う大切な機会となる。「卒業研究」により、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を修得する。

前述のように、関連職種連携・チーム医療・チームケアの実践応用として選択科目である「関連職種連携実習」が用意されている。また、低学年で修得できなかった多方面にわたる人文系、自然情報系、外国語系の総合教育科目の選択科目の履修も可能である。さらに、医用質量分析認定士の資格取得を目指す学生のために「臨床検査質量分析学演習」を、遺伝子分析科学認定士(初級)の資格取得を目指す学生のために「遺伝子分析学演習 II (実践)」を、胚培養士資格取得を目指す学生のために「生殖補助医療胚培養学演習」を用意している。

以上のとおり、保健医療学部医学検査学科の教育課程は、臨床検査学重視、臨床検査技師国家試験、卒業後の多様性の観点から編成されており、チューター制を活用する等教育上の配慮を十分行うこととしている。4 年間に於いて無理なく「専門性を持ち多様な場で活躍できる臨床検査技師」を養成するため、高度な資格を取って専門性を高めることのできる教育プログラムを編成している。さらに、関連職種連携教育(IPE: Interprofessional Education)を取り入れることで、「総合的に患者・生活者を見る姿勢」及び「情報・科学技術を生かす能力」を養える教育プログラムとなっている。

(3)科目区分の設定及びその目的・内容

本学は、建学の精神、基本理念・教育理念のもと、幅広い教養科目を基礎におき、また専門分野に関する科目については体系的に構成するカリキュラムとなっており、保健医療学部医学検査学科もこれに準ずる。

本学の科目区分の設定とその目的・内容等は以下のとおりである。

本学の授業科目は、大別すると、「総合教育科目」と「専門教育科目」に区分され、「専門教育科目」は、さらに「学部共通専門基礎科目」と「専門基礎科目」、「専門科目」に区分される。

- 1)「総合教育科目」は人間系、社会系、自然・情報系、総合系、外国語系、保健体育系に区分しており、幅広い視野と豊かな人間性を育むとともに、専門教育を受ける上で必要となる基本的な知識を修得できる多くの選択科目を開講している。保健医療学部医学検査学科は4年間にわたり総合教育科目について学ぶ機会を設けている。
- 2)「専門教育科目」は、「学部共通専門基礎科目」と「専門基礎科目」、「専門科目」から成る。

①学部共通専門基礎科目

学部共通専門基礎科目は、医療福祉に関係する専門的知識と関連した幅広い教養と科学的思考力を身につけられるよう、多数の選択科目を配置している。医療専門職として共通の知識である「公衆衛生学」を必修科目としている。

また、大学全体として、チーム医療・福祉を実現できる専門職の養成を目指したIPE(Inter Professional Education:関連職種連携)教育を実践する目的で、「関連職種連携論」、「関連職種連携ワーク」、「関連職種連携実習」が開設されており、「関連職種連携実習」以外は全学科必修である。

②専門基礎科目

専門基礎科目は、臨床検査学の高度な専門知識を学ぶための前提となる知識および技術を学ぶ科目群で構成している。「解剖学Ⅰ(総論)」「解剖学Ⅱ(各論)」「組織学演習」「生理学」「病理学」「臨床医学概論」「内科学」等の基礎医学系科目、「病態薬理学」「臨床栄養学」「遺伝学」「分析化学」「生化学」「医用工学・情報概論」「検査機器学・情報システム学総論」等の臨床検査学の専門科目を学ぶための前提となる科目で構成し、これらの科目をすべて必修としている。

③専門科目

専門科目は、高度な専門知識や技術を修得するため、「病理検査学」「病理検査学実習」「細胞診断学」「細胞診断学実習」「血液検査学Ⅰ(形態系,凝固・線溶系の基礎)」「血液検査学Ⅱ(形態系,凝固・線溶系の応用)」「臨床化学検査学Ⅰ(糖質,タンパク質,脂質)」「臨床化学検査学Ⅱ(酵素,ホルモン,ビタミン)」等の学科独自に開講する科目となっている。

なお、授業科目の区分については、下表のとおりである。

授業科目の区分		教育目的・内容
総合教育科目	人間系	幅広い視野と豊かな人間性を育むとともに、専門教育を受ける上での基本的な知識を修得するための科目
	社会系	
	自然・情報系	
	総合系	
	外国語系	
	保健体育系	
専門教育科目	学部共通専門基礎科目	医療関連専門職として共通した知識・技術を修得するための科目
	専門基礎科目	高度な専門知識・技術を学ぶための前提となる知識・技術を修得するための科目
	専門科目	高度な専門的知識・技術を修得するための科目

また、国際的な観点として、英語のみならず、第二外国語としてフランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国語を選択科目として履修できる環境を整備している。

さらに、保健医療学部医学検査学科では、保健医療福祉専門職の国際化に対応できる基礎的な能力を身につけることや、国際人として異文化理解に関連するコミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルを修得することを目的とした総合教育科目である「海外保健福祉事情」も設けている。本科目では、本学が提携する海外の医療機関等において各国の医療福祉の現場に直接触れることで、国際的視野の涵養を図っている。

(4)保健医療学部医学検査学科の教育理念を実現するための主要授業科目の設定

本学は、「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」という3つの基本理念と、この理念を実現するための7つの教育理念(人格形成、専門性、学際性、情報科学技術、国際性、自由な発想、新しい大学運営)を掲げ、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指した教育を行っている。さらに、3ポリシーを踏まえた上で、チーム医療・チームケアに貢献できる優れた人格と国際性を兼ね備えた専門職を育成するため、主に以下の点を踏まえ、主要授業科目を設定する。

- 1)学科の学位授与の条件となるディプロマ・ポリシーの達成に必要な授業科目は当該学科の主要授業科目である。
- 2)学科の卒業生の取得する専門医療資格に必要な授業科目(設置基準や指定規則上必要な科目、国家試験出題科目、モデル・コア・カリキュラムにおいて必要な科目など)は当該学科の主要授業科目である。
- 3)本学の特色及び学科の特色を実現するための授業科目は当該学科の主要授業科目である。

当該学科、主要授業科目について、次のとおり列举する

上記 1) 及び 2) 関連の授業科目

【総合教育】

我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、化学、データリテラシー、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-、大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-、英語講読 1 (Primary)、英語講読 2 (Basic)、英語 C A L L 1 (Primary)、英語 C A L L 2 (Basic)

【専門教育】

公衆衛生学、関連職種連携論、関連職種連携ワーク、保健医療福祉制度論、解剖学 I (総論)、解剖学 II (各論)、組織学演習、生理学、病理学、臨床医学概論、内科学、リハビリテーション医学、老年学、病態薬理学、臨床栄養学、遺伝学、分析化学、生化学、生化学実習、医用工学・情報概論、医用工学・情報実習、検査機器学・情報システム学総論、病理検査学、病理検査学実習、細胞診断学、細胞診断学実習、血液検査学 I (形態系, 凝固・線溶系の基礎)、血液検査学 II (形態系, 凝固・線溶系の応用)、血液検査学実習、一般検査学、一般検査学実習、臨床化学検査学 I (糖質, タンパク質, 脂質)、臨床化学検査学 II (酵素, ホルモン, ビタミン)、臨床化学検査学実習、遺伝子検査学、遺伝子検査学実習、微生物検査学 I (細菌)、微生物検査学 II (ウイルス, 真菌)、微生物検査学実習、医動物学演習、免疫検査学、免疫検査学実習、輸血・移植検査学、輸血・移植検査学実習、生理検査学 I (循環器, 脳・神経, 筋系)、生理検査学 II (呼吸器, 感覚器, 平衡機能)、生理検査学実習、超音波・MRI 検査学、超音波・MRI 検査学実習、臨床検査統計学、医療安全管理学演習、精度管理学、臨床検査特論 I (応用)、臨床検査特論 II (発展)、臨地実習、卒業研究、臨床検査研究論、循環動態画像診断学、臨床検査管理総論、臨床検査診断学 (Reversed-CPC) I (基礎)、臨床検査診断学 (Reversed-CPC) II (応用)、臨床検査基礎演習、客観的臨床能力試験

上記 3) 関連の授業科目

【総合教育】

海外保健福祉事情、関連職種連携実習

【専門教育】

入門細胞診断学演習、細胞診断学演習 I (婦人科基礎)、細胞診断学演習 II (婦人科応用)、細胞診断学演習 III (呼吸器, 体腔液基礎)、細胞診断学演習 IV (呼吸器, 体腔液応用)、臨床検査質量分析学演習、遺伝子分析科学演習 I (基礎)、遺伝子分析科学演習 II (実践) 生殖補助医療胚培養学、生殖補助医療胚培養学演習

(5)必修科目・選択科目等の構成について

保健医療学部医学検査学科の必修科目、選択科目等の構成の考え方等は以下のとおりである。

1)必修科目

「臨床検査技師学校養成所指定規則」に係る科目は、すべて必修科目としている。

また、臨床現場においてリーダーとして活躍できる人材の養成を目的として、「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」、「関連職種連携論」、「関連職種連携ワーク」を必修科目とし、情報・科学技術を生かす能力向上のため「データリテラシー」、「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」にて情報リテラシー教育を行う。

さらに、病気や障害を持つ人も健常な人もお互いに認め合い共に生きる社会の醸成に貢献し、地域医療を支え人々の健康を守る・生活の質を向上させるという高い志と倫理観をもった臨床検査技師の育成を目的として、「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」、「保健医療福祉制度論」などの必修科目を設けている。

2)選択科目

医療人としての人間性と専門性を高めることを目的として有益と考えられる科目を選択科目として設けた。

「人間学」、「倫理学」、「宗教学」、「教育学」、「死生学-死を通して生を考える-」などの人間系総合教育科目、「法と道德・倫理」、「アジア諸国の経済・社会・文化」、「国際医療福祉論」、「組織運営管理論」、「ボランティア論」などの社会系総合教育科目、「疫学・保健医療統計学」、「医療データサイエンスⅠ(DS基礎)」、「医療データサイエンスⅡ(AI基礎)」、「人間工学」などの自然・情報系総合教育科目、「リハビリテーション概論」、「関連職種連携実習」、「リスクマネジメント論」などの専門基礎科目という構成になっている。

さらに、細胞検査士、遺伝子分析科学認定士、医用質量分析認定士、胚培養士などを目指す学生のため、「入門細胞診断学演習」、「細胞診断学演習Ⅰ(婦人科基礎)」、「細胞診断学演習Ⅱ(婦人科応用)」、「細胞診断学演習Ⅲ(呼吸器,体腔液基礎)」、「細胞診断学演習Ⅳ(呼吸器,体腔液応用)」、「臨床検査質量分析学演習」、「遺伝子分析科学演習Ⅰ(基礎)」、「遺伝子分析科学演習Ⅱ(実践)」、「生殖補助医療胚培養学」、「生殖補助医療胚培養学演習」を専門科目に設けている。

3)外国語科目

グローバル社会におけるコミュニケーション力の涵養を目的として、基礎的な英語力の向上のために「英語講読 1 (Primary)」、「英語講読 2 (Basic)」、「英語 CALL1 (Primary)」、「英語 CALL2 (Basic)」の 4 科目を必修としている。

また、「英語講読 3(Intermediate)、4(Advanced)」、「英語会話 1(Primary)、2(Basic)、3(Intermediate)、4(Advanced)」、「聖書英語 1(Primary)、2(Basic)」、「医学英語 1(Primary)、2(Basic)」、「英語リスニング 1(Primary)、2(Basic)」、

「英語ライティング 1(Primary)、2(Basic)」、「英語医療通訳入門 1(Primary)、2(Basic)」、「資格英語 1(Primary)、2(Basic)」、「基礎英文法 1(Primary)、2(Basic)」、「上級英語会話 1(発展)、2(総合)」、「フランス語入門、基礎」、「ドイツ語入門、基礎」、「スペイン語入門、基礎」、「中国語入門、基礎」、「韓国語入門、基礎」といった 32 科目の選択科目を設けている。

(6)履修順序(配当年次)の考え方

既存の保健医療学部医学検査学科(成田キャンパス・大川キャンパス)と同様に本学の教育方針(カリキュラム・ポリシー)の具現化を図るべく、臨床検査技師学校養成所指定規則を基盤とした学年ごとの具体的な教育目標を設定して編成している。詳細を以下に示す。

- 1 年次： 臨床検査学修の基礎を固め教養を高める。臨床検査関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人間性・社会性を育むとともに未来の社会や地域に対応するための学修の充実を図る。
- ・臨床検査管理総論や臨床検査基礎演習を通して、将来の臨床検査技師像をイメージする。
 - ・自然・情報系、外国語系、人間系、社会系、総合系の基礎力(主に知識)を修得する。
 - ・基礎的な臨床検査学(生化学・分析化学、遺伝子検査学、一般検査学、臨床化学検査学Ⅰ(糖質,タンパク質,脂質))の内容を理解し、対応する実習と関連させて技能も修得する。
- 2 年次： 基礎的な臨床検査学と臨床検査技師の実践に必要な専門的な臨床検査学の知識の修得と、医療現場で応用できる臨床検査の専門知識と技能の修得を図る。すなわち、獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、適切な病態評価を行うための検査方法の選択や正確な検査データを提供できる臨床検査技師を育成するための学修の充実を図る。
- ・病理検査学、細胞診断学、血液検査学、一般検査学、臨床化学検査学Ⅱ(酵素、ホルモン、ビタミン)、微生物検査学、免疫検査学、生理検査学、輸血・移植検査学、超音波・MRI 検査学の内容を理解し、対応する実習と関連させて技能も修得する。
 - ・公衆衛生学を通して、社会における手段の健康と疾病の現状とその影響要因を把握し、公衆衛生の向上に必要な制度について学修する。
 - ・臨床検査統計学を通して、臨床検査データの品質保証やその管理手法の基礎知識を修得する。
 - ・関連職種連携論、医療安全管理学演習を通して、多職種連携の重要性、実際の関わり方を修得する。
 - ・海外保健福祉事情を通してグローバルな感覚を養成する。

3 年次： 医療現場で応用できる臨床検査の専門知識と技能の修得を図り、適切な病態評価を行うための検査方法の選択や正確な検査データを提供できる臨床検査技師を育成するための学修の充実を図る。さらに、医療現場での体験型実習に臨み、臨床検査の過程で得た情報をエビデンスに基づき定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段による他者との連携力や医療人としての社会的な対応力を身につけさせる。臨地実習に参加させることを目的に客観的臨床能力試験を実施する。

- ・病理検査学実習、血液検査学実習、微生物検査学実習、生理検査学実習、輸血・移植検査学実習により、統括的な知識の理解と臨地実習前の技能を修得する。
- ・精度管理学、臨床検査診断学(Reversed-CPC) I、循環動態画診断学の内容を理解し、臨床検査データの品質保証及び、疾患・病態を推測できるような意識と技能を修得する。
- ・関連職種連携ワークを通して、多職種連携の重要さと実際の関わり方を修得する
- ・臨床検査特論 I を通じて、1-3 年までの関連科目を総復習し、相互の関連性を理解し、基本的かつ先進的な事項を整理する。
- ・臨地実習(医療機関)を通して、臨床検査の現場と臨床検査技師(実習生として)を体験することにより、医療人としての態度を身につけ、知識・技能を修得する。
- ・臨床検査研究論を通して、臨床検査における検査の技術開発や研究による問題点に関してグループワークをして探求心と課題解決能力の基礎を修得する。

4 年次： 卒業研究及び特長的な先進的かつ専門科目の演習により問題解決能力の醸成を図り、生涯にわたって探究心を持って学び続ける能力と姿勢を身につけ、修得した知識や技術をチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を身につけさせる。

- ・臨床検査診断学(Reversed-CPC) II、臨床検査特論 II (発展)により 4 年間に学んできた基礎的な事項の確認・定着と応用力・問題解決能力の醸成を図る。
- ・卒業研究を通して、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を修得する。
- ・卒業研究発表を通して、内容のまとめ方、プレゼンテーション力を修得する。

- ・細胞診断学演習、臨床検査質量分析学演習、遺伝子分析科学演習、生殖補助医療胚培養学演習などで、先進的な臨床検査領域で活躍できる臨床検査技師の育成を図る。

(7)教養教育の実施方針・教育課程編成上の具体的工夫

本学では、7つの教育理念の中に「人格形成」、「学際性」及び「国際性」を掲げている。そのため、医療福祉の総合大学であることを活用して、各学部の専門的教育のみならず、他学科の科目についても教養科目として配置し、学生は幅広い知識を修得できるようにしている。この幅広い教養の修得によって、専門的な知識・技能のみに偏しない、知・情・意を兼ね備えた人材を育み、自ら考え、自ら行動する幅広くバランスの取れた人格を形成することを目指している。

本学の教養科目は「総合教育科目」として配置されており、人間系科目、社会系科目、自然・情報系科目、総合系科目、外国語系科目及び保健体育系科目の6つにより構成されている。この分類から、学生が自身の関心及び興味に応じて科目を自由に選択できるように設定している。

人間系科目では、「文学論」、「演劇論」、「心理学」、「哲学」、「コミュニケーション概論」、「雑談と傾聴～話す力と聴く力～」、「人間学」、「歴史学」、「倫理学」、「宗教学」、「文化人類学」、「死生学-死を通して生を考える-」、「生きがい論」などを開設する。

社会系科目では、「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」を必修としているほか、「法と道徳・倫理」、「経済の歴史」、「世界の経済」、「アジア諸国の経済・社会・文化」、「社会学」、「ボランティア論」などを開設する。本科目では国際的なセンスを養うため、上記の他に「国際医療福祉論」、「経済の仕組み」など、世界の経済、福祉、環境などを幅広く学修できるような科目も開設する。

自然・情報系科目では、情報・科学技術を生かす能力向上を目指し数理・データサイエンス・AI教育特にビッグデータの適切な活用能力の強化を図っている。薬学系の基礎知識となる「化学」を始め「データリテラシー」、「医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-」を必修科目としているほか、「疫学・保健医療統計学」、「医療データサイエンスⅠ(DS基礎)、Ⅱ(AI基礎)」を設けている。そのほか、「物理学」、「医学/医療史」などを開設する。

総合系科目では、「大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-」を必修科目として設定しており、他に、「医療福祉教養講義」、「メディカルマナー入門」、「総合講義(現代社会をどう見るか)」を開設する。さらに、大学のある地域を理解し貢献できる素地を養うための「郷土論～栃木学～」も開設する。

外国語系科目では、「英語講読1(Primary)、2(Basic)」、「英語CALL1(Primary)、2(Basic)」を必修科目として設定しているが、ほかにも「英語会話1(Primary)、2(Basic)、3(Intermediate)、4(Advanced)」、「英語医療通訳入門1(Primary)、2(Basic)」、「資

格英語 1(Primary)、2(Basic)」など、様々な場面で必要となる英語に対する教育を手厚く開設する。

また、英語のほか、「フランス語入門、基礎」、「ドイツ語入門、基礎」、「スペイン語入門、基礎」、「中国語入門、基礎」、「韓国語入門、基礎」に対する講義も開設しており、海外拠点での活動も視野に入れた科目を開設する。

保健体育系科目では、「健康科学理論」、「健康科学実践」を開設する。

上記の教養科目は、本学が医療福祉の総合大学であることの強みが生かされており、近年急速に進展する国際化や多様化する社会のニーズに適応可能な人材育成を目指し、幅広い科目を学生に提供する。これらを有効に活用しつつ、保健医療学部医学検査学科の教育目標及び臨床検査技師学校養成所指定規則に合致する科目構成を構築している。

5. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

(1)ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

保健医療学部医学検査学科では、既存の医学検査学科(成田キャンパス及び大川キャンパス)と同様の下記のディプロマ・ポリシーを掲げ、卒業認定・学位授与等を行う。

- DP1： 臨床検査技師を目指す者として、広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につけ、人間理解、国際的感覚を養い、医療関連分野での倫理的側面を理解した医療従事者として行動できる。
- DP2： 臨床検査における基本的知識及び技術を修得し、専門医療職の立場のみならず患者の立場に立って、他者を思いやり、自らの考えを表現できる。
- DP3: チーム医療に積極的に参画できる幅広い教養を身につけ、自職種の専門性に誇りを持って他職種を理解し、調整・連携の役割を果たすための適切な他部門とのコミュニケーション能力を身につけている。
- DP4： 臨床検査の正確かつ高精度な検査情報を提供するために必要な基礎的な知識及び技術を身につけている。
- DP5： 臨床検査に必要な専門的な知識及び技術と実践能力を身につけ、検査データを総合的に解析する力を培い、臨床診断に寄与する検査能力を身につけている。
- DP6： 問題解決に対する柔軟な応用力や想像力を身につけ、社会に貢献できる新たな技術や機器開発に取り組む基礎的能力を身につけている。
- DP7： 医療の高度化に対応し、各自の実践の中から研究の課題を発見し、それを新しい知識の追求(研究活動)に発展させることができる。

なお、学年ごとに進級条件を設定する。

(各年次への進級条件)

ア 1 学年から 2 学年への進級条件

①1 学年の必修の専門教育科目のうち、演習及び実習科目の単位をすべて修得していること。

②1 学年の必修の専門教育科目のうち、未修得科目が 2 科目以下であること。

以上、①②の両方の条件を満たしていること。

イ 2 学年から 3 学年への進級条件

①2 学年までの必修の専門教育科目のうち、演習及び実習科目の単位をすべて修得していること。

②2 学年までの必修の専門教育科目のうち、未修得科目が 2 科目以下であること。

以上、①②の両方の条件を満たしていること。

ウ 3 学年から 4 学年への進級条件

3 学年までの必修科目の単位をすべて修得していること。

(2)教育方法、授業の方法、学生数及び配当年次の設定

1)教育方法及び授業の方法

保健医療学部医学検査学科での学修に必要な知識・技能・態度の修得については、講義、実習、及び演習を組み合わせることで進める。知識の修得は、講義科目を主体として実施し、技能及び態度の修得は、実習及び演習科目を主体として実施する。演習及び実習では、その内容に応じて 10 名程度の少人数で実施し、各学修領域に適した学修方法を用いる。全体に渡り、個々の学生の能力に合わせたきめ細やかな指導を行い、アクティブラーニングを取り入れた自主性を尊重した評価のフィードバックを行うことで多様性と個性を醸成し、多様な場で活躍できる臨床検査技師の理解を深め育成する。

大田原保健医療学部医学検査学科のカリキュラムでは、卒業に必要な科目 128 単位のうち、必修科目である講義科目が 80 単位、演習・実習科目が 43 単位となっており、適切な学修方法による学修領域間のバランスの取れた教育が行われる。

専門基礎科目群の人体の構造と機能分野では、1 年次「解剖学Ⅰ(総論)」、「解剖学Ⅱ(各論)」、「病理学」、「生理学」、「生化学」、2 年次「組織学演習」により、医学知識の基礎、疾患の発生機序を中心的に理解する。臨床検査の基礎とその疾病との関連分野では、1 年次「臨床栄養学」、「病態薬理学」、1-3 年次「老年学」、「内科学」、「リハビリテーション医学」により、疾患と栄養の関わり、疾患に対する薬物療法、疾患の病理生理、診断、治療に加えて高齢者にみられる代表的疾患、臨床検査技師に係る在宅医療に関して理解する。病態学分野では 3-4 年次「臨床検査特論Ⅰ(応用)」、「臨床検査特論Ⅱ(発展)」、「臨床検査診断学(Reversed-CPC)Ⅰ」、「臨床検査診断学(Reversed-CPC)Ⅱ」、「臨床検査研究論」により、臨床検査に関わる分野を総復習し、

臨床化学検査、免疫血清検査、血液検査、輸血・移植検査、微生物検査、病理検査、生理検査、超音波検査などの分野について知識を修得する。保健医療福祉と臨床検査分野では、2年次「臨床医学概論」、「公衆衛生学」、「関連職種連携論」により、臨床検査技師に求められる保健・医療・福祉の基本的な知識を理解する。医療工学及び医療情報分野では、1年次「医用工学・情報概論」、「医用工学・情報実習」、2年次「検査機器学・情報システム学総論」により医療機器の正しい取り扱いに必要な電気工学の基礎知識修得及び生体計測に関する知識を理解する。専門科目群の血液学的検査分野では、2年次「血液検査学Ⅰ（形態系、凝固・線溶系の基礎）」、「血液検査学Ⅱ（形態系、凝固・線溶系の応用）」、3年次「血液検査学実習」により血液検査における各種疾患の病態把握に関して理解する。病理学的検査分野では、2年次「病理検査学」、「細胞診断学」、「細胞診断学実習」、3年次「病理検査学実習」により、病理検査、細胞診検査の意義と各種標本作製技術を修得する。一般検査分野では、1年次「一般検査学」、2年次「一般検査学実習」、「医動物学演習」により、尿の生化学的検査、糞便検査、採血手技について理解する。生化学的検査・免疫学的検査分野では1年次「臨床化学検査学Ⅰ（糖質、タンパク質、脂質）」、2年次「臨床化学検査学Ⅱ（酵素、ホルモン、ビタミン）」、「臨床化学検査学実習」、「免疫検査学」、「免疫検査学実習」により、臨床化学検査並びに免疫学的検査の目的、特徴、単位と標準物質、検査値の管理としての誤差と許容範囲、基準範囲や病態識別値について理解する。遺伝子関連・染色体検査分野では、1年次「遺伝子検査学」、2年次「遺伝子検査学実習」で発展している様々な遺伝子検査の基本となる技術の原理や理論、その応用について理解する。輸血・移植検査分野では、2年次「輸血・移植検査学」、3年次「輸血・移植検査学実習」により輸血前検査で行われる ABO・Rh 血液型、不規則抗体検査、抗体同定検査、交差適合試験の検査法について理解する。微生物学的検査分野では、2年次「微生物検査学Ⅰ（細菌）」、「微生物検査学Ⅱ（ウイルス、真菌）」、3年次「微生物検査学実習」により、感染症の診断や治療に必要な検体採取から各種検査法、薬剤感受性検査までの知識を理解する。生理学的検査分野では、2年次「生理検査学Ⅰ（循環器、脳・神経、筋系）」、「生理検査学Ⅱ（呼吸器、感覚器、平衡機能）」、「超音波・MRI 検査学」、「超音波・MRI 検査学実習」、3年次「生理検査学実習」により、循環器系の検査（心電図、心音図、脈波）、脳・神経系の検査（脳波、筋電図）、超音波検査や生理学的基礎事項、波形の成因、結果の解析と評価、測定機器の構造と操作法、検査手技及び患者接遇や患者急変時の対応などについて理解する。臨床検査総合管理分野では1年次「臨床検査管理総論」、「臨床検査基礎演習」、2年次「臨床検査統計学」、3年次「精度管理学」により、診断・治療に役立つ質の高いデータを提供するために必要な機材・試薬管理、検体管理、安全管理、システム管理、人事・労務管理及び人材育成などについて理解する。医療安全管理分野では、2年次「医療安全管理学演習」により臨床検査技師の責任及びタスク・シフト/シェアを含めた業務の範囲を理解し、感染管理及び安全管理に配慮して、適切に検体採取することを理解する。上記のように専門基礎科目群並びに専門科目群の講義と

実習科目の双方が割り当てられるように配慮しつつ、講義と実習が連動する教育を実施する。加えて、前述のように、学修評価に基づいてアクティブラーニングを取り入れた学修者本位の教育をすすめ、無理なく臨床検査学の学力醸成に務める。

2年次に行う専門科目においては、「病理検査学」、「細胞診断学」、「血液検査学」など形態学を学ぶ科目を中心にアクティブラーニングを積極的に取り入れ能動的に考える力を養う。

また、2年次に開講する「臨床化学検査学Ⅰ（糖質、タンパク質、脂質）」、「臨床化学検査学Ⅱ（酵素、ホルモン、ビタミン）」、「免疫検査学」、「血液検査学Ⅰ（形態系、凝固・線溶系の基礎）」、「血液検査学Ⅱ（形態系、凝固・線溶系の応用）」で学んだ知識に関して相互理解を深めることを目的とし、3年次では「臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）」、4年次では「臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）」を開講する。「臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ」、「臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ」では、臨床現場で問題となる具体的な症例や医療現場での具体例等のケーススタディーを通じた講義を実施する。さらに、小グループでアクティブラーニングを実施し、プレゼンテーション形式で発表する講義形式をとる。これにより、検査値から病態を推測するだけでなく、科目間相互理解による多角的な視点を養うことができ、診療支援のできる臨床検査技師の育成に繋げる。

2)配当年次の設定

4年間で臨床検査学分野の幅広い専門知識及び問題解決能力を効果的に学修できるよう、科目間の関連性を配慮してカリキュラムを編成している。まず、1年次においては、人体の構造と機能、臨床検査の基礎とその疾患との関連などの講義及び実習を開講し、学修を進める上で必要な基礎知識の補強を図る。特に臨床検査学を学ぶ上で重要な「解剖学Ⅰ（総論）」、「解剖学Ⅱ（各論）」、「病理学」、「生理学」、「生化学」を置くことで、1年次に基礎学習の効果が高まるようにしている。

2年次においては、専門基礎科目群の医療工学及び医療情報に加え、専門科目群の血液学的検査、病理学的検査、一般検査、生化学的検査・免疫学的検査、遺伝子関連・染色体検査、輸血・移植検査、微生物学的検査、生理学的検査、検査総管理学分野の講義を中心に開講し、3年次に実施する実習に連携した科目を開講する。

また、2年次に講義を中心として実施することにより、1年次に開講した専門基礎科目群との相互理解をより深める。これにより、3年次で実習するために必要な知識の定着を高めていくことを図る。

3年次においては、2年次に開講した専門科目群の科目に対応した実習を開講する。臨床検査に関する基本的知識に加え、各種検査法の原理を理解し手技を修得する。集中的に実習を実施することにより、実習から得られた結果を1年次、2年次で得た知識により考察する力を養う。3年次後期に開講する臨地実習では、医療機関の検査室での臨床現場を実際に経験し、検体採取から結果報告までの一連の業務の流れや精度管理、患

者への接遇など検査室業務の運営に直接携わることで、就職した後の必要とされるスキルを身につける。1年次から3年次までの講義及び実習で学んだ知識を確認し、検査室の臨床検査技師と共に検査業務を行うことにより臨床検査学の理解を深める。また、患者との接し方や検体結果の報告を通して、臨床検査データを迅速、正確に臨床医に届けることの重要性を理解する。

また、保健医療学部医学検査学科では、細胞検査士養成コース、遺伝子分析科学認定士コース、医用質量分析認定士コース、胚培養士コースの4つの特徴あるコースを設定しており、これらの職種を目指す学生の演習を1～4年次に開講する。

4年次においては、卒業研究で学生ごとに研究テーマを設定し、卒業研究指導教員による指導を行う。また上記に示した4つのコースに関する講義及び演習を開講し、専門性を高めた臨床検査技師の輩出を目指す。

(3)卒業要件

保健医療学部医学検査学科は、上記のディプロマ・ポリシーを踏まえ、卒業要件として、総合教育科目の必修10単位(社会系1単位、自然・情報系4単位、総合系1単位、外国語系4単位)、専門基礎科目の必修30単位、専門科目の必修83単位並びに総合教育科目及び専門教育科目の中から選択5単位、計128単位を取得することとする。

(4)養成する人材像と履修モデル

本学は、専門的知識や技術を備えた人材であることのみならず、医療全体(チーム医療、地域医療など)を理解し、あらゆる活動において積極的に協働でき、かつ、国際性豊かな人材を養成することを目指している。保健医療学部医学検査学科では、次の6つを特に代表的な「養成する人物像」として設定している。

1. 細胞検査士として、病理細胞検査領域で活躍できる臨床検査技師

探究心を持ち、問題解決能力に優れた細胞検査士を育成する。これにより、臨床検査学及び細胞診断学を通して、自らが学び、自らが考察することで医学的知識に関する疑問を追究することができ、細胞検査士のリーダーとして臨床現場に貢献できることが見込まれる。

2. 遺伝子関連分野で活躍できる臨床検査技師

高度な技術と専門的知識を身につけ、遺伝子検査技術の発展と普及を推進できる遺伝子分析科学認定士を育成する。今後、さらに発展していく遺伝子関連検査とその解析技術を追求し、研究や臨床への応用ができる遺伝子関連検査の専門家になることが見込まれる。

3. 生殖医療分野で活躍できる臨床検査技師

不妊症を理解し、倫理観を持って高度な知識と技術を修得した胚培養士を卒業後に目指す人材を育成する。生殖医療技術はもとより遺伝子解析技術を身につ

け、人類の将来のための多様性を模索できる専門家となり、倫理観を持った胚培養士のリーダーとして臨床に貢献できることが見込まれる。

4. 質量分析技術の進歩はめざましく、微生物学・臨床化学領域を中心に、臨床応用が進んでいる。タンパク質・生体代謝産物を理解し、プロテオーム・メタボローム解析からアプローチする研究能力に優れた医用質量分析認定士を育成する。質量分析技術の進歩によりプロテオーム解析が可能となり臨床応用が進んでいる。大量のデータを緻密に解析することで新しい知見を得ることができ、研究や臨床に貢献することが見込まれる。

5. 疾患・病態を推測できる臨床検査技師

R-CPC(Reversed Clinico-Pathological Conference)を中心に臨床検査データから疾患や病態を推測できる臨床検査技師を育成する。各種疾患や病態における臨床検査値の変動を理解し、異常な臨床検査値の組み合わせから疾患・病態を推測、臨床診断に有用な検査を提案できる臨床検査技師になることが見込まれる。

6. 医療を理解して、国内外で活躍できる臨床検査技師

病めるに人も、障害を持つ人も、健康な人も、互いに認め合って暮らせる「共に生きる社会」を実現させ、国内外で活躍する臨床検査技師を育成する。高度な知識と技術を備えた人間性豊かな臨床検査技師になることが見込まれる。

これらの「養成する人物像」については、別紙のような履修モデルを想定している。
(資料8)

既述のとおり、これら人材像について、それぞれ履修する科目が少しずつ異なっている。なお、保健医療学部医学検査学科では、すべての学生に対し共通に、医療人としての教養を持ち、幅広い視野と高い人間性を獲得することを求める。「人間学」、「倫理学」や「死生学-死を通して生を考える-」(いずれも選択科目)といった科目が用意されており、履修状況が許す学生については、これら科目を履修することにより、医療従事者としての倫理感、使命感及び責任感を更に身につけることができると考えている。

(5)学位論文の作成に関連する研究活動と単位数

卒業研究は、4年次の必修科目(4単位)として設定しており、4年次4月～9月の半年間を卒業研究の実施期間とする。

卒業研究の単位数は4単位であり、時間数(コマ数)にして、120時間(60コマ)を確保する。

また、学生には各自、卒業研究の実施日時及び実施内容の記録(卒業研究記録ノート)を作成することを義務付ける。

卒業研究は、実験研究あるいは調査研究のいずれかを実施する。いずれも、学生個々が指導教員の指導のもと研究目的(テーマ)を設定し、目的を達成するための研究計画の立案、実験あるいは調査の実行、実験あるいは調査結果の整理、結果に対する考察と結論の導出を通じて、問題解決能力の醸成に努める。得られた研究成果は、卒業研究要旨及び卒業論文としてまとめ、9月末に全員が提出する。

卒業研究発表会は、9月末に学生と教員が一同に会し、口頭発表の形式で実施する。

卒業研究の成績評価は、「研究態度・技能(基本事項・研究計画・技能)」、「卒業研究発表会」及び「卒業研究要旨・卒業論文」の3つの観点で評価すること、並びに、それぞれの評価の割合は「研究態度・技能 40%」、「卒業研究発表会 30%」及び「卒業研究要旨・卒業論文 30%」とする。

(6)履修科目の年間登録上限単位数

国際医療福祉大学では、履修科目の年間登録上限単位数を設定している(CAP 制)。原則として年間履修登録単位数は 50 単位未満である。直前の学期の GPA が 3.0 以上の場合、54 単位までの履修を認めている。

CAP 制の対象となる単位は「卒業要件単位に含まれる全ての単位」とする。ただし、以下の単位については、CAP 制の上限に含まないものとする。

- ① 海外保健福祉事情にかかわる授業科目の単位
- ② 総合講義(現代社会をどう見るか)にかかわる授業科目の単位
- ③ 本学が認定した単位(他の大学・短期大学等で修得した授業科目の単位認定や、TOEIC・英検による単位認定、外国人のための日本語テストによる日本語科目の単位認定、放送大学・大学コンソーシアムとちぎとの単位互換協定による単位認定、ボランティア実践の単位認定など)
- ④ 再履修科目の単位
- ⑤ 卒業単位に含まない科目の単位

(7)他大学における科目等の履修等

他大学における授業科目の履修等については、本学に入学する以前に他の大学、短大、高等専門学校又は大学設置基準第 29 条第 1 項の規定による専修学校において履修した授業科目の単位及び本学に入学後の放送大学で修得した単位等については、以下のとおり学則で規定している。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 32 条 学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学した場合に準用する。

(大学以外の教育施設における学修)

第 33 条 学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 30 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第 34 条 学生が本学に入学する前に大学、短期大学、高等専門学校又は大学設置基準第 29 条第 1 項の規定による専修学校において履修した授業科目について修得した単位(第 51 条の規定により修得した単位を含む)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 32 条第 1 項及び第 2 項並びに前条第 1 項により、本学で修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

6. 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画

本学は、全国 5 箇所にキャンパスを有しているが、キャンパス間の地理的制約を取り除き、本学学生に対して受講する機会を与えたい科目を中心に、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる授業(以下、「メディア授業」という。)を設定している。すなわち、VOD(Video on Demand)授業や同時双方向 Web 会議システムを活用した授業である。

同時双方向 Web 会議システムによる授業については、全学的に Web 会議方式で教員と学生の端末間でネット環境を経由して双方向性を維持して行う授業形態(Zoom)を導入しており、教育リソースの共有化や教育内容の統一化を図ることが可能である。

「Zoom」は、映像や音声の他、スライドなどの教育用コンテンツを高品質に共有できる機能を有しており、2019(平成 31)年度の導入以来 4 年近くの稼働実績によってその品質や動作について確認済みである。

前述しているように、本学の学部キャンパスは栃木県大田原市、千葉県成田市、東京都港区、神奈川県小田原市、福岡県大川市の5箇所にあるが、授業ごとの設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導、及び当該授業に関する学生の意見交換の機会の確保については、科目終了後すみやかに定められた書式によって報告される。

また、メディア授業の確実な実施のために必要となる設備(教室 AV 設備、VOD(Video on Demand)システム等)の管理担当教職員と教務担当教職員が連携して実施を支援する体制をとる。メディア授業実施に当たってのノウハウはFD等によって共有され、メディア授業の更なる質向上に向けた取組を継続的に実施している。以上のことから本学におけるメディアを利用した授業は、文科省告示(平成13年告示51号、平成19年告示第114号)の要件を十分満たしている。なお、メディアを利用して行う授業は、本学の学則においては第31条の2に規定している。

(メディアを利用して行う授業)

第31条の2 メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日に情報機器その他の通信手段によって行う。

7. 実習の具体的計画

(1)実習の目的

1)7つのディプロマ・ポリシー

保健医療学部医学検査学科で実施する実習は、全て、本学の3つの基本理念である「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」に基づき7つのディプロマ・ポリシー(「5. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」の(1)ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)参照)に則した内容となるように設定している。

(2)実習の計画

1)関連職種連携教育

「コミュニケーション概論」(2年次)では、チーム医療の一員としての連携能力や患者とのコミュニケーション能力を身につけるため、必要となる知識、態度、技能などの基本を修得する。

本学独自のカリキュラム「関連職種連携論」(2年次)では、各職種が連携し他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性や連携のあり方について理解する。これにより、保健・医療・福祉に携わる職種への理解を深める。加えて、栃木県内にある臨床検査技師会と連携することで保健・医療・福祉事情を認知し、この地域における臨床検査技師の役割を学ぶ。

「関連職種連携ワーク」(3 年次)では、大田原地区における合同での横断的なチーム編成による問題解決型体験学修を行い、保健・医療・福祉に携わるそれぞれの職種の専門性と関連性、チーム医療・チームケアの理念と実践方法を理解し、医療チームの一員としての臨床検査技師の在り方を理解し、身につける。なお、「関連職種連携ワーク」では、各チームに専任の教員(チューター)が配置され、学生の主体的な学修がスムーズに進むよう側面からの援助を行っている。これらの実習を通して、臨地実習に取り組む上で、また社会で活躍できる臨床検査技師となる上で重要な素地を形成する。したがって、上記の講義並びに実習は、前記の DP 1-4 への到達に寄与する。

2) 臨地実習準備教育

臨地実習を行うまでの教育課程において、「病理検査学実習」30 コマ、「細胞診断学実習」30 コマ、「血液検査学実習」30 コマ、「一般検査学実習」15 コマ、「臨床化学検査学実習」30 コマ、「免疫検査学実習」15 コマ、「遺伝子検査学実習」15 コマ、「微生物検査学実習」30 コマ、「輸血・移植検査学実習」30 コマ、「生理検査学実習」45 コマ、「超音波・MRI 検査学実習」22.5 コマ、客観的臨床能力試験 15 コマの合計 307.5 コマと、十分な時間を設けることにより臨床検査技師として必要な技能の修得に十分な実習教育を実施する。特に、各実習は 1 年次、2 年次に開講する科目と連動させて系統的に実施し、この実習により知識と技術の修得の充実を図るだけでなく、臨床検査学における興味・関心を学生から引き出すことができるように、各授業科目が適切な時期に実施されるように設定している。これらの実習は、DP2～DP5 への到達に寄与する。

3) 臨地実習

臨地実習の目的は、実践的な臨床対応能力をはじめとした「臨床検査技師として求められる基本的な資質」の修得である。臨地実習では、医療機関の検査室での臨床現場を実際に経験し、検体採取から結果報告までの一連の業務の流れや精度管理、患者への接遇など検査室業務の運営に直接携わることで実際の臨床検査学を学ぶ。加えて、医療施設におけるチーム医療並びに患者との接し方や、検体結果の報告を通して、臨床検査データを迅速、正確に臨床医に届けることの重要性を理解する。臨地実習は DP 1～5 のすべての能力の形成に寄与する。なお、臨地実習の具体的計画等の詳細については、《資料 9》にて説明を行う。

4) その他の実習及び演習

1 年次に開講される 2 科目の実習及び、4 年次までに開講される 12 科目の演習により、基礎並びに専門知識を修得する。1)から 3)までの実習を学ぶことにより得た

知識、技術、技能が、科学的思考に裏打ちされるものとなるために重要な実習科目であり、DP 1～DP7 への到達に寄与する。

(3)実習先の確保の状況

実習施設は、実習科目における教育目標の達成に鑑み、主たる実習施設を本学科が所在する栃木県大田原市、栃木県内に所在する本学の医療福祉施設及び本学附属病院(国際医療福祉大学病院、同三田病院、同熱海病院、同塩谷病院、同成田病院)及び関連施設を中心として確保している(資料 10、資料 11)。実習先は自宅から通えるところを原則とし、遠隔地の場合は、実習先の職員寮などを使用して実習を行う。

(4)実習先との契約内容

実習先とは「実習委託契約書」を取り交わすこととする。契約書に定める内容は、実習内容、実習場所、期間、守秘義務、実習中に発生した事故に関する免責、実習施設破損の際の弁済、実習経費、実習経費の支払期限等である(資料 12)。

また、学生に対しては誓約書(資料 13)の提出を義務付け、守秘義務と事故防止を誓約させている。それでも事故が発生した際に備え、大学として賠償保険に加入し、誰が加害者になった場合でも補償できるよう備えている。なお、学生自身が実習通学途中で事故に遭った場合や被害に遭った場合には学生教育研究災害障害保険が適用され、補償の対象となる。

・個人情報保護への対応

平成 17 年 4 月に「個人情報保護に関する法律」が施行されたことを受けて、本学では「臨床実習における個人情報保護に関する教育指針」を策定し、学生及び実習先に配布する「臨地実習の手引」に掲載し、学生指導等に利用している。その内容は、ア)教員の対応、イ)臨地実習指導者の対応、ウ)臨地実習生の対応(原則、情報の収集、情報の匿名化、臨地実習生の個人用パソコンの使用)、エ)その他(個人情報漏洩時の対応)を示している。その外、個人情報の定義や医療機関における個人情報の例、介護保険施設における個人情報の例を参考に記すとともに本学の臨地実習に関する倫理綱領を掲載している。

・実習時の連絡体制

実習期間中、学生は自己を防ぐため最新の注意を怠らぬよう心がけるとともに、不幸にして事故が発生してしまった場合の連絡方法と対応の仕方について、学生や実習先に配布する「臨地実習の手引き」に、明記し迅速な対応が取れるよう指導することとしている。

(5)実習水準の確保の方策

実習水準の確保のため、本学附属病院や 総合病院を中心に臨地実習を依頼する。実習水準の確保のためには実習内容を平準化する必要があるが、そのために社団法人日本

臨床衛生検査技師会が発行した「臨地実習ガイドライン 2021」(資料 14)に基づいて 11 週間の臨地実習に臨む。

(6)実習先との連携体制

実習先との連携体制は、臨地実習指導者会議を開催し、実習の目的と意義、実習方法、学生の実習進捗、学生の配置などについて説明を行い、臨地実習指導者と学生が実習前に面談できる機会を設ける。実習に際しては臨地実習指導者と綿密な連絡を取り、11 週間の実習期間の中で双方向のヒアリングを行い、適切に対処する。

また、専門学校の実習との違いは、大学教育としての実習の質を確保するため、本学では教育課程(カリキュラム)や実習の具体的な目的、到達目標、実習指導方法等の臨地実習指導体制を明確に示した「臨地実習の手引き」を作成する。この「臨地実習の手引き」を用いて、事前に学生及び臨地実習指導者に対して十分に説明し理解を得る。このように、学生、臨地実習指導者(臨地実習施設)、教員(大学)間の共通理解を得ることで、本学での教育の充実と臨地実習の質の確保を図る。

(7)実習前の準備状況(感染予防対策・保険等の加入状況)

実習前の準備のうち予防接種については、本学では学生が入学時に行う血液検査の結果、麻疹、風疹、ムンプス、水痘、B 型肝炎、の抗体値が低い学生に対し予防接種を受けるように指導している。また実習施設から義務付けられる予防接種については必ず受けさせている。

また、保険については学生教育研究災害障害保険及び国際医療福祉大学賠償保険で被害者、加害者どちらの立場になっても補償が適用できるようにしている。

(8)事前・事後における指導計画

教員はあらかじめ、学生がそれまでに修得した検査技術が身についているか、実際の病院の検査室の機材を使いこなせるか、検査結果を正確に記録し他者に伝達できるかを学生に確認させる。実習中に問題が生じた際は迅速に臨地実習指導者と学生に面接し、適切な処置を行う。実習終了後、学内にて実習発表会を行い、学生の理解度を確認し、実習中の評価を基にして成績を決定する。

(9)教員及び助手の配置並びに巡回指導双方向のヒアリング計画

医学検査学科の専任の教員のうち、臨床検査技師の資格を有する教員全員が臨地実習先の病院ごとの担当となり、各自担当の病院の臨地実習指導者と緊密な連絡を取り合い、11 週間の実習期間中 web ツールを使用して双方向のヒアリングを行い、必要に応じて学生への指導や臨地実習施設への訪問を行う。

(10)実習施設における指導者の配置計画

実習指導は臨床経験 5 年以上の臨床検査技師または医師に依頼する。実習を依頼する施設毎に実習に関する臨地実習指導者を 1 名決めてもらう。臨地実習指導者が各施設の実習の統括を行い、同時に本学との連絡窓口になる。

また(6)でも述べている臨地実習指導者会議に出席してもらい、本学の教育に対する考え方や成績評価等について周知徹底する。

(11)成績評価体制及び単位認定方法

学生の評価方法は、以下の項目について臨地実習指導者が行い、その結果を基に学生が作成する報告書や発表の結果を加味して、最終的に本学医学検査学科の単位認定者が成績評価の原案を作成し決定する。

- ① 臨地実習の注意・態度・心得・付帯事項等
- ② 生理学的検査
- ③ 検体検査：血液学的検査
- ④ 検体検査：尿・糞便等一般検査
- ⑤ 検体検査：輸血・移植検査
- ⑥ 検体検査：微生物学的検査
- ⑦ 検体検査：病理学的検査
- ⑧ 検体検査：生化学的検査
- ⑨ 検体検査：免疫学的検査
- ⑩ その他：検査前の患者への説明(検査手順含む)
- ⑪ その他：チーム医療(NST,ICT,糖尿病療養指導)
- ⑫ その他：検体採取、消化管内視鏡検査、採血業務
- ⑬ それぞれの検査の詳細な目標への到達度は「臨地実習ガイドライン 2021」(資料 13)に則して臨地実習指導者が行う。

8. 企業実習(インターンシップを含む。)や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画

(1)海外保健福祉事情(選択 2 単位、夏季及び冬季集中)

本科目は、渡航前に国際保健や旅行医学の基礎、渡航先の語学や文化を講義形式で学ぶ。渡航後、現地において訪問国の文化、歴史、地理、医療福祉事情を学び、現地スタッフからの指導、施設訪問、文化交流を通し、各国の現状と関連する社会的・文化的背景を学ぶ約 2 週間の海外研修(語学研修、病院等施設見学、現地での文化交流会等含む)と事後の発表や報告書冊子作成を行う授業である。既存の全ての学部・学科を対象に開講している。

2023(令和 5)年度は、韓国、中国、台湾、タイ、ベトナム、シンガポール、オーストラリア、ラオス、カンボジア、フィリピン、マレーシア、インドネシア、モンゴル、イギリス、ハンガリー、ポーランドで実施され、計 16 カ国でグループに分かれてそれぞれ研修を行った。なお、2020(令和 2)年度及び 2021(令和 3)年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外研修は中止となってしまった。しかし、協定先の協力を得てオンライン研修を行うなど工夫して文化交流も活発に行っている。

2023 年に外交関係樹立 50 周年を迎えたベトナムの研修先は、本学が 1995(平成 7)年に開学して以来、JICA を通して技術指導を行ってきた経緯があり、極めて良好な関係を構築している。タイではクリスチャン・ユニバーシティ(ナコンパトム市)を中心に、病院・施設等の見学実習を行い、現地での大学のレクチャーや学生との文化交流を行っている。オーストラリアでは、ゴールドコーストの TAFE (Technical and Further Education)やグリフィス大学における語学研修とホームステイを行い、地域の病院や福祉施設の見学、文化交流等を行う。各国の海外研修先とは密接かつ良好な関係を構築している。

また、各国と緊密かつ迅速な連携体制をとれるよう、本学の各キャンパス及び東京事務所には国際部や国際交流センターを置き、韓国語や中国語、英語を話せる国別の担当スタッフを配し、現地と直接交渉を行える体制をとっている。

成績評価体制及び単位認定方法は、単位認定者を国際交流委員会委員長とし、事前学修は外国語担当教員が集約、現地での実習に対する評価は国によって人数は異なるが 2 名～6 名の引率教員が成績評価を行い、最終的に国際交流委員会委員長が情報を集約し、成績評価を行う。

9. 取得可能な資格

保健医療学部医学検査学科において、取得可能な資格は、以下のとおりである。

資格名称	資格の種類	取得条件
臨床検査技師	国家資格	保健医療学部医学検査学科の卒業要件に含まれている所定の単位を修得し、卒業する(卒業見込みも含む。)ことで、臨床検査技師国家試験受験資格取得可能
細胞検査士	民間資格	所定の単位を修得し、卒業する(卒業見込みも含む。)ことで、細胞検査士試験受験資格取得可能
遺伝子分析科学認定士(初級)	民間資格	所定の単位を修得し、卒業する(卒業見込みも含む。)ことで、遺伝子分析科学認定士試験受験資格取得可能
医用質量分析認定士	民間資格	所定の単位を修得し、卒業する(卒業見込みも含む。)ことで、医用質量分析認定士試験受験資格取得可能

10. 入学者選抜の概要

本学は、大学及び各学科のアドミッション・ポリシーに沿って入学者選抜を実施している。保健医療学部医学検査学科においても同様とする。

(1) 国際医療福祉大学の理念と教育目標について

本学は、「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」という3つの基本理念と、この理念を実現するための7つの教育理念(人格形成、専門性、学際性、情報科学技術、国際性、自由な発想、新しい大学運営)を掲げ、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指した教育を行う。

(2) 国際医療福祉大学のアドミッション・ポリシー

本学は、建学の精神である「共に生きる社会の実現」に基づく深い人間理解の上に、高度な知識・技能を修得し、また多職種と連携・協働してその責務を果たし、日々進化する保健・医療・福祉分野の需要に対応できる指導的な人材の育成を実現すべく、学生、社会人、留学生、帰国生徒に対して学修の機会を提供し、このような社会的な需要に応える教育を展開するものである。本学が入学者に求める要件は、以下のとおりである。

ア. 知識・技能

幅広い教養と視野を備えた豊かな人間性を養うため、積極的に自らを磨いていける人。なお、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し学びを深めるために、入学までに身につけていることが望ましい内容は以下のとおりである。

【国語】

物事を的確に理解し、論理的に思考し表現するために必要な国語の文章力と読解力、言語によるコミュニケーション能力

【地理歴史・公民】

多様な文化や歴史、価値観、生活背景を持つ他者を理解するために必要な基礎知識

【数学】

論理的かつ数量的に物事を考え表現するために必要な数学的知識と技能

【理科】

自然の現象や人体に関する諸問題を科学的に理解するために必要な自然科学(物理、化学、生物)に関する基礎知識

【英語】

国際的視点で物事をとらえ、諸外国の人々と交流するために必要な基礎的な英語の理解力とコミュニケーション能力

イ. 思考力・判断力・表現力

- ・これからの時代の保健・医療・福祉分野を担っていこうとする情熱を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲や課題を発見し解決する能力を有していること。
- ・保健・医療・福祉分野における情報科学技術の高度化、専門化及び国際化に対応するため、幅広い関心と好奇心を持って努力を継続できる人であること。
- ・学業・社会貢献・技術・文化・芸術・スポーツの分野で優れた活動実績を有し、本学で修得した技術をもとに、将来それぞれの分野で活躍したいという意欲を持つ人であること。

ウ. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・本学の基本理念及び教育理念を十分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を持つ人であること。
- ・あらゆる人に対して自らの心を開き、コミュニケーションをとれる人であること。
- ・本学での学びを生かし、将来、母国あるいは国際社会において、保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志を持つ人であること。

(3)医学検査学科(保健医療学部)で定めるアドミSSION・ポリシー

保健医療学部医学検査学科では、既存の医学検査学科(成田キャンパス及び大川キャンパス)と共通のアドミSSION・ポリシーとして、以下を掲げる。

ア. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、臨床検査技師として、豊かな心、コミュニケーション能力、臨床検査医学に対する明確な目的意識を持ち、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、医療の発展に寄与する意志を持つ人

イ. 医学検査学科の入学者に求める要件

1)知識・技能

高等学校時代の教科・科目等に相応した語学系科目の修得を通して身につけた読解力、文章力、また理数系科目の修得を通して身につけた論理的かつ科学的な知識と技能を有していること。

2)思考力・判断力・表現力

保健・医療・福祉分野における新しい知識を学ぶために主体的に行動し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、科学的根拠に基づいた思考力や適切な判断力を有していること。

3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、臨床検査技師として「共に生きる社会」の実現に寄与すべく、多様な価値観の理解と異文化を認知し、相手の

立場に立って多視点で物事を考え、多職種と連携を図る態度と保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志と責任感を有していること。

(4)入学者選抜の概要

保健医療学部医学検査学科では、上記アドミッション・ポリシーに掲げる入学者を選抜するため、学校教育法に定める高等学校における教育目標のひとつである一般的な教養の修得度を評価する学力試験はもとより、面接・小論文や、志願理由書・調査書等の書類審査を併せて行うこととしている。具体的な選抜方法として、総合型選抜、学校推薦型選抜(公募制・指定校制)、特待奨学生特別選抜、一般選抜(前期/後期)、大学入学共通テスト利用選抜、帰国生徒特別選抜、留学生特別選抜及び社会人特別選抜を行うこととしており、学力の3要素である知識・技能、思考・判断・表現力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を多角的・総合的に評価・選抜する。

入学者選抜にあたっては、高度先進医療に対応する能力を持ち最先端の検査技術を学び医療の発展に寄与する意志を持つ学生、豊かな人間性とコミュニケーション能力を備えチーム医療・チームケアに貢献できる人間性を備えた学生、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応できる学生を選抜する。

1)入学者選抜方法

- ① 総合型選抜では、出願書類審査、適性を見るための基礎試験及び個人面接の結果を総合して可否を判定する。本学で学ぶための適性を判断するための基礎試験では、英語・国語・数学・理科の基礎的な問題及びグラフ・統計資料などを読み取って自分の考えを述べる小論文試験を出題し、出願書類と併せて高等学校段階における基礎的な学力を測る。

出願書類に含まれる志願理由書や活動実績報告書、個人面接により、本学への入学意欲、思考・判断・表現力、協働性や多様な価値観の受入れ、高等学校等における正課及び正課外活動への主体的な取り組み内容等についても確認する

- ② 学校推薦型選抜では、公募制及び指定校制での募集を行い、公募制では出願書類審査、学科適性試験(基礎学力試験)、小論文試験及び個人面接の結果を総合して可否を判定する。指定校制では出願書類審査、小論文試験及び個人面接の結果を総合して可否を判定する。

出願書類に含まれる志願理由書や個人面接により、本学への入学意欲、思考・判断・表現力、協働性や多様な価値観の受入れ、高等学校等における正課及び正課外活動への主体的な取り組み内容等を確認するとともに、学科適性試験によって高等学校段階における基礎的な学力を測り、小論文試験によって論理的思考力や表現力についても評価する。

- ③ 特待奨学生特別選抜では、出願書類審査及び学科試験の結果を総合的に判断して可否を判定する。

学科試験では英語と小論文を必修とし、さらに国語、地理歴史、数学、理科から1科目を選択科目とすることで入学後に必要となる学力を測る。

- ④ 一般選抜(前期/後期)では、出願書類審査、学科試験及び個人面接(一般選抜後期のみ)の結果を総合して合否判定する。一般選抜前期においては、③特待奨学生特別選抜と同様の試験科目設定により、入学後に必要となる学力を測る。また、一般選抜後期では、学科試験の科目を英語にしぼり込んで学力検査として実施し、選択科目の代わりに個人面接を実施して思考・判断・表現力、協働性や多様な価値観の受入れについても評価する。
- ⑤ 大学入学共通テスト利用選抜では、出願書類審査及び大学入学共通テストにおいて本学が指定した科目の結果を総合して合否を判定する。③特待奨学生特別選抜及び④一般選抜(前期/後期)同様に、学力を重視した選抜であるが、より多くの科目の中から高得点の科目を合否判定に用いることで、多様な学力をもった学生の受入れを可能とする。また、本学独自の個別学力検査等を課さず、大学入学共通テストの受験のみで出願を可能とすることにより、広範囲な地域からの学生の受入れを可能とする。
- ⑥ 帰国生徒特別選抜では、出願書類審査、学科適性試験(基礎学力試験)、小論文試験及び個人面接の結果を総合して合否を判定する。②学校推薦型選抜の公募制と同様の試験科目とするが、海外の学校で学んだ経験や体験等から得た多様な価値観をもつ学生の受入れを意図して実施するものである。
- ⑦ 留学生特別選抜及び社会人特別選抜では、出願書類審査、小論文試験、個人面接、並びに日本留学試験(留学生のみ)の結果を総合して合否を判定する。留学生特別選抜入試では主として母国や国際社会に貢献したいという強い意志やそれに基づく学修への意欲等を評価し、社会人特別選抜入試では主として英語と化学の基礎学力を測った上で、それまでの社会経験で得られたものやそれに基づく学修への意欲等を評価する。何れも多様な価値観をもった学生の受入れを意図して実施するものである。

なお、入試区分ごとの募集人員並びに③特待奨学生特別選抜、④一般選抜(前期/後期)、⑤大学入学共通テスト利用選抜における学科試験の科目及び本学が指定した科目については(資料15)で示す。

2) 帰国生徒特別選抜の定義等

帰国生徒特別選抜は募集定員を若干名とする。本学では帰国生徒を以下のとおり定義し、出願資格とする(①、②のいずれか該当で出願可)。

- ① 海外において、外国の教育制度に基づく12年の課程、又は文部科学大臣の指定した在外教育施設に2年以上継続して在学し、卒業(修了)及び卒業(修了)見込みの者、又はこれに準ずる者として文部科学大臣の指定したもの(国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格(ドイツ)取得者、バカロレア資格(フランス)取得者等)

- ② 海外において、外国の教育制度に基づく 12 年の課程、又は文部科学大臣の指定した在外教育施設に中学校・高等学校を通じて 2 年以上継続して在学し、帰国後、日本の高等学校又は中等教育学校を卒業及び卒業見込みの者

3) 留学生特別選抜の定義等

留学生特別選抜は募集定員を若干名とする。本学では留学生を以下のとおり定義し、出願資格とする(①～⑤の全てに該当で出願可)。

- ① 日本国籍を有しない者で、かつ日本国の永住許可を得ていないもの
- ② 外国において通常の課程による 12 年以上の学校教育を修了した者(見込み者を含む)、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ③ 入学時までに入出国管理及び難民認定法において「留学」の在留資格を取得できる者
- ④ 日本語での授業を受けるのに差し支えない程度の日本語能力を有する者
- ⑤ 独立行政法人日本学生支援機構による「日本留学試験」を入学する前々年の 6 月から前年の 11 月の間に受験している者(必ず「日本語」を受験していること)

4) 社会人特別選抜の定義等

社会人特別選抜入試は募集定員を若干名とする。本学では社会人を以下のとおり定義し、出願資格とする(①～④のいずれかに該当で出願可)。

① 社会人

- (ア) 高等学校又は中等教育学校卒業後、保健・医療・福祉分野の施設等において、出願時点で 1 年以上の職務経験(パートタイム・アルバイト等は除く)を有する者
- (イ) 大学入学資格を有し、入学する年の 4 月 1 日現在で満 25 歳以上であり、かつ出願時点で 2 年以上の職務経験(パートタイム・アルバイト等は除く)を有する者

② 大学卒業(見込み)者

4 年制大学卒業者又は卒業見込みの者及びそれと同等の資格を有する者

③ 国家資格保持者

大学入学資格を有し、次のいずれかの国家資格を有する者

看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、医師、歯科医師、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、義肢装具士、管理栄養士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師

④ 特殊技能に優れた者

スポーツや芸術等の分野での特殊技能に優れた者で、大学入学資格を有する者(社会人)

5) 科目等履修生等の取扱い

科目等履修生、研究生及び聴講生の取扱いについては学則で規定し、それぞれの規程で募集方法、募集の時期、出願資格、検定料等を定めている。いずれも受入人数に

については特に定めていない。科目等履修生及び聴講生については、当該科目担当教員の許諾の下、教授会の議を経て承認となる。

また、研究生については通常の授業に支障を来すことはないよう研究生受入教員の許諾の下、教授会の議を経て承認となる。

1 1. 教育研究実施組織等の編成の考え方及び特色

(1) 教員組織の編成

教員編成は、「教育職員の職制及び任免に関する規程」に基づき、人格、学歴・職歴及び学術上、教育上の業績等を考慮して行われている。特に本学は、医療福祉専門職の養成を行っていることから、教育経験のみならず、臨床経験が豊富な人材を積極的に採用している。このことから、保健医療学部医学検査学科の教員は、専門性、総合性、柔軟性、社会性、倫理性そして国際性を備えた各分野の専門職者の養成という目標に沿った教育課程の実現のため、教員は豊かな人間性と専門分野における十分な教育研究業績及び臨床経験を有する教員を配置する。

一般公募等による新規採用教員と本学の附属病院からの異動教員によって行うこととする。学科ごとの新規採用者数、内部異動者数は下記のとおりである。

【教員組織内訳(新規採用、内部異動)】

学部学科名	教員数計	新規採用者数	内部異動者数
保健医療学部医学検査学科	11 名	9 名	2 名

内部異動者の異動元(本学附属病院等)の内訳は、以下のとおりである。

○附属病院からの異動者 合計 2 名

附属病院である国際医療福祉大学病院等から 2 名(教授 1 名、助教 1 名)である。

なお、保健医療学部医学検査学科の職位別の教員組織の状況等は次のとおりである。

○保健医療学部医学検査学科の職位別の基幹教員の配置状況

学部・学科名	教 授	准教授	講 師	助 教	合 計
保健医療学部医学検査学科	4 名	4 名	1 名	2 名	11 名

基幹教員数は 11 名で、うち、教授が 4 名である。収容定員 320 名である保健医療学部医学検査学科について大学設置基準で規定される必要基幹教員数は、8 名(うち教授が 4 名以上)であり、当該基準を満たすよう配置する。

また、原則、教育上主要と認める授業科目については保健医療学部医学検査学科の基幹教員を配置しているが、一部の科目について高い専門性及び教育研究上の観

点から専門知識や経験が豊富な同学部他学科の基幹教員等を中心に配置している。これらの授業科目は、「チーム医療・チームケア」の観点からの平準化、より専門的で質の高い授業とするためのものであり、教育研究上の支障はない。

なお、附属病院からの臨床経験を有する2名の異動者については、診断学や実習、臨地実習を中心に担当するため、教育研究上支障はない。

(2)教育研究実施組織

本学は大講座制をとっており、本学科においては、大きく「形態検査学」、「生化学分析検査学」、「病態生体防御検査学」、「生理機能検査学」に分類され、これをもとに教育・研究体制として置く。

1)「形態検査学」

形態検査学は病理組織細胞学、臨床血液学を置き、形態検査学における内容を遺伝子検査学や臨床質量分析学など多角的な視点で研究を捉え、形態検査学を発展させる内容とする。

2)「生化学分析検査学」

生化学分析検査学は、臨床化学、臨床質量分析学を置き、生化学的臨床検査値から各種疾患の病態を解析するため、最先端技術を応用する。上記に加え、近年、急速に進化している医用質量分析学に対応するため、臨床検査法としての質量分析技術を高める内容の研究を実施する。

3)「病態生体防御検査学」

病態生体防御検査学は、臨床微生物学、臨床免疫学、輸血・移植検査学、遺伝子分析科学を置き、分子生物学的解析技術を用いて臨床診断を実施する手法を研究する。また、生殖補助医療胚培養学では、先進・高度化する専門分野の基本的技術を提供する実践能力を養う内容とし、体外受精を中心とした生殖補助医療に関する広範囲な研究内容を実践する。

4)「生理機能検査学」

生理機能検査学は臨床生理学を置き、心電図、超音波検査、脳神経・筋機能検査などの生体生理検査を実施し、生活習慣病を含めた各種疾患の病態について解析する内容とする。

教育研究活動等については、学部学科ごとの教務委員会等にて検討を行った上で、全学的な議論を統括する教務統括委員会でも検討を行うなどの体制が確保されている。さらに、学部学科事務室内に学科ごとの事務職員を配置しており、教員及び事務職員等相互の適切な役割分担の下での協働や組織的な連携体制が確保されているといえる。

(3)教員の年齢構成

保健医療学部医学検査学科就任時の年齢で見ると、60歳以上2名(18%)、50歳代3名(27%)、40歳代3名(27%)、30歳代以下3名(27%)となっており概ねバランスの取れた年齢構成になっており、教育・実習の実施の点からも問題ないと考えられる。

本学の教員については「国際医療福祉大学任期付専任教員規程」(資料16)より原則全員任期制を採用しているが、この中で、第4条第4項に「新たに設置する学部、研究科等において、完成年度までの間に任用される者の任期については、別表の規定にかかわらず任用日から完成年度末日までとする。」と規定され、65歳を超える教員についても少なくとも完成年度までは任用することとしている。なお、完成年度以降新設学部の教員は既存の学部の教員と同じく上記の「任期に関する規程」の適用者となる。

また、本学の教員の定年は、「学校法人国際医療福祉大学教職員定年規程」(資料17)より65歳と定められているが、同規程第4条において、「定年時において心身健全であり、かつ代替者を見出し難き者については、定年を延長するか嘱託として引き続き勤務させることがある。」と定められていることから、定年の延長もあり、保健医療学部医学検査学科においては、完成年度前に65歳を超える就任予定の教員も含まれているが、教育・研究上問題が生ずることはない。

(4)教員及び事務職員等の協働や組織的な連携体制

保健医療学部医学検査学科のカリキュラムは、学生に対する教育効果という観点から一貫性のある教育を目指したものであり、1年次から4年次へ向けて臨床検査技師に必要とされる知識を基礎から応用まで段階的に身につけることができるように、「形態検査学」、「生化学分析検査学」、「病態生体防御検査学」、「生理機能検査学」における各科目の相互の関連が密になるよう構成する。

また、講師が担当する場合も含めて、複数の教員がそれぞれの専門性に対応した分野を担当することで、より充実した内容の講義となるよう配慮する。さらに、講義内容を的確に反映した演習及び実習を行うことにより、自身の知識を実践に応用できる能力を養うようにする。

以下に、専任の教授又は准教授を配置する「形態検査学」、「生化学分析検査学」、「病態生体防御検査学」、「生理機能検査学」における主要科目を列記する。

1)「形態検査学」

形態検査学は病理組織細胞学分野、臨床血液学分野を置き、「病理検査学」、「病理検査学実習」、「細胞診断学」、「細胞診断学実習」、「血液検査学」、「血液検査学実習」、「一般検査学」、「一般検査学実習」とする。

2)「生化学分析検査学」

生化学分析検査学は、臨床化学分野、臨床質量分析分野を置き、「臨床化学検査学Ⅰ(糖質,タンパク質,脂質)」、「臨床化学検査学Ⅱ(酵素,ホルモン,ビタミン)」、「臨床

化学検査学実習」、「免疫検査学」、「免疫検査学実習」とする。

3)「病態生体防御検査学」

病態生体防御検査学は、臨床微生物学、臨床免疫学、輸血・移植検査学、遺伝子検査学を置き、「微生物学検査学Ⅰ(細菌)」、「微生物学検査学Ⅱ(ウイルス)」、「微生物検査学実習」、「輸血・移植検査学」、「輸血・移植検査学実習」、「遺伝子検査学」、「遺伝子検査学実習」とする。

4)「生理機能検査学」

生理機能検査学は臨床生理学分野を置き、「生理検査学Ⅰ(循環器,脳・神経,筋系)」、「生理検査学Ⅱ(呼吸器,感覚器,平衡機能)」、「生理検査学実習」、「超音波・MRI検査学」、「超音波・MRI検査学実習」とする。

1 2. 研究の実施についての考え方、体制、取組

保健医療学部医学検査学科においては、「形態検査学」、「生化学分析検査学」、「病態生体防御検査学」、「生理機能検査学」の各領域に研究推進担当教員を置き、大学附属病院・関連医療機関・医療施設職員との緊密な連携により、医療現場でのニーズに応えられる臨床研究を提案し、推進する。

本学では、「研究力向上に関わる学内推進計画」をとりまとめ、大学のミッション・ビジョンに基づく統一的な研究力強化の取組を大学全体で進めている。学長のリーダーシップの下、副学長、大学院長、事務局長を中心とする「研究推進委員会」を整備し、学校法人執行部と協力しながら研究力強化に努めている。

また、本学では、研究成果を教育だけでなく、地域貢献、社会貢献へと持続していくために教員及び学生に対する組織的な研究支援体制を構築し、全学的に研究力を高めることに努めている。2018(平成30)年に「未来研究支援センター(現 研究支援センター)」を開設し、臨床研究の更なる展開と質向上のための教員・学生を対象とした教育及び個別案件のコンサルテーションを行うとともに、公的研究費獲得支援と研究費に係る事務を担当している。

研究管理室は、外部研究費の取扱いに関する規程整備、教職員へのコンプライアンス周知、研究費管理の業務を行っている。利益相反管理委員会を設置し、利益相反に関する情報を管理している。研究管理室の中に産学連携を扱う部門、知財管理を扱う部門(発明委員会)を設け、学内関連部署とともに学外機関や企業との連携活動に従事している。

さらに、医療情報部や図書館は医療機関における情報系全般の管理運営を行っているが、研究支援活動としては診療情報データベースの研究利用の促進を手がけている。

以上のような研究支援・研究管理組織は、各部署の研究推進委員会を介してフィードバックを行い関連する研究者に対し情報を提供している。

本学における研究活動は、全学的な中期目標・中期計画(2021-2027)のもとに目標と実

施計画の具体的方針が提案されており、全学での研究推進委員会における協議、自己点検・自己評価委員会での定期的なチェックを経て、計画的に施行されている。

1 3. 施設、設備等の整備計画

保健医療学部医学検査学科設置予定の大田原キャンパスは、栃木県大田原市に位置しており、現在、保健医療学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科)、医療福祉学部(医療福祉・マネジメント学科)、薬学部(薬学科)を設置している。2023(令和5)年度時点での収容定員は3,790人で、3,800人以上の学生が学んでいる。

また、大田原キャンパスでは、キャンパス内に、障害者支援施設やリハビリテーション施設、特別養護老人ホーム、栃木県で唯一の児童心理治療施設、認定こども園、アジア有数の言語聴覚センターを持つ大学クリニックなど、6つの医療福祉施設を併設し、学生の医療福祉の実践的な学びを強力にバックアップする環境が整っている。

大田原キャンパスには、既存校舎として、栃木県大田原市北金丸2600-1に約26万㎡という広大な敷地の中に、学生食堂、学生ラウンジ、売店やレストラン、書店、クリニック、さまざまな学修・研究施設を備えた15棟の校舎がある。設置予定の医学検査学科は、これらの校舎のうち、図書館・講堂等の全部と他の校舎の一部を他の保健医療学部の学科、医療福祉学部、薬学部と共用して使用する。

大田原キャンパスの既存の教育環境概要は、以下のとおりである。

【大田原キャンパスの教育環境概要】

名 称	延床面積(㎡)	階	主要施設
A棟(実験・実習棟)	3,720.83	5	看護実習室・作業技術室・生活技術室・作業分析室・職業関連技術室・義肢装具室・運動療法室・運動学実習室・音声言語実験室・教員研究室
B棟(実験・実習棟)	5,177.80	5	基礎医学実習室・母性看護実習室・教材資料作成室・多目的実習室・水治療室・物理療法実習室・電気生理学演習室・観察室・防音室・補聴評価演習室・聴覚検査演習室・教員研究室
C棟(実験・実習棟)	3,816.33	5 (地下1階)	MRI室・X線室・放射線計測実験室・CT室・放射化学実験室・画像工学実験室・高エネルギー室・放射線管理室・体外測定室・高エネルギー室・教員研究室 RI処理装置室
D棟(講義・実習棟)	4,090.68	5	講義室・看護演習室・教員研究室・実習指導室・CALL教室・ロッカー室・バーチャル解剖学実習室

E 棟(講義棟)	5,270.57	5	講義室・コンピュータールーム・教員研究室・会議室・印刷室
F 棟(講義棟)	3,886.98	5	講義室・演習室・実習室・実習指導室・教員研究室・大講義室
G 棟(管理棟)	2,960.56	3	学長室・各役員室・事務局(総務課・人事課・教務課・入試課・広報課・経理課・管理課)・学生課・キャリア支援センター・会議室・防災管理センター
H 棟(那須アスリーナ・体育館・武道場)	5,725.78	3	武道場・トレーニング室・学生ホール・レストラン・売店・体育館・弓道場
I 棟(カフェテリア棟)	3,992.73	2	学生食堂・売店
J 棟(研究棟)	1,408.00	2	教員研究室・バーチャルホスピタル室・スタジオ・放射線防災センター・会議室
K 棟(部室棟)	367.52	2	部活動の部室
L 棟(大学院棟)	6,291.55	5	講義室・理学療法研究室・作業療法研究室・分子生物学研究室・動物飼育室・臨床連携研究室・低温室・培養室・形態研究室・機能研究室・組織学研究室・留学生別科室・会議室・教員研究室・多目的ホール・学生相談室・ボランティアセンター・書店・事務局
M 棟(講義・実習棟)	2,688.00	3	講義室・介護実習室・家政実習室・入浴実習室・事務室
N 棟(薬学部棟)	11,623.68	6	講義室・DI 室・治験室・TDM 測定室・TDM 解析室・一般製剤室・調剤室・無菌製剤室・IVH 調製室・バイオハザード室・病室・SS 診察室・院内薬局待合室・保健薬局待合室・保健薬局調剤室・生体成分分析研究室・組織培養室・低温室・薬物動態研究室・薬物動態実験室・分子機能解析研究室・医薬品化学研究室・分子構造解析研究室・物理系機器室・物理系実習室・化学系実習室・生物系実習室・行動解析研究室・薬効解析研究室・顕微鏡室・生体機能解析研究室・分子生物・ゲノ

			ム情報解析研究室・マルチメディア会議室・教員研究室・事務室
〇棟(講義・実習棟)	5,615.18	4	講義室・実習室・CBT コンピューター室・ゼミ室・医薬品資源情報科学研究室・衛生薬学研究室・医薬品情報評価学研究室・医科学研究室 1.2.3
図書館	2,250.50	1	閲覧スペース・パソコンスペース・学習室・事務室
大学クリニック	3,596.35	3	診察室・薬局・画像検査室・処置室・健康管理室・言語聴覚センター
合 計	72,483.04		

上記に加えて、体育館等の運動施設も共用する。体育館は、バスケットボールの場合は2面、バレーボールの場合は2面、バドミントンの場合は6面が使用可能である。更に剣道柔道等に利用できる武道場、遠的 60m(1人立)と近的 28m(8人立)の弓道場を整備している。シャワー室、更衣室、部室を備え、部活動やサークル活動で主に使用している。また、運動場(トラック1周 400m)とテニスコート(6面)を設けている。

また、既存校舎等を共用するほか、医学検査校舎棟(仮称)を大田原キャンパス敷地内に新築する。新築する医学検査校舎棟は、4階建て、延床面積 5,900 m²である。校舎の中には、講義室、実験・実習室、ゼミ室、研究室、学生ラウンジ、更衣室、事務室等を整備する。

新設の医学検査校舎棟については、2024(令和 6)年度に工事を着工し、2025(令和 7)年 8 月に竣工・引渡しの手続きである。

なお、学生を受け入れる 2025(令和 7)年 4 月から 8 月までの間の授業等については既存の研究室及び教室等を使用することとしており、授業等への影響はない。

新築する医学検査校舎棟の各階ごとの延床面積、主な使用用途は、下表のとおり。

	延床面積	主な使用用途
4F	1,279.50 m ²	教員実験研究室、実験室、準備室・倉庫、研究室(1)～(12)、学科長室、大会議室、応接面接室、講師控室 事務、教材倉庫 給湯室、倉庫、ラウンジ
3F	1,279.50 m ²	細菌・病理・血液検査実習室、形態検査収納倉庫、MS・フロ サイト・液クロ、生理検査実習室、収納、シールドルーム、細胞培養、胚培養、ラウンジ
2F	1,459.50 m ²	実習室 1・2、準備室、講義室(4)、収納倉庫、遺伝子検査実習室 1、前室、遺伝子検査実習室、細胞検査士養成コース 3 年生・4 年生、ゼミ室(7)、ラウンジ

1F	1,439.63 m ²	講義室(1)～(3)、ゼミ室(1)～(6)、ロッカールーム(男女)
ビット	420 m ²	
計	5,878.13 m ²	

医学検査校舎棟の使用計画等について、さらに詳しく述べる。医学検査校舎棟は4階建となるが、1階には洗面台付きの学生用更衣室(男・女)を設ける。1階、2階にはゼミ室(7室)を設け、自主学習やグループ教育活動の場としての利用が可能となる。2階、3階、4階には学生ラウンジを設けており、学生の自習及び休憩場所としている。

各フロアの構成として、講義室としては、1階に3室(各168席、126席、126席)と2階に1室(126席)を設ける。実習室(一部演習室も兼ねる。)としては、2階に実習室1(96席：生化学・免疫・臨床化学・公衆衛生・遺伝子)、実習室2(32席)、遺伝子検査実習室1及び遺伝子検査実習室2、細胞検査士養成コース実習／演習室(3年生用、4年生用の2室)を設け、3階に生理検査実習室(96席)、形態検査／細菌・病理・血液検査実習室(96席)、質量分析装置・フローサイトメーター・液体クロマトグラフィ等実習室及び細胞培養・胚培養実習／演習室を設ける。

4階には、教員の研究室として、学科長室含めた個室を13室確保し、加えて、教員が共同で利用できる教員・実験研究室及び準備室を確保している。

学内での講義、実験、演習、実習等で使用する機械器具、標本、模型等の設備は新たに購入する。整備を予定している主な機械器具、標本等のリストについては、(資料18)のとおりであり、授業に支障がないよう整備していく。

なお、図書・雑誌等については、大田原キャンパス図書館においてすでに図書103,360冊(内洋書8,518冊)、電子図書24,910誌(内洋書23,282誌)、学術雑誌2,520誌(内洋雑誌518誌)、電子ジャーナル16,334誌(内洋書14,727誌)を整備している。

これに加え医学検査学科では、専門図書500冊、専門電子図書500誌(内洋書100誌)、専門視聴覚資料30本を追加整備することとしている。整備する主な図書等は(資料19)のとおりである。

さらに、他の大学との協力体制はNACSIS-ILLに加盟しており、全国の図書館との間で相互貸借業務を行っている。

大田原キャンパスにおける図書館の閲覧室／自習室はD棟1階にあり、合わせて726席を学生の学修環境として整備している。

文献、資料の検索は学生自身が検索用PCを使用して行うほか、窓口を設けて司書が相談に応じることとしている。

14. 管理運営

学校教育法第93条、学校教育法施行規則第143条などに基づいて、教学面の管理運営を行うために管理運営委員会、教授会、学科長会議及び学科会を置いている。組織の機能、構成などについては、以下のとおりであり、保健医療学部医学検査学科においても同様に実施する。

(1)管理運営委員会

教学面を含む大学全体の管理運営に関する重要事項を審議し、理事会との連絡調整を図るため「管理運営委員会」を置いている。学長が招集し、議長となり、副学長、大学院長、副大学院長、研究科長、学部長、附属病院長、学長が指名した学科長、常任理事、理事長が指名した理事及び事務局長等をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、専任の職員を加えることができる。

開催方法は、大田原キャンパス、成田キャンパス、東京赤坂キャンパス、小田原キャンパス、大川キャンパス、附属病院を結んだオンライン会議システムを用いて実施する。審議する事項は以下のとおりであり、開催頻度は原則として毎月1回である。

(審議事項)

- 一、学則その他の重要な規則の制定、改廃に関する事項
- 二、大学院及び学部・学科の重要な組織の設置及び廃止に関する事項
- 三、本学の重要な施設の設置及び廃止に関する事項
- 四、教員人事の基準及び調整に関する事項
- 五、学生の定員に関する事項
- 六、学生の身分及びその厚生補導に関する重要事項
- 七、理事会の諮問事項
- 八、附属病院の運営に関する重要事項
- 九、その他、本学の運営に関する重要事項

(2)教授会

管理運営委員会が全学の重要事項を審議するのに対し、学部の教学面に関する重要決定事項は教授会で審議される。教授会規程第3条に、教授会に代表者会議を置くことができるものとし、同条第2項に、代表者会議は、当該学部長及び学科長等の意見を聴いて学長が指名した者をもって構成すると規定しており、本学では学部ごと又は複数学部にまたがって「代表者会議」を置いている。

また、同条第5項に、「代表者会議の議決をもって教授会の議決とすることができる。」と規定しており、審議する事項は学生の身分に関する事項、卒業及び進級の課程の修了

に関する事項、入学試験に関する事項などであり、代表者会議の開催頻度は原則として毎月1回である。

(3) 学部長・学科長会議

学部、学科の教学に関する事項について、連絡調整及び協議するため、学部ごと又は複数学部にまたがって学部長・学科長会議を置いている。学部長・学科長会議は、規定に基づき学長が議長となり、副学長、学部長、副学部長、学科長及び学長が指名する専任の教員をもって構成する。

また、毎年度初めにはすべての学部長・学科長による全学学部長・学科長会議を開催している。なお、学部長・学科長会議は、規定に基づき教育課程の編成、学位の授与などの学部運営について責任を担う会議として位置づけられている。

(4) 学科会

学科内の教学に関する事項について、専任の教員による連絡調整及び協議するため、学科に学科会を置いている。なお、学科会は、規定に基づき教育課程の編成、学位の授与などの学科運営について責任を担う会議として位置づけられている。

(5) 各種委員会

教授会の下部組織として下記の各種委員会などを置いている。

＜各種委員会＞

- ・教務委員会
- ・FD 委員会
- ・臨床教育委員会
- ・学生委員会
- ・国際交流委員会
- ・就職委員会
- ・ハラスメント防止委員会
- ・学生募集委員会
- ・教育用機器整備検討委員会
- ・図書委員会
- ・奨学金委員会
- ・倫理審査委員会

15. 自己点検・評価

学校教育法第109条、大学設置基準第2条などに基づいて、教育研究水準の向上を図り教育目標及び社会的使命を達成するため、教育研究活動や管理運営等の状況につ

いて自己点検・評価を次のとおり実施しており、医学検査学科においても同様に実施する。

(1)実施方法・実施体制

本学の学則第1条の2に「本学の目的を達するために、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」と定められており、これを受け、本学では、2000(平成12)年度に初めて自己点検・自己評価を実施し、報告書にまとめ、「2000 年度国際医療福祉大学自己点検・自己評価報告書」を刊行した。その後、2年～3年に1度自己点検・自己評価を行い、2007(平成19)年度及び2014(平成26)年度 2021(令和3)年度には、日本高等教育評価機構による第三者評価を受審し、適格評価を受けた。

また、実施体制であるが、学長を委員長に、副学長、大学院長、副大学院長、学部長、研究科長、副学部長、学科長、大学院専攻主任、学生部長、教務統括委員長、図書館長、常任理事、事務局長などから構成する自己点検・自己評価委員会を置き、「自己点検・自己評価委員会規程」に基づいて意思決定がなされている。委員会の任務を遂行するため、原則として毎月1回行われる自己点検・自己評価委員会のもとに、教育研究活動に係る事項は、教務委員会及び学生委員会、管理運営に係る事項は管理運営委員会及び経営会議を置いている。

さらに、各種委員会及び担当部署により教育研究活動に関するデータ収集や種々の点検を行っている。報告書作成に当たっては、各評価基準の担当者(自己点検・評価委員会又は各種委員会委員長)が行い、自己点検・評価委員会で全体の調整を図りながら検討される。

(2)評価項目

これまで本学は、以下の自己点検・評価を行ってきた(※は第三者評価機関)。原則2年ごとに本学の理念に沿った評価基準を設定し、全学的な自己点検・評価を行うとともに、本学の運営改善に反映していくこととしている。

<各年度の評価項目>

実施年度	評価項目
2000(平成12)年度	基本理念教育理念、各学科の取組、学生の受入れ、カリキュラム、教育指導等
2002(平成14)年度	学生生活の実態把握・評価
2004(平成16)年度	本学卒業生の社会活動
2007(平成19)年度	大学機関別認証評価 適格 ※財団法人日本高等教育評価機構

2008(平成 20)年度	地域連携
2009(平成 21)年度	自己点検 21 ※一般社団法人薬学教育評価機構
2010(平成 22)年度	国際交流
2013(平成 25)年度	リハビリテーション教育評価認定審査 ※一般社団法人リハビリテーション教育評価機構
2014(平成 26)年度	大学機関別認証評価 適格 ※公益財団法人日本高等教育評価機構
2017(平成 29)年度	国際交流の更なる展開
2018(平成 30)年度	リハビリテーション教育評価認定審査(保健医療学部、小田原保健医療学部、福岡保健医療学部) ※一般社団法人リハビリテーション教育評価機構
	WFOT 認定等教育水準審査(保健医療学部、小田原保健医療学部、福岡保健医療学部) ※一般社団法人日本作業療法士協会
2019(令和元)年度	2014(平成 26)年度から 2020(令和 2)年度までの 7 年間の中長期計画の点検・評価
	リハビリテーション教育評価認定審査(成田保健医療学部) ※一般社団法人リハビリテーション教育評価機構
	WFOT 認定等教育水準審査(成田保健医療学部) ※一般社団法人日本作業療法士協会
	薬学教育評価 評価継続(2023(令和 5)年度再評価受審) ※一般社団法人 薬学教育評価機構
2021(令和 3)年度	大学機関別認証評価 適格 ※公益財団法人日本高等教育評価機構
2023(令和 5)年度	医学教育分野別評価 評価基準に適合認定 ※一般社団法人 日本医学教育評価機構 (JACME)
	リハビリテーション教育評価認定審査(保健医療学部、小田原保健医療学部) ※一般社団法人リハビリテーション教育評価機構
	薬学教育評価 評価基準に適合評価 ※一般社団法人 薬学教育評価機構

(3)結果の活用と公表

本学の学則第1条の3に「本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公開するものとする。」と規定されている。自己点検・自己評価報告書が初めて発行された2000(平成12)年度からこれまでの報告書は、製本の上、専任教員代表者会議や学部長・学科長会議などの各種会議で学内共有すると同時に教職員に配布し、本学の現状及び課題について再認識を促している。さらに、ホームページに本学の活動を公表し、学外から本学への意見や要望の収集にも努めている。

16. 情報の公表

学校教育法第113条、学校教育法施行規則第172条の2などに基づいて、大学は教育研究活動等の状況を積極的に社会に公表していくこととされている。大学における教育研究活動等の状況について、次のとおり積極的に情報を提供しており、保健医療学部医学検査学科においても同様に実施する。

(1)事業報告書の公表

本学では、私立学校法第47条に基づき、以下の5つの財務諸表及び役員等名簿について、学内での閲覧を可能とするとともに、ホームページで公開している。

- ・収支計算書
- ・貸借対照表
- ・財産目録
- ・事業報告書
- ・監事の監査報告書
- ・役員等名簿

(2)教育情報の公開

学校教育法施行規則第172条の2に基づき、教育研究活動等に関する以下の情報をホームページで広く社会に公開している。

- 1)アドレス <https://www.iuhw.ac.jp/about/index.html>
HOME > 大学について>
<https://www.iuhw.ac.jp/about/information.html>
HOME > 大学について> 情報公開

2)掲載内容

<教育研究上の基礎的な情報>

①学則

- ②学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的
- ③専任教員数、専任教員の構成
- ④校地・キャンパス等の施設その他の学生の教育研究環境
- ⑤授業料、入学料その他大学等が徴収する費用
- ⑥校舎等の耐震化率及び耐震化完了計画
- ⑦寄附行為、役員等名簿、役員等報酬基準

<修学上の情報等>

- ① 教員組織、各教員が有する学位及び業績
- ② 入学者に関する受入方針、入学者数、収容定員、在学者数、卒業(修了)者数、進学者数、就職者数
 - ・ 入学者に関する受入方針「アドミッション・ポリシー」
 - ・ 入学者数
 - ・ 収容定員
 - ・ 在学者数
 - ・ 卒業(修了)者数
 - ・ 進学者数、就職者数
- ③ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画(シラバス又は年間授業計画の内容)
 - ・ 教育課程の編成方針「カリキュラム・ポリシー」
 - ・ 授業科目
 - ・ 授業の方法及び内容並びに年間の授業計画
- ④ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準(必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位)
 - ・ 学位授与の方針「ディプロマ・ポリシー」
 - ・ 卒業要件
 - ・ 学位及び成績評価基準
- ⑤ 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に関する支援
 - ・ 学生の修学
 - ・ 進路選択
 - ・ 心身の健康等
- ⑥ 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

<その他の教育研究上の情報>

- ① 教育条件
 - ・ 教員一人当たり学生数、収容定員充足率
- ② 教育内容
 - ・ 教員の専任・非常勤数
 - ・ 学位授与数

- ・就職先の情報

③ 学生の状況

- ・入学者推移、社会人学生数、留学生数及び海外派遣学生数
- ・卒業時・学修行動調査アンケート

④ 国際交流・社会貢献等の概要

- ・提携大学、社会貢献活動、大学間連携、産官学官連携

(3)年報・広報誌等による教育研究活動の公開

本学では、年報(年1回発行)、IUHW 学会誌(年2回発行)、広報誌 IUHW(年4回発行)、インターネット・ホームページ等を通して、本学の基本理念、組織機構、教育内容、学生活動、委員会報告、研究活動、国際交流等について学内外に提供している。大学のホームページでは、学則や直近の学部・大学院の設置関係資料(設置認可申請書、設置計画履行状況報告書)も公開している。

年報は年1回250部発行している。掲載内容は、その年度の各種委員会組織・活動、大学行事、受験者・入学者・在籍者・卒業者等の統計データ、学生の部・サークル活動、就職状況、国際交流、附属病院の状況等である。配布先は、各キャンパスの事務局・図書館、附属病院・関連施設、実習施設等である。

IUHW 学会誌は年2回1,200部発行している。IUHW 学会誌は本学教員の研究成果、国際医療福祉大学学会員である本学の教員・大学院生の研究発表や活動報告の場であり、学会員であれば学外者の投稿も認めている。配布先は、学会員と本学及び附属・関連施設等である。また、博士学位論文、修士学位論文題目は、ホームページ「国際医療福祉大学リポジトリ」で一般に公開している。

広報誌 IUHW は年4回発行で、発行部数は毎号30,000部である。掲載内容は、大学で開催された行事や学生活動を中心に、附属・関連施設の出来事、役員、新任教員などの紹介、同窓会通信、在学生取材記事等である。配布先は本学の学生、教職員、同窓会会員、教育後援会員(在学生の保護者)、附属・関連施設職員、行政機関等である。

その他、大学のホームページでは社会に向けた情報発信も積極的に行っているが、これら媒体を通じた情報提供だけでなく、受験生や医療福祉関係者、一般市民等を対象とした市民公開講座、研修会等も数多く開催しており、生涯学習の拠点としての役割も担っている。

また、運動会等の大学行事に地域の障害者、高齢者を招待するなど、本学の理念である「社会に開かれた大学」の実現に努めている。

(4)その他の情報公開

1)自己点検・評価報告書 (<https://www.iuhw.ac.jp/about/index.html>)

HOME > 大学について > 自己点検・評価報告

2)大学機関別認証評価結果 (<https://www.iuhw.ac.jp/about/index.html>)

17. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

大学設置基準第 11 条に基づいて、本学の FD(Faculty Development)活動、SD(Staff Development)活動は、既存の大学院・学部・学科において研修会、講演会、学生による授業評価アンケートなどを次のとおり実施しており、保健医療学部医学検査学科においても同様に実施する。

(1)FD 活動

本学では、教育及び授業の改善、教員の研修など教員の質を向上させることを目的に各キャンパスに FD 委員会を設置している。FD 委員会では、教育法の改善及び教員の資質の向上など FD に関して討議を行い、より質の高い教育方法の推進を図るためにさまざまな活動に取り組んでいる。取組の代表的なものとして、「5 キャンパス合同教員研修会」を開催している。本研修会では、外部講師を招く講演会を行っている。また、学内研究費を受給した教員の中から「若手研究者奨励賞」の表彰を実施し、受賞者による研究報告を行っている。これらの学内 FD 研修会を通し、教員に対する教育の質の向上、教育力の改善を図っている。

なお、教職員を対象とした研修会や講演会等は、教職員に対する教育の機会として設けているものであり、就業規則第 56 条に「職務に支障を来さない限り出席しなければならない」として出席を義務づけている。

さらに、学内研修の他に外部研修への参加も推奨しており、参加する教員に対しての経費は各学科、センター予算から支出している。

(2)学生による授業評価アンケート

本学では、FD 委員会により、教育・教授方法の改善のため、全キャンパス合同で教員研修会を実施している。その他、学生・教員間の双方向的なシステムとして、年間 2 回(前期・後期)各授業において学生による授業評価アンケートを全学的に行い、その結果を各教員は授業を通して学生にフィードバックしている。

また、各学科・センターにおいても各教員の結果を比較検討しお互いの授業に生かせるよう継続実施し、更なる授業内容・方法の向上に努めている。この授業アンケートは FD 委員会でアンケート項目を検討し、全キャンパス共通アンケートとして実施している。

さらに、学生の成績評価をより厳格に客観的な評価をする GPA(Grade Point Average)の導入により、学生の実力を把握し、全般的な教育方法の改善に役立てている。

(3)学修調査アンケート

シラバスには「準備学修・学修へのアドバイス」の欄を設け担当教員からのアドバイスを記載し、教室外学習を促している。また、学生自身の学習状況については、平成25年度から実施している「学修調査アンケート」を行い、適切な学修時間が確保されているかを検証することとする。

(4)グッドティーチング賞制度

教員の「教育力の質」の改善については、2012(平成24)年度より学長のリーダーシップのもと、「グッドティーチング賞制度」を設け、受賞教員の教授方法を共有情報として公開し、それを参考に各自が教育方法の工夫に努めている。このグッドティーチング賞は、前述の学生による授業アンケートを用いて多くの学生から高い評価を受けている教員を表彰する制度である。グッドティーチング賞制度は、その取組を通じて、教員間の授業形態・運営方法の工夫を共有し改善につなげ、教育の質向上、教育研究活動の活性化に結びつけていくことを目指している。さらに、教員が学生の声に謙虚に耳を傾け、様々な状況を理解し、授業における教員-学生相互のコミュニケーションが活性化されることを意図し、ひいては学生の学ぶ力の向上を目指している。

(5)SD活動

本学では、従前より関連の医療施設及び福祉施設を含めた事務職員の資質向上を目的として年2回の研修会を全法人的に実施している。これに加え、職員を対象とした研修会もSD研修として別途実施することとしており、オンラインを用いて5キャンパス合同の研修会を複数回に渡り開催している。

なお、勤務等の都合によりライブ受講できなかった職員のために、研修の収録動画を学内eラーニング(Mediasite)に掲載するとともに積極的な声掛けを行い、研修参加率向上に努めることとする。

18. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

本学の多くの学科では卒業時に国家試験受験資格が得られることから、資格取得後の専門職に直結した教育体制が整備されている。

就職及び進学支援については、各学科教員から構成される就職委員会と学生課が連携し、積極的な情報収集ときめ細やかな情報共有を図ることで全学的な就職支援体制を構築している。

各学科の実情にあわせた年次計画をもとに、就職活動を控えた学生及び就職指導を担当する教員に対して「キャリア支援セミナーBasic テキスト」(資料20)を配付した上で、学生課が主体となり年数回の就職ガイダンスを実施している。特に、就職活動キックオフやガイダンスにおいては、就職活動の心構え、求人情報の収集方法、就職

内定までのスケジュールなどを説明すると共に、マナー講習会を開催するなど、社会人としての成長を見据えた就職活動の在り方を教授している。さらに、学生の保護者に対しても同様の「キャリア支援ハンドブック《保護者編》」(資料 21)を配付し、就職活動情報や依頼(注意)事項を提供している。

大学に届いた求人情報については、求人票を受領した各キャンパスの就職担当者が随時最新の情報へ更新を行っている。その情報は就職支援システム「IUHW キャリアサポート」を通して、どのキャンパスに届いた求人情報であっても学生は閲覧することが可能となっている。

また、パソコン・タブレット・スマートフォンから学内外において随時求人情報を閲覧でき、利便性に配慮している。さらに、卒業時には自分の就職活動における留意点や試験、面接の内容等を報告書にまとめ、それを在学生在が閲覧できるように整備している。求人情報以外の病院見学やインターンシップ、募集要項等資料については、紙媒体でも閲覧できるよう各キャンパスで管理されている。

大田原キャンパスでは、就職情報コーナーに情報を集約し、開室時間中は自由に閲覧することできるよう整備している。

学生の求人情報を得るために、毎年全国の医療機関及び福祉施設等に求人票を発送し、情報収集に努めている。加えて、多くの学科において臨地実習が行われていることもあり、教職員が近県の病院や施設を訪問する機会を通じて、教育カリキュラムに対する理解を得ながら、求人や採用についても情報を収集している。

さらに、卒業生及び就職先の管理者に対して就職先アンケートを実施し、就職先の教育の成果や効果を検証し、教育活動等の改善に繋げることに合わせて取り組んでいる。

(各学科での取組)

医療福祉専門職の国家資格の取得にあわせた教育体制と連動した就職指導は、各学科の就職担当教員が主体となって行っている。国家資格の受験取組時期と就職活動の開始時期が重複することも多く、学科長を中心に就職担当教員及び就職対象学年のゼミナール教員などにおいて連携し、調整を行っている。

就職担当教員は、学科全体の就職活動に向けた取組について計画、実施、評価など一連の運営管理を行っている。同時に、就職委員会の委員として、本学全般の動向を把握しながら、他学科における取組状況を参考にするなど、横の連携を図っている。特に、医療福祉専門職としての就職先は学科横断的な求人が得られることから、一医療機関から複数の職種の求人につながることも多く、就職担当教員は自らの学科の状況だけではなく、他学科を含めた求人動向を把握することも重要な役割となっている。さらに、学生に対しての具体的支援のひとつとして、就職活動を行う学年のゼミナール指導教員からの助言を受けながら個別面談を行い、学生の希望や適性、就職先とのマッチングなど総合的な視野から丁寧な指導を行っている。

また、就職活動の進捗に応じて、就職説明会の開催、履歴書の添削、就職模擬面接の実施などを行い、就職先の決定に向けての助言や方向付けなど個別対応を重視した就職指導を実施している。

(キャリア支援)

大学をあげて学生の就職活動を支援する目的から、本学でも 2009(平成 21)年 4 月より「キャリア支援センター」を開設している。

大田原キャンパス学生課が主体となり、成田キャンパス、東京赤坂キャンパス、小田原キャンパス、大川キャンパスなど 5 キャンパス合同による情報交換を行っている。各キャンパスに開設している同じ学科間の調整は、オンライン会議システムを活用することで情報共有を行い、地理的な課題を解決している。各キャンパスの学科別の求人情報、就職内定情報など、就職担当教職員がお互いの取組状況を話し合える貴重な機会となっている。

キャリア支援センターが置かれている大田原キャンパスでは、キャリアコンサルタントの国家資格を有した職員を配置し、就職支援体制を強化している。予約制の個別相談枠を設定し、対面およびオンラインにて面接指導及び履歴書・エントリーシートの添削指導などを行っている。

設置の趣旨等を記載した書類 資料目次

資料 1	2022年度 就職決定状況・進路状況	P. 2
資料 2	国際交流（海外学術協定締結先リスト）	P. 3
資料 3	2018-2022年度 大田原・大川キャンパス地域就職率	P. 127
資料 4	栃木県 医療機関勤務の臨床検査技師数の推移について	P. 128
資料 5	栃木県臨床検査技師会 要望書	P. 129
資料 6	栃木県臨床検査技師会 覚書	P. 130
資料 7	DP・AP・CPの相関表	P. 132
資料 8	履修モデル	P. 133
資料 9	保健医療学部医学検査学科 臨地実習先の実習計画	P. 139
資料 10	実習施設一覧	P. 140
資料 11	実習施設承諾書	P. 142
資料 12	実習契約書（本学書式）	P. 189
資料 13	個人情報に関する誓約書（本学書式）	P. 191
資料 14	臨地実習ガイドライン2021	P. 192
資料 15	保健医療学部医学検査学科入試概要（予定）	P. 207
資料 16	国際医療福祉大学任期付専任教員規程	P. 208
資料 17	学校法人国際医療福祉大学教職員定年規程	P. 211
資料 18	保健医療学部医学検査学科・機器リスト	P. 212
資料 19	保健医療学部医学検査学科・図書リスト	P. 217
資料 20	キャリア支援セミナーBasic2024	P. 259
資料 21	キャリア支援ハンドブック2024年度版	P. 262

2022年度 国際医療福祉大学 就職決定状況・進路状況

2023年 5月1日現在

区 分		卒業者数			就職希望者数			就職決定者数			就職率 (%)	進路 未定 者数	備 考		
学部学科		計	男	女	計	男	女	計	男	女					
保健医療学部	看護学科	118	14	104	107	14	93	(54) 107	(6) 14	(48) 93	100.0%	0	進 学 その他	10 1	
	理学療法学科	97	47	50	97	47	50	(13) 97	(5) 47	(8) 50	100.0%	0	進 学 その他	0 0	(6)
	作業療法学科	73	26	47	72	25	47	(11) 72	(3) 25	(8) 47	100.0%	0	進 学 その他	0 1	
	言語聴覚学科	62	8	54	62	8	54	(12) 62	(3) 8	(9) 54	100.0%	0	進 学 その他	0 0	(1)
	視機能療法学科	49	14	35	45	14	31	(5) 45	(1) 14	(4) 31	100.0%	0	進 学 その他	1 3	
	放射線・情報科学科	106	58	48	95	53	42	(9) 95	(5) 53	(4) 42	100.0%	0	進 学 その他	1 10	(2)
	計	505	167	338	478	161	317	(104) 478	(23) 161	(81) 317	100.0%	0	進 学 その他	12 15	(9)
	医療福祉・マネジメント学科 (経営系)	57	22	35	50	17	33	(7) 50	(2) 17	(5) 33	100.0%	0	進 学 その他	2 5	(1)
医療福祉・マネジメント学科 (福祉系)	89	28	61	83	25	58	(10) 83	(5) 25	(5) 58	100.0%	0	進 学 その他	1 5	(1)	
計	146	50	96	133	42	91	(17) 133	(7) 42	(10) 91	100.0%	0	進 学 その他	3 10	(2)	
薬学部	薬学科（6年制）	121	47	74	109	40	69	(8) 109	(4) 40	(4) 69	100.0%	0	進 学 その他	0 12	(1)
	計	121	47	74	109	40	69	(8) 109	(4) 40	(4) 69	100.0%	0	進 学 その他	0 12	(1)
	大田原キャンパス 合計	772	264	508	720	243	477	(129) 720	(34) 243	(95) 477	100.0%	0	進 学 その他	15 37	(12)
医学部	医学科	125	73	52	124	72	52	(40) 124	(22) 72	(18) 52	100.0%	0	進 学 その他	0 1	
護成学部看護	看護学科	103	9	94	97	9	88	(52) 97	(4) 9	(48) 88	100.0%	0	進 学 その他	5 1	
成田保健医療学部	理学療法学科	82	36	46	79	33	46	(9) 79	(4) 33	(5) 46	100.0%	0	進 学 その他	1 2	(10)
	作業療法学科	47	11	36	45	10	35	(9) 45	(1) 10	(8) 35	100.0%	0	進 学 その他	0 2	(1)
	言語聴覚学科	38	3	35	38	3	35	(3) 38	(0) 3	(3) 35	100.0%	0	進 学 その他	0 0	
	医学検査学科	85	25	60	65	17	48	(18) 65	(5) 17	(13) 48	100.0%	0	進 学 その他	11 9	(3)
	成田キャンパス合計	480	157	323	448	144	304	(131) 448	(36) 144	(95) 304	100.0%	0	進 学 その他	17 15	(14)
福祉系 トマネジ・メン 学部	心理学科	58	10	48	32	8	24	(4) 32	(0) 8	(4) 24	100.0%	0	進 学 その他	24 2	
	医療マネジメント科	66	27	39	60	23	37	(6) 60	(4) 23	(2) 37	100.0%	0	進 学 その他	2 4	
	東京赤坂キャンパス合計	124	37	87	92	31	61	(10) 92	(4) 31	(6) 61	100.0%	0	進 学 その他	26 6	(0)
小田原保健医療学部	看護学科	82	13	69	80	13	67	(33) 80	(4) 13	(29) 67	100.0%	0	進 学 その他	2 0	
	理学療法学科	79	36	43	78	35	43	(7) 78	(3) 35	(4) 43	100.0%	0	進 学 その他	0 1	(1)
	作業療法学科	33	7	26	33	7	26	(3) 33	(1) 7	(2) 26	100.0%	0	進 学 その他	0 0	
	小田原キャンパス合計	194	56	138	191	55	136	(43) 191	(8) 55	(35) 136	100.0%	0	進 学 その他	2 1	(1)
福岡保健医療学部	理学療法学科	78	43	35	78	43	35	(7) 78	(4) 43	(3) 35	100.0%	0	進 学 その他	0 0	(1)
	作業療法学科	32	13	19	32	13	19	(1) 32	(1) 13		100.0%	0	進 学 その他	0 0	
	言語聴覚学科	35	3	32	35	3	32	(3) 35	(2) 3	(1) 32	100.0%	0	進 学 その他	0 0	
	医学検査学科	65	21	44	56	19	37	(9) 56	(1) 19	(8) 37	100.0%	0	進 学 その他	5 4	(1)
	大川キャンパス合計	210	80	130	201	78	123	(20) 201	(8) 78	(12) 123	100.0%	0	進 学 その他	5 4	(2)
	全キャンパス合計	1,780	594	1,186	1,652	551	1,101	(333) 1,652	(90) 551	(243) 1,101	100.0%	0	進 学 その他	65 63	(29)

【注1】就職率は、就職希望者に対する就職決定者の割合

【注3】進学（ ）内は就職し、かつ進学する人数

【注2】就職決定者数欄の()内は大学附属及び大学関連施設に就職した人数

【注4】その他は、就職・進学を希望しない人数

-設置等の趣旨(資料)-2-

海外学術協定締結先リスト

資料2

	国	提携先	締結日	受け入れ可能人数	有効期限	次回更新日
大学	台湾	元培醫事科技大学 Yuanpei University of Medical Technology	2019.10.28.	40	自動更新	更新手続き必要なし
	タイ	クリスチャン大学 Christian University of Thailand	2023. 8.10.	50	自動更新	更新手続き必要なし
		マヒドン大学（公衆衛生学部） Faculty of Public Health, Mahidol University	2007.7.23 (Renewed 2017.5.3)	5	2017年から3年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
	USA	ハワイ大学 カピオラニ校 University of Hawaii Kapiolani Community College	2009.4.2 (Renewed 2014.12.22)	5	2014年から5年、その後さらに5年更新（期限は2024年12月）	2024年12月22日
		ピッツバーグ大学医学部 The University of Pittsburgh School of Medicine	2016.4.1 (Renewed 2021.5.13)	5	2021年から5年（期限は2026年5月）	2026年5月13日
	中国	首都医科大学康復医学院 Capital Medical University, School of Rehabilitation Medicine	2009.3.23	中国リハビリテーション研究センターとセット	-	-
		中国科学院大学 University of Chinese Academy of Sciences	2017.4.28	10	2017年から1年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
		北京大学医学部 Peking University Health Science Center	2021.7.8	5	2021年から5年（期限は2026年7月）	2026年7月8日
	韓国	建陽大学校 Konyang University	2020. 3.14.	100	自動更新	更新手続き必要なし
		仁済大学校 Inje University	2020. 7.17.	50	自動更新	更新手続き必要なし
		大邱韓医大学校 Daegu Haany University	2020. 3.11.	40	自動更新	更新手続き必要なし
		乙支大学校 Eulji University	2021. 7.29.	30	自動更新	更新手続き必要なし
	ミャンマー	国立ヤンゴン看護大学 University of Nursing, Yangon	2013.10.31 (Renewed 2018.7.12)	20	2018年から1年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
		ヤンゴン第一医科大学 University of Medicine 1, Yangon	2013.12.14	10	2013年から1年、その後は1年のみ更新（期限切れ）	更新手続き必要なし
		ヤンゴン第二医科大学 University of Medicine 2, Yangon	2017.7.22	10	2017年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
		国立ヤンゴン医療技術大学 University of Medical Technology, Yangon	2020.10.8.		自動更新	更新手続き必要なし

	国	提携先	締結日	受け入れ可能人数	有効期限	次回更新日
大学	ベトナム	ホーチミン市医科薬科大学 University of Medicine and Pharmacy, Ho Chi Minh City	2019.12.13.	チョーライ病院と共同	自動更新	更新手続き必要なし *チョーライ病院、IUHW,FIUHWとの4者協定
		国立ハノイ医科大学 Hanoi Medical University	2021. 2.25.	90	自動更新	更新手続き必要なし
		フエ医科薬科大学 Hue University of Medicine and Pharmacy	2017.11.1	30	2017年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
		カントー医科薬科大 Can Toh University of Medicine and Pharmacy	2023.9.29		2023年署名日から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
	オーストラリア	グリフィス大学 Griffith University	2020. 12. 4	120	2025. 12. 4.	2025年6月4日に更新手続き開始 (自動更新検討のこと)
	ニュージーランド	オタゴ大学 The University of Otago	2017.4.4	10	2017年から5年、その後は協議。(期限切れ)	延長交渉中
	シンガポール	シンガポール工科大学 Singapore Institute of Technology	2020. 9. 9.	80	自動更新	更新手続き必要なし
	モンゴル	モンゴル国立医科大学 Mongolian National University of Medical Sciences	2020. 2.27.	20	自動更新	更新手続き必要なし
	ラオス	ラオス国立健康科学大学 University of Health Sciences, Lao PDR	2015.11.10	25	2015年から3年、その後は1年ごとの自動更新。	更新手続き必要なし
	インドネシア	ウダヤナ大学 University of Udayana	2024. 2. 1	25	5年間	2028年8月初旬に更新手続き開始 (自動更新検討のこと)
	マレーシア	マネージメント&サイエンス大学 Management & Science University	2023. 6. 8	35	自動更新	更新手続き必要なし
	フィリピン	フィリピン大学マニラ校 University of the Philippines Manila	2023.12.12	30	2028. 12. 13	2028年9月初旬に更新手続き開始 (自動更新検討のこと)
	スペイン	アルカラ大学 The University of Alcala	2016.5.21	5	2016年から5年、その後は書面による更新依頼に基づく。(期限切れ)	IUHW署名完了 先方署名待ち
	カンボジア	カンボジア国立保健科学大学 University of Health Sciences, Cambodia	2016.07.28	20	2016年から3年、その後は(3年ごとの)自動更新	更新手続き必要なし
	ブータン	ブータン医科大学 Khesar Gyalpo University of Medical Science of Bhutan	2023.07.12		2023年から5年。(期限は2028.7.12)	2028年7月12日
	イギリス	イーストアングリア大学 University of East Anglia	2024.1.24	30	2029年1月8日	2028年中に要更新 2028年7月ごろより手続き開始
	フランス	パリ第 11 大学 Univesite Paris-SUD	2016.11.8	5	2016年から5年(期限切れ)	延長交渉中
	ハンガリー	センメルweis大学 Semmelweis University	2016.11.7	20	2016年から3年、その後は1年ごとの自動更新。	更新手続き必要なし
	ロシア	モスクワ第一医科大学 I.M.SECHENOV FIRST MOSCOW STATE MEDICAL UNIVERSITY	2017.10.10	5	2017年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし

	国	提携先	締結日	受け入れ可能人数	有効期限	次回更新日
大学	フィンランド	ヘルシンキ大学 University of Helsinki	2018.2.13	5	2018年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
	ポーランド	ヴロツワフ医科大学 Wroclaw Medical University	2018.3.15	5	2018年から5年、その後は1年ごとの自動更新(ただし、4年目の最初=2022年3月に、更新するかのEvaluationを行う)	延長手続き中
	リトアニア	リトアニア健康科学大学 Lithuanian University of Health Sciences	2019.12.13	10	2019年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
機関	中国	中国リハビリテーション研究センター China Rehabilitation Research Center	2022年11月	40	2027年11月	2027年7月初旬に更新手続き開始(自動更新検討のこと)
	オーストラリア	テイフ クイーンズランド TAFE Queensland Gold Coast	2024.2.27	240	2022.11.1	
	シンガポール	ナンヤンポリテクニク Nanyang Polytechnic	2020.7.13.	60	自動更新	更新手続き必要なし
	モンゴル	教育・文化・科学・スポーツ省 Ministry of Education and Science of (Mongolia)	2023.12.02	-	2024年から2026年入学奨学生まで有効	
	ベトナム	保健省 The Ministry of Health of The Socialist Republic of Veit Nam	2019.8.13	-	2019年から2024年度奨学生まで有効	2025年度奨学生受入れ手続き開始前までに更新必要(2024年中)
病院	ベトナム	国立チョーライ病院 Cho Ray Hospital	2019.12.13.	UMPと共同	自動更新	更新手続き必要なし *ホーチミン医薬大学、IUHW,FIUHWとの4者協定
		国立バックマイ病院 Bach Mai Hospital	2015.3.5		2015年から3年、その後は1年ごとの自動更新。	更新手続き必要なし
		フンブン病院 Hung Vuong Hospital	2019.1.18		2019年から3年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
	中国	中日友好病院 China-Japan Friendship Hospital	2019.10.17	5	2019年から5年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
	モンゴル	モンゴル日本教育病院 Mongolia-Japan Teaching Hiospital - MNUMS	2019.12.23	5	2019年から3年、その後は1年ごとの自動更新	更新手続き必要なし
1,300 ポイント:福岡国際医療福祉大学を入れて締結し直したMOUは別管理で、それ以前のIUHWと先方とのMOUは2者間契約として引き続き有効。 海外学術交流協定締結先一覧 (46 大学/機関/施設、22 国/地域) (※締結予定機関は含まず) 2023.2.29 現在						